

機械工業ノ發達亦日覺シキ發展ヲ見ルニ至レリ世人ハ將來同一趨勢ヲ以テ進ムモノト爲シ大ナル期待ヲ以テ漢口ノ將來ヲ目シタリ然ルニ彼ノ革命亂ハ事業界ニ甚敷頓挫ヲ來シ濫リニ其樂觀ヲ許サ、ルモノアルニ似タリ初メ張之洞ノ工業富國策ヲ斷行スルヤ百般ノ工業ハ先ツ官營ヲ以テ興リ又同時ニ民營ノ小工業勃興ヲ見タルキ官營工場ノ大部ハ未ダ開辦スルニ至ラスシテ資金ノ不足ヲ告グ借債ニ借債ヲ重ヌルニ及ヒ經營難ハ頻々トシテ來リ或ハ民間ニ貸下ケ又ハ賣拂ヒ全ク民營ニ移轉セシカ之等支那人經營ノ工場ハ一トシテ成功セルモノナク大方ハ依然維持困難ニ在リ一方外人經營ノ工場ノミ常ニ相當利益ヲ擧ケ年々多少ノ發展ヲナシツ、アリ此外人經營收益ノ刺戟ト所謂利權回收ノ爲支那人間ニハ事業熱今尙盛ナルモ果シテ健全ナル發達ヲ期シ得ヘキヤ否ヤ疑問ナリ今之等工場ノ成功ヲ見サル共通的主要原因ヲ示スニ大要左ノ諸項ノ大部分又ハ一部ニ歸スルモノノ如シ

- 一、工場經營ノ智識ニ乏シ加之上下舉テ不徳ヲ擅ニスル結果原料買付製品ノ販賣使用人ノ採用等一トシテ夫々當事者中飽ノ種ナラサルハナク原料及ヒ工賃ハ割高トナリ徒ラニ生産原價ヲ高メ市場ニ於テ其競争品ト品質ノ優勝ヲ爭フ能ハサルハ勿論價格ノ點ニ於テモ有利ナル競争ヲ爲シ能ハサルコト
- 二、機械買入ノ節約又ハ買入係ノ一部着服ニヨリ一等機械ノ設計豫算ハ二等、三等ノ機械ニヨル製品同様ナル結果トナリ豫算ト甚タシキ差異ヲ生シ自然缺損ヲ生スルニ至

ラシムルコト

- 三、偶々機械ノ精巧ナルモノヲ得タル場合ト雖モ技術者ニ入ヲ得スシテ幼稚ナル技術ト精巧ナル機械ノ不調和ニ原因スル缺損ヲ免レサルコト
- 四、開辦當時ニ於テ外人技術師ヲ僱聘スルコトアルモ其給料ノ高キヲ以テ多クハ其期限滿期ト共ニ解僱シ未熟ニシテ狡猾ナル支那人技師ニ委任シ作業ハ勿論機械保存ノ道不充分ナルヨリ生スル損失
- 五、創業後一、二ヶ年實際ニ利益ヲ擧ケタル場合アリト雖モ利益配當ニ重キヲ置キ固定資本ノ消却積立ヲ怠リ一方機械保存充分ナラサル等ノ事情ハ漸次作業能力ヲ減退シ之カ修復補填ノ機ヲ失フニ至リ益々其損失ヲ増大セシムルコト
- 六、天災内亂ノ頻發セルニ據ル頓挫ヨリ起ル損害
- 七、計畫ニ比シ常ニ資金ノ不充分ナルカ爲ニ生スル直接間接ノ損害

以上ハ其主要ナルモノニシテ其一項ト雖モ工場死活ノ原因タラサルナキニ從來勃興モル大部ノ工場ハ上記各項ノ殆ント全部ノ條件ヲ具備セサルナク如何ニ原料ノ集散地トシテ又交通ノ中心地タル便宜ヲ有スルト雖健全ナル發達ヲ來ス可キ理アラシヤ現在ノ漢口ニハ如何ナル種類ノ工業カ適スルヤノ疑問ニ對スル專門家ノ言ニ徵スレハ左ニ歸著ス即チ一、漢口ニ於テ有利ニシテ又比較的容易ナル工業ハ精製工業ニ非ラスシテ粗原料ノ加工工業ナリ例合價廉ニシテ容積大ナル農産品ノ輸送費ヲ節約スルカ爲ニナス加工工業

キ程度ノ規模ニ於テスル精製品工業ハ其ニ將來有利ナル事業ナラン

原料

近年國內ノ交通日ヲ逐ツテ利便トナリ外商館ヨリ銳意支那農産物ヲ世界市場ニ紹介シ其販路ヲ開拓シテヨリ彼等農民ノ自足經濟狀態ハ次第ニ打破セラレ交換經濟ノ域ニ進ミ此肥沃ニシテ廣大ナル土地ニ於テ勤勉ナル農民カ栽培セル莫大ナル各種農産物ハ年ト共ニ市場ニ出現スルモノ増加シツツアリ例ヘハ漢口港胡麻ノ海外輸出カ京漢鐵道ノ開通ト共ニ激増セルカ如キ偶々以テ支那ニ於ケル農産物ノ饒多ニシテ需要ニ伴ヒ測リ知リ難キ膨脹性ヲ有スルヲ立證スルニ充分ナリト謂ハサルヘカラス其他礦産物ニ於テモ亦然リ現在貴金屬探掘セルル、モノ甚タ稀ナレトモ之レ主トシテ數千年來支那舊式探掘法ニヨリテ濫掘セラレシ結果地下無限ノ寶庫モ急ニ企業上ノ價値ヲ失ヒシニ據ルモノニシテ必スシモ元來貴金屬ノ而カク乏シキ國ニハアラサリシモノナレ共今ヤ其結果ニ於テ同一トナリシハ頗ル惜ムヘシト爲ス然レトモ工業ノ中心ヲナス鐵、石炭ノゴトキハ儲量共ニ無盡藏トサヘ稱セラレ已ニ調査ヲ經タル石炭ニシテ探掘ニ適スルモノ百八十億萬噸ト稱ヘラレ鐵礦ニ於テモ亦經濟上探掘ニ適スルモノ五、六十億萬噸ヲ下ラサルコト確實ナリト謂フ其他工業原料トシテ必要ナル亞鉛、アンチモニー、鉛、(主トシテ湖南ニ産ス)錫(主トシテ雲南ニ産ス)銅(主トシテ雲南、四川ニ産ス)石油(陝西、四川ニ産ス)等モ亦頗ル潤澤ナリ然レトモ此等礦産物ハ交通不便ナルト人智未タ開

等

- 二、漢口ハ未タ工業的分業發達充分ナラサルヲ以テ精巧品ノ工業ニ不適當ナリ
 - 三、漢口ニ於テ大規模ノ精製工業生産品タル綿糸綿布等ノ製作ヲナスモ其有利ナルヘキ市場ニ制限アルヲ考慮セサル可ラス
 - 四、現狀ヨリ察シ今遠ニ漢口ニ大規模ノ精製品工業ヲ興サムカ技術幼稚ナル者ニ依リ精巧ナル機械ヲ操從スルヲ以テ四圍ノ事情ノ調和ヲ缺キ有利ナルヲ得ス
 - 五、支那關稅制度ハ假置場等ノ規定ナキヲ以テ原料ノ輸移入ニ稅金ヲ課セラレ又其製品ニ對シテモ特別免許ノ規定アルモノ以外ハ輸移出共ニ課稅セラル、等ノ内地工業ニ不利ナル點ヲ先ツ研究スルノ要アリ
- 大要以上ノ如クナレハ現在ノ漢口ヲ以テ支那唯一ノ工業地トナスハ未タ當ラスト云フヘシ
- 今漢口ノ工業地トシテノ特長ヲ列記スレハ次ノ如シ
- 一、漢口カ工業原料ニ豐富ナルト價格ノ廉ナルコト
 - 二、勞力比較的豐富ニシテ勞銀ノ廉ナルコト
 - 三、燃料豐富ナルコト
 - 四、交通ノ便備ハレルコト
- 以上ハ半面ニ於テ漢口ノ工業地トシテ最モ有望ナル點ナリトス故ニ前述各項ノ事情ヲ參酌考慮シテ適當ノ企業ヲ案シ周到ナル注意ノ下ニ經營セハ蓋シ誤リナシ
- 要ニ漢口ニ原料ヲ需メテ加工シ得ヘキ大規模ナル輸出向原料品ノ加工業及ヒ其原料ト販賣トヲ漢口ノ商業圈内ニ得ヘ

ケサルトニヨリ大規模ニ探掘セラル、モノ稀ニシテ有名ナ
ル雲南銅ノ如キモ本邦品トノ競争ニ耐ヘスシテ市場ヨリ其
姿ヲ没シタルカ如キ或ハ良好ナル炭田ハ各省ニ遍ネキモ而
カモ猶日本炭ノ輸入少ナカラサルカ如キ状態ニ在リテ鑛産
物ハ未タ工業用原料トシテ十分利用ノ域ニ達セス而シテ現
時石炭ノ年額少クトモ千五百萬噸ヲ下ラサルヘシト推算セ
ラル鑛鐵ニ於テモ既ニ新式製鐵所ノ原料タルモノノミニテ
約六十萬噸アリ其他安母質尼、鉛水、銀亞鉛等ノ海外ニ輸
出セラル、モノ半々巨額ニ達セリ

畜産品ニ在リテモ支那ハ世界ニ有數ナル位置ヲ占ム荒野ニ
數千ノ牛、羊、動キ羊毛ノ黃河奔流ヲ下ルハ北支那ノ偉觀ニ
シテ水邊無數ノ水牛悠遊シ江中數萬ノ家鴨鞭影ニ隨ツテ去
來スルハ南支那ノ風光ニ非ラサヤ野生動物ノ豐富ナルコト
モ亦吾人ノ贅説ヲ俟タサル處ナリ從テ各種獸毛ニ富ミ綿羊
毛、山羊毛、駱駝毛等ノ支那ヨリ輸出セラル、モノ極メテ
多額ニ達シ其他羊皮革類、馬駝駝皮等モ亦年々巨額ノ海外
輸出ヲ見ル外支那人衣料、帽子、靴原料トシテ毛皮類、皮革
獸毛ノ消費莫大ナルト支那人ノ獸肉ヲ嗜ムコト概シテ日本
人ニ過キタルモノアル狀況ニ鑑ミ其產額ノ更ニ大ナルコト
想像ニ餘リアリ然レトモ蒙古產綿羊ノ如キ天然ノ關係ト蒙
古人ノ無智ナルトニ依リ品位概シテ不良ニシテ僅ニ毛布原
料タルニ適スルノミ牛皮ノ如キモ山東產ハ品位頗ル良好ナ
ルモ中部支那ニ集ルモノハ飼養ノ不良ト處理ノ不適當ナル
トニ依リテ品質概シテ良好ナラス約言スレハ野生動物ノ毛
及皮ニ近シト云フヘキナリ支那ノ畜産品ハ品質概シテ良好

勢力饒多及能力

ナラス唯タ山東牛皮、四川ノ豚毛ノミ之カ除外例ヲナスト
見ルヲ得ルノミナリ農産物モ亦此憾ナキヲ得ス其量莫大ナ
ルモ品質ニ至リテハ二、三特種ノモノヲ除ケハ概シテ優良
ナリト稱スルヲ得ス農民ハ只祖先ノ舊套ヲ墨守シテ傳統的
農耕ヲ營ミ近年、各省中農事試驗所ヲ設立シテ品種ノ一、
二洋種ヲ植付クルモノヲ生、タレトモ大體ニ於テ支那ノ農
業ハ何等改良進步ヲ見ル可キ無ク當ニ本來ノ品質不良ナル
ノミナラス交通機關及租稅制度不完全ナル爲メ生産地ヨリ
需要地ニ至ル運賃高ミ且ツ中途品位ヲ害スルコト甚シキモ
ノアリテ工業原料トシテ使用スルニ當リ精選乾燥等徒ニ煩
シキ豫備的作業ヲ行ハサルヲ得ス是レ米國棉花、煙葉、錫
蘭、茶、麥芽、等ノ支那ニ輸入セラル、所以ナリ

又支那ハ各種藥材類ニ富ミ居レルモ其處理方法ノ拙劣ナル
カ爲メ含有藥分僅少ナルモノ尠カラス又化學工業起ラサル
ヲ以テ各種工業用藥品類其他補助材料ノ殆ト全部ハ輸入稅
ヲ賦課セラレタル外國製品ヲ使用セサルヲ得サル不利益ア
リ今漢口ニ集散スル各種工業原料ノ種類ヲ掲ケレハ左ノ如
シ

支那人ノ社會階級ハ富者ト貧者トヨリ組織セラレタルモノ
ナリト云フモ決シテ過言ニ非ラス中産階級者甚少ナリ故ニ
下層階級者タル労働者ノ供給ハ潤澤ナリ從テ企業家ハ其勞
働力ヲ求ムルニ殆ト苦心ヲ要セス工場門前ニ一葉ノ札貼ラ
スルカ或ハ職工長ニ其旨ヲ告ケ置ク時ハ所要人員ニ數倍ス
ル労働者ハ短時日ニ集來スルヲ常トス而シテ支那労働者ノ

能率ヲ見ルニ北方人ト南方人トノ間ニ逕庭少ナカラス北方
人ハ愚ナレ共比較的順柔正直ニシテ體力南方人ニ比シ強大
ナルヲ以テ労働者トシテ好適當ナリ南方人ハ一般ニ智アレ
トモ狡猾ニシテ激怒シ易ク體格劣リ單調ニシテ體力ヲ要ス
ル操作ニ就テハ到底北人ニ如カス然レトモ支那労働者ヲ大
觀スレハ一般ニ體力強大ニシテ神經遲鈍ナルヲ以テ單調ニ
シテ且ツ文明人ノ耐ヘ難キ不愉快ナル作業ニ對シテモ頗ル
適當ナル労働者ナリ然レトモ之等労働者ノ一般ハ生來何等
教育ヲ受ケタルコトナク智育、德育共ニ頗ル缺陷アリ從ツ
テ自己ノ労働ガ全作業上ニ占ル地位如何等ノ如キハ毫モ思
考スル能力ナク殊ニ資心ハ殆ト第二ノ天性ヲ爲シ詰責スル
モ彼等ノ羞恥ヲ喚起スルニ足ラス從ツテ支那人労働者ノ監
督ト操縦トハ特種ノ注意ヲ要スルモ一般ニ臂力ヲ要スル單
調ナル作業能率ハ本邦人ニ比シテ優ルトモ劣ル處ナク複雜
ナル作業又ハ思慮ヲ要スル工業ニ至リテハ其労働率遙ニ本
邦人ノ下ニ在リト見ルヲ得ヘシ又彼等ハ自己ノ職務ニ對シ
テ西洋人ノ如ク義務ノ觀念ナク本邦人ノ如ク深切忠實ニモ
非ラス唯タ金錢ヲ得ンカ爲ニ一定時間形式の動作ヲ繼續ス
ルノミ彼等ハ多ク労働シ多ク收得スルヲ欲セス收入少ナキ
モ以テ糊口ヲ潤フスヲ得ハ足レリトス從テ其名譽心ニ訴ヘ
テ労働効程ヲ多カラシメントスル方法ノ如キハ概シテ寸効
ナシト認メラル又賃銀出來高拂ノ制度ニヨリテ其ノ労働ヲ
強制シ得ルモ之ニヨリ積極的ノ効果ヲ期待シ難シ之ヲ要ス
ルニ職工ノ養成訓練ハ本邦人ニ比シ大ニ困難ナリト謂ハサ
ルヘカラス以上ハ主トシテ男工ニ就テノ事ナルカ婦人労働

者ノ能率ハ指頭ヲ以テ辨シ得ヘキ單純ナル作業ハ決シテ不
器用ナラス廣東福建方面ヲ除キ現在ニ於テモ纏足ノ風習ア
リテ作業ニ不使ナリト稱スル者アレト原來婦女子ノ労働ハ
體力ヲ要スルコト少キ仕事ニ屬スルヲ以テ纏足ノ及ホス影
響ハ而カク多大ナラス労働時間ハ普通十一時間ヲ下ラス晝
食時間一時間ヲ與フルモノアリ十五分ヲ與フルモノアリ晝
夜業交代ノ際ニモ晝食ノ際ニモ一分間ノ休憩時間ヲモ與ヘ
ス嚴格ニ十二時間ノ労働ヲ強ユルモノアリ

從來支那ニ於ケル労働賃銀ハ南部支那ニ於テ最モ高ク北方
ニ進ムニ從ヒ次第ニ低下シ滿洲ニ到テ再ヒ上昇ス漢口、廣
東、上海、天津、大連ノ如キ大市場ニアリテハ外國人ノ激
增ニ依リ開發セラレ年々文明進步ニ向ヒツ、アレハ支那未
開ノ奧地トハ異リ生活程度高キヲ以テ賃銀ハ高率ナリ斯ノ
如ク地方ニ依リ労働賃銀ノ差異アレハ一律ニ論シ難ケレト
モ前清末路農工商部ノ調査ニ依レハ支那人労働者ノ平均賃
銀ハ男工一日銀元二十仙乃至二十四仙女工同十二仙乃至十
八仙ノ間ニ在リ而カモ労働時間ト平均十時間乃至十四時間
ナリト云ヘリ

各地労働賃銀ノ實際ニ就テ見ルニ熟練セル労働者ハ通常契
約又ハ手間賃ニテ労働シ居リ大工、煉瓦職、石工、金物職
工、技手、助手等ノ業務ニ從事セル者ノ給料ハ一日十時間
乃至十二時間一ヶ月二十八日ノ作業ニテ銀十元乃至二十元
ノ間ニ在ルヲ標準トス而シテ賃銀ノ支拂ハ期日拂ト出來高
拂トノ區別アル外買辦(コンブラードル)ヲ通シテ請負制度

ニ依リ賃銀ヲ支拂フモノアリ歐米人經營ノ工場ニ其例多シ以上ニ依リ一般支那勞働者ニ就テ大體ノ說明ヲナセリ畢竟日、支兩國勞働者ノ効程ノ比較如何ヲ觀察スルニ仕事ノ種類ニ依リテ各特色ノ在スルアルヲ認メサルヲ得ス

- 一、何等頭腦ノ働キヲ要セス單ニ體力ヲ必要トスル作業ハ賃銀低廉ナルト單調又ハ不潔等ニ一切無神經ナル丈ケ支那人勞働者ノ方効程大ナリ
- 二、稍々精緻ナル仕事ニ就テハ日本人勞働者ノ能率優レルモ賃銀モ亦高ク支那人ハ賃銀低廉アレトモ能率又低廉結局兩者ノ効程ニ大差ナキコトナリ
- 三、作業上複雑ナル智能ノ働キヲ必要トスルモノニ關シテハ支那人勞働者ハ適セス訓練亦困難ニシテ其効程到底日本人勞働者ニ及ハサルコト

之ヲ要スルニ支那人勞働者ノ缺點トスル處ハ其無教育ナル結果ヨリ生スルニ非常識、不道德、不潔等ニシテ仕事ノ成果ニ及ホス不利益少ラス之ヲ以テ支那工場ノ現狀ヲ見ルニ職工監督法ニ心身ヲ勞シ幾分此缺點ヲ緩シツ、アルモノ如シ工場監理法及同盟罷工

支那勞働者ノ性質服務狀態ハ凡テ上述ノ如クナルヲ以テ外國人經營工場ニアリテハ特ニ支那人職工ノ管理及監督ニ付キ深キ注意ヲ拂ヒ以テ勞働効程ノ低下ヲ防止セサルヘカラス今勞働者監理法ニ付キ二、三ノ實例ヲ記述セン

- 一、賃銀ヲ出來得ル限リ(出來高拂)トスルコト
- 二、成可ク出來高拂賃銀ニ依リ勞働者ト日給勞働者トヲ交互挿間スル様分業ノ順列ヲ定メ出來高拂賃銀ニヨル勞働者ノ利己心ニ依賴シテ日給者ノ怠慢ヲ制止セシムルコト

三、職工カ工場外ニ出スル際ニハ必ス綿密ナル身體及攜帶品ノ検査ヲ行ヒ窃盜ヲ防止スルコト

- 四、支那人ハ愛郷心強烈ナル人種ナルヲ以テ一職工長ノ組下ニ配屬スル勞働者ハ悉ク同郷者タルコトヲ原則トス其團結力強ク且ツ雷同性ニ富ムヲ以テ一工場ニ於テハ成可ク各地ノ職工ヲ混合シテ同盟罷工ヲ防止スルノ必要アリ同盟罷工ハ近年支那ニ於テモ頻出セリ其原因ハ勞働賃銀カ物價ニ比例シテ増加セザリシニ據ルモノニシテ備主ニ對スル賃銀増加ノ運動ハ次第ニ組織的ニ行ハルニ至リ地方官憲ノ干渉ニ俟タサルヲ得サルモノ往々之アルニ至レリ從ツテ多數ノ勞働者ヲ使役スル企業者ノ團體カ其範圍未タ大ナラス我邦ニ於ケル親分子分ノ關係ト同一ニシテ而カモ同郷者間ノ結束ニ過キサル現狀ニ鑑ミ成ルヘク同一郷ノ人間ノミヲ使用スルヲ避ケ以テ同盟罷工ノ勃發ヲ防キツ、アリ

之ヲ要スルニ支那人勞働者ノ實狀ハ其供給殆ト無盡藏ニシテ職工ノ募集ニ就テハ概シテ何等ノ苦心ヲ要セス滿洲地方ヲ除キ寄宿制度ノ必要ナク娛樂機關其他慰安的設備ノ必要ナク時ニ同盟罷工行ハレサルニアラスト雖モ所謂勞働問題ノ如キハ遠キ未來ハイサ知ラス近キ將來ニ於テモ企業家ハ何等ノ考量ヲ須ヒサルヘシサレハ本邦ニ於ケル勞働賃銀ノ實質的增加率ハ工場法ノ實地其他ノ原因ニヨリ支那ニ比シ遙ニ迅速ナル可ク從テ能率低キ勞働力ニ低リテ却テ經濟的ナル成果ヲ得可キ粗製工業ノ如キハ年ヲ經ルニ從ヒ支那ニ

於テ經營スル方愈々有利トナルヘシ若シ夫レ教育ノ普及ニ依リ支那勞働者能率ノ増加ニ至リテハ百年清河ヲ俟ツカ如キ觀ナキニ非ラサレハ此支那勞働者最大缺點ノ匡正ハ到底之ヲ期待シ難キ感ナクンハアラス

動力——石炭

支那ハ殆ト各省石炭ノ生産少ナカラス就中、山東、山西、直隸、江西、奉天等ニ於ケル炭田最モ著シク此外日、英、白、諸國ノ資本ト技術トニヨリテ探掘セラル、大規模ノ炭山モ亦少カラス支那舊來ノ土法ニ依リ僅少ノ出炭ヲナシ其地方ノ需要ニ應スルモノニ至リテハ枚擧スルニ遑アラス其探掘費ノ如キモ我カ國ニ比シ極メテ低廉ナリト稱セラル斯ク支那ハ炭鑛ノ莫大ナルモノアリト雖モ交通ノ不便ナルト土法探掘ナルトニヨリ其年産額ハ比較的小量ニシテ大約年額千五百萬噸以上二千萬噸以下ニ在リト稱セラル本邦石炭ノ年産額ノ最近統計ヲ見ルニ二千萬噸ニ近カラムトスルニ比スレハ同量丈ハ約四分ノ三ノ間ニ在リト云フヘシ若シ夫レ支那カ本邦ト同様毎年二千萬噸宛ノ石炭ヲ産出スルモノトセハ將來九百五十年間ノ久シキヲ持續スルヲ得ヘキト本邦石炭ノ將來カ僅カニ五十年ノ生命ナリト悲觀セララルモノアルニ比スレハ石炭ヨリ見タル支那工業ノ將來ハ前途洋々ノ希望ニ充テルモノト謂ハサルヘカラス

電力

工業熱ノ發達ハ電氣事業ニ俟ツヘク交通便利ナル大都市ハ殆ト電氣事業ノ經營又ハ計劃ヲ見サルナシ而シテ現在作業シツ、アル電燈會社ノ數夥多ナレトモ皆火力ヲ藉ルモノニ

シテ水力電燈事業ハ未タ其ノ緒ニ就カス是レ河床ノ傾斜大ナラス流力緩ニシテ且夏、冬二期ニ於ケル水量増減ノ差甚シク四十呎乃至五十呎ノ深差アリ到底現下ノ科學發達程度ニテハ之ヲ動力トシテ應用スル事ヲ得ス英人某事專家ハ支那ニ於テ最モ有名ナル瀑布ノ供給シ得ヘキ電力ヲ推算シテ千八百萬馬力乃至二千四百萬馬力ナリト云フ此說固ヨリ信スヘカラスト雖モ支那カ遠キ將來其經濟狀態ノ進歩ニ伴ヒ豊富ナル水力ヲ利用シテ工業用動力ト爲スニ至ルヘキ公算アリト謂フヘシ

現在那支ニ於ケル電氣會社カ工業ニ供給シツ、アル動力ハ猶比較的の微少ニシテ大都市ノ間ニアリテハ電力ヲ自營シテ自己ノ動力ニ供給セル工場モ少ナカラス是レ各地所在ノ電氣會社カ其規模概ネ狭少ニシテ餘力ヲ工業用動力ニ供給シ難キ事情ニ基因ス又他ヨリ電力ノ供給ヲ仰クモノニ製粉、精米、鐵工場等アルモ現在ニ於テハ前記ノ如ク電氣會社ノ電力供給充分ナラサル爲此等他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケテ製造ニ從事スル工事カ未タ充分ナル發達ヲ遂ケサル感アリ想フニ支那主要市場ニ於テ政治的色彩ヲ帶ヒテ個々分立セル電氣會社カ(漢口モ亦其一ナリ)統一集中セラル、カ又ハ石炭市價ノ低落ニヨリ電力ノ價格一層低廉トナル迄ハ工業上ニ於ケル電氣業ノ地位ハ而カク重要ナラサルヘキモ上海及撫順ニテハ電力ノ價格低廉ナルヲ以テ之等地方ニ於ケル工業用トシテ電力ヲ動力トスル工業會社ノ増加ノ傾向アルハ注目ニ値ス

織 布

明治初年前迄歐米各國及日本ハ支那ノ手織布ノ供給ヲ仰キ居タルモノナリシニ今ヤ却テ各種外國製綿織物ハ支那ニ輸入セラレ其額海關兩一億ヲ越エルニ至レリ此ノ手織木綿工業ハ往昔ヨリ發達シタルモ力織機ヲ用ヒテ製造セル織布工業ノ沿革ハ綿絲紡績ト其ノ起源ヲ同シクセリ而シテ近來織布業ノ勃興ニ伴ヒ力織機ニテ製造セルモノ各地方ニ起リ遼河以東滿洲方面ニハ三ヶ所ニ工場アリテ一九一六年度秋季ニ於テ豐田式力織機七十二臺ヲ有シ粗布及大尺布ヲ織造シ天津地方高陽饒陽附近ヲ中心トセル粗布、大尺布、堤花布愛國布ヲ織ルモノ及洋風質物製造工場トシテ海關ヨリ特別免稅ノ特典ヲ享受セルモノ五十四工場ノ多キヲ算シ(多クハ手織ナリ)楊子江沿岸ニ於テハ上海ヲ中心トシテ松江、蘇洲、江陰、常熟、寧波地方沙市方面及武漢等ニモ力織機ニテ大尺布、粗布、棒縐、木綿等ヲ織造セルモノ多少散在セルノミナラス支那ニ於ケル紡績會社モ亦其織機ヲ增加シ一九一六年四月ニ於テ六千三百臺トナリ二十年間ニ二十四割ヲ増加シタリ廣東地方ヲ中心トスル織布工業モ亦近年豐田式力織機ヲ使用シテ各種綿類、縐木綿ヲ織ルモノ少ナカラス今日豐田式大巾織機二百十臺小巾織機四十臺池田式力織機數十臺ト概算セラル

左ニ新式及舊式織布業ニ就キ叙述スヘシ

沿革

漢口地方ニ於テ力織機ヲ用ヒ織造セル沿革ハ其發端ヲ綿糸工業勃興當時ニ置テ明治二十九年紡績會社ノ七百五十臺ト中國紡績會社ノ三百五十臺ト外湖北織布官局ノ一千臺合計

二千百臺ヲ算シ湖北織布局ハ支那ニ於ケル力織機ヲ用ヒテ製造スル織布工業發端ノ一タリシナリ抑モ漢口地方ニ於ケル機械織布業ハ今ヲ去ル二十七年即チ光緒十八年頃ノ開設ニ係ル武昌織布官局(現下楚興公司經營)並麻布局ノ開設ヲ以テ嚆矢トナスト雖モ爾來此ニ官立工場ヲ除キテ他ニ何等工場ノ開設セラル、ナクシテ約二十年間ヲ經過セリ然ルニ一九一一年ノ革命以來民間ニ於テ織布工場ヲ設ケ織機ヲ購入シテ相當大仕掛ニ織布業ニ從事スルモノアルヲ見ルニ至リ現今工場數約三十織機臺數千餘ニ達シ之ニ官營工場ノ有スル六百五十八臺ヲ加ヘテ武漢三鎮ノ織機界ハ千六百五十餘臺ヲ算スルノ狀況ヲ呈シ官民工場共設立以來資金並市場其ノ他ノ關係ニ依リ工場ノ開閉生産ノ數量等常ニ多少ノ消長アリシト雖モ大勢ハ漸次製產高增加ノ傾向ヲ以テ進ミ目下官廠ノ一ヶ月產高平均一萬疋民營工場三萬五千疋以上合計四萬五千疋以上ニ達スルカ如キ有様ニシテ民間工場ノ少ナク且官廠ノ休業多カリシ一九一三年ニ於テモ漢口ヨリ支那各地ヘノ移出額ハ生金巾六萬九千七百三十五疋粗布一千三十二疋土布二萬一千二百四十七疋合計九萬二千餘疋ヲ算シタリ

機臺數並其生産高

武漢三鎮ノ民間工場ノ主ナルモノ及其機臺數並ニ生産高ヲ示セハ左ノ如シ尤モ是等ノ多數ハ最近四、五年間ニ開設セラレタルモノナリ

工場名稱	所在地	機臺數	每月產高
武昌織布局	武昌文昌門外	六六	一

漢口第一紡績公司	武昌武勝門外	五〇〇	—
維益	漢口至公巷	二〇〇	二、〇〇〇
湖北第一工場	武昌草湖門內	一〇四	一、八〇〇
模範工廠	同 芝麻嶺	八〇	九〇〇
旗民工廠	漢陽內門外	六	一、〇〇〇
中	漢口至公巷	七	一、八〇〇
強	同 新碼頭	四	一、〇〇〇
醒	武昌草湖門內	四	一、〇〇〇
維	漢口武聖廟	四	一、〇〇〇
寶	武昌草湖門內	四	八〇〇
精	漢口從仁巷	三	九〇〇
全	漢口從仁巷	三	一、〇〇〇
惠	漢口至公巷	三	六〇〇
華	漢口老官廟	二	四〇〇
華	武昌草湖門外	二	四〇〇
振	漢口揚子干總巷	三	二〇〇
善利公司	寶森公司	日新公司	升太公司
三華公司	華美公司	瑞太公司	惟新公司
醒民公司	精一公司	湖北貧民工廠	

其他機器並ニ模樣織出ニ用フル花板等ハ漢陽、武昌等各木工所ニ於テ製造販賣ス

織賃及費用

前記各工場ノ產出ハ支那人ノ所謂愛國布、雷光布、糸光布ノ三種ニシテ我國ノ木綿縐又ハ瓦斯織ノ如キモノナリ支那人ハ右三種共四季ヲ通シテ使用シ糸光布及雷光布ハ主トシ

テ小供婦人用衣服又ハ夜具ノ被面トシテ之ヲ用ヒ愛國布ハ主トシテ各等級ヲ通シテ男子用衣服ニ使用ス其織賃及費用概略左ノ如シ

イ、雷光布 經糸トシテ四十二手捻綿糸(七百二十條ヨリ千二百條ニ至)又ハ同手ノ「シルケット」ヲ用ヒ緯糸トシテ二十手ノ綿絲ヲ用フ其重量一疋支那斤六兩大幅長サ四丈八尺ニシテ絲代計二吊五百六十文管捲賃排絲代等一疋ニ付二百文織賃四百文合計三吊百五十文其他臘油代等若干ヲ要ス(二吊文ハ日本金八十錢位)

ロ、絲光布 經緯共ニ四十二手ノ「シルケット」ヲ用ヒ一疋ノ重サ三斤二兩大幅長サ五丈二尺ヲ普通トシ絲代四吊五十文織賃其他六百五十文合計四吊七百文内外ヲ要スハ、愛國布 同シク經、緯共四十二手(シルケット)捻絲ヲ用ヒ一疋ノ重サ五斤半大幅長サ六丈經絲普通千四百條トス其費用一疋ニ付七吊八、九百文ヨリ八吊文ニ至ル以上三種共綾織最モ多シ而シテ愛國布ハ從來本邦愛知、岡山等ニ於テモ支那向トシテ製出シ北支那北方ニ販賣スルモノナリ支那產品ハ普通雷光布一疋三吊八百文絲光布一疋五吊六百文愛國布一疋八吊三百文内外トス

機械並同附屬品ハ共ニ漢口地方ニ於テ製造セラレ其價格左ノ如シ

一、提花鉄機	一臺	五十二吊文
一、同木機	同	十三吊文
一、踏花木機	同	五吊文
一、轉線機器(卷管機)	同	一吊文

(織機三臺ニ一臺アレハ足ル)

一、索梳機器(排絲器) 同

六 吊 文

(織布十二臺ニ一臺アレハ足ル)

漢口ニテ生産セラシ、各布ハ其販路ヲ四川、湖南、湖北、陝西、河南等ニ有シ賣行良好トモ時々鈍況ニ逢テ在荷ノ停滞ヲ見ルコトアリ

舊式織布業

最近漢口ニ於ケル輸入綿絲ノ額ハ益々増進シ其販路擴張ト共ニ内地ノ綿布業モ之ニ連レテ相應ニ發達スヘキモ何分一般ニ使用スル機臺ハ舊式木綿織ニシテ手數ト勢力トヲ要スルコト甚シキ爲充分ノ發達ヲ見サレト湖北省ハ元來江蘇浙江、福建、廣東ノ四省ト共ニ織布地ト稱セラレ主トシテ長江上流地ニ於テ織製セラル荆州ノ如キ沙市若クハ江口地方ヨリ他ニ分輸スルモノ少クモ年々千四百五十擔ヲ下ラスト云フヲ見レハ其同與地々方一帶ニ於テ更ニ織製シ産地ノ需要ニ應スル外釐金局ヲ通過シテ他ニ輸送スルモノ蓋シ鮮少ニアラス

種類及相場

漢口ヲ中心トシテ武昌、江夏、漢陽、黃陂、孝感、黃州、天門地方ニアリテ各郷人ノ織製スル絲布ノ名稱品位等ハ一定セサルモ其主ナルモノヲ掲クレハ大略左ノ如シ

漢口産	名稱	産地
柏泉布	漢陽北郷	
長鞍布	漢陽南郷馬鞍山地方	
漢陽布	漢陽西門外	

武昌産	葛仙布	武昌及葛店地方
黃陂産	豐布	武昌ノ本御九豐地方
	勞布	黃陂、雲花勞一帶ノ産
	嘴布	
	港布	黃陂地方
	橫山布	
存感産	改機布	舊時紅庄布ト稱セシモ改良ヲ加フル所アリテ現布ハ改機布ト改名セリ
黃州産	景庄布	新州、麻城、黃岡、黃安、宋埠ノ五ヶ所ニ産スル土布ノ總名ナリ
江夏産	京口布	京口ニ産スルモノニシテ俗ニ外山布ト稱ス
天門産	天嘴在	俗ニ呼フ内山布ノコトナリ
	岳口布	天門縣岳家口一帶

此外陽邏ノ陽邏布拓賢布等ノ名稱アリ而シテ其各布ノ尺寸ハ次ノ如シ

勞安布	長四丈二尺	幅一尺二寸	
漢陽布	同三丈二尺	同八寸九分	
葛仙布	同三丈二尺	同八寸九分	
豐布	同三丈二尺	同八寸九分	
港布	同三丈二尺	同八寸九分	
嘴布	同三丈二尺	同八寸九分	
改機布	同三丈二尺	同八寸九分	
景庄布	同三丈二尺	同八寸九分	
陽邏布	同三丈二尺	同八寸九分	
京口布	同三丈二尺	同八寸九分	
石嘴布	同三丈二尺	同八寸九分	
招賢布	同三丈二尺	同八寸九分	
夾蘇布	同三丈二尺	同八寸九分	
岳口布	同三丈二尺	同八寸九分	
漢口ニ於ケル各布ノ白地物卸賣ノ値段ハ左ノ如シ			
勞布	上一疋銀五匁	中四匁八分	下四匁五分
馬鞍布	一丈一尺一疋	二丈一尺一疋	三丈一尺一疋
漢陽布	一疋四百八十九文	二丈四百八十九文	三丈四百八十九文
葛仙布	同上	同上	同上
豐布	同上	同上	同上
嘴布	同上	同上	同上
改機布	同上	同上	同上
景庄布	同上	同上	同上

京口布 上一疋五匁 下四匁七分
招賢布 上一疋三匁八分 下三匁六分
石嘴布 上一疋四匁二分 下四匁内外
夾蘇布 上一疋二匁八分 下二匁六分
岳口布 上一疋五匁六分 中五匁三分 下四匁九分
(一疋トハ本邦ノ一反ニシテ銀一匁トハ約十六錢見當見積ナリ)
總テ各綿ニ於テ織製ノ土布ハ只長短ニ依リテ其貨銀ヲ異ニシ日數ノ關係ニ依ルコトナク勞布ノ如キハ一疋ノ織貨僅ニ百文位ニシテ長鞍布ノ如キハ二疋ニテ百文ヲ過キサレモノアレハ此割ニテ打算セハ上物ニテモ一丈ノ織貨二十餘文下物ニ至リテハ十文餘ニ過キサレコトナリ

沿革

支那ニ於テ紡績工場ノ運轉ヲ見タルハ千八百九十年(明治二十三年光緒十六年)ニシテ當時北洋大臣タリシ李鴻章ハ輸入防壓ノ趣旨ニヨリ大小官吏ニ諭シテ株主タラシメ資本金四十萬兩ヲ投シテ上海機具織布局ヲ創立セルヲ嚆矢トス而シテ漢口地方ニ於テハ前清、兩湖總督張之洞ノ富國策トシテ現ハレタル所謂武昌四工場中ノ紡績製絲ノ二局ヲ以テ其嚆矢トナス武昌四工場トハ織布、紡績、製絲、麻絲ノ四ニシテ共ニ一八九三年ノ創立ニ係リ官業トシテ開辦セラレタルカ由來支那官業ノ通弊トシテ冗員冗費ノミ重ミ其經營上ノ成績見ル可キモノナク約十ヶ年間殆ント缺損ノミナリシカ一九〇二年ニ至リ廣東人(當時香上銀行買辦)鄧某ト張

之洞トノ間ニ數度ノ交渉ヲ重ネ漸ク熟議ノ上同年八月一日ヨリ向フ二十年間一年十二萬五千元ノ租金ヲ以テ借受ケ應昌公司ナルモノヲ組織シテ之ヲ引受ケ運轉シタリシカ次テ大維公司ノ經營ニ歸シ革命後更ニ鄂裕公司ノ手ニ轉シタルカ新舊經營者間ノ貸借關係明瞭ナラサル爲紛爭ヲ重ネツツアリシカ遂ニ鄂裕ノ權利ハ取消シ大維ノ損害ハ政府ノカ賠償ヲナスコト、シ應昌及大維ノ兩公司妥協ノ上合同租借スルコト、ナリ其代表者タル劉、韋ノ二人之ニ關スル協議ノ上新ニ楚興公司ナルモノヲ組織シ資本ヲ經營組合ノ株式トナシ資本金ヲ百三十萬ト定メ應昌ノ前ニ投下セル資本四十萬兩ハ之ヲ新公司株ニ組入更ニ三十萬兩ヲ募集シ流動資本トナシ一九一三年來紡績、布、縲絲ノ三局ヲ運轉シタルカ其ノ實際ノ成績ハ知ルニ由ナク大ニ疑ヲ存スルモ其表面ニ發表セル第一期決算ニ於テ舊株百兩ニ對シ二十餘兩ノ新株百兩ニ對シ百二十兩ノ驚ク可キ利益配當ヲナセリト云フ而シテ紡績事業ハ第一、第二ノ兩工場ニテ操業セリ

現 狀

楚興公司第一紡績工場ハ織布局内ニ設ケラレ紡績機械百二臺内三十六臺ハ堅絲紡績機ニシテ各臺四百四十四鐘六十六臺ハ橫絲紡績機ニシテ各臺三百七十六鐘總計四萬六百五十六鐘ヲ有ス
第二紡績工場ハ即チ紡績局ニシテ紡績機ハ百四十六臺ニシテ各臺三百三十六鐘總計四萬九千〇五十六臺ヲ有シ原動力機トシテ一千五百馬力ノ汽關アリ其他該工場内ニ機械修理工場ノ設備アリ

生 産 費

今ヤ支那ニ於ケル紡績工業ハ將ニ一大發展ヲ見ムトス最近ノ調査ニ據レハ其操業ヲ開始シタル鐘數十五萬ヲ算シ目下据付中ノモノモ亦優ニ十五萬鐘ヲ下ラス之ニ工事ニ着手スルコトニ確定シタルモノ六萬鐘ヲ加算セハ近ク支那紡績ハ一兩年前ニ比シ一ヶ月二萬四千五百兩ノ生産額ヲ増加スヘシ斯ノ如キ事實ハ支那紡績ノ將來頗ル有利ナルヲ證明シテ餘リアリト云フヘク本邦綿絲貿易ノ將來ニハ頗ル重要ナル關係ヲ有スルモノニシテ是カ解決ノ如何ハ斯業盛衰ニ及ホス影響實ニ大ナリト云フヘシ

一、支那紡績會社中一日平均十四番手一封度以上ノ紡出力ヲ有スルモノ多カラズ

二、職工ハ無教育ニシテ盜賊根性強ク而カモ移動常ナシ且支那ノ家族制度ハ寄宿制度ヲ困難ナラシメ職工ノ養成困難ニシテ其能率甚タ低シ例セハ米國ニ於ケル紡績職工ハ一人ニ於テ九百乃至千二百鐘ヲ受持チ得ルニ反シ支那ニ於テハ僅カニ百乃至百七十鐘ヲ出テサルカ如キ之レナリ

三、女工ハ纏足セルヲ以テ動作敏活ヲ缺キ運搬力ナシ

四、原料トシテ外國棉花ヲ使用スルモノハ輸入税ヲ賦課セラレ支那産棉モ九月上市翌二、三月頃トナレハ荷物拂底スルヲ以テ原棉ノ買付ニ資本ヲ固定セシムルモノ多シ

五、支那人ハ公共心ナキヲ以テ私利ヲ擅ニシ收賄常ニ行ハレ會社ハ常ニ自己使用人ノ喧物ト爲リ工場管理至難ナルコト

六、支那人ハ政治上ノ紛爭常ニ絶ヘサリシカ故ニ一時苟安ヲ保チ得ルモ何時變亂アルヤモ知レス爲ニ積極的ニ業務振興ヲ計ル能ハサルコト

七、支那ニ於ケル外國綿絲輸入税ハ從價五分ヲ原則トスレトモ現今ノ市價ニ照シテ換算スレハ從價三分内外ノ輕税ナルコト

八、工場機械ノ修理甚タ不完全ニシテ充分ナル生産力ナキコト等ナリ

ロ、支那紡績ノ有利ナル點

一、支那紡績ノ機械ハ本邦ノソレニ比シ舊式タルヲ免レサルモノ大部分ナレトモ革命後ノ好況ハ各社ヲシテ共ニ機

械修繕ニ重キヲ置カシメツ、アリ

二、紡績會社ノ生産費ニ最大ノ關係アルハ勞働賃銀ニシテ支那紡績ノ有望ナル最大理由ハ其職工ノ潤澤ニシテ賃銀平均僅カニ二十四仙ニ過キサル在ニリ本邦ニ於テハ職工ノ募集費ニ少イトモ十餘圓ヲ投セサルヘカラサルニ支那ニテハ其必要ナキノミカ職工ハ通勤ナルヲ以テ寄宿舎其他ノ費用ヲ要セサルコト

三、關稅其他ノ負擔輕キコト左ノ如シ

工場及其附近ニ消費スル場合

支那綿絲 無 税

外國綿絲 輸 入 税

工場ヨリ直接支那内地ニ販賣セラル、場合

支那綿絲 釐 金 税

外國綿絲 輸 入 税 及 釐 金 税 又 ハ 抵 代 税

他ノ開港場ニ輸送セラル、場合

支那綿絲 輸 出 税

外國綿絲 輸 入 税

他ノ開港場ヲ經テ支那内地ニ販賣セラル、場合

支那綿絲 輸 出 税

外國綿絲 輸 入 税 及 釐 金 税 又 ハ 抵 代 税

四、支那紡績用原料棉花ノ大部分ハ其工場附近ノ棉花ヲ使用スルモノナルカ本邦紡績カ支那棉花ヲ用ユルニ比シ運賃其他ニ於テ百斤ニ付一兩方有利ナルノミナラス工場所在地ニ近キ方面ニ消費セラル、綿絲ニ對シテ荷造ハ「ア

ンペラ包」十五一梱トスルヲ利便トナスヲ以テ普通大俵

製絲業

沿革

支那ニ於ケル機械製絲工場設立ノ起源ニ就テハ其説ク所人ニ依リテ異ナレリト雖モ千八百八十一年度清國稅關報告ノ記載セル所ニ據レハ千八百六十二年即チ同治元年(文久二年)上海ニ於テ百釜ノ器械製絲場ヲ設ケタルヲ以テ嚆矢トスルカ如シ然レ共其成績不良ノ爲メ千八百六十六年ニ至リ終ニ閉鎖シタリト云フ又同一八六六年僅カ十釜ノ製絲場ヲ上海ニ創立シタルモノアルモ是亦數ヶ月ニシテ閉鎖シ其機械ハ全然之ヲ日本ニ送レリト云フ

其後一八七八年(光緒四年明治十一年)二百釜ノ製絲場ヲ設ケタルモノアリ即チ上海ニ於ケル第三回目ノ器械製絲場ニシテ此製絲場ニ至リ始メテ事業其功ヲ奏セリ是レ實ニ上州富岡製絲場創立當時ノ技師長タリシ佛國人「ブオールブルナー」氏ノ經營セル寶昌絲廠ナリ(此ノ絲廠ハ現存セス)故ニ支那ニ於ケル器械製絲場ノ實際ノ創始者ハ「ブオールブルナー」氏ト云フモ不可ナク其後器械生絲工業ノ發達狀況ヲ窺フニ支那工業上一新元ヲ劃シタル下關係約締結前即チ一八九二年ノ記録ニ據レハ楊子江沿岸ニ於テ器械生絲工場トシテ一八九八年ニ解散セル上海絲廠怡和絲廠「チヤンキ」絲廠「ノ」三ニ過キサリシカ其後一八九三年ヨリ同五年間ニ二、三ノ支那人ニヨリ絲廠開始セラレタルモ孰レモ良好ナル成績ヲ擧ゲ得タリシカハ器械製絲工業ハ之レニ刺戟セラレテ發達ヲ來タシタリ

楊子江方面ノ器械生絲業ヲ繭ヨリ見レハ江浙地方ニ飼育サ

ニ比シ荷造費一兩四匁安ナリ

五、輸入税ノ關係上支那ニ在リテハ紡織機械ハ本邦ニ比シ約一割五分方低廉ナルコト

六、支那紡績工場ハ營業稅其他附加稅ヲ要セサルコト之ヲ要スル支那紡績ノ短所中其ノ管理ノ困難ト職工勞働能率ノ低キコトハ未ダ必スシモ避クヘカラサル短所ニアラス現ニ外國經營工場ニ在リテハ工場長ヲシテ原綿ノ受入檢査ノ任ヲ負ハシメ製品ハ代理店及工場支配人ノ直轄經營ニ屬セシムル等使用支那人ノ收賄ノ途ナカラシメシ實例ニ乏シカラス職工勞働能率低シト雖モ賃銀安キヲ以テ其効程ニ至リテハ現時支那綿絲ニ於テハ却テ本邦ヨリ優レリト云フモ不可ナク盜難防止ノ如キモ亦決シテ困難ナル問題ニアラサルナリ

既述セル處ニ據ツテ支那ニ於ケル大糸紡績有望ナルコト明白ナリ年々支海カ輸入スル主要製品ノ價格額ニ達スルニ微スルモ亦將來必ス發達ノ運命ヲ有スルコト疑フ容レサル處ナリ加之支那政府カ棉花ノ輸入稅ヲ撤廢シ或ハ綿絲輸稅ノ増徴ヲ實行セントスル公算少カラサルニ想倒スルトキハ誠ニ暴虎馮河雙手江河ノ流レヲ止メントスルノ感ナキ能ハサルナリ

惟フニ勞働者ノ賃銀高ク精緻ナル仕事ニ對スル能率モ亦大ナルモノアル我國ニ於テ將來久シク支那市場ヲ目的トスル大糸紡績ヲ存在セシムルハ却テ我國民經濟上ノ損害ナレハ宜シク進テ支那ニ紡績業ヲ經營シ之カ牛耳ヲ取ルノ覺悟アルヘシ

ル、蠶兒ハ悉ク四眠蠶ニシテ十中ノ八九ハ一化性ナルカ如シ又桑ニ就テ云フモ楊子江方面ニテハ根刈甚タ稀ニシテ多クハ高刈、中刈法ニ據ル而シテ收穫ニ就テ云ヘハ楊子江方面ハ春、夏ノ二回ニシテ而カモ夏蠶ハ行ハサル地方少カラス又器械製絲工場ノ設備ニ就テ見ルモ楊子江一帶ニ於ケルモノハ孰レモ煉瓦造リ西洋風ノ二階建ニシテ繰絲場生、絲整理室等ハ二階ニ設ケ繭貯藏庫撰繭場、剝繭場機械室等ハ總テ下ニ在リ又各工場ニ備付ケラレ繰絲器械ハ總テ頑丈ナル鐵製ニシテ四口、五口若ハ六口ノ直線「ケンネル」式ニシテ繰絲釜二個ニ付一個ノ緒立釜ヲ裝置シ兩者全然分業ナリ又養蠶家ニ就テ云ヘハ楊子江沿岸ニ於テハ農家ノ副業ナリ

漢口地方ニ於ケル製絲業トシテハ日商三井洋行經營ノ三井糸廠及武昌楚興公司經營繰絲廠アルノミナリ後者元前清兩湖總督張之洞ノ富國策トシテ現ハレタル武昌四局ノ一ニシテ官糸局ト稱セシモノナリ

現狀

漢口地方ニ於ケル製絲工場トシテ相當設備ヲ有スルハ前記ノ三井糸廠及武昌楚興公司ノ經營繰絲廠アルノミニシテ他ハ舊式座繰ノ家内の製絲業ニ止マリ更ニ進歩發達ヲ見サルナリ繰絲廠ハ舊武昌四局中ノ繰絲官局ニシテ其地坪ハ六百一十呎幅二百四呎現在施設ハ糸車十二排每排機械二十六臺ニシテ繰絲釜數三百十二臺一臺ノ錘數五個ヲ有シ百十四馬力ノ汽關ヲ備ヘ全作業ヲ開始スレハ織工約一千人ヲ使用シ製絲高一日二百斤一ヶ月六千斤ハ繰絲シ得ルモ開局以來繭

糸價ノ高低革命事變等ノ爲メ開閉當ナラスシテ毎年ノ製絲高不定ナリ一九一五年ハ操業三ヶ月ニシテ製絲高約一萬二千斤ニ過キサリキ翌一九一六年度ニハ六月二十一日開轉セシカ七月十五日至リ繭價昇騰糸價下落ノ爲臨時休業シ此ノ間製絲額二十擔ニ過キサリシカ八月二十一日ヨリ再開後一ヶ月製絲額四千斤ノ豫定ニシテ買入レ生繭二千餘擔ハ一九一七年春新繭出廻期迄ノ繰絲原料ニ充當スルニ足ルヘキ見込ニテ一九一六年中ノ製絲高ハ同廠近年ニ於ケル新記録ヲ示セリ四川省ニ於ケル機械製絲工場ハ八年前重慶ノ對岸江北ニ設立セラレタル裕蜀糸廠ヲ以テ嚆矢トス爾來漸次各地ニ勃興シ現下二十七廠釜數三千内外ヲ算シ尙逐年増設ノ傾向アリ

繭絲集散狀況

湖北省繭絲生產地方ニ於テハ舊式人力法ヲ以テ家庭的副業トシテ養蠶製絲ヲ營ミ之ヲ漢口市場ニ發售ス糸商ハ多ク營業ノ本據ヲ漢口ニ置キ買付ケタル蠶糸ハ上海ニ輸出シテ洋兼商ニ賣渡スヲ通例トセリ一九一五年米國商カ湖北地方舊式製絲ノ粗茶ニシテ需要思シカラストシ之カ改良方法ニ就テ警告シタルカ之ニ對スル此地方斯界人心ハ比較的冷靜ニシテ未タ具體的ニ考慮ヲ費シタル形跡無キモ同業者ノ意見トシテハ本省内機械製絲ヲ行フモノ僅ニ三井糸廠及武昌繰廠アルノミニシテ其ノ製絲力ハ港口ニ集散スル支那產額ノ一割ニ滿タス他ハ悉ク舊式座繰法ニ依ル座繰製絲ハ簡單ニシテ時間少キタケ絲質精細ナル能ハス之ヲ改良シ販路ヲ擴張スルハ同業者ノ齊シク切望スル所ナルモ資本薄弱ニシ

テ機械ニ對スル知識ニ缺ケタル省内地方人間ニ急速ニ此種ノ改善ヲ求ムルハ甚タ困難ナル事情アリ武昌蠶絲廠ノ成績モ面白カラス相場ノ變動甚シク利益不確實ナル蠶糸工業ノ經營ハ同業者モ難スル所ナレハ寧ロ此地方トシテハ資本豐富ナル上海商人ノ手許ニ繭トシテ輸送シ該地機械工場ニ於テ精算スルヲ可トスト爲スモノ少カラサルカ如シ蓋シ漢口繭輸出額ハ蠶糸輸出ノ不況ナルニ反シ近年増加ノ傾向著シキモノアリ此處湖北繭界ノ將來ハ繭ニ發展シテ糸ニ退歩スルノ新傾向ヲ帶ヒ來レルモノアリ

繭糸類ハ漢口重輸出品ノ一ニシテ漢口ニ集散スル支那產繭ハ湖北及四川兩省產アルモ湖北省以外ノ產繭ハ運賃關係ニテ引合ハサルヲ通例トシ四川產繭ノ入漢數量ハ湖北省產繭ニ比シ甚タ少ナク比較スルニ足ラス而シテ湖北省繭ハ夏蠶ナク單ニ春蠶アルノミニシテ且ツ桑樹ノ栽培繁殖ニ不熱心ニシテ組織的桑園ト稱スヘキモノアルヲ見ス其產額ハ養蠶區域ニ比シ比較的少シ繭收穫年額ハ豐凶如何ニ依リ差異アルヲ免レサルモ省内產繭高一萬二千擔乃至二萬二千擔ト見テ大差ナキカ如ク之ヲ產地別ニ見ルニ沔陽縣最盛ニシテ其ノ約四割黃州、漢川ノ兩縣併セテ約三割其ノ他沔陽當陽宜昌、荊州、鄭陽、襄陽、武昌、德安、安陸等各地ニテ計約三割見當ナルカ以上各產繭ノ一部分ハ漢口ニ移出スルモ地方座操用ニ供シ糸乃至河南細等ノ織物トナリテ來漢輸出スルモノトス而シテ生繭取扱ハ五六年前マテ武昌官局獨占ノ觀アリ而カモ自家製糸用ニ用ルニ過キサリシモ近年邦商三井及鹽川洋行ノ斯業ニ染手スルアリ前者ハ市外ニ乾燥

場ヲ有シ上海へ輸出ヲ試ミ來タリシカ一九一六年ハ更ニ黃泰洋行カ本邦片倉、石川兩組ノ委託ニ依リ漢水流域十四個所地方ニ買付員ヲ派シ漢陽鐵廠對岸ニ乾燥工場ヲ新設シ直接本邦向輸出ヲ試ミタリ猶最近ニ至リ日商ノ斯業ニ着手スルモノ漸ク増加セリ

製絲業ニ關スル金融狀態

繭糸類ハ從來漢口支那商中相當有力ナル向キノ取扱フ所ニシテ漢口ニ集散スル最重要ナル土貨ノ一ニシテ一九一五年中輸出高二百三十一萬海關兩(申告額ナレハ實際ハ三四百萬兩ナラン)ヲ算シ其取引期間ニ當テハ漢口經濟金融界ニ多少ノ影響ヲ與フルヲ例トセリ繭糸ノ地方買付ハ銅錢ヲ以テスルカ故ニ新蠶糸ノ出廻初期五、六月ノ交ニ至リテ例年漢口市場銅錢昇騰スルノ習慣アリ而シテ此地方ニ於ケル一般金融業者タル錢莊側ノ慣用手段トシテ先ツ銅錢ヲ騰貴セシメ長クモ一ヶ月乃至一ヶ月半ヲ限度トスル短期信用貸付ヲナシ輸出商乃至問屋側ヨリ現銀ヲ收メテ利潤ヲ計ル此種錢莊ノ活動ハ寧ロ問屋輸出商筋ノ便ヲ感スル所ニシテ其關係密接ナリトス

製絲工業ノ將來

製絲工業ハ一見簡單ナルカ如キモ煮繭ノ程度織度ノ濟否湯加減如何等綿密ナル注意ヲ以テ適宜ノ處置ヲ採ル必要アリ然ルニ斯ノ如キ頭腦ノ働キヲ要スル仕事ニ對シテハ支那人工女ハ頗ル不適當ナル感ナキニアラス而カモ生糸工女ノ賃銀ハ比較的高率ニシテ正車(繭絲工)一日二十五、六兩乃至四十仙ハ普通トシ到底我生糸工女ノ効程大ナルニ及ハサ

ルナリサレハ支那ニ於ケル機械生糸工業ハ現在ノ狀態ニ於テハ到底本邦人ノ投資經營物トシテ恰好ノ事業ニアラス吾人ハ寧ロ支那繭ノ對日輸出ヲ歡迎セント欲スルモノナリ轉シテ支那ニ於ケル繭ノ主タル產地タル揚子江一帶ニ就テ見ルニ桑樹栽培ノ行届キテ其發育ノ良好ナル吾人ヲシテ羨望ニ堪ヘサラシム地方少カラス又地方ニ於ケル蠶種多樣ナラス蠶兒モ亦頗ル強健ナルカ如ク繭ハ糸量少カラスシテ解舒頗ル良好ナルノミナラス糸質概ネ強靱ニシテ且ツ整一ナリ斯ノ如ク支那繭ハ其性質頗ル優良ナルカ故ニ若シ幼稚稚ナル現行養蠶方法ノ改良行ハレ無頓着極マル亂暴ナル繭絲作業ノ改善ヲ見ルノ曉ハ其數量ヨリ云フモ其品位ヨリ推スモ支那生糸ハ眞ニ世界獨歩ノ感アルニ至ルヘク本邦產糸ノ如キハ此偉大ナル競爭者ト果シテ能ク世界市場ニ角逐シ得ヘキヤ否ヤ實ニ一大疑問ナリト謂サルヲ得ス然レトモ支那生糸カスノ如キ時機ニ到達スルニハ先ツ養蠶學堂其他教育機關ノ普及支那内地機業ノ發達稅制ノ改革等幾多重要ナル先決問題アリ此等ハ既ニ多少共其緒ニ就キツ、アルモ眞ニ實蹟ヲ舉クルニ至ル迄ニハ猶幾多歲月ヲ經ルヲ要ス

毛織物業

沿革

支那ニ於ケル洋式毛織物工業ノ起源ハ光緒十年(明治十七年)時ノ陝甘總督左文襄氏カ獨逸ヨリ機械ヲ購入シ蘭州ニ於テ官業ヲ以テ毛織物工場ヲ開設シタルニ始マル一切ノ固定資本金約八萬磅漢口ヨリ蘭州マテ機械類ノ運搬ニ六ヶ月ヲ要シタリト云フ其生産能力羅紗一日二十疋(一疋ハ支那

尺五尺)外國人技師九人ヲ僱聘シテ約一ヶ年作業ヲ繼續セシモ總督ノ更迭ト共ニ事業中絶セリ其ノ後本工業ハ久シク興ラサリシモ日露戰爭以後利權回收熱ノ爲企業勃興スルヤ本工業モ亦盛トナリ上海郊外北京等ニ大規模ノ工場一時ニ創立セラレタルモ何レモ經營意ノ如クナラス數年ナラスシテ倒閉破産ノ運命ニ際會シタリ其當時即チ一九〇八年武昌下新川ニ官民合辦ヲ以テ湖北毡呢廠ノ設立ヲ見タリ本製絨工場ハ當初其資本ヲ六十萬元トシ官ニ於テ其ノ一半ヲ出資シ商界ニ於テ他ノ一半ヲ募集スルノ企畫ナリシカ民間ノ募集意ノ如クナラス豫定額三十萬元ニ對シ應募額僅カニ十三萬三千元ヲ得タルニ過キス已ムヲ得ス官資三十萬元ヲ合シテ四十三萬三千元ノ資本ニ據リ開辦セリ而シテ本工廠ハ服地ヲ製造セリ創立當時ノ規定ニ據レハ

製造力

湖北毡廠ハ十八臺ノ機械ト之ニ相當スル一切ノ附屬設備トヲ有セルモノニシテ一機臺ハ晝間四十碼夜間二十碼ノ羅紗ヲ製出シ得ルヲ以テ晝夜全部ヲ運轉セハ一日一千碼ノ作業力ヲ有スルモ破損其ノ他ノ事故ヲ見込ミ左掲計算ニ於テハ

一日六百碼ノ製造力トナルモノナリ
 收 入 四萬五千元

内 譯
 羅 紗 一日製造高 六百碼
 同 一ヶ月製造高 一萬六千碼
 同 一碼代價 二元五角
 同 一ヶ月製品代價 四萬五千元
 支 出 二萬七千四百八十六元

内 譯
 羊 毛 一萬七千七百元
 棉 花 二千八百三十五元
 染 料 一千二百六十元
 燃 料 一千八百九十元
 俸給及食費 二千六百元
 雜 費 一千二百元
 收支差額 二萬七千五百十五元

前記計算ハ同廠總辦嚴開第カ當初總會ニ提出セルモノニシテ今此計算ニシテ大ナル誤謬ナキモノトセハ一ヶ月製造高一萬八千碼十ヶ月運轉スルモノトシテ一ヶ年十八萬碼ヲ製出シ得ベシ

現 狀
 前項記載ノ如ク一ヶ年ノ生産額約十八萬碼ナルヘキニ開辦後ノ成績ハ良好ナラス商品ハ主トシテ巡警軍隊等ニ販賣セラレタルカ爾來損失相繼キ今ヤ閉鎖ノ悲境ニアルモ整理宜シキヲ得ハ前途必スシモ悲觀スヘキニアラス一九一四年夏

共ニ一部擴張ノ爲三萬餘元ノ機械買入ヲ決定シ再開シタリ
 タオル製造業

「タオル」ハ近時支那各地ニ於テ製出セラレ前途益々多忙ナラントシツ、アルモ一方外國品ノ輸入殆ト之ニ關係ナク依然トシテ大勢増加ノ傾向アリ是レ此ノ國タオル製造業ハ猶依然トシテ創始時代ヲ脱セサルニ對シ本品ノ需用日ト共ニ其ノ範圍ヲ擴大シツ、アルニ基クモノニシテ支那ニ於ケル「タオル」製造業ノ皆無テ證據立ルモノニ非サルナリ却テ輸入「タオル」ノ激增ハ「タオル」製造業ノ有望ナルヲ占フモノナリ元來「タオル」製織ニハ其質良好ナラシメントセハ原料ノ選擇方法ノ研究及技術ノ練磨等ノ要件アレ共其ノ製織法簡單ナレハ支那ニ於テハ外國輸入品ノ増加トトモニ之ヲ製織スルモノ増加スルニ至リ本邦品ハ原料糸及賃銀ノ騰貴ノタメ十年前以前ニ比シ約五割ノ昇騰シ尙利益甚タ薄ク若シ多少ノ利ヲ得ンタメニ相場ヲ引上ケンカ忽チ支那ノ競争品ニ壓倒セラル、ニ至ルヘシ本邦取扱業者ハ爲替相場ノ變動ニ乘シ僅ニ薄口錢ヲ得ルニ過キサル有様ナリ
 漢口ニ於ケル「タオル」製造工場ハ主トシテ漢陽ニアルモ皆其規模大ナラス製造高從ツテ少ニシテ且ツ其製品ハ之ヲ外國輸入「タオル」ト比較スレハ外國品ノ精巧ナルニ引キ返ヘテ非常ニ粗惡硬厚ニシテ體裁甚タ宜カラス又地質惡シク丈夫一方ニ製セラル、有様ナリ而シテ晒シ方不充分ニシテ黃色ヲ帶ヒ居ル程ナレトモ製造原價割合ニ高カラス外國品トノ競争上廉價ニシテ且ツ比較的耐久力アルヲ以テ需用ハ割合ニ廣大ナル範圍ヲ有ス

株主總會ニ於ケル報告ヲ見ルニ其ノ財政狀態左ノ如シ

負 債
 一株 金 四三二、〇〇〇元
 内官資 三〇〇、〇〇〇元 商 資 一三三、〇〇〇元
 一政府ニ對スル借債 二五〇、〇〇〇元
 一民間ニ於ケル借債 八〇、〇〇〇元
 計 七六三、〇〇〇元

資 産
 一土地建物機械其ノ他 四七七、〇〇〇元
 一原料 及 製品 八三、〇〇〇元
 計 五六〇、〇〇〇元
 差 引 負 債 二〇三、〇〇〇元

即チ前記計算ニ依レハ缺損約二十萬元ニシテ政府民間ニ於ケル借債實ニ三十三萬元ニ達シ原料及製品ノ在庫品ヲ處分シテコレカ一部ヲ支拂フモ尙ホ約二十萬元ノ不足ヲ生ス可ク而シテ新ニ之ヲ運轉セントセハ別ニ若干ノ流動資本ヲ準備セサルヘカラス兩者ヲ合セハ概算四十萬元ノ巨資ヲ要スルコト、ナリ遂ニ續行スル能ハサルノ悲境ニ立チ至リ同年閉鎖セラレタリ而シテ爾來本廠ノ再興ニ就テハ總辦嚴開第等諸種ノ辦法ヲ講究セルモ未タ何等ノ頭緒ヲ得ス一九一五年一時官營說唱導セラレタルコトアルモ遂ニ實現スルコトナクシテ熄ニス一九一六年ニ至リ歐戰以來毛織物暴騰ヲ好機逸スヘカラストナシ督軍王占元氏專ラ幹施シ四十三萬三千元ノ舊資本ニ更ニ二十萬元ヲ民間ニ増募シ官督商辦ニテ營業開始ノ計劃成リ該増資額ハ既ニ應募濟ニテ機械修理ト

種類及製造力

製品ノ種類ハ長サ三尺幅一尺四寸兩端赤、藍線入ノ物ト長サ四尺幅一尺二寸兩端赤筋三本入ノ物ト長サ四尺幅一尺二寸兩端藍線三本入ノ物トノ三種アリ前者ハ洗面ニ使用シ後者ハ汗取りニ使用セラレ専ラ下等社會ニ需用セラル、ト云フ

工場	職工數	製造高	組織	機械數
自新工藝廠	女工四十人	千百打	合 資	三十臺
承 記	同 十五人	六百打	個 人	十臺
順 昌	同 六十打	六百打	同	二臺
同 康	同 十二人	六百打	同	四臺
同 錦	同 二十人	六百打	同	八臺
同 彪	同 二十人	六百打	同	十二臺

右ニ於テ見ルモ機械數合計六十六臺ヲ有スルニ過キスシテ是等ノ各機械故障ナク一ヶ月運轉製出スルストスルモ漸ク四千打ヲ製造シ得ルニ過キサルヲ知ルベシ之ヲ一ヶ年ニ總計シテ考フレハ六十六臺ノ機械ヲ以テ四萬八千打ノタオルヲ製造シ得ルニ止マル次第ナリ

沿革及現狀

支那ニ於ケル機寸工業ハ外國ト交通不便ナル四川省ニ起リ綿糸ト共ニ洋式工業中最古キ歴史ヲ有シ其ノ創立ハ明治二十二年ニ在リ爾來幾多ノ變遷ヲ經テ漸次發達ノ趨勢ヲ有シ現在工場五十三個所其ノ年產豫想額約一千六百六十萬哥ト推

定セラル而シテ光緒二十三年一八九七年七月當漢口ニモ構
寸工場燧昌火柴廠開辦シ當時資本金三十萬兩ノ合資組織ナ
リシカ目下増資シテ八十萬兩ト稱ス上海ノ豪商葉澄惠其大
部分ヲ出資セリト云フ宋煒臣ハ創立者ニシテ又其支配人タ
リ漢口日本專管居當地擴張區域内ニアリテ全然支那出資ニ
據ル設立當時故張之洞ト交渉ノ結果二十五年間ノ獨占の特
許ヲ得テ設立シタルモノナリ而シテ其特權トシテ落地税ノ
輕減ヲ受ケ毎年一定ノ納税ヲナシ其額ヲ四千兩ト定メタリ
ト云フ工場内ノ設備ハ約五千坪ノ敷地ヲ有シ十二種ノ工場
百八十區ノ房室ニ分タル

- 發 貨 房 一 各種材料ノ倉庫ニシテ他ノ工場ニ其貨物ヲ送付シ又ハ製品ヲ藏ス
- 爐 子 房 一 軸木ノ乾燥ナリ
- 排 板 房 四 軸木ヲ板上ニ羅列スル所ニテ裝藥ノ設備工場ナリ
- 押 板 房 一 排列軸木ヲ壓シテ齊頭ニ爲ス所ナリ
- 上 藥 房 二 軸木ノ端ニ藥ヲ附ケル所
- 脫 板 房 一 排板ヨリ上藥セル軸木ヲ取去ル所
- 効力房及軋力房 一 上藥セル軸木ヲ兩斷スル所
- 裝 盒 房 一 出來上リタル軸木ヲ箱ニ填充スル所
- 成 包 房 一 二打ヲ表紙ニ包ム所

然輸入品ニ依頼スルヲ要シ面カモ其輸入手續頗ル嚴重ニシテ薄資ナル工場ハ常ニ之ニ苦シムノ不便アリ特ニ時局以降原産國ヨリ輸出制限又ハ杜絶ニ遭遇シ一層ノ苦境ニ陥リタルコトモアリ斯ノ如ク支那ニ於ケル構寸工場ハ其原料ノ殆ント全部ヲ海外ヨリノ輸入ニ俟ツヲ以テ不便不利少カラサルモ其製法簡易ニシテ其ノ價低廉ナルヲ得ルト最近國產獎勵ノ聲熾ンナルト構寸市價ノ昇騰トハ益々同工場ノ勃興ヲ促カシ稍モスレハ我黃燐、構寸ヲ壓倒セムトシツアリ頗ル注目ニ値スト謂ハサルヘカラス

製産費及製造高
日、支兩國構寸ノ支那市場ニ於ケル原價ヲ比較スルニ支那人ノ労働能率低キヲ以テ一箱當リ工賃ハ同一又ハ却テ多少割高ナル嫌アルモ荷造費、運賃、税金等ニ於テ割略シ得ル處少カラサルヲ以テ支那構寸ノ原價ハ本邦品ノ支那市場ニ於ケル原價ニ比較シ低廉ナルヲ常トス且ツ從來ハ支那產燐寸ハ汽船ヲ以テ他ノ開港場ニ運搬セラル、場合ハ從價ノ五分ノ輸出税ニ沿岸貿易税其ノ二分ノ一ヲ支那内地ニ運輸セラル、モノハ厘金税ヲ支拂ヲ要シタルヲ以テ製造地ヲ離ルルニ從テ外國製燐寸即チ本邦構寸ニ比シ割高トナリ厘金税ノ苛酷ナル地方ニ於ケル構寸工場ハ常ニ失敗ニ了ラサルヲ得サリシカ一九一〇年九月二十八日以降支那ニ於ケル構寸工場ハ機械製洋式貨物トシテノ特典ヲ享ケ沿岸税及直接原産地ヨリ内地ニ赴クモノハ一切ノ通過税ヲ免除セラル、ニ至ルヲ以テ其發達頗ル顯著ナルモノアリ現ニ燧昌公司ノ硫黃燐寸ノ如キ軸木ハ江西湖南產ノ小量ト日本ヨリノ輸入品

配 藥 房 一 藥ノ調合所
和 藥 房 一 調合藥ヲ混和スル所
押 藥 房 一 藥ヲ煉ル所
以上十二種十六個ノ工場ハ百八十區ノ小房室ニ分タル一室間口十二尺奥行十六尺程ナリ漢口ニ於テハ前記燧昌公司ノ外餘口ニ支那雜貨商經營ノ燧華燐火公司ナルモノアリ該公司ハ燧昌公司ノ獨占の特許期限タル二十五ヶ年ノ滿了ト共ニ一九一七年設立セラレタルモノニ係リ一日ノ製造能力ハ三十箱内外ナリト云フ

原 料
構寸原料ハ其大部分ヲ海外ヨリノ供給ニ俟ツト云フヲ得即チ軸木原料ヲ本邦ヨリ、燧酸加里、膠紙等ヲ歐米及本邦ヨリ輸入セリ其額年々増加ノ傾向アリ支那ニ於テモ構寸原料ヲ國內ニ需メムト欲シ軸木原料等ニ對シ營業者ノ尋究屢々行ハレ滿洲及四川地方ニハ白楊其他適當セル材木ニ乏シカラサルモ楊子江下流北支那及南支那地方ハ全然之ヲ本邦ニ仰カサルヲ得サル状態ニ在リ而シテ當地燧昌公司ニ於テ使用スル原料品ハ大要左ノ如キ徑路ニ依リテ集來ス
一、軸木ハ主トシテ日本產又ハ湖南江西等(上物ハ白楊細軸ヲ用ユルコトアレトモ普通松ノ一種ヲ用ユ)ヨリ來ル
二、鹽酸加里ハ主トシテ英國ヨリ輸入ス
三、燧モ亦英國ヨリ輸入ス
四、硫黃ハ日本ヨリ輸入スルモノ多シ
五、箱木及張箱ハ大坂、兵庫ヨリ輸入シ商標紙モ日本製ヲ用フ支那ハ化學工業起ラサルヲ以テ燧、鹽酸加里等ハ全

タル松ノ一種及樺ヲ用ヒ中軸ニシテ軸木黒味ヲ帶ヒ不體裁ナルモ濕氣ヲ吸收セス軸木尖頭ニハ硫黃並ニ赤燐ヲ充分ニ施シアレハ耐風力強ク燃燒力佳良ナリ是燧昌構寸カ各地ニ評判アル所以ニシテ今ヤ其販路ヲ擴張シテ湖北ハ勿論湖南河南、陝西ノ内地ニモ行渡リ漸次西ニ侵入シツ、アルノ傾向アリ漢口附近ヘノ送荷ニハ木箱ノミヲ用ヒ陝西及湖南ノ内地ヘノ分ハ箱ノ内部ニ葉鐵又ハ「トタン」張トシテ發送ス本工場ノ事務員技師工教人(又ハ工頭)工長、文長等ノ上下各階級ヲ通シ社員四百五十人ナリト

使用職工ハ常備及日傭ヲ合セ凡ソ三千五、六百人ナルカ内男工約四百五十人ニシテ他ハ全部女工ナリ作業時間ハ午前六時ヨリ午後九時迄トス本工場製造高ハ毎日百二十箱(小盒百「グロス」入普通盒五十「グロス」入)ノ割合ニテ毎年凡ソ三萬六千箱ノ黃燐寸ヲ製造シ本品相場ハ甚數昂騰セルモ平均市價ヲ大要十八兩一箱ノ卸値段平均十八兩ト見做シテ毎年六十四、五萬兩ノ産額アル割合ナリ

構寸工業ノ將來
マツチ製造ノ如キハ人力ニ依ル處多ク製造法簡單ナル工業ハ能率低キ労働者ヲ有スル支那ニ在リテ恰好ナル事業ニシテ其將來ハ必ス發達ノ運命ヲ有スヘシ然ルニ支那ハ構寸原料ノ產出甚タ乏シク僅ニ四川省及滿洲ニ於ケル自國產材木ヲ使用スルモノアルノミニシテ原料ノ殆ト全部ハ之ヲ海外ヨリノ供給ニ依頼セサルヲ得ス現狀ニ鑑ミ支那マツチ工業ノ將來ハ決シテ恐ルニ足ラスト稱スルモノアリ

割高ニシテ製品、原料兩者運賃ノ差ハ比較的多ク消費地ニ近キ構寸工場ハ夫レ丈ケ競争上ハンデキヤツブヲ得タルニ均シキ次第ナルヲ無視シタル説ニシテ原料ニ乏シキ一事ヲ以テ構寸工業ノ前途ヲ輕視スルノ誤マレルハ支那市場ニ於ケル製産費ハ低廉ナル事實ニ徴シテモ明白ナルノミナラス最近國貨獎勵ト共ニ構寸工業カ支那内地ニ勃興シツツアルヲ知ラサルモノト謂フヘシ現ニ我カ對支構寸輸出ハ年ヲ逐フテ衰頹ノ傾向アルニアラス早クモ黃燐々寸ノ如キ著シク競争困難ヲ訴ヘツ、アリ之レ全ク支那構寸ノ勃興ノ結果ナリ豈ニ輕視シテ可ナランヤ

綬通製造業

漢口ニ於ケル綬通需給ハ極メテ少ク從テ斯業ノ發達更ニ見ル可キナク何レモ注文ヲ俟チテ製出スル状態ニアリ而シテ製品ハ漢口ヲ中心トシテ宜昌、沙市、長沙、九江方面ニ供給セラレ未タ外國向輸出セラレタルモノナク兩三年來僅カニ上海向少量ノ移送ヲ見ルニ至レリ今當地ニ於ケル製造工場ノ主ナルモノヲ上ク列ハ左ノ如シ

工場名	所在地	職工數	機械數
天昌公司	漢口佛租界	三〇	四
寬家公司	同	一五	二
民義公司	同	一三	二

各工場ニハ職工長一名アリ職工ハ綬通織手、原料彈手、原料紡手ノ三種ノ外各工場共見習職工五、六名ヲ收容セリ職手一人一日ノ精巧品ニアリテハ一尺四方餘租製品ニ在リテハ二尺四方餘ニシテ機械一臺ニ對シ約七、八人ノ織手作業

スルヲ普通トス製品ハ多ク模樣物ニシテ模樣ハ主トシテ注文先ノ指定ニヨルモノ、如シ原料ハ羊毛、山羊毛、綿糸ノ三種トシ染料ハ獨白品ヲ使用セリ

製紙業

沿革及現狀

支那ニ於ケル洋紙工業ノ創設ハ比較的古ク外國人カ支那ニ工業ヲ營ム權利無カリシ明治二十四年頃ノ事ニシテ上海ニ倫章造紙廠ナルモノ現出シタルヲ嚆矢トス然レトモ本工場ハ經費其宜シキヲ失ヒテ久シク休業セリ次テ明治三十二年上海浦東ニ於テ華昌紙廠設立セラレ本邦ヨリ多數ノ技師及職工ヲ聘シテ製造ヲ開始シ最初數年間ハ極メテ良好ナル成績ヲ上ケタリシモ明治三十九年龍章造紙廠官商合辦ノ組織ヲ以テ設立セラレ、ヤ原料權讓ノ騰貴甚シク一方外國洋紙ノ競争日激烈トナリ兩會社共ニ缺損ヲ重ネシタメ兩會社ハ經費ノ節減ニ努力シ日本人技師職工ヲ解雇シ龍章造紙廠ハ資本金二十萬兩ニ削減シテ缺損ヲ轉補シ華昌ハ大正三年遂ニ解散シテ資本金三萬兩ノ新會社トナシ大正四年三菱ノ買収ニ歸シタリ而シテ當地地方ニ於ケル製紙工場トシテハ左ノ一、二ヲ數フルノミナリ

財政部漢口造紙廠

支那財政部直營漢口造紙廠ハ漢口日本租界下流約十哩ノ地點謀家磯ニ設立セラレタルカ右ハ一九一一年ノ設立ニ係リ前清時代度支部ノ官辦ニ屬シ資本金二百萬圓敷地十八萬方(一方三坪餘)ヲ有シ廣大ナル建物七、八棟ヲ設立シ建坪亦大約一萬坪ニ上リ事務所及工廠ハ二階建煉瓦造ニシテ設備

整然トシテ實ニ武漢地方ニ於ケル最大屈指ノ工場タリ機關ハ蒸氣力ニヨルト電力ニヨルモノトノ二種アリ前者ハ二千馬力後者ハ六百馬力ヲ有シ何レモ米國製ニシテ最近式ノモノナリ又製紙機械二臺ヲ有ス設立ノ當時技師長以下技師九名何レモ米國ヨリ招聘シ月給技師長五百弗(米金)技師二百弗乃至三百弗(米金)ヲ支給シ愈々同年十月ヨリ製紙作業ヲ開始セントセル際革命戰爭起リ遂ニ中止ノ已ムナキニ至リタルカ爾來北軍ハ該工廠ニ駐屯シ爲ニ工場ヲ開始スルニ至ラスシテ技師長以下各員ハ一時之ヲ解雇シタリ然ルニ其後北軍ハ該工場ヲ引上ケ時局モ亦平靜ニ歸シタルヲ以テ財政部ニ於テハ改メテ右工場ヲ開始スルコト、シ民國三年四月同工場總辦ニ曹興球ヲ任命シ技師ニハ朱仲布外七、八名ノ支那人ヲ採用シ新ニ財政部ヨリ百五十萬元ヲ支出セシメ修復工事ヲ終リ同四年三月ヨリ開工製造スルトナレリ現在敷地面積一萬六千五百二十方大發動機千三百十馬力抄紙機ハ十二吋(新聞紙印刷紙製造)及ヒ四十八吋(紙幣證券用紙製造)各一臺ヲ有ス財政部、補助年額八萬三千三十二元八角ニシテ毎月割送付高六千九百餘元ナルカ同廠今日迄ノ投資額二百七十萬兩ト稱セリ而シテ該共場製造力ハ民國四年度平均高每日八百令(五百板一箱、十四乃至十六令)ナリシカ目下ノ製造力ハ四百令ニ減セシト云フ盡シ同廠製品ハ其質歐洲品ニ劣ルト云ヘ共日本品ニ優ルモノアリトシテ值段割高ナル爲日本品ニ比シ賣行不良ナルカ如ク現ニ漢口、上海、天津、芝罘ノ四ヶ所ニ設置セル同廠製紙發賣所ハ何レモ荷動キ不況ノ由ニテ同廠内滯貨漸増ノ實狀ニ鑑ミ其生産

ヲ減シタルモノナルヘシ同廠、現廠長ハ丁道源總務課長ハ陳堯楚ニシテ外職員三十八名醫師二名アリ職工ハ男工百三十三名女工八十名見習十一、二名外雜役夫巡警等百三十七名アリ

工場内ニ使用スル水ハ同工場ヲ流ル、楊子江支流ノ濁流ヲ機械力ニ依リ一旦貯水地ニ送り之ヲ濾過シ清水トナシ水塔ニ貯水スルノ設備アリ而シテ貯水池ハ凡テ九ヶ所ニシテ其面積約八千坪アリ水塔ハ工事半ニシテ革命戰爭ニ會ヒ彈丸ノ爲メ倒潰シタルヲ以テ再ヒ之ヲ築造スヘク鐵材等既ニ英國製ヲ購求シ水塔ハ高サ百二十呎ノモノ二個一ハ一萬ガロン他ハ十萬「ガロン」ノ水ヲ貯水セシメ得ルト云フ

該工場ニテ製造スル紙ノ種類ハ民國四年ハ新聞紙、模造紙、印刷紙、書面紙、包裝紙、棉紙、色紙、鑒紙ノ八種ナリシカ現在ハ新聞紙、模造紙、色紙ノ三種ニ限リ製紙全額ノ八割ハ新聞紙ナリ又製紙原料ハ襪襪及稻草ヲ主トシテ外ニ米國ヨリ「ウツト、バルブ」ヲ輸入シテ使用スト云フ

大展有限公司經營製紙廠

武昌白沙州ニアリタル白沙州製紙廠ハ現在閉場セルモ參考ノ爲メ經營當時ノ狀態ヲ記述セン該場ハ初メ張之洞カ程種萬ニ委任シテ四十萬元ノ資本金ヲ以テ官商合辦トシ官錢局ヨリ二十萬元殘二十萬元ヲ民間ノ株式ニ募集創立セシメタルモノニシテ内三十萬兩ヲ以テ工場建築、機械購入ニ固定セシメタルカ其ノ際不正行爲ヲ働キタルモノアリ爲ニ物議ヲ醸シタルヨリ之ヲ鄭控製紙ニ委ネテ經營セシモノナリ然ルニ製造ノ紙ハ其ノ質劣惡ニシテ價高ク損失續々タルヨリ

前總督瑞徵ハ度支部ノ經營スル漢口造紙廠ハ各省造紙廠ノ白眉タルモノナレハ到底之ト競争スル能ハサルノミナラス年々莫大ノ損失アルヘシトナシ曩ニ一度度支部ト商議シ合併スル事ニ決シタルモ當時度支部造紙廠總辦劉世班氏該二工場ヲ視察シタル結果機械使用ニ堪ヘサルコト判明シ合併ハ取消サレ之ヲ以テ湖廣總督ハ勸業道ニ命シ製造ニ着手シ尙之カ拂下ケヲナスコトニ内定シタリ其ノ後幾多曲折ノ結果該工場ヲ租借期限十五ヶ年租借年額八千兩保證金銀一萬元ヲ以テ承租シ製紙工業ヲ開始セシモノヲ大展有限公司トス該工場ハ外國紙殊ニ日本紙ノ驅逐ヲ目的トシ民國四年排日貨ノ舉アリシ際開設シ湖北人梁津聲歐陽偉等各資本十萬兩ヲ擁シテ起テ民國六年七月工場ノ手配ヲ終ヘリ九月一日ヨリ開工シタルカ其ノ製造能力晝夜作業ニテ毎日百十擔ト稱スルモ未タ創業時代ニ屬シ當時原料買付ニ忙殺セラレ試験的ニ少量ノ新聞紙、包裝紙及連紙ヲ製出セシ過キス機械ハ百吋ノ抄紙機臺ヲ有シタリ

原料トシテハ主ニ襪襪ヲ用ヒ之ニ三割ノ「バルブ」其他竹皮桑木皮及葉高染等ヲ混用シ「ウツト」、バルブハ米國ヨリ輸入シ襪襪百斤ハ二元餘ニシテ竹皮三元前後桑木五元乃至七元ノ間ニアリ漂白粉ハ一ヶ月所要一千二百箱一箱ノ重量百封度及ヒ加性曹達千擔ニシテ猶工場ノ元ト米國人ノ設計ニシテ其ノ原動力二百石炭ハ苧鄉炭一ヶ月四百噸ヲ要シタリ

支那ニ於ケル洋紙ノ需要ハ逐年増加シ來ルニ拘ラス支那洋紙製造業者ノ窮境ニ在ルハ外國洋紙トノ競争甚タ敷困難ナ

ルニ因レルコト勿論ナレトモ其ノ他猶左ノ如キ理由ニ基クモノ、如シ

- 一、支那ノ如キ薄手ノ洋紙ヲ需要スル國柄ニテハ製紙用水ノ良質清澄ナルハ特ニ必要ナルモ交通便利ナル地方ニ於テ良質製紙用水ヲ得ルニ不便不利少カラサルコト
- 二、襪襪ノ供給範圍比較的狭ナルコト支那ノ如キ人口稠密ニシテ住民皆綿布ヲ纏フ處ニテハ其ノ供給一見頗ル潤ナル如クナルモ支那ニテハ襪襪ノ使用極端ニ行ハル、ノミナラス交通未タ開ケサル地方多キ爲到底遠隔ナル地方ヨリ運送シ來ルコト經濟上不可能ナル場合少カラサルコト
- 三、「バルブ」苛性曹達、漂白粉、松脂等ハ全然國內ニ產出セサルヲ以テ輸入品ニ據ルヲ要シ而カモ製品輸出ニ關シ原料ノ戻稅行ハレサルコトヲ原則トスルコト

之ヲ本邦ニ比較シテ有利ナルト見ルヘキハ只勞働賃銀ノ低廉ナルト襪襪ノ安價ナルコトナルカ勞働ノ賃銀ノ低廉ナルコトハ必ス其能率ニ比較スルヲ要シ而カモ製紙工場ノ如ク多數ノ勞働者ヲ要セサル種類ノ工業ニ在リテハ而カク重要視スルヲ得サルヘシ從ツテ支那ニ於ケル製紙工場經濟的存立ノ要件ハ製品需要ノ鉅額ニシテ將來文化ノ進歩ト共ニ増加シテ止ムコトナカルヘシトノ豫想及現在襪襪ノ比較的安價ナル點ニ歸スルヲ得ヘキモ之ト共ニ重要原料タル「バルブ」ノ國內ニ產出セサル一事ハ襪襪ノ低廉ヲ減殺スルヲ少カラサルヲヘキヲ知ラサルヘカラサルト共ニ原料ノ大半ヲ國外ニ仰ク工業ハ支那ニ於テハ直チニ有望事業ト斷スヘカ

製革業

沿革及現狀

支那ニ於ケル製革業ノ起源明カナラズト雖モ之ヲ歴史ニ求ムルニ周以前既ニ製革ノ法ヲ知リ居タルコトヲ證ス斯如支那ニ於ケル製革事業カ古クヨリ行ハレタリト雖毫モ其ノ製法ノ進歩セルヲ認メス唯タ古法ヲ墨守シテ改良ヲ計ラスシ以テ今日ニ至レリ漢口地方ニ於テハ嘗テ獨逸人ノ武昌ニ於テ一製革會社ヲ設ケタルコトアレトモ水質不良ナルト時期尙早ナリシ爲メトニテ遂ニ失敗ニ歸シタリト聞ク次テ張之洞カ日本ヨリ技師ヲ聘シテ製革業ヲ起シ湖北製皮官廠ト稱シ武昌、湖南ニ工廠ヲ設置セルモ作業ヲ開始スルニ至ラスシテ久シク休業シ居タリシモ時機到來ト共ニ一日平均二千餘枚ノ製皮量ヲ以テ製革業ヲ開始セリ是レ漢口ニ於ケル唯一ノ新式製革廠ニシテ其ノ他ハ舊式製法ヲ營ムモノニシテ漢口支那街牛皮巷ニ實業皮廠、張義順、彭萬泰、鄒祥順、彭義昌ノ五ヶ所ト同支那街蔡家巷ニ潘義生、和記、湯與順ノ四ヶ所計九工場アリ此ノ外邦人經營ノ新式工場ニ襄河製革廠アリ

製革業ノ將來

支那ニ於ケル製革業ハ原料牛皮、羊皮等ハ其ノ供給乏シキヲ訴ヘサレトモ支那ニ於テ需要セラレ、皮革ノ種類多カラサルヲ以テ國內ノ需要ヲ目的トスル此等皮革工場ハ頗ル制限ヲ受ケサルヲ得ス然ルニ最供給ノ豐富ナル乾皮ノ賣買ハ何等品位ニヨリ選別行ハレス輸出商ハ何レモ見込ミニテ買

石鹼工業業

沿革及現狀

古來支那ニハ漢子ト稱セル石鹼類似ノモノ存在セルモ吾人ノ稱スル石鹼製造業ノ成立ハ比較的新シキ事ナルカ如シ即チ化粧石鹼製造業ハ今ヲ距ル四十五年前日本人積善洋行ナルモノ上海ニ於テ石鹼工場ヲ經營シタルニ創マル洗濯石鹼工業ハ化粧石鹼ニ先チ支那ニ興リタルモノナラヌモ其ノ起源ヲ究ムルニ由ナシ

化粧石鹼

化粧石鹼工業發達ノ沿革ハ決シテ順境ニアラス孰レモ小資本ノ工場トテ常ニ外國品ノ壓迫ニ耐ヘスシテ起倒興廢恒ナカリシカ大體ニ於テ廉價一點張リノ製造工場ハ悉ク失敗ニ歸シ現今存在セル各工場ハ孰モ皆「グリセリン石鹼」ヲ主トシ意匠品質等幾多ノ工夫ヲ凝ラシ特長アル製品ノ供給ニ努メツ、アリ化粧石鹼ノ使用ハ生活程度高キ大都會及一部上流社會ノ需用ニ限ラル支那ハ猶化粧石鹼ヲ贅澤視スル時代ニ在リ從テ彼等ノ石鹼ニ對スル鑑識猶ホ低ク徒ラニ香氣ノ高キヲ喜ブノ風習アリ是レ香氣ノ立チ易キ「グリセリン」石鹼ノ需用最モ多キ所以ニシテ支那本部ニ於ケル化粧石鹼

工業カ殆ント「グリセリン」石鹼製造ヲ目的トスルモ亦宜ナリト謂フヘシ

洗濯石鹼

支那ニ於テハ洗濯石鹼ト「Suds」トノ區別殆ント無キヲ以テ使用範圍廣ク需用莫大ナルモノアリ從ツテ原料タル獸脂ノ産夥多ニシテ其ノ製法モ亦簡單ナルニヨリ小規模ノ洗濯石鹼製造等ハ其ノ類頗ル多シ孰レモ只獸脂ヲ鹼化セシムルニ止マリ「グリセリン」ノ採取ヲ行ハサル幼稚ナル作業ヲナスニ過キサレモ只上海ニ在ル獨逸人經營ノ固本肥皂廠ハ進歩シタル製法ニ則リ「グリセリン」ノ採取ヲ行フハ勿論石灰石鹼化法ニヨリ居レル等頗ル注目ニ値スルモノアリ漢口地方ニ於ケル石鹼製造工場ハ左ノ如シ
小林洋行肥皂廠漢口洪益巷日本人一日ノ製造高石鹼二十箱
牛油四十擔、金昌洋行肥皂廠漢口土壩街日本人一日ノ製造高石鹼三十箱、牛油九十擔右邦人二工場ハ何レモ目下石鹼製造ヲ休止中ナリ

支那人工場ハ謝榮茂、松茂、民信大工廠、曹祥泰等アレトモ主ナルモノハ二ツアルノミニテ共ニ關稅上特典ヲ享クルモノニシテ左ノ如シ

工場名	所在地	特典許可年月	製造能力
謝榮茂肥皂廠	漢口大智門	一九一五年一月一日製造高	石鹼二百箱(每箱十二斤)
松茂肥皂廠	漢口廣昌和	一九一六年二月一日	同
洋燭廠	同	同	百二十箱

支那ニ於ケル牛臘ノ産地ハ楊子江沿岸一帶、山東河南、直隸、各省及滿洲、廣東省海南島等ニシテ其ノ集散地ハ漢口、

粉ヲ造ラサルヨリ外國麥粉ヲ使用スルノ要アリ

二、グリセリン石鹼

グリセリン石鹼ハ其需要多ク且ツ主要原料タル「アルコール」及砂糖ハ我國ヨリモ廉價ナルト又現在ノ製造方法ニテハ低度ノ努力ニ事足ル等事實ハ香料、包装紙ノ不利ヲ償ウテ餘リアリ

石鹼製造工業ノ將來

石鹼ヲ贅澤視スル時代ハ既ニ過キ去リ今ヤ家庭用トシテ洗濯用トシテ將又工業用トシテ各方面ノ必要品トナリ其需用ハ社會ノ進歩ト共ニ益々増加ス茲ニ於テカ科學ノ應用不充分ナル小規模ノ石鹼工場ハ既ニ時勢ニ遅レタリト謂フヘク須ラク大規模ノ工場ヲ設立シテ遺憾ナク科學ノ利用ヲナスヲ急務トス而シテ今日迄遺棄セラレツ、アリシ「グリセリン」ノ回收ヲ行ヒ洗濯石鹼業ヲシテ石鹼及「グリセリン」ノ製造業タラシムルハ當年ノ急務ニシテ本事業ヲ支那ニ創設スレハ必ス有利有望ナル事業ノ一タルヘシ

蠟燭製造工業

沿革及現狀

蠟燭ノ如キ簡易ナル工業ハ支那ニ於テモ夙ニ計劃セラレタルハ論ヲ俟タサル處ニシテ北方ハ東清鐵道沿線ヨリ南ハ珠江沿岸ニ至ル迄諸處ニ小規模ナル製造場散在シ經濟界ノ狀態ト原料市價ノ如何ニヨリ起倒恒ナキ狀勢ナリ漢口ニ於ケル西洋蠟燭ノ製造ハ從來之レヲ試ミタルモノ、皆無ニ非ラサルモ何レモ資本並夏期天候ノ關係上失敗ニ終レリ然ルニ洋蠟ノ輸入漸次増加ノ趨勢ナルヨリ劉榮記ナルモノ漢口大

天津、青島、上海ノ四港ヲ重ナルモノトシ就中漢口ヲ第一トス漢口ニ集マル本品ハ河南、四川、湖北及湖南ノ産ニシテ河南産最モ多シ品質ハ四川産最モ良好ニシテ河南之ニ亞ク湖南産ハ羊脂及牛油ヲ混セルヲ以テ劣等ナリトス牛臘ノ純粹ナルモノハ黃白色ヲ呈スルモ羊脂又ハ牛油ヲ混セルコト多キニ隨ヒ次第ニ白色ニ傾ク漢口出廻品中ニハ羊脂又ハ牛油ヲ混セルコト多キハ四割ニ及フモノアリ又牛臘ノ各產地ヨリ漢口ニ出廻ル迄ノ手續ヲ見ルニ各產地ニテハ農家ニ飼養セル牛、水牛ノ斃死セルモノ又ハ獸肉ノ屠殺セルモノノ骨ヲ煮出シテ取リタル脂ヲ凝固セシメテ貯ヘ置キ買出ニ來レル支那商ニ賣渡スモノニシテ產地ヨリ開港場迄運包ミ又ハ筒入トシ輸送シ來ルモノナリ

一、練石鹼

支那ニ於ケル練石鹼製造ニ就キ原料ノ點ヨリ其ノ得失ヲ査スレハ左ノ如シ
イ、牛臘 國內品ヲ使用スルモノナルヲ以テ日本ヨリ有利ナリ
ロ、椰子油 日、支兩國共ニ外國ヨリ供給ヲ仰カサルヘカラサルカ日本ハ斯業發達セル結果在荷潤澤市價常ニ支那市場ヨリ低廉ナリ

ハ、香料 支那産香料中石鹼原料トシテ使用セラル、モノハ肉桂位ニ過キス他ハ悉ク外國産香料ニ依頼セラルヲ得ス
ニ、包装費及澱粉 包装費ハ化粧石鹼原價ノ一割餘ヲ占ムルモノナリ又澱粉ノ如キモ支那ニ於ケル製粉工場ハ一等

智門ニ於テ謝榮茂肥皂洋燭廠ト稱アル石鹼及蠟燭製造工場ヲ創開シ製蠟機械ヲ購入シ一九一五年十一月以來操業ニ着手セリ目下工八十六、七名運轉機械數四臺每包六本入二十五包一箱物一日ニ六十箱ヲ製造シ孔雀牌ノ商標ヲ以テ紅、白兩色ノモノヲ發賣シ漢口沙市長沙等ニ特約店ヲ設ケ外國品ニ比シ一匁五分乃至二匁安ニテ賣捌キツ、アリ其後一九一六年二月ヨリ松茂肥皂洋燭廠ト稱スルモノ漢口廣昌和ニ於テ一公司ヲ開業セリ

蠟燭工業ノ將來

支那ニ於ケル西洋蠟燭ノ需用ハ比較的巨額ニシテ將來文化ノ程度進ムニ從ヒ益々増加スヘシト豫想セラル、ノミナラス近時多少行ハレツ、アル「バラフィン」製蠟燭ヲ以テ支那固有ノ木蠟製蠟燭ニ代用セシメントスル努力ニシテ若シ成功ノ曙光ヲ見ルニ至ラハ本品ノ需用ハ急速ナル増加ヲ告クヘク從ツテ本工業ハ長足ノ發達ヲ來サム然リト云ヘトモ今日ノ狀態ニアリテハ原料「バラフィン」ノ輸入ハ二、三外國大會社ノ獨占ニ歸シ彼等ハ時ニ自己工場製品擁護ノ必要上「バラフィン」ノ市價ヲ高メテ競争工場ヲ苦境ニ陥ラシムルコトアリ爲ニ小規模ヲ以テ經營セル支那人工場ハ全然外國商品ニ操縦セラレ伸フルコト能ハサル狀態ニ在リ從ツテ此ノ如キ原料調節ノ政策ノ行ハル、虞アル限リハ本工業ハ到底急速ナル發達ヲ遂クルニハ由ナカルヘキナリ

大豆工業

沿革及現狀

支那ニ於ケル新式油房ノ發端ハ明治二十八年英商太古洋行

カ營口ニ於テ宏莊ナル工場ヲ建設シテ所謂新式油房ヲ經營シタルニ在リ爾來豆糟ノ需用増加ニ伴ヒ新式油房ノ經營各地方ニ興リタリ就中最盛ナルハ漢口ニシテ漢口ヲ中心トスル新式油房ハ工場數十個所普通壓搾器千三百十九臺水壓器二臺ヲ有シ日露戰爭以前ハ其ノ製品ヲ本邦ニ向ケ輸出セラレタルモ戰後滿洲豆粕工業ノ勃興ノ爲楊子江岸ノ豆粕ハ一般ニ運賃其ノ他ノ關係上本邦ニ於ケル需用ヲ充スコト能ハス主トシテ南支那方面ニ仕向ケラル、ニ至レリ今漢口ニ於ケル主要ナル新式豆粕工業ヲ表示スレハ左ノ如シ

工場名	所在地	國籍	一日製造高	壓搾器臺數
元豐榨油廠	漢口獨逸租界	支那	三千六百枚	二七二臺
天盛榨油廠	漢口漢口	同	二千枚	二〇〇臺
永昌元榨油廠	漢口漢口	同	一千六百枚	一五〇臺
順豐榨油廠	同	同	二千四百枚	二〇〇臺
興盛榨油廠	同	同	一千四百枚	—
福和榨油廠	同	同	一千枚	—
公益榨油廠	同	同	八百枚	—
欽記榨油廠	漢口棧口	同	一千八百枚	九七臺
日華榨油廠	漢口日本租界	日本	二千枚	一〇〇臺
日信榨油廠	漢口大碼頭	同	一千枚	五〇臺

明治二十九年五月資金二百萬兩ヲ以テ日信洋行ノ手ニ創設セラレタルモノニシテ日本綿花株式會社漢口支店(日信洋行)第二豆粕工場トセラレタルモノナリ明治四十年新會社日華製油株式會社ニ依リ經營セララル、コト、ナリ資本金五

セラレタル油ハ三個ノ鐵製「タンク」ニ貯藏セララル職工ハ百四十餘人ニシテ晝夜交代トシ賃銀ハ他工場ト殆ント異ナルナク月額ニ見積約六、七吊文ナリトス生産額ハ一晝夜運轉シテ原料大豆使用高二一九四擔内外ニシテ三千枚ト見積ラル製油額約九十擔内外ナルヘシ

四、順豐榨油廠

順豐工場ハ現在ハ西順記ノ經營ニ係ルモ固ト南順記ノ創立セシトコロニシテ其ノ創立光緒三十三年(一九〇七年)漢口襄河邊ニ在リ資本ハ固定資本十五萬兩壓搾器二百臺ヲ有シ一日ノ豆粕製造高二千四百枚豆油六十五擔乃至七十擔ト見積ラル

其ノ他ノ榨油廠

永昌元榨油廠 永昌元ハ其ノ國籍支那ニ在リ一九〇七年(光緒三十三年)ノ創立ナリ
元盛榨油廠 本工場ハ廣東ノ人候補知縣劉敦五ノ創立經營セルトコロニシテ其ノ創立一九〇七年ナリ漢口襄河邊ニアリ資本ハ固定資本二十萬兩流動資本約十二、三萬兩製品ハ他ト同様ナルカ材料ハ皆水運ニヨツテ運ハル、豆ヲ用フ壓搾器二百臺ヲ有シ一日ノ豆粕產額ハ二千枚豆油九十二擔乃至百十三擔ナリ

抽出油工業

現在ニ於ケル大豆ノ主タル用途ハ窒素肥料ナリ從ツテ可成窒素分ヲ豊富ナラシメ肥効ニ關係ナキ夾雜物ヲ含有セシメサルノ工夫ナカルヘカラス然ルニ前記ノ手緊メ又ハ水壓大豆粕ハ此點ニ於テ含水量過剩及殘留油分ノ過剩等ノ缺點ア

百萬圓トナル本工場ハ日本擴張居留地ニアリ機械トシテハ「タリーナ」式二臺、「エツチストン」一臺、壓搾器百臺軋豆器九臺、動力「コルニツシユボイラー」二個(各八十馬力ヲ有ス)使用人——壓搾場使用支那人百人修繕部機械部五十人ノ外日本人十數名ニシテ製造高毎日豆粕二千枚、豆油八千擔トス

二、日信榨油廠

本工場ハ日本綿花株式會社漢口支店(日信洋行)ノ經營ニ係リ一九〇五年九月漢陽大碼頭ニ創設セラレタリ「ロール」壓搾器五十臺、軋豆器五臺、動力トシテハ「コルニツシユ、ボイラー」一臺三十馬力ヲ有ス使用支那人ハ雇四十人、壓搾場支那人七十人、機械部、修繕部其他職工二十人ノ外日本人數名ニシテ毎日製造高豆粕一千枚、豆油四十擔因ニ本工場ハ目下休業中ナリ

三、元豐榨油廠

元豐工場ハ一九〇六年ニ阮、衷(文忠)ノ創設經營セル處ニシテ漢口獨逸租界ニ在リ其ノ資本金ハ固定資本二十萬兩流動資本二萬兩ニシテ其ノ製品ハ豆油及豆粕ナルカ其原料ハ他榨油廠ト同様河南漢口ヲ中心トシ附近產出ノモノヲ用ユ工場敷地ハ千七百七十六坪ニシテ二階建倉庫一棟半屋建二棟豆粕壓搾室汽鐘室一棟アリ二個ノ汽鐘ハ英國製ニシテ其數同各十馬力ヲ有ス Chilled Water Valve 四臺上海ニテ製作セラレタル「ロール」八十臺、壓搾室内ノ一段高キ所ニ据エ付ケラレ居ルハ他ノ豆粕工場ト同様ナリ其他壓搾機ハ人力ヲ以テ壓搾スル裝置ニシテ總計 Screw Rack 二百七十二臺アリ搾取

リ此ノ含水量ノ過多油分ノ殘留ニ關スル問題ハ既ニ「ペンチン」油製法ニ依リ完全ニ解決セラレ居リ現ニ大連寺兒溝ニ於ケル鈴木油房ハ此ノ方法ニ依ルモノニシテ之ニ依ルトキハ出油量ハ原料大豆重量ノ一割四分ニ達ス同工場ニ於テハ抽出ニ依ツテ得タル大豆油ニ加工シテ粗製「グリセリン」及ヒ脂肪酸ヲ製造ス此方法ハ大豆油ニ石灰ヲ作用セシメ之ニ硫酸ヲ加ヘテ「グリセリン」ニ脂肪酸ニ分解スルモノニシテ其比ハ約粗製「グリセリン」一割脂肪酸九割ナリト云フ而シテ加ヘラレタル石灰ハ硫酸石灰(石膏)トシテ殘留ス

硬化油工業

由來豆油ノ如キ半乾燥性ハ脂肪ノ主要用途タル石鹼蠟燭ノ原料タリシニ過サルモ最近滿鐵中央試驗場ハ研究シテ大豆油ニ水素ヲ添加シテ其ノ乾燥性ヲ失ハシメ惡臭ヲ脱シ溶解點ヲ高メテ硬化油ハ變化セシメ適當ナル石鹼原料タラシムルヲ得タリ又之ニ石灰ヲ加ヘテステアリントグリセリントニ分解スルコトニ成功シタリ此ノ硬化大豆油ハ石鹼原料トシテ其ノ製品ヲ純白ナラシメ且其ノ含水量著大ナルヲ以テ該原料トシテハ確カニ魚油ノソレニ勝リ椰子油ニ近キ資格アルモノト推定シ得ヘシト云フ

ソーライト及タンタルス

大豆ノ蛋白質ニ礦物性顔料ヲ加ヘテ成レル「ソーライト」ト稱スル水性「ペイント」及大豆油ヨリ採レル脂肪酸原料トセル脂肪酸「アルミニウム」ヲ溶解性タラシメシ、「タルタルス」ノ製造ヲ目的トセル一會社大連ニアリ是レ亦相當ノ成績ヲ收メツ、アリ

大豆工業ノ將來

支那ニ於ケル幼稚ナル大豆榨油業カ先ツ南滿鐵道會社ノ研究ニヨリ抽出油ノ施行蛋白質ノ利用硬化油ノ製造等ニ依リ眞ニ化學工業ノ域ニ進ミタルハ大豆工業ノ將來ニ對シ多大ノ光明ヲ認ムルモノナリ

棉實榨油業

現在支那ニ於ケル棉實油新式榨油業ハ其ノ原料ノ關係上全部楊子江沿岸ニ集中シ其ノ工場九個所アリ漢口ニ於ケル新式榨油業ハ日華榨油廠在ノミ本廠ハ原日信棉實柏工場ト稱シ日本棉花株式會社漢口支店ノ經營ニ係リ一九一二年八月(一九〇七年創業一九〇七年六月火災ニテ燒失セル爲同年再興)創立シ一九一七年日華製油株式會社ノ經營トナリテ現名トナレリ機械ハ壓搾器三臺其ノ他新式榨油作業器械一切外ニ精油機械一式ヲ有シ動力ハ「メーシエン」エンジンニツシユ式」ヲ以テ百四十馬力ヲ有ス一ケ年ノ原料消費額ハ十二萬擔ニシテ棉實柏四萬五千六百擔棉實油一萬八百擔ノ年産額ヲ有ス棉實柏ハ每百二十五斤ヲ麻袋ニ入レ日本ニ向ケ輸出ス尙又綿實買入方法ハ支那内地小榨坊ノ需用多キヲ以テ之カ買集メハ非常ニ困難ナリ主トシテ漢陽蔡甸其ノ他主ナル綿產地ニ出張シテ現物ヲ買入レ或ハ該地方ノ花行軋花廠ニ前以テ手附金ヲ渡シ或ハ期間内ニ繰出ス分ニ對スル購買契約ヲ結ヒ出張日本人又ハ支那人ノ監督ノ下ニ一袋正味百斤入トナシ荷造ノ上漢口ニ輸送スルモノトス

製鐵工業

支那ニ於ケル洋式製鐵工業ハ光緒十七年(明治二十四年)湖

力數四五〇、鐵工數二六六)及漢口工務修理廠(馬力數七五、職工數五二)アリ猶軍器製造トシテハ湖北兵工廠及湖北鋼藥廠アリ

精毛業

漢口ニ於ケル各種獸毛ノ海外輸出ハ多額ニ上リ豚毛ノミニテモ年額百五十萬兩ヲ下ラス此等豚毛ヲ支那人ヨリ買付クル際ハ塵埃其ノ他ノ汚物ヲ有スルコト甚シク全量ノ三分ノ一ニ達スルモノ珍ラシカラス從ツテ之カ輸出ニ當リテハ洗毛作業ヲ行ナフ必要アリ漢口ニテハ日商三井洋行カ日本擴張居留地ニ宏大ナル精毛工場ヲ建設シ斯業ニ從事シツ、アリ

澄油業

桐油ハ近年世界市場ニ紹介セラレタル乾燥性油中重要ナルモノノ一ニシテ米國ノ如キハ之カ爲ニ塗料界ノ革命ヲ促シタリトサヘ稱セラル猶本品ノ支那ニ於ケル主タル海外輸出港ハ漢口ナリ從ツテ漢口ニ於ケル輸出商ハ皆宏大ナル工場兼倉庫ヲ建テ桐油ノ買付ケニ從事シ油槽ヲ設ケテ沈澱作用ヲ行フ夏季ハ只桐油ヲ油槽ノ中ニ注込ミテ放置スルノミナルモ冬期ハ桐油凝結スルヲ以テ蒸管槽ヲ中ニ通シテ固結ヲ防キ一方其ノ沈澱ヲ助ケシム

牛脂

牛脂ノ荷造ハ袋又ハ袋入ニシテ品質ノ上下頗ル甚シキモノアリ羊豚其ノ他植物性脂肪ヲ混入シタルモノサヘ有ルカ故

廣總督張之洞カ漢陽ニ工場ヲ設置シ大冶鐵礦ヲ以テ製鐵ニ從事シタルヲ嚆矢トス是レ我國ト密接ナル關係ヲ生セル漢治洋鐵廠有限股份公司ノ前身ナリ漢治洋公司ノ製鐵工場ハ漢陽ニ在リテ大冶ヨリ運來セル鐵礦及石灰等ノ燒燒原料ト洋鄉ヨリ持來セル「コークス」トヲ以テ製鐵事業ヲ行ヘリ熔鑪三基ハ作業中ニシテ猶一基建設中ニ屬セリ又最近(一九一三、四年)頃我邦ヨリ借入レタル千五百萬圓ノ内九百萬圓ヲ以テ大冶ニ熔鑪二基(容量四百噸)建造ス同工場使用職工ハ製鋼部其ノ他ヲ合セテ常雇苦力共ニ約三千人技師二十八人内外國人五名ナリ而シテ支那ニ於ケル製鋼裝置ハ漢治洋公司漢陽工場ニ在ルノミナルカ現在「マルチン式」溶鋼爐六個ヲ有ス一個ノ容量三十噸一日二回半ノ作業ヲナシ得ルヲ以テ一個一日ノ生産力七十五噸ノ鋼ヲ製造シ得ヘシ現在製造セルモノハ支那各省鐵道用材料中軌條ヲ第一トス

鐵工業

漢口地方ニ於ケル鐵工業ニ就テ見ルニ小規模ノモノハ各所ニ散在シテ枚舉ニ遑アラサルモ規模稍大ナルモノハ楊子江機械製造有限公司ナリ同廠ハ明治四十年ノ創立ニ係リ資本金三十萬兩ヲ擁シ專ラ橋梁、車輛、小蒸汽船、小型汽船、萬足船等ヲ製造ス楊子機器製造有限公司ノ外鉅合昌機器鐵廠冠昌機器廠周恒順鐵工廠周鴻順鐵工廠、鄂義興鐵工廠、廣益公司鐵工廠等アリ外國人營營ノモノニ日本人經理ノ櫻井鐵廠及獨逸ニ國籍ヲ有スル機昌機器廠アリ此ノ外鐵道附屬工場トシテハ京漢鐵道ニ屬スルモノニ漢口江岸機器廠(馬

ニ之カ海外輸出ニ當リテハ先ツ品位ヲ分別均一ナラシメ置ク必要アリ從ツテ近年牛脂ノ海外輸出増加スルニ及ヒ輸出商ハ自ラ沈澱釜ヲ用ヒ又ハ石鹼業者ヲ以テ夾雜物等ヲ除却シ石油空罐ニ裝填シテ品位ノ均一ニ努メツ、アリ

皮油

皮油ハ其固來ノ荷造ニテハ輸出ニ適セサルノミナラス歐米ノ商習慣カ遊離脂肪酸三分ニ止ルヲ以テ條件トスルカ故ニ囊入ナルト裸荷タルヲ論セス一旦之ヲ溶解シテ夾雜物其他ヲ除却シテ輸出向荷造ヲ改ムルノ必要アリ從ツテ皮油ヲ海外ニ輸出スルモノハ皆沈澱釜ヲ準備シ一定ノ型成器ヲ用意シ居レリ

木油

木油ハ柏樹ノ果肉ト種子トヨリ製造シ淡黃色ヲ呈スル不乾質軟柔ナル凝結體ナリ蠟燭ノ原料トナル

梓油

梓油ハ柏樹ノ種子ヲ搾リテ製シタルモノニシテ暗黃透明ノ不乾質流動體油ニシテ重ニ燈油トシテ使用セラル

胡麻油

麻油又ハ芝麻油ト唱ヘ又處ニ依リ其ノ名稱一ナラスト雖一般ニ麻油トシテ通セサルナシ胡麻ヨリ搾取シタルモノニシテ主要食油ノ一ナリ湖北ニ於テハ所在産出ヲ見レトモ品質優良ニシテ産額大ナルヲ河南トス 河南省ノ陳州(周家口)ヲ其主産地ト爲ス鐵道貨物トシテ漢口ニ搬出セラル

茶油

茶油ハ「オリーブ」油屬ニシテ Camellia Japonica ニ屬スル山...

落花生油

落花生油ハ生油トモ稱シ落花生ヨリ搾取シタル油ニシテ本...

タリ又支那ニ於テハ主トシテ食用ニ供シ即チ油搦トシ又...

Table with columns: 工場名, 所在地, 國籍, 産, 額. Lists various oil refineries and their production details.

支那ニ於ケル硝子業ノ發生ハ極メテ古ク前漢時代ノ記録ニ...

據レハ武帝ノ頃既ニ硝子工場アリタリト云フ或ハ紀元前六...

日本炭ヲ用ヒ一日用量二十四噸ナリト木工場ハ熔爐ニ不完...

Table with columns: 工場名, 所在地, 國籍, 一日ノ製造高. Lists glass and other industrial plants.

未タ熟練セサル所アルヲ以テ單吹作業ハ主トシテ本邦人ノ
司ルノ觀アリ從テ本邦單吹職工ノ勞銀ハ日本内地ニ比シ
五割乃至七割方高値ナリ勞銀其他ノ點ニ於テ生産費本邦内
地ヨリモ割高ナル場合甚タ多クモ運賃嵩且ツ輸送中
破損シ易キ品物トテ支那製品ハ此ノ點ニ於テ充分本邦品ノ
競争ニ打勝テ得ル望アリ而シテ單工業ノ將來ニ就テハ必ス
シモ樂觀スヘキニアラス日ヲ遂フテ單吹技術ニ熟練セル支
那人職工ノ發生ヲ見ルヘク現ニ當地方ニ於テハ本邦人ノ二
工場ニ對シ支那人ノ二工場ノ相對立スルモノアリ其製造高
ニ於テハ今日彼ハ我ノ比ニアラストスルモ支那人勞働者ノ
爲メニ自ラ驅逐セラル、コト南支那各地ニ於ケル如クナル
ノ時アラサルカ

板硝子製造業

支那ニ於ケル洋式作業ヲ以テ板硝子ノ製造ヲ試ムルニ至リ
シハ彼ノ日露戰爭後利權回收時代ニ發生セルモノニシテ武
昌耀華玻璃公司ノ如キ之カ目的ヲ以テ設立セラレタルナリ
然レトモ該公司ハ設立以來經營困難ニシテ遂ニ源潤錢莊破
産ノ結果本工場ハ差押ヲ受ケ今日休業中ナルコト上述ノ如
シ

硝子器製造

硝子器ノ製造ハ技術困難ナルト最モ需要多キ小型物ハ本邦
製品ノ價格ニ對スル運賃負擔率類ニ比シ遙カニ低廉ナル
ヨリ之カ競争ヲ被ムルコト甚シク從ツテ硝子原料ノ產出ア
ル山東省、廣東省方面ニ於テハ稍ヤ發達セルモノアルモ當

地方ニ於テ何等見ルヘキモノナシ

硝子製造業ノ將來

漢口地方ヲ始メトシ支那各地ニ涉リ小規模ノ硝子工業ハ起
倒常ナカリシトハ言ヘ漸次發達ノ大勢ヲ有シ着々好果ヲ齎
シツ、アルニ反シ板硝子ノ製造ヲ目的トシタル工場ハ武昌
耀華公司ヲ始メ孰レモ失敗ニ終リタリ然レ共今ヤ時局ノ影
響ヲ受ケ板硝子ノ市價奔騰シ一方國產獎勵ノ聲全國ニ充テ
リ故ニ本工業ノ將來ニ就テモ深キ注意ヲ拂フノ要アルナリ

製茶業

支那ニ於ケル磚茶ノ製造ハ其歴史極メテ古シ宋代宮中ニ獻
納セラレタル茶ハ其形團片ニシテ上面ハ金箔ヲ以テ龍鳳ノ
形ヲ模寫セリト云フ是レ後世茶ノ名稱ニ龍又ハ鳳アルモノ
少カラサル所以ニシテ團片トハ磚茶ノ一種ナリシヤ明ナリ
又史ニ據レハ宋代元豐年間面戎ノ馬市ニ於テハ既ニ磚茶ヲ
以テ馬ニ換ヘタリト而シテ最初ニ支那式磚茶製造法ニ改良
ヲ加ヘタルハ福州ニ於ケル磚茶製造業ニシテ一八六一年福
州港カ開カル、ヤ間モ無ク同地茶商中英國ヨリ磚茶製造機
械ヲ輸入シ新式操業ヲ以テ大規模ノ製造ニ着手セルモノ數
年ナラスシテ三工場ヲ算ヘタリ而シテ漢口ニ於ケル磚茶製
造ノ歴史ハ詳ナラサレ共日清戰爭以前富方面ヨリ磚茶ノ輸
出少カラサルニヨリ推セハ露國人ハ外國人カ支那ニ於テ製
造業ヲ營ム權利ナカリシ下關係約締結前早クモ既ニ漢口ニ
於テ宏大ナル磚茶製造工場ヲ設立シタルモノ、如シ斯ノ如
ク漢口ニ於ケル磚茶製造業ハ主トシテ露國人ノ經營スル所

ナルカ同國人ノ製造工場三ヶ所支那人ノ開設セルモノ一ナ
リ今漢口ニ於ケル磚茶製造工場ヲ掲クレハ左ノ如シ

工場名	所在地	國籍	一日ノ製造高
興商磚茶廠	漢口礪口	支那	磚茶 三百擔
新泰磚茶廠	漢口露租界	露國	同 四百擔
阜昌磚茶廠	漢口英租界	同	同 四百八十擔
順豐磚茶廠	漢口露租界	同	同 七百擔

冷肉製造業

英國ニ國籍ヲ有シテ一九〇九年ノ創立ニ係リ當地獨逸租界
ニアル和記洋行 (International Export Co.) ハ漢口ニ於ケル
唯一ノ冷肉製造場ナリ同工場ノ資本百五十萬兩ノ内三十萬
兩ハ工場ニ固定セリ其ノ製品ハ牛、豚、鶏、鷄卵等ノ凍製
品ナリ即チ同工場ハ此等ノ家畜、野鳥類ヲ屠殺シテ之ヲ冷
藏庫ニ貯藏シ一部ヲ水詰トシ一部ハ罐詰トス原料ハ中部支
那各地ニ互リテ廣ク之レヲ求ム原動力八百馬力「ボイラー」
三本ヲ有ス機械ノ數打蛋房二ヶ所、機器房一、水蛋房一、蛋
白黃入レ鐵箱製造所一、殺獸房二、鐵罐箱製造所一、寫字
房一ナリ其職工ハ約三百人但シ材料ノ蒐集如何ニ依リテハ
一時停工シ蛋白製造業ニ從事ス男女殆ント相半ス常備男工
ノ賃銀一ヶ月十三、四元内外然ラサルモノハ一日約四百文
乃至六百文ナリ尤モ業務ノ難易ニ依リテ其差アリ女工ハ一
日百四十文ナリ而シテ一日ノ鷄卵使用高四百擔及牛、豚、
鷄、鴨各肉凍製高年額約二百萬兩ニシテ倫敦ニ多ク需要セ
ラル該工場ハ敷地三千坪新一九一六年ニ擴張工事ヲ完了

シ宏大ナル建物ナリ楊子江増水期ニ一年四回航洋汽船ヲ湖
江直接ニ倫敦ニ送ル一回ノ荷約五、六千噸ト云フ此ノ汽船
ハ特別ノ裝置ヲ有シ船内ニ冷藏庫ヲ有シ牛、羊、豚、鹿等
ノ大ナル肉ハ其儘此中ニ貯ヘ家畜、野鳥及卵等ノ小ナルモ
ノハ石油罐大ノ罐詰トナシ輸出ス當會社ハ世界ニ二十二ヶ
所ノ支店ヲ有シ本店ハ倫敦ニアリ本企業ハ從來外人ノ手ヲ
染メサル新事業ニシテ將來大ニ望ヲ囑スヘキモノナリ殊ニ
歐洲ハ支那ニ於ケル各種肉類ノ價格ト其差異甚シキヲ以テ
非常ノ有利事業トス然レ共嘗テ英國ニテ輸入肉ニ關シ一大
悶著ヲ起シタルハ全ク本會社ノ支那ヨリ輸入シタル肉ナリ
キ是レ河南產ノ豚飼養ハ甚タ非衛生的ニシテ頗ル恐ルヘキ
モノアリ到底支那豚ニ對スル英國ノ批難ヲ解クニ由ナシ鷄
鴨ハ英國ニ於ケル需要ニ適セス野獸ハ品薄トナリ鷄ハ英人
ニ恐レラレル觀アリテ之ヲ食スル者殆ント無シト然レ共現
今當會社買占メノ爲メ漢口ヲ中心トシテ楊子江沿岸上一
流ニ於ケル食用肉及卵類ハ二割乃至三割ノ騰貴ヲ見タリト
云フ

蛋白工業

沿革及現狀

漢口地方ニ於ケル蛋白製造工場ハ漢口ニ六ヶ所漢陽ニ一ヶ
所アリ(此ノ内歐戰勃發以來操業中止ノモノアリ)皆外國人
ノ經營ニ係ル原料ハ家鴨卵、鷄卵ヲ併用スレトモ各工場共
ニ家鴨卵ノ消費量ハ鷄卵ヨリモ多シ各工場ノ名稱設立時期
國籍產額職工數所在地名等ヲ記セハ左ノ記シ

工場名稱	設立期	所在地	國籍	一日産額	職工數	計
三菱公司 經營蛋廠	一九一八年	支那街	日本	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六
公興蛋廠	一八九三年	佛租界	佛蘭西	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六
美最時蛋廠	一八八七年	同	獨逸	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六
元亨蛋廠	一八八九年	三碼頭	同	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六
禮和蛋廠	一八八七年	大智門	同	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六
和盛蛋廠	一八九一年	漢陽	奧國	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六
瑞興蛋廠	一八九一年	日租界	同	蛋白二箱 蛋黃六箱	男工一六〇 女工一六〇	四六

各製造場ハ何レモ規模サマテ大ナラス一萬元内外ノ資本ヲ有シ百名内外ノ職工及人夫ヲ使役ス各工場一日ノ産額ハ前記表中ニ示ス如クナレト夏季七、八ノ兩月及其ノ他普通休日等アレハ當地ニ於ケル一年ノ産額ハ六千箱ヲ越エサルヘシ一箱トハ重量約百斤アリ家鴨卵二萬四千六百四十四個ヲ費シテ得タル者ニシテ尙之ヨリ蛋白質ノ外三樽(三百八十斤)ノ蛋黃ヲ得ヘシト云フ蛋白一箱約七、八十兩、蛋黃一樽三、四十兩(素ヨリ本相場ハ平時ニ於ケルモノナリ)ノ價格ヲ有シ重ニ英、佛、獨等ノ諸國ヘ輸出シテ藥料、菓子、ノ原料ニ供セラル職工ノ賃金ハ男工一日百四十文乃至二百文、女工八十文ヨリ百四十文乃至二百文ナリ

生産額及原料

蛋白ハ國內ニ於ケル需要皆無ナルヲ以テ其ノ輸出額ヲ直ニ製造額ト見做スヲ得ヘシ支那全體ヲ通シ最近三ヶ年間ノ平均輸出額ハ蛋黃ヲ加ヘタルモノ約十三萬擔ナレハ蛋白及蛋黃トノ比ヨリ推算シテ年産額ハ凡テ一割四分即チ一萬八千擔ト見ルヲ得ンカ

支那ニ於ル養鶏ハ農家ノ副業ニシテ一家四五羽ノ鶏ヲ飼養セルニ過キサレ共鶏卵ヲ食用ニ供スル事ナキヲ以テ市場ニ集ル數量ハ頗ル巨額ニ達シ而カモ其ノ價格甚タ低廉ナリ本工業ノ最盛ナル漢口ニテハ鶏卵百斤ノ相場ハ歐戰前ニ於テ平均十二、三元ヲ示セリ鶏卵百斤ノ箇數ハ當地方ニ集ルモノニ於テハ約一千四百個アリ即チ一個目方平均十一、四分三厘皮殼ノ目方平均一、四分五厘ニ當ルヲ以テ之ヲ差引ク

時ハ正味九分七分八厘トナル之ヲ蛋白、正黃ニ分類スレハ
 蛋白 約四割ナレハ 三、九分一厘二毫
 蛋黃 約六割ナレハ 五、八分六厘八毫

其ノ内乾燥蛋白タルヘキ重量ハ液體蛋白ノ約九割ナルヲ以テ一擔ノ乾燥蛋白ニ要スル鶏卵ノ數ハ約四千六百個トナル勘定ナリ此ノ說ニ依レハ年産額一萬五千擔ニ達スル原料鶏卵ハ之ニ平均約二分五厘ノ腐敗卵ヲ加算シテ約七千百萬個トナル

製法

乾燥蛋白ノ製造方法ハ外國人經營工場ニテハ秘密ニ附スルヲ以テ調査スルノ便宜ヲ得サレハ支那人工場ニ於テ行ハルルモノニ就キ略記スヘシ支那人工場ニ於テ行ハルルモノハ頗ル簡易ナリ即チ先ツ卵ノ腐敗セルヤ否ヤヲ驗シタル後女工ノ手ヲ以テ蛋黃及蛋白ニ分離シ蛋白ハ之ヲ鐵鍋中ニ入レ棒ヲ以テ攪拌シ槽中ニ納メ數日間貯藏醱酵セシメ醱酵ト共ニ不純物ハ白泡トナリテ槽ノ上面ニ浮遊シ來リ蛋白ハ粘着力乏シキ透明ナル水トナリテ弱キ酸性反應ヲ呈スルヲ待チ之ニ少量ノ「アムモニヤ」ヲ加ヘテ中和シ然ル後薄キ「ガラス皿」鍋ニ移シ蒸氣管ヲ以テ加熱セラレタル室ニ入レ乾燥セシムル者ニシテ乾燥ト共ニ「アムモニヤ」ハ發散シ盡シ蛋白質ハ薄黃色ヲ呈スル乾皮トナリ殘留ス之ヲ碎キ約百斤入ノ箱詰トナシ輸出ス其ノ副産物タル蛋黃ハ普通少量ノ硼酸ヲ加ヘ防腐シ樽又ハ石油罐詰トナシ其ノ儘輸出スルモノトス蛋黃ヲ乾燥セシムル時ハ約五割ノ重量ヲ減少スト云フ

蛋白工業ノ將來

支那ニ於ケル蛋白、蛋黃ノ乾燥工業ハ鶏卵ノ腐敗ヲ防止シ水分皮殼不要部分ニ對スル運賃ノ削減並荷造費ノ減少ヲ目的トスルモノニシテ支那ノ如キ鶏卵廉價ナル地方ニ在リテ本工業ヲ興シ其ノ製品ヲ世界各國ニ供給スルコトノ有利ナル事業ニシテ其ノ將來ハ需要ノ増加ニ伴ヒ漸次發達ノ運命ニ在ルヘキコト勿論ナルモ但シ本邦人ノ事業トシテハ稍ヤ困難ナル事情存セサルニアラス即チ

少ナル事

一、支那國內ニ於テ需要ナク本邦ニ於ケル需要モ亦頗ル僅
 二、在支那外國人經營蛋廠ハ皆特殊ノ操作ヲ以テシ其ノ生産費ハ普通ノ方法ニ據ルモノニ比シテ低廉ナルノミナラズ販路ハ歐洲諸國ナルヲ以テ製品販賣上ノ便宜モ亦遠ク及ヒ難キモノアリ

水道及電燈業

支那ニ於ケル電燈事業ノ趨勢ヲ見ルニ一八八九年香港電燈會社ノ設立ヲ以テ支那ニ於ケル電氣事業ノ嚆矢トシ以來一
 九〇一年ニ至リ漸ク上海ニ於テ現今ノ共同租界工部局電氣事業ノ開始ヲ見タルノミニシテ電氣事業ノ企圖ハ極メテ稀ナリシカ一九〇一年以後其ノ他ノ開港都市ニ設立ヲ見テヨリ漸次各都市立ニ設立セラレ今ヤ各鐵道會社鑛山其ノ他ノ

ニシテ供給燈數八千七百五十「キロワット」發電力ヲ有ス
而シテ供給範圍ハ英租界、露租界、佛租界ニ互レリ

美最時洋行電燈部

漢口獨逸租界ノ美最時洋行ノ電燈部「ハメルクヘル」氏ノ
經營スル所ニシテ馬力二百二十ヲ有シ二百「キロワット」ノ
發電力ヲ有ス燈數ハ獨逸租界及支那街ニ互リ約六千個ヲ供
給シツ、アルモ其ニ使用スル材料ハ悉ク獨逸製品ナリ

漢口商辦既濟水電公司

漢口商辦既濟水電公司ノ所在地ハ漢口支那街ナリ馬力二百
二十ヲ有シ三千燈強ノ電燈ヲ供給シツ、アリ漢口商辦既濟
水電公司ハ其ノ名稱ノ現ハス如ク電燈供給ト共ニ水道業ヲ
兼營シツ、アリ抑モ該公司ハ光緒三十四年宋偉臣ノ創立セ
シモノニシテ其ノ頭初ノ豫定ハ資本銀六百萬兩一株(十元)
ヲ以テ株式組織トナシ其ノ株式募集方法ハ兩湖總督ヨリ官
銀三十萬元ノ出資ヲ仰キ殘額ハ之ヲ一般民間ヨリ募集シテ
設立經營シ一切ノ不足ヲ外資ニ依ラサルコト、セリ然レト
モ最初ノ豫算ハ事業ノ進捗ト共ニ續々不足ヲ來シテ遂ニ日
本興業銀行ヨリ五拾萬圓ノ借款ヲ起シテ漸ク逐年増資ノ結
果ヲ結ヘリ斯クシテ一時日本興業銀行トノ借款ニテ事業ヲ
繼續シタルモ更ニ増資ノ必要ニ迫リ東亞興業會社ヨリ百五
十萬圓ヲ借款セリ本借款ハ一九一五年十一月ヲ以テ償還期
限トナリタレハ再ヒ東亞興業ニ對シ依然年九朱建物資產全
部ノ擔保ニテ十年借款繼續ト決セリ猶同公司ノ事業ハ前
記ノ如ク供水及供電ニシテ水ハ支那街及各租界ニ供給シ電

燈ハ重ニ支那街ニ限ラレ十六燭光二萬五千個ニ及ヘリト云
フ生産額ハ汲水力一時間三十六萬瓦一日貯水量五百萬「ガ
ロン」用水料一ヶ月一人二十仙電燈五百「キロワット」發
電機三臺ヲ有シ工場敷地一萬五千五百五十七方四尺七寸ニ
シテ電線延長十五萬七千四百餘碼ニ及フ

印刷業

漢口第一ノ印刷工場ニシテ而モ邦人經營ニ屬スルモノニ崇
文閣印刷廠アリ本廠ハ東京凸版株式會社ノ支廠トシテ一九
〇七年五月設立セラレタリ當時ハ使用職工全部日本人トナ
シ其ノ數四十八人ニ及ヘリ而シテ現在ノ如ク石油「エンヂン」
ヲ使用セザリシヲ以テ使用日本人ノ數モ亦現在數以上ニ在
リシカ勞銀廉キ支那ニ於テ全部日本人ヲ使用スルノ不利益
ナルコト分明セル結果一九〇九年九月崇文閣印刷廠ト改稱
スルニ至リ日本人ノ數ヲ減シ石油「エンヂン」ヲ使用スル
ニ至リタリ其ノ後一九一三年五月高昌公司ノ手ニ移リテヨ
リ各部々長ニ日本人ヲ採用シ其ノ下ニハ全部支那人ヲ使用
シ作業スルコト、ナレリ而シテ現在ノ使用人數ハ各部々長ヲ
除キテ支那人五十名ヲ算ス今各部別並機械數ヲ掲クレハ左
ノ如シ

- イ、活版部
ハンドプレス 一臺
- ロ、印刷部
凸版印刷機 二臺 石版ローレル 一臺
活版印刷機 一臺 フォートプレス 三臺
ハンドプレス 四臺

ハ、石版部

石版ハンドプレス五臺 石版ローレル 一臺

ニ、用紙部

四六全版斷截機 一臺 四六半斷截機 一臺

雜誌綴機

一臺 ボツテング 二臺

ルーリング

二臺 斷截磨刀機 一臺

ホ、製本部

フレックス機 三臺

ヘ、鉛版部

紙型及鉛版製造用機 一式 活字鑄造機 二臺

ト、電胎部

電氣銅版製造機器 一式

此ノ外一九一四年末迄ハ「コロタイプ」モナシ居タレトモ
此ノ種ノ需要少キニ依リ其ノ後殆ント休業同様ナリト云フ
然シ乍ラ依然同機器並職工アルヲ以テ唯々休業同様ナリト
云フニ止マリ必要ニ應シ何時ニテモ作業ヲ開始シ得ル手筈
ニ在ル由ナリ而シテ從業時間ハ午前八時ヨリ午後六時迄ト
シ正午ヨリ午後一時迄休業スルヲ以テ一日労働時間ハ九時
間ナリ猶一ヶ月第一、第三日曜ハ之ヲ休日トナス
一般營業成績ハ高昌公司經營トナリテヨリハ常ニ好成績ニ
シテ活版部ノ如キハ多ク規定作業時間以上ノ居殘リヲナシ
ツ、アリ特ニ日本人經營ニシテ而カモ規模大ナル印刷廠ハ
漢口ニ於テハ他ニ類ナク一面ニ於テ輿地ニ印刷所アラサ
ルコトハ相俟ツテ崇文閣印刷廠ノ好成績ヲ得ツ、アル所以
ナリトス加之同廠印刷費ハ他ノ支那人經營ノ印刷廠ニ比シ

價廉ナルト仕上ケノ奇麗ナルトハ又因トナリ果トナリ同廠
ノ營業狀態ヲシテ益々好成績タラシメツ、アリ革命戰爭ノ
前後ヨリ支那人ノ思想風俗ニ一大變化ヲ來シ印刷物ニ對ス
ル感情モ自ラ異ナリ特ニ印刷物ヲ利用スルノ傾向著シキモ
ノアレハ邦人經營事業ノ一トシテ有望ナル將來ヲ有スルモ
ノナリト云フヘシ

麻布業

支那ハ潤澤ナル原料麻ノ產國ニシテ自國ノ消費ヲ滿シテ尙
毎年多額ノ海外輸出ヲナシツ、アルカ繭ヲ支那内地麻工業
ノ現狀如何ヲ見ルニ今日尙頗ル幼稚ノ域ヲ脱セス新式方法
ヲ以テ斯業ノ經營ニ從事シ得ルモノハ僅ニ麻袋布ノ製織ヲ
目的トスル少數會社ヲ見ルニ過キス衣服地用麻布ノ製織ノ
如キハ全ク家内工業トシテ營マレ居ルノ現狀ナレハ到底歐
米諸國ニ於ケル如キ進歩セル精品ヲ製出シ能ハサルハ勿論
近ク歐米斯業ノ程度ニ進ムヘシトハ想像タニ爲シ得サレ共
支那斯業モ適當ナル機械ヲ使用シ化學作用ニヨリ纖維ヲ改
良スルニ於テハ其ノ發展必ラス著シキモノアルヘク剥皮ノ
如キモ人工仕上法ハ操作極メテ簡單ニシテ用器ノ如キ亦單
純ナル器具ニテ事足リ殆ント代金ニ價セサル程ノモノナル
モ之ヲ農事經濟ノ裏面ニ立入り精算スルニ於テハ一時ニ全
部ノ原料ヲ收穫スル能ハスシテ遂ニ收穫時期ヲ失スル等ノ

結果ヲ來シ結局不經濟タルヲ免レサレハ寧ロ彼ノ佛國「フ
ラール」式型剝皮機等ヲ使用スルヲ優レリトスヘシ
尤モ支那ニ於テモ武昌官立製麻局及廣東ノ練麻紗製布公司
ニテ機械紡糸ヲ行ヒ不幸失敗ニ終レルモ之レ全ク使用機械
適當ナラサリシト事業ノ方法宜シカラサリシ爲ニシテ支那
ニ於ケル多クノ機械工業ノ不成績ニ終ルト略其ノ原因ヲ同
ウスルモノナリ

麻布ハ支那ニテハ通例夏布ト稱シ夏季一般ノ衣料トシテ廣
ク需用セラレ尙每年外國ニ多額ノ輸出ヲナシツ、アリ本品
ノ製造ハ未タ工場工業ニヨルモノナク多クハ家内工業トシ
テ地方各戸婦女子ノ手ニ據リ専ラ農業ノ副業トシテ製織セ
ラル、モノナリ
支那ニ於ケル麻布ノ特產地トシテハ廣東、福建、江西、湖
南、四川ノ五省ヲ以テ第一トシ江蘇亦可ナリノ製産アリ此
ノ外湖北省、河南省、廣西省等ニモ産出アリト雖モ其ノ額
大ナラス内最有名ナルハ江西省、廣昌縣、萬載縣、廣東省、
揭陽縣、湖陽縣、湖南省、瀏陽縣トス概シテ品質ハ江西、
廣東兩省ヲ第一トシ湖南福建兩省ヲ二位四川及江蘇産ヲ最
下位トセラル此等諸省ニ製産セラル麻布ハ年額果シテ幾
何ニ達スルヤハ明示シ能ハサルトモ全國合計約四百萬兩内
外ト見レハ大差ナカルヘシ夏布ハ支那ニ於テ唯一ノ被服用
タル麻布ニシテ此ノ舊來ノ土法ニ依ルモノヲ除キテ新式麻
布製造工場トシテハ唯一武昌ノ楚興廠アルノミナルモ目下
停止ノ状態ニアリ而シテ帆布製織業ハ天津方面ニ於テ可ナ
リノ工場アリ次ニ麻袋布ノ製造工場ハ大連、天津、上海及

武昌ニ各一工場アリ其ノ中天津武昌ノ二工場ヲ除キテハ尙
準備中ニシテ開辦ノ運ニ至ラス而シテ天津ヲ除ク二者ハ何
レモ日本人經營ニ係ル新式ノ株式會社ナリ

楚興公司製麻廠

本廠ハ武昌四工場ノ一ニシテ一八九三年張之洞ノ富國策ト
シテ武昌、文昌、門外、江岸ニ設立サレ官業トシテ開辦セ
ラレタルモノニシテ支那官業ノ通弊タル冗員、冗費ノミ嵩
ミ經營上成績見ルヘキモノナク約十年間缺損ヲ續ケ一八九
〇年ニ至リ廣東商人（當時香上銀行ノ買辦）鄂某張之洞ト
ノ間ニ熟議ヲ重ネシ結果同年八月一日ヨリ向フ二十年間一
年十二萬五千元ノ粗金ヲ以テ借受ケ應昌公司ヲ組織シ之ヲ
引受ケ運轉セリ次テ大維公司ノ經營ニ歸シ革命後更ニ鄂裕
公司ノ手ニ歸ス然ルニ新舊經營者間ノ貸借關係ヨリ紛爭ヲ
重ネ遂ニ鄂裕ノ權利ハ取消シ大維ノ損害ハ政府ノ力賠償ヲ
ナス事トシ應昌及大維ノ兩公司妥協ノ上合同租借スルニ決
シ其ノ代表者タル劉章ノ二人協議ノ上新ニ楚興公司ナルモ
ノヲ組織シ資本ヲ百三十萬兩ト定メ應昌カ前ニ投下セル資
本四十萬兩ハ之ヲ新公司ノ株ニ組入レ更ニ三十萬兩ヲ募集
シ流動資本トナシ一九一三年ヨリ製麻ヲ除ク三廠ハ運轉セ
ルモ製麻ノミ依然作業ニ至ラス製麻廠ハ現ニ尙休業中ナル
カ曾テ一九〇四年十一月本邦ヨリ技師及男女職工ヲ聘シタ
ルコトアルモ間モナク解僱セリ而シテ一九〇五年中ハ工場
ノ整理機械ノ据付手入等ニ忙殺セラレ二、三機械運轉セシ
モ唯試験的ニ麻糸紡績ノ業務ヲ開始シタルニ過キサリシカ
一九〇六年度ニ入りテ技師モ手揃ヒ支那職工モ稍ヤ熟達シ

其ノ年ヨリ大ニ本業ヲ經營スル計劃ニテ第二工場ノ完備ス
ルヲ俟テ該工場ニテハ專ラ漢口ニ多額ノ需用アル麻袋ノ製
造ニ着手スル目論見ナリシモ其ノ後種々ナル障礙ノタメ何
等思ハシキ成績ヲ擧ケ得ス遂ニ運轉ヲ停止スルニ至レリ今
製麻廠第一工場及第二工場ニ於ケル諸設備ヲ示メセハ左ノ
如シ

種 類	機 械 數	摘 要
第一工場		
動力機	一臺	百五十馬力(實馬力)
同	三臺	各八十馬力
唧	三臺	汽罐三本
四百燈機械	一臺	
原麻漂白機械	九臺	
銅製バツク	九個	染色用
紡績機械	六六臺	
施	五臺	
木旋盤	二臺	
鋸機	一臺	
製維機	五四臺	
製系機其他	一九臺	
化工機械	二〇臺	ローラ糊付輻出シ其ノ他
第二工場		
汽罐	二本	
唧筒	二臺	
木旋盤	二臺	

動力機 一臺 三百馬力

紡績機械 三八臺

製織機及附屬品 四二臺

製品ハ「ラミー」糸及之ヲ原料トセル織物ニシテ洋服地、
襯衣地「テンプル」掛「シート」、「ナフキン」、「タワール」等ニ
供スヘキモノニシテ一日ノ製造高ハ麻糸三百斤(八十番手
ヨリ百四十番手迄)麻布ノ製産全能力ハ七十疋(一疋ノ長
サ十丈)ト稱スルモ平均五百碼内外ナリト云フ第二工場ニ
於テ製造セントスル麻袋ハ元來頗ル有望ナル事業ニシテ此
ノ國農產品ノ輸出増加ニ伴ヒ逐年其ノ需用増加セントスル
ノ前途ヲ控ヘナカラ前記新式二工場(大連及上海)ノ現ハ
レタル際ニ頓挫シタル儘停業シ居ルハ頗ル遺憾ト云フ可キ
ナリ

製粉業

概 說

支那ニ於ケル機械製粉業ハ一八九五年(光緒二十一年)以後
即チ日清戰以後ニ勃興ニセルモノニシテ紡績工業ト共ニ
支那人經營ノ新式工業トシテ最モ好成績ヲ擧ケ來レルモノ
ノ一ナリ前者ノ外人經營工場多キニ對シ製粉工場ニ於テハ
頗ル小數ノ外人工場ヲ見ルノミニテ大部分ハ支那人經營タ
ルノミナラス比較的好成績ヲ擧ケツ、アルハ大ニ注意ニ値
ス

獨リ製粉業ニ限ラス有ユル製造工業ハ民國革命ヲ機トシテ
國貨愛用ノ提唱裏ニ翕然トシテ勃興シ殊ニ歐洲開戰以來歐
米ノ供給一大制限ヲ加ヘラレ、或モノハ全然輸入杜絶セル

ヨリ茲ニ支那官民識者ハ從前ノ形式提倡論ヲ脱シテ眞面目ナル自覺ニ入り自國工業ノ振興ヲ獎勵スルノ必要ヲ高唱シ資本家又之ニ呼應シテ續々企業ニ從事シタルヲ以テ諸種工場ノ出現日ト共ニ増加スルニ至レリ本業ノ如キモ革命後設立セラレタルモノ頗ル多ク現ニ設計中ノモノモ少ナカラサレトモ大戰ノ爲機械ノ收得困難ヨリシテ止ムヲ得ス計劃ヲ中絶セルモノ少ナカラスト云フ

漢口ニ於ケル製粉業

支那人ノ米ニ對スル嗜好ハ割合ニ執拗ナラス米、麥相互ノ轉換頗ル容易ニシテ日常米食ヲ缺カサル米產地域ト雖一日一食ハ小麥製品ヲ取ルモノ頗ル多シ斯クノ如ク小麥粉ハ支那人ノ主食物ナルヲ以テ之カ製造ヲ目的トスル洋式製粉工場頗多ク現ニ漢口ノミニテモ六工場ヲ算ス而シテ漢口ニ於ケル洋式製粉會社ノ創始ハ一九〇五年ニシテ即チ和豐麵粉公司成立ヲ告ケタル時ニ在リ翌一九〇六年ニテ金龍麵粉公司ノ成立ヲミ越ヘテ一九〇七年ニハ我カ東亞製粉株式會社ノ開業ヲ見タルモ其ノ後火災ノ爲燒失シ遂ニ製粉業ヲ中止スルニ至レリ現今ハ當地ニハ我カ製粉工場ナク漢口製粉場裡ハ支那人ノ獨擅場タル觀アリ

裕隆機器麵粉廠

本工場ハ一九一〇年ノ設立ニ係リ一度倒産シタルガ後再ヒ開業セルモノニシテ舊名ヲ恒豐ト稱ス其ノ位置ハ羅家店ニアリ株式組織ニシテ名義ハ英支合同ナルモ盡ク支那人ノ民資ニ依ル固定資本二十萬兩ナルモ其ノ流動資本ハ知ル由ナシ使用原料ノ供給地ハ湖北、湖南、四川、河南產等トシ本

ノ使用職工數ハ一定セズ小麥一石ヨリ麥粉ヲ得ル量ハ小麥ノ品質ニ於テハ異ナルモ約六十斤乃至七十斤トシ麩子二十斤乃至二十七、八斤トス需用先ハ當地及揚子江一帶又ハ上海ヨリ南北支那ニ輸送セラレ上流ハ湖南南ノ長沙常德湖北ノ岳州沙市方面トス

金龍機器麵粉廠

本工場ハ廣東人ノ創立セルモノニシテ光緒三十二年(一九〇六)株式組織ヲ以テ佛租界ニ開業セリ固定資本二萬兩流動資本三萬兩アリ使用原料ハ河南ヨリ汽車ニテ來ル小麥ヲ用ユルコト便利ナルモ之ハ運賃高ク且ツ地方人民ノ食料トシテ用ヒラル、故其ノ多量ヲ得ル能ハス使用機械ハ佛國式ニシテ「ローレル」九臺ヲ用ヒ使用職工約四人尤モ一定セラルニアラス其必要ニ應シ増加ス又晝夜運轉ト十二時間運轉トアリ一定セズ本工場ハ他ニ比シ運轉不便ノ爲自然生産費高カルヘク尙外ニ雇外人アリト云フ

和豐麵粉公司

本工場ハ漢口市ノ西方約一里ナル羅家店ニアリテ一九〇五年四月開業セリ英國會社トシテ香港ニ登記セシモノナレ共株主ノ多クハ支那人ニシテ二、三ノ英商ト獨商トヲ混スル内外資本ヲ以テ成立セルモノナリ初メ登録セル資本額ハ銀七萬五千弗ナリシカ其ノ後十萬弗ニ増資セリ工場敷地ハ約一千一百方(此購入價格一千五百兩)工場倉庫、事務所及住宅等一式ノ建築物購入價格二萬五千兩又汽鐘機械、發電機等製粉機械ノ購入價格二千五百磅即チ約二萬兩ニシテ其ノ他附屬機械一式一萬弗之ニ雜用一千六百五

工場ノ生産額ハ晝夜運轉ニテ八百袋(機械ノ限度ハ一千袋迄)ニシテ原動力ハ二百馬力機關ニヨリ製粉器械ハ英國式「ローレル」臺ヲ用ヒ其ノ使用職工數一定セズ約六、七十名ナリト

漢豐機器麵粉廠

本工場ハ國籍ヲ支那ニ有シ和豐ヨリ下流十五、六町ノ所ニアリ其ノ資本固定セルモノ約三十萬兩ニシテ流動資本約十八萬兩、借入金二萬兩、合計約五十萬兩ト稱ス其ノ製品ハ小麵粉ニシテ使用原料ハ專ラ之ヲ湖北省内ニ仰クモ尙河南江西、四川ヨリモ供給ヲ仰クコトアリ其ノ原產地ノ主ナルモノヲ樊城府河流域方面及黃州府及平江等トス尙工場ニ於テハ多ク用ヒサレトモ河南小麵ノ集散地ハ漯河周家口等ナリ漢口ハ運來スル小麥ハ雜穀市場ナル礪口ハ集ル最盛ナル時期ハ新麥出廻期ナルモ來貨ハ一年ヲ通シテ絶ユルコトナシ漢口ニ於ケル雜糧行(雜穀屋)ニシテ小麥ノミヲ專門ニ取扱フモノナシ主ナル雜糧行ハ豐祥、盛水、昌隆、新義元等ナリ

漢口ニテ製粉材料、醬油製造材料トシテ消費セラル、モノ約五萬六千擔ニ上リ他ハ上海へ輸出ス即チ漢口ニ於ケル取引小麥年額約二百萬石内大約百萬石ハ上海ニ輸出セラレ三十萬石ハ醬油屋ニテ使用セラレ其ノ殘額ハ製粉原料トシテ消費セラル漢口機器麵粉廠ニ於ケル一日ノ産額ハ晝夜千六百袋ナレトモ之ハ機械能力ノ極ニテ平日ハ千五百袋ナリト原動力ハ八百八十馬力ノ機關ニヨリ製粉機械ハ米國「バード」式ニテ最良ノモノトス「ローレル」十二臺ヲ用ヒ其

十兩其ノ他ヲ加ヘテ合計五萬八千八百兩、七萬四千六百五十兩ノ固定資本ナリ流動資本ハ資本金十萬弗ヨリ左ノ固定資本ヲ控除シタル殘額二萬五千四百弗トス一日ノ製造高(極限度)二十四時間ニ於テ四百袋(一袋五十對度)トス

製粉業ノ將來

漢口製粉業ハ外國人經營ノ和豐麵粉公司工場ヲ除キ全部支那人工場ニシテ近年殊ニ發展ノ著シキモノアルヲ見ルカ其ノ製品ハ民度未タ低ク一等粉ノ需用ハ殆ント在外人ノ麵類ノ原料ニ使用セラル、ノ外用途少ナキヲ以テ各工場共ニ其ノ製造ヲナサ、ルヲ以テ原則トスルカ如何レモ二等、三等、四等、五等粉ニ分テ市場ニ供給ス而シテ原料小麥ノ製粉率ニ就テハ既述セル如ク固ヨリ小麥ノ產地收穫ノ豐凶製粉機械ノ良否等ニ依リ區々一定セスト雖今大體ノ標準ヲ算出セハ大約次ノ如シ

産地	土砂其他ノ夾雜物	同上平均
湖北產小麥	一五乃至二〇%	一六%
江北及無錫小麥	一〇乃至一五%	一〇%強
四川小麥	五乃至六%	六%
精選小麥中ヨリ得ヘキ製粉ノ割合		
湖北產小麥	七三%	七四%
江北及無錫物	七三%	七四%
四川小麥	八〇%	八〇%
一日出來高中各等級割合		
二等粉	七五%	三
三等粉	一五%	四
四等粉	一〇%	五

支那人製粉工場ニテハ當初大抵機械購入先ヨリ外國技師ヲ

招聘スルヲ例トセルカ近來新設ノモノハ「バーナート」式
機械ヲ使用スルモノ多シト云フ一般製粉工場カ比較的堅牢
ナラサル嫌アルニモ拘ラス米國機械ヲ使用スルハ其ノ購入
ニ當リ代金ノ延勘定等ノ便宜アルニ基因スルモノナルカ如
ク英國機械ニアリテハ事實堅牢ナレトモ代金支拂ニ於テ前
者ノ如ク便宜ナラサルニ依リ斯ノ如キ傾向ヲ致セルモノナ
リト云フ

洋式製粉工業カ多年不振ノ状態ニ在リシモ時局ノ影響ニヨ
ル米國麥粉ノ騰貴ヲ見ルニ至リシ結果各地ニ製粉熱勃興シ
工場新設中ノモノ少ナカラス願フニ本工業ノ如ク缺クヘカ
ラサル主食物ニシテ國內原料豐富ニシテ而カモ其ノ製造簡
單又鉅額ノ資本ヲ要セス國內通過稅ヲ免除セラル、特典ヲ
有スルモノハ支那ノ現在ニ於テ最有望ニシテ最發達シ易キ
事業タラスンハアラス支那ニ輸入セラル、米國麥粉猶二、
三百萬擔ヲ下ラス舊式製粉業タル磨坊ノ如キ依然製粉工場
附近ニスラ無數ニ存在セル事實ニ鑑ルトキハ本工業ノ前途
ハ猶多大ノ發達ヲ遂クヘタ本邦人ノ着目スヘキ有利ナル事
業タルヲ失ハサルナリ

セメント工業

本工業ノ支那ニ於ケル起源ハ一八九〇年ニ在リ當時支那人
ハ唐山ニ於テ本工業ヲ起シ英人技師ヲ聘シ舊式方法タリ德
利型窯ヲ以テ燒成ニ着手シタリ現在橫置圓筒式窯四個ヲ有
シ支那第一ノ「セメント」製造會社ト稱セラル、啓新洋灰
公司ノ前身ハ即チ之ナリ其ノ後各地ニ於ケル鐵道事業其ノ
他公共事業建築工事ノ繁忙ヲ告タルト共ニ廣東、大連等ニ

九一年十萬元ノ損失ヲ見停止スルノ已ムナキニ至レリ其
ノ後之ヲ商辦ニ改メントシテ頻ニ奔走セルモ容易ニ後繼者
ヲ得ルニ至ラザリシカ一九一三年秋南洋在留支那紳商梁炳
農之ヲ經營セント企テ武昌實業公司ニ交渉ノ結果遂ニ之ヲ
引受タル事トナレリ同氏ハ十萬元ノ資本ヲ以テ再興費用ニ
充テントシ右資金ノ調達ハ南洋商人間ニ勸誘シ先ツ株式組
織トナシ一株ヲ五百元ト定メ其ノ後久シカラスシテ資金調
達ヲ了シ愈々同年十二月ヨリ工事再興ノ運ヒニ至レリ猶費
用多端ナルハ工場成績ニ關係アルヲ以テ外國技師ノ使用ヲ
罷メ支那技手ニシテ嘗テ製釘ニ經驗アルモノヲ雇入ル、ト
共ニ一面針製造ハ成績思ハシカラサル上出資多キヲ以テ中
止スルコトトシ目下專ラ釘製造ノミトセリ動力ハ蒸氣力ニ
シテ百馬力ヲ有ス製釘機械五十臺アリ米國製ナルモ機械舊
式ニ屬ス職工ハ熟練ノモノ四十人未熟練ノモノ三十人アリ
一日ノ製造高八十樽(一樽百封度入)ナリ作業時間ハ午前
六時ヨリ開始シ午後六時ニ終リ午後一時間休息シ又毎日曜
ヲ休ム即チ平素十一時間ノ勞働ニシテ月給熟工二十五元ヨ
リ三十元、生工八九元ヨリ十元位(食費自辨)ナリ本工場
製ノモノハ其ノ大サ小ハ五分ヨリ大ハ五寸位迄ノ洋釘ニシ
テ屑多ク其ノ量使用二、三割アルモノ、如ク且ツ又漢陽モ
ノハ何トナク使用心地惡シトノ非難ヲナスモノアリ未タ市
場ニ其ノ聲價ヲ得ルニ至ラス

卷煙草工業

紙卷煙草業ニ於ケル英、米「トラスト」煙草會社ノ勢力ハ
眞ニ偉大ナリ同「トラスト」ハ上海、漢口ニ宏大ナル工場ヲ

於テ本工業ノ開始ヲ見大冶ニ於ケル華記湖北水泥廠モ亦其
ノ後ニ設立セラレタルモノノ一ナリ當時川漢鐵道工事ノ一
部既ニ開始セラレタルヲ以テ「セメント」輸入量ハ蓋シ莫
大ナ額ニ上ルヘシトテ旺ニ國產獎勵ヲ唱ヘ支那官民一齊ニ
外貨排斥ヲ企劃シ巷間ニ於テハ利權回收外資亡國ノ論喧シ
ク各種ノ事業新設又増資セララル、モノ頗ル多カリシカ一九
〇七年三月上海清華實業公司ハ漢口ノ官吏紳商ヲ勸誘シ湖
北省大冶縣石灰窑ニ一大「セメント」會社ノ設立ヲ企劃シ
廣湖總督ヲ經テ農工商部ニ出願セルカ右設立ノ許可ヲ得タ
ルノミナラス湖北省内ニ於ケル十五ヶ年間ノ專賣權、厘金
免除及減稅、政府利益保障及官款借用等種々ノ特權ヲ得、
工場ノ設立ヲ見ルニ至レリ目下啓新「セメント」工場ノ經
營ニ係リ製造能力一ヶ年三十萬樽ト稱セラル而シテ今後支
那夫レ自身ニ於テ又ハ外國人ノ利權擴張ニ伴ヒ頗ル鉅大ナ
ル各種建設工事開始セララルヘキ算多ナルノミナラス國
内到處良質豐富ナル石灰ト石炭トノ産ニ乏シカラス一方
比較的運賃嵩ム「セメント」本來ノ性質ニ鑑ミルモ支那産
「セメント」ハ優ニ外國品ヲ壓シテ支那市場ニ雄飛シ得ヘキ
運命ヲ有スルモノナリ

製釘業

漢陽ニ於ケル湖北省鐵釘廠ハ原張之洞時代ノ創設ニ係リ資
本金三十萬元ノ官營事業トナシ米國ヨリ機械ヲ輸入シテ縫
針及洋釘ヲ製造シタリ鐵釘原料ニ要スル鋼鐵線ハ漢口附近
ニ於テ製造セラレス悉ク外國主ニ米國ヨリ仰キタル結果諸
費用嵩ミ加之製品ハ不體裁ナルカ爲販路極メテ鈍タ途ニ一

有スル外北滿洲ニ在リテハ一九一四年哈爾濱ニ於ケル「ハ
バート」煙草工場ヲ買收シ南滿洲ニ於テハ日露戰役以後奉
天ニ大工場ヲ設置シ山東省ニ於テモ近年坊子ニ工場ヲ設置
シタリ斯ノ如ク中部支那、北支那、滿洲ニ於ケル同「トラ
スト」ノ羽翼ハ既ニ大イニ張リ確實ニ市場ヲ支配スルニ至
レリ彼ハ猶安徽省淮河沿岸ニ近キ津浦鐵道沿線ニ工場設置
ノ希望ヲ有スルノミナラス支那全土ノ紙卷煙草專賣權ヲ獲
得セントスル野心ヲ包藏スルモノノ如シ而シテ漢口ニ於テ
ハ前記ノ如ク英、米「トラスト」煙草會社ノ英美煙公司ノ
外碼頭、英國香煙公司アリ兩會社ノ製品ニ對スル需用莫大
ニシテ殊ニ煙草ハ各階級ヲ通シ一般日用消費物タルコト殆
ント我邦ト異ナルコトナシ左レハ外國品トシテハ僅ニ燐寸
綿糸ヨリ外消費セラレサル邊陲ノ地方ニ於テモ英美煙公司
製品ハ需用セラレツ、アリ支那ノ中部以下社會ノ需用ヲ目
的トセル紙卷煙草ハ漢口地方ニ於テ殆ント同工場ノ獨占ス
ル處ナルノミナラス漢口以外ノ支那本部各地方ニ於テモ亦
他工場品ヨリモ其ノ需用遙カニ多大ナルヲ見ルナリ

第二節 鑛業

第一款 大冶鐵山

大冶ハ湖北省黃石港ノ下流二哩、漢口下流六九哩ニアリ

- (イ) 產 出 鑛 石 鐵、石炭、石灰、銅
- (ロ) 鑛 區 約二百二十平方哩
- (ハ) 鐵 鑛 名 稱 象鼻山、獅子山、鐵門坎、大冶廟
老鼠尾、尖兒山、尖山脚、余家山

(三)銅 鑛名稱 野鷄坪、龍洞、紗帽翅、蠟鮑地、石兒山、北窪頭、螃蟹亮
 (ホ)鉛 鑛名稱 陳家山
 (ヘ)石炭及石灰鑛名稱 五福窪、白峰尖、石家山、王二石、四顧山、金盆地、金角山、白楊窩、石灰洞、仙鶴山、明石灣、牛角山、吳家山、明家山、竹林頭、紗帽山、桐梓包、鶴必窩、梨子園、戴家嘴、稍頭山、色茅壩、康中、馬頭、鳳凰山、藕塘、飛鵝頭、萬椅山、道士沱、陰山溝、飛鵝尾、大王山、中山、華興窪、株樹下、李家街、陳木石橋、太平庵、王家山、桐子園、杉樹岩、走馬山、土地、廟山、李家街、四耳坡、苗子畦、中密灣、陳家灣、寶岩山、兩壇腦、董士腦、株樹壩、楓樹灣、李家灣山、聖洋港、徐濱窩壩、桂基坪、水竹包、向家山、四把刀、冲天山、貓兒磯、堵城磯

(ト)鑛 量
 (内) 量
 一億一千九百五十萬噸
 鐵門坎、九百八十五萬噸
 砂帽翅、二千四百六十八萬噸
 其ノ他、二千八百萬噸

(リ)採掘現狀
 獅子山、六五、〇〇
 鐵門坎、六六、一〇
 象鼻山、六五、五〇
 龍洞、六九、五〇

(ヌ)運搬現狀
 採掘セル鑛石ハ之レヲ一噸入ノ「トロツコ」ニ入レ輕便鐵道ト「インクライン」ニ依リ大冶鐵道ニ移サレ、楊子江岸汽船碼頭ニ運搬セラル、鐵車鐵轉回數一日十三回十五噸、貨車十輛ノ連結ヲ以テス

(ル)秤量
 秤臺ノ上ニ軌道ヲ敷キアルヲ以テ車輛ト共ニ秤量セラレ厚紙上ニ自動的ニ噸數ヲ打出サル、仕掛ナリ

(オ)採掘量
 春秋冬三季 一日平均七千噸
 夏季 一日平均八百噸
 右ハ鑛夫ノ員數ニ基因シ春、秋、冬三季ノ鑛夫數四千人ニ對シ夏季ハ五百人内外ニ減スル爲ナリ、一人一日ノ採掘量ハ平均三噸弱トス

(リ)工賃及労働時間

大人 一ヶ月六串文乃至七串文(一串文ハ銅貨百枚ニシテ弗ノ七十仙弱ニ當ル)
 小人 一ヶ月二串文乃至三串文
 工賃ハ日給制ニシテ一日ノ労働時間ハ十二時間トセリ

第二款 湖北省

湖北省モ亦鑛山ニ乏シカラス其ノ主ナルモノハ鐵及石炭ナルカ其ノ他「アンチモニー」金、銀、銅、鉛、石灰、鹽、滿掩、白雲石等アリ建築石材ハ花崗石、赤石等ヲ主要ナルモノトス
 然レトモ新知識ノ未タ普及セサル爲支那人自ラ調査探險ノ任ニ當ル能ハサルト一方利權回收論瀾蔓ノ結果外國人開鑛ハ勿論其ノ踏査スラ自由ナラサルヲ以テ之等鑛物ノ富源ハ未タ完全ニ調査開掘セラレサルノミナラス未タ發見セラレサルモノ及發表ヲ見サルモノ相當多カルヘシトハ一般ノ觀察ナリ
 今著名鑛山ニ付キ略說スレハ左ノ如シ
 金鑛 本省ハ銅、鐵、石炭ノ諸鑛ノ蘊蓄乏シカラスト雖金鑛ハ殆ント之アルヲ聞カス施南府下ハ省内中最鑛產品ニ富メル地ニシテ金鑛アリト稱セラル、モ未タ確ナル調査ヲ爲シタルモノナシ
 銀鑛 武昌府、施南府及襄陽府ニアリト云フモ世ニ發表セラレタルハ武昌府ト大冶縣、龍角銀鑛トス龍角山銀鑛ハ鑛

質佳良、礦脈豐富ニシテ曾テ湖北政府ノ官營ニ歸シタルコトアリシモ資本缺乏シ中絶スルノ已ムナキニ至リシカ某企業家上海ニ於テ英國人ト共同經營ノ交渉ヲ始メ草約ヲ訂シテ中央政府ニ申請中ノ處許可ヲ得中英合辦銀鑛公司ヲ組織シ正式契約ヲ取り交シタリ
 銅鑛 武昌府及施南府ニハ多數ノ既掘及未掘鑛山アリト雖未タ一鑛トシテ組織的ニ精鍊採掘セラル、モノナク無限ノ天產物ハ空シク地中ニ埋没シ居レリ特ニ興國州下ニ於テハ土人稱シテ財寶ノ山ト云フモ彼等ノ性質頑迷粗暴ニシテ他地ヨリ來ルモノヲシテ侵入セシメス外國人ノ如キ全ク其ノ地ヲ踏ム能ハス隨ツテ今尙精細ナル調査ヲ爲シタルモノナシ
 鉛鑛 興國州大冶縣及西部鶴峯施南ノ地方ニ二、三アルノミ年額未詳
 石棉 最近黃州府下ニ於テ一ヶ所發見セラレタリト稱スルモ良否甚タ疑問ナリ
 安質母尼鑛 安質母尼ノ發見採掘セラレタルハ最近ノ事ニ屬スト雖省内亦鶴峯施南地方ニ於テ多少ノ產出アリ湖南物ト共ニ漢口ニ於テ精練或ハ鑛物ノ儘外國商ニ販賣セラル現今ニテハ未タ旺ナリト云フヲ得サルモ將來益々増加スヘキ見込アリ
 鐵鑛 湖北省ノ鑛山ヲ說クハ恰モ大冶鐵山ヲ說クノ感アリ該鐵山ハ管ニ支那ニ冠絶セルノミナラス世界有數ノ大鑛山ニシテ廣袤數十方哩ニ互リ起伏ノ小丘大山殆ント鐵ナラサルハナク鐵ニアラサレハ石炭ナラサルハナシ

山塩及石膏 鐵鑛ニ亞キ省内鑛產品トシテ有名ナルハ德安府下ノ山鹽ナリ此ノ地產出ノ山鹽ハ省内各地ノ需要ヲ滿タスノミナラス長江下流ノ地ニ輸出セラル副產品タル石膏亦輸出多額ニ上ル

石炭 省内石炭鑛ハ漢陽製鐵所創立當時多數ノ技師ヲ招聘シテ到ル所調査セシメタルモ遂ニ良質ヲ得スシテ後江西省内萍鄉炭鑛ヲ開掘スルニ至シモノナルカ炭質純良ナラサルモノ及鑛脈ノ大ナラサルモノニ在リテハ各地其ノ產出多シ今銅山、炭山ヲ列記スレハ左ノ如シ

- 一、天臺山銅山
- 一、荆山銅鑛山
- 一、石槽河鑛山
- 一、唐家坡鑛山
- 一、鴻鈞洞銅山
- 一、廟兒溝銅山
- 一、石城關銅山
- 一、三光山銅山
- 一、陳家坡銅山
- 一、四柯樹銅山
- 一、煤堰溝口銅山
- 一、河公裝銅山
- 一、生石溝銅山
- 一、紅岩寨銅山
- 一、秦家坪銅山
- 一、鄧家台銅山

第三款 河南省

河南省黃河以北ハ古來諸種ノ鑛產ニ富ムト云ハル然レトモ未タ其ノ探掘ニ關スル準備調査充分ナラス獨リ焦作、白作ノ炭坑成績ヲ舉クルアルノミ今當省ニ於ケル鑛區ヲ列記スレハ左ノ如シ

- 一、牛頭山銅山
- 一、砂子嶺銅山
- 一、銅廠坡銅山
- 一、表家溝銅山
- 一、周家灣銅山
- 一、鐘祥炭山
- 一、黃英山炭山
- 一、李山炭山
- 一、南障炭山
- 一、大冶炭山
- 一、均縣炭山
- 一、馬鞍山炭山
- 一、光山縣葉家灣
- 一、同 黃陂灣
- 一、同 戴家冲
- 一、同 萬家坡
- 一、信陽縣夏涼村
- 一、同 譚家河
- 一、魯山縣
- 一、宜陽縣盤龍寺

- 一、禹 縣 (石炭)
- 一、龍 門 (石炭)
- 一、彭 波 (無煙炭)
- 一、宜陽縣錦屏山 (石炭)
- 一、鞏 縣 (石炭)
- 一、新安縣 (石炭)
- 一、禹州研山 (石炭)
- 一、魯山縣 (石炭)
- 一、南陽豫山(獨山) (玉石鑛)

第四款 陝西省

陝西省ノ鑛物ハ埋藏額ニ於テ山西省ニ劣ルモノニアラス只本省ハ交通不便ノ僻地ニシテ實地踏査ノ運ニ至テサル結果未タ一般ノ注意ヲ惹起スルニ至ラサルナリ

湖北ニ於ケル大冶鐵山河南ニ於ケル焦作(福中公司)炭坑ノ如ク陝西省ニハ著名ナル延長ノ石油アリ今省内鑛區ヲ列記セハ左ノ如シ

- 一、甘泉縣 (鐵、石炭)
- 一、耀 縣 (鐵、石炭)
- 一、同官縣 (銀、鐵、石炭)
- 一、鄜 縣 (鐵、石炭、石油)
- 一、韓城縣 (鐵)
- 一、延安縣 (石油、石炭)
- 一、延長縣 (石油、石炭)
- 一、延川縣 (石油、石炭)
- 一、米脂縣 (石炭、銀)

- 一、設 縣 (鉛鑛)
- 一、武安縣長亭山 (鉛硫)
- 一、桐柏縣五台河 (鉛硫)
- 一、同 陳家山 (鉛硫)
- 一、羅山縣 (馬蹄鉛)
- 一、同 銀洞冲 (鉛硫)
- 一、同 面舖山 (鉛硫)
- 一、同 陳家樓 (鉛硫)
- 一、同 山夾店 (鉛硫)
- 一、裕州縣四家村 (鉛硫)
- 一、商城縣 (鉛硫)
- 一、嵩 縣小青溝 (鉛硫)
- 一、同 揚樹林 (砂金)
- 一、同 大青溝 (鉛硫)
- 一、登封縣水磨灣 (硬銅鑛)
- 一、焦 作 (石炭)
- 一、清化鎮 (石炭)
- 一、老君廟炭坑 (石炭)
- 一、回 隆 (硝石)
- 一、滑 縣 (曹達)
- 一、衛 輝 (曹達)
- 一、彰德縣六河溝 (石炭)
- 一、同 觀 臺 (石炭)
- 一、同 小市灣 (石炭)
- 一、同 傍 佐 (石炭)

- 一、定邊縣 (石炭、岩鹽)
- 一、神木縣 (石炭)
- 一、扶風縣 (石炭)
- 一、整屋縣 (石炭)
- 一、華陰縣 (金)
- 一、潼關 (石炭)
- 一、藍田縣 (鐵、石炭)
- 一、白水縣 (明礬)
- 一、鎮安縣 銅、石炭、硫黃、鉛、水晶、水銀
- 一、同花元溝 (金)
- 一、字鐵廠 (銀、鐵)
- 一、孝義縣 (鐵、石炭、水晶、玉)
- 一、商縣 (銀、石炭)
- 一、漢中 (金)
- 一、沔縣 (砂金)
- 一、平利縣 (石棉、硫黃、水晶)
- 一、留壩縣 (水晶)
- 一、洵陽縣 (水銀、水晶、玉)
- 一、略陽縣 (琥珀、水晶、大理石)
- 一、鳳縣 (琥珀、大理石)
- 一、雒南縣 (砂金)

- 一、莊浪牛頭峽 (鉛)
- 一、皋蘭朱家井 (鉛)
- 一、同鐵石山 (鉛)
- 一、同美腸子溝 (鉛)
- 一、文縣瓜咱溝 (鉛)
- 一、成縣千字山 (鉛)
- 一、武成撤金台 (鉛)
- 一、同雜渠溝 (鉛)
- 一、山丹大黃山 (鉛)
- 一、撫彝 (鉛)
- 一、皋蘭白崖川 (鐵)
- 一、徽縣 (鐵)
- 一、打拉池石圈 (鐵)
- 一、黑錯溝 (鐵)
- 一、王門南山 (石油)
- 一、安西階州 (石膏、水銀)
- 一、平涼附近 (石炭)
- 一、阿干鎮附近 (石炭)
- 一、成縣附近 (石炭)
- 一、固原州炭山 (石炭)
- 一、石溝驛 (石炭)
- 一、肅州紅水壩 (砂金)
- 一、敦煌南山 (砂金)
- 一、大通野牛溝 (砂金)
- 一、莊浪鎮峯 (砂金)

甘肅省モ亦鑛質ニ富ムトハ旅行歸來者ノ等シク報スル處ナリ今其ノ鑛產地ヲ示セハ左ノ如シ

第五款 甘肅省

- 一、張掖縣 (砂金)
- 一、梨沿溝 (砂金)
- 一、碾伯附近 (砂金、紅銅)
- 一、西寧密家戶 (砂金)
- 一、鳳凰山 (金鑛)
- 一、大濱溝 (砂金)
- 一、郭密番地 (砂金)
- 一、靖遠白石峴 (紅銅)
- 一、同豬嘴啞叭 (銅)
- 一、洮州南番越山 (紅銅)
- 一、石山 (紅銅)
- 一、武威 (紅銅)
- 一、大通毛伯勝 (銅)
- 一、太陽溝 (紅銅)
- 一、老鴉峽 (紅銅)

第六款 新疆省

新疆省ニハ金、銀、銅、鐵、石炭ノ鑛區アリト雖モ省民未タ之ヲ發掘セス殊ニ石油ニツキテハ其ノ埋藏量陝西省ヲ凌駕ストイフ今其ノ鑛區ヲ見ルニ次ノ如シ

- 一、干闥縣附近 (金)
- 一、庫爾喀喇烏蘇 (砂金、銅、石油)
- 一、孟克圖嶺 (砂金)
- 一、奇臺縣 (白金鑛)
- 一、塔城縣 (銀、鉛)
- 一、蘇渾山 (銅)

第八章 農業及牧畜

第一節 農業

管内湖北省、河南省、陝西省ノ住民ハ主トシテ農ニ從事シ生活シ居レリ其ノ作物ノ栽培法及收穫狀況ヲ見ルニ次ノ如シ
 麻 分根法ヲ採リ秋之ヲ平坦ニ耕鋤セラレタル畑地ニ二尺乃至三尺ノ間隔ヲ保チテ移植ス肥料ハ初冬ニ於テ牛、馬糞並人糞ト枯草ヲ施シ翌春發芽ノ後再ヒ人糞、人尿或ハ他ノ肥料ヲ施スノミ尙常ニ附近ノ雜草ヲ除キ成長ヲ助ク收穫期ハ春季ニ第一回ヲ行ヒ之ヲ一番麻ト云ヒ夏季ニ第二回ヲ秋

季ニ第三回ヲ行フ毎年六月ヨリ十月ノ間ニ三回ノ收穫ヲ爲ス
 茶 十一月乃至十二月ニ直播スルヲ普通トシ稀ニハ一時苗床ニ播キ翌年六、七寸トナルヲ俟テ本圃ニ移植スルモノモアリ株ノ距離ハ多ク三尺以内ニシテ三、四年目ニ至リ摘葉ヲ始ム剪枝ハ殆ント行フコトナク四、五年ニ一回臺刈ヲ施スヲ例トス除草ノ外施肥耕耘ヲ行ハサル者多キモ培養周到ナルモノニアリテハ晩春人糞又ハ厩肥ヲ茶樹ノ周圍ニ施シ夏季雜草ヲ除キ翌年更ニ土或ハ灰ニ人糞肥料ヲ混シテ施ス摘葉ハ五月上旬ヨリ六月下旬ニ互リ行ハレ稀ニハ七月ニ及フモノモアリ

米 耕作ニハ牛又ハ水牛ヲ用ユ農具ハ殆ント「持立式」ニテ鋤ヲ付セテ播種ハ先ツ粗ヲ水ニ盛リタル桶ニ投シ沈ミタルモノ、ミヲ糞ニテ包ミ水ニ浸スコト數日自然ル後苗代ニ播ク其ノ量ハ一畝ニ付約二升植付ハ苗ノ長サ七、八寸ニ至ルヲ待チ株間四、五寸乃至七、八寸ノ距離ニ植付ク植付十日餘ヲ經テ除草ヲ始ム第一回植付ハ陰曆五月初旬ニ第二回ハ九月ニ行フ肥料ニハ糞土、藻草、骨粉、油粕ヲ施ス
 棉花 舊曆五月初旬播種ス其ノ量一畝平均二升發芽後四、五寸ノ時約一尺ノ間隔ヲ作り惡芽ヲ除キ雜草ヲ除去ル長シテ一尺五、六寸ニ至レハ莖ノ頂ヲ切り枝ヲ四方ニ張ラシメ收穫ノ多キヲ計ル
 煙草 春時播種シ八月ノ始メヨリ收穫ヲナス收穫法ハ下葉ヨリ漸次除去ル而シテ乾燥法ハ數葉ヲ一重トシ糸ヲ通シテ乾スヲ例トスルモ地方ニヨリテハ障子型ノ枠ニ挾ミ乾スモ

ノモアリ
 大豆 陰曆四月末又ハ五月初ニ地上ヲ播キ均ラシ雜草等ヲ去リタル後馬糞、人糞等ノ推肥ヲ施シ播種ス播種二、三日ニシテ發芽シ一尺又ハ一尺五寸ニ及ヒテ花開キ漸次實ヲ結フ其ノ間二、三回ノ除草ヲ行ヒ時々鋤ヲ加フ八月下旬ヨリ九月下旬ニ互リ收穫セララル
 胡麻 播種ハ五、六月頃ニシテ收穫ハ九月末ヨリ十月トセラル發芽後ハ雜草ヲ除クト共ニ漸次苗ノ間隔ヲ大ナラシメ長サ一、二尺ニ至ラハ各莖ノ距離ヲ六、七寸乃至一尺トス肥料ハ稀ニ人糞ヲ用ユルモノアリ施肥セサルモノ多シ
 大麥 四月頃播種シ秋之ヲ收穫ス
 小麥 陰曆九月五、六日即チ白露節ヨリ秋分（九月二十二日頃）ノ間ニ播種ス其ノ播種量一畝ニツキ約二升ナリト云フ耕作ニハ一、二頭ノ牛ヲ用フルモノ多シ除草ハ播種後一、二回行フニ止リ施肥スルコト稀ナリ肥料トシテハ人糞及胡麻油粕アリ五六月頃ニ至レハ麥愈々成熟スルヲ以テ之ヲ收穫ス
 以上ハ大略ニシテ陝西省ノ如キハ小麥二百四十日ニシテ穗現レ其ノ後六十日ニシテ熟ス又早キモノニアリテハ三ヶ月ニシテ實ルト云フ大麥ハ二百日ニシテ穗出ス其ノ後五十日ニシテ熟ス湖北河南地方ハ大農的ニシテ放任セルニ反シ陝西地方ハ稍趣キヲ異ニシテ手入行届キ居レリ然レトモ農具肥料法未タ研究セラレス總テノ點ヨリ觀テ至ツテ幼稚ナルヲ免レス

第一款 地價

第三項 陝西省

小麥、大麥、豆數、粟、玉蜀黍、高粱、黍、胡麻、棉花、芋類、落花生

第二款 收穫平均額

第一項 湖北省

一畝ニ付キ（一畝ハ我六畝半餘ニ當ル）
 米 二石乃至三石
 小麥 一石二斗内外
 大麥 一石四斗内外
 胡麻 八斗内外
 菜種 一石二斗内外
 蠶豆 一石五斗内外
 豌豆 一石二斗内外
 棉花 三十五斤内外

第二項 河南省

一畝ニ付
 米 二石内外
 小麥 二石内外
 粟 四石内外
 高粱 三石内外
 大豆 一石五斗内外
 胡麻 七斗内外
 棉花 三十斤内外

第三項 陝西省

一畝ニ付
 第三項 陝西省

第一項 湖北省

田地 上等 六十元
 中等 三十元
 下等 十五元
 畑地 上等 二十四元
 中等 十二元
 下等 六元
 右ハ一斗地ニ就テノ價格ニシテ湖北ニ於テハ田畑ノ賣買ニハ畝ヲ用ユルコト稀ナリ一斗地トハ即チ三十六方ヲ指ス（一方ハ我三坪八合ナリ）

第二項 河南省

田地 上等 七十五元
 中等 五十元
 下等 二十五元
 畑地 上等 五十六元
 中等 三十元
 下等 十九元
 右ハ一畝支那ニ就テノ價格トス

第二款 耕作物

第一項 湖北省
 棉花、小麥、米、蠶豆、豌豆、大豆、苧麻、煙草、胡麻、漆、菜種、高粱、茶、桐、落花生
 第二項 河南省
 小麥、粟、高粱、大豆、胡麻、米、棉花、煙草、落花生、粟

小麥	八斗内外
大麥	一石内外
米	一石内外
大豆	四斗内外
粟	四斗内外
玉蜀黍	七斗内外
黍	五斗内外
高粱	八斗内外
胡麻	二斗内外
棉花	六十斤内外
薩摩芋	一千斤内外
落花生	四百斤内外

第四款 地主ト小作人トノ關係

一、湖北省

地主ト小作人トノ借地關係ハ小作人(佃戶)ヨリ賃田文示即チ小作契約書ヲ地主ニ納メ普通其ノ期限ヲ定メサルヲ常トス小作人ハ自己ノ權利ヲ他ニ讓渡賣買スルコトヲ得サル習慣ニシテ若シ小作ヲ罷メント欲スルトキハ直接地主ニ其ノ耕地ヲ返附スルヲ常習トスレトモ又地主ノ承諾ヲ經テ之ヲ他ニ讓渡スコトアリ小作料ハ契約ノ當初ニ定メ毎畝上、中、下、田ノ等級ニヨリ各差異アリ水旱豊凶共ニ地主ニ於テ何等關係セサルモノヲ粗地ト云フ又分地ナルモノアリ小作人ヲ雇ヒ自己カ所有スル土地ヲ耕耘セシメ其ノ收穫物ハ之ヲ折半ス但シ此ノ場合ニハ耕地ヨリ生スル諸穀菽及雜草ハ小作人ノ所有トス小作人ヨリ地主ニ對シ納附スル總テノ小作

中水地	〇、〇八六
平地	〇、〇七六
次平地	〇、〇六〇
坡地	〇、〇四八
山地	〇、〇三二

第二節 牧畜

管内ハ大部分廣漠タル平原ニシテ春、夏ノ候ニハ青草繁茂シ天然ニ牧畜ニ適スルモ未タ牧畜業ト稱スヘキ程ノ規模ノ大ナルモノハナク只僅ニ農家ノ副業トシテ家畜ヲ放飼スルニ止マレリ

第一款 牛乳搾取業

近來漢口地方ニアリテハ在留外國人ノ増加ト共ニ牛乳ノ需要量加ハリタルカ故ニ乳牛ヲ飼養シ牛乳ノ搾取ヲ業トスルモノ四十餘家ニ達スレトモ其ノ内數家ヲ除キテハ皆一、二頭乃至四、五頭ノ乳牛ヲ有スルニ過キスシテ論スルニ足ラス今其ノ内ノ主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

一、鄭義順 英商、英瑞公司ノ出資ニ係リ當地ニ於ケル規模最モ大ナルモノトス、乳牛五十頭ヲ有シ搾取ノ上販賣ハ英瑞公司名義トシ在留外國人ヲ顧客トス

一、方裕祖 乳牛二十二頭ヲ有ス

一、劉庚山 十八頭ノ乳牛アリ

一、同益祖 二十頭ノ乳牛ヲ有ス方裕祖、劉庚山ト共ニ外國人並支那人間ニ販賣ス

一、淺井洋行 邦商ニシテ乳牛十八頭ヲ有シ専ラ本邦人ヲ

料ハ所謂先耕後稅ニシテ小作人、耕作後、作物收納ノトキニ於テ其ノ小作料ヲ納付ス而シテ官ニ上納スヘキ一切ノ稅額ハ悉ク地主ニ於テ納付シ佃戶ハ何等義務ナシ耕地内ノ破損修理等ハ凡テ小作人ノ責任ニアルモノトス水害其ノ他ノ天災ニ因ル損害等ニ關シテハ佃戶地主ト協議シ被害當年ハ減納シ爾後年賦納付ヲ約スルヲ常習トス

二、河南省

地主ハ小作人ニ家屋ト農具ヲ貸與シ耕作セシムル習慣ニシテ小作人ハ百畝ニ對シ百兩ノ保證金ヲ地主ニ渡ス地主ハ家屋ノ修繕費、肥料等ヲ負擔シ小作人ハ收穫ノ半額ヲ地主ニ納メルコトトス

三、陝西省

陝西省ニ於テハ湖北、河南ノ如ク耕作ヲ小作至人依託スルコト稀ニシテ地主自ラ之ヲ耕作シ植付收穫其ノ他多忙期ニノミ地方人ヲ雇用ス其ノ日當百五十文乃至二百文内外ト云フ佃戶ヲシテ小作セシムル場合ハ收穫高ノ三ヲ地主ノ收入トシ其ノ七ヲ佃戶ニ與フヲ例トス

第五款 地租稅

湖北地方地租稅ハ一斗地ニ對シ糧米五十八文地丁五十二文學損十五文、計百二十五文ヲ標準トセラレ河南地方ハ一畝地ニ對シ糧米六十文、地丁二十文、計二百八十文ヲ標準額トセラレ陝西地方ハ水地、中水地、平地、次平地、坡地、山地ノ六種ニ別タレ一畝ニツキ左ノ如キ割當ヲ課セラ

水地	〇、〇九八
----	-------

顧客トセリ

尙牛乳搾取期間ハ分娩後六ヶ月間ニシテ一日ノ搾取量ハ良種牛ニテ約五升、中等牛ニテ三升五合、下等牛ニテ二升五合ナリ、乳牛ノ賣價ハ良種百二、三十元、中八十元、下五十元内外ニシテ食餌トシテハ、大豆粕、青草、白菜等ヲ與ヘ一日ノ食料費約四百文内外ナリ

第二款 養豚業

豚ハ農家殆ント飼育セサルモノナキ狀態ニ在リ飼養ノ方法ハ毎日正養二回、間養三回トス、多ク雜糧、酒精、野菜、小麥、糠ヲ與フ、若シ肥滿セシメント欲スレハ大麥ヲ炒リテ粉トナシ之ニ前記他品ヲ混シテ食セシムレハ可ナリ

俗ニ猪三、狗四ト云ヒ豚ハ一年三度子ヲ孕ミ三ヶ月ニシテ分娩シ每胎六頭以上多キ時ハ十七、八頭ニ及ヒ小豚ハ一ヶ月ニシテ乳ヲ離ル、ヲ常トス小豚ノ飼育法ハ洗米水ニ粥若ハ他雜糧ノ挽粉ヲ加ヘテ與ヘ五、六ヶ月後五、六十斤ノ體重ニ達スレハ特ニ注意ヲ要スルコトナク親豚ト同様飼育スレハ足ル

種豚タルヘキモノハ牝ヲ母猪ト稱シ去勢セス之ニ反シ食用ニ供スル爲メ豚ハ未タ乳離レセサル中ニ去勢シ(去勢豚ハ割猪ト云フ)隨時園場ヨリ出シテ別處ニ飼養シ或ハ賣却ス(去勢牝豚ハ割花或ハ鋤猪ト云フ)去勢シタルモノハ能ク發育肥滿ス種豚タルヘキ母猪ヲ養フ法ハ普通ノ肥猪ノ飼育ト異リ未タ受孕セサル間ハ佳食ヲ給セス藜、藿、野菜、野草ヲ給シ受孕後初メテ雜食ヲ與フ、佳食ニ過クレハ徒ラニ油氣ヲ多クシ胎豚ニ害アリ産後ニ及ヒテ

米粥ヲ與ヘ乳ノ多カラシコトニ勉ムルヲ例トセリ母豚ハ凡ソ十ヶ年位ハ飼養サレ得ヘク種豚ノ肉ハ食用ニ供セス唯其ノ皮ヲ剥キテ破ヲ造ルニ用ユ、若シ是ヲ食用ニセントスル場合ニハ兩三年受孕ノ後去勢シ暫ク養ヒテ屠殺スルモノトス

養豚者ニハ母猪ヲ養フモノ郎猪ヨリ多ク郎猪ハ一回ノ掛合料二百文位ヲ要シ又其ノ所業ノ下賤ニ且ツ不體裁ナルヲ嫌フカ爲貧賤者又ハ孤獨者ニ非サレハ養ハサルカ如シ郎猪ノ飼養ハ肥猪、母猪等ヨリ稍ヤ佳食ヲ要シ每食ニ食鹽三十匆宛位ヲ調和シテ精氣ヲ養ハシム、凡ソ郎猪一頭ハ能ク母猪百餘頭ニ掛合ハセ得ト云フ

豚ヲ買入ル、ニハ養豚若ハ豚屋(猪行)ニ就テ小豚若シクハ小造子、半大造子ヲ買入ル、カ但シハ籬猪ト稱シ仲買人カ各村ヨリ一、二頭宛買集メ水陸何レカノ交通便宜ニ依リ之ヲ市鎮ノ猪行ニ送リ越スニ際シ隨意購入スルノ習慣ナリ

第三款 一般ノ家畜

右ノ外家畜トシテ牛、山羊、馬、驢、鴨、鵝アリ湖北省ニ於テハ更ニ水牛ヲモ飼養ス水牛ハ牛ニ比シ其ノ價格及飼料共ニ高價ナレトモ使用期長ク且ツ粘質地ノ耕耘ニハ水牛ヲ便利トスルモノニシテ一家ニ一、二頭ヨリ多キハ十數頭ヲ有シ放養セリ、驢ハ體ニ比較シ力量強ク米五斗入ノ袋三、四個ヲ駄スヲ得、馬ハ其ノ體軀甚タ矮小ニシテ驢ニ比シ少シク優レルノミ、鶏ハ一羽ノ價格地方ニ在リテハ二十仙内外ニシテ鷄卵ハ一個十五文内外ナリ雌鷄一羽一ヶ年ノ産卵數ハ百個以内ナリ

トアリ網ニハ麻糸又ハ綿糸ヲ用フ漁船ノ形狀ハ普通「ハシケ」用ノ小船ト大差ナク一本ノ樁ヲ有スル帆船ニシテ操縱極メテ便利ナリ

第二章 漢口獵業

當地方一帶ハ多ク廣漠タル平原ニシテ山岳少ク從テ森林帶絶無ナルヲ以テ特ニ、狩獵スヘキ禽獸類多カラス故ニ獵夫ト稱スヘキ專業者ハ無ク偶々市場ニ上ル數種ノ禽獸類ノ多クハ地方農民ノ耕餘舊式ノ銃器又ハ罟等ニテ獲得シタルモノニ係リ獵法其ノ他何等注目スヘキモノナシ而シテ市場ニ多ク見受クル禽鳥類ニハ鶉、雉、雀、鴨、斑、鳩、雁、鷹、水鴨、鵝、鵪、山鷄、鴛鴦等ニシテ獸類ニハ野兔最モ多ク其他鹿、狼、狐等二、三種ノ走獸ヲ見受クルノミ

第十章 金融機關及度量衡

第一節 漢口金融機關

當地ノ金融機關ハ他省ト同シク大別シテ新式銀行、舊式銀行、當舖等トス、舊式銀行トハ即チ錢莊、錢舖等ヲ指ス當地ニ於ケル各省ノ商人ハ各店舖互ニ連絡セル一組織ノ金融機關ヲ有ス之ヲ稱ト云フ故ニ各省ノ商人ハ金融界ニ於テ割據ノ狀態ニアリ其ノ内大ナルモノ百餘軒ニ及フ組織ハ種種アレトモ大商人ト合同シテ成立セルモノ多ク所謂合資組織ニシテ我國ノ如ク株式ニ據ルモノ殆トナシ支那商人ノ銀

第四款 獸 疫

當地方ニ於ケル豚、牛疫ハ毎年六月ヨリ十二月ニ至ル候ニ流行シ其ノ度毎ニ數十頭乃至數百頭ヲ斃シツ、アリ飼養者ハ獸疫ニ對スル智識ナキカ故ニ何等人工的檢疫方法ヲ講スルモノナク唯一ノ防禦方法トシテ該疫一度流行スレハ各其ノ養豚、牛ヲ撲殺スルノ方法ヲ採レリ而シテ其ノ豚、牛肉ハ鹽漬トナシテ各店舖ニ販賣セラル

第九章 漁業及獵業

第一節 漢口漁業

當地方ニ於ケル漁業區域トシテハ長江及附近ノ沼湖アルノミニシテ長江ヨリハ鯉、鱸魚、鮓、鰻、鮫等ヲ附近沼湖ヨリハ鮓、鯉等ヲ漁獲スルニ止マリ其ノ供給ハ住民ノ需用ヲ充スルニ足ラサル現狀ナリ

漁獲方法及漁具ハ何レモ舊式ヲ脱セス漁具トシテハ四手網打網、鈎ノ三種ヲ用フ、四手網ヲ用フルモノハ船首或ハ陸岸ニ竿ヲ立テ十數尺角ノ四手網ヲ垂レ時々其ノ紐ヲ引キテ漁獲シ打網ハ其ノ形本邦ニ於テ使用スルモノト異ラス河流強キ所ニ在リテハ直徑三尺長五尺餘ノ玉叉手ヲ用ヒテ漁ス此外張網ヲ使用スルモノモアリ網口徑五十尺長四十尺ノ袋狀ニシテ水面ニ浮ク網口一端ニハ浮木ヲ附シ水底ニ沈下スヘキ他端ニハ錘ヲ附シ而シテ上部ノ兩端ニ網索ヲ附シ兩船ノ間ニ張リテ引廻スモノト唯一隻ノ漁船ニテ錘ヲ投シ浮木ヲ附シテ水中ニ沈メ一日五、六回引揚ケテ漁獲スルモノ

行ニ對スル信用ハ其ノ資本ノ多寡ニヨラスシテ資本主ノ商業界ニ於ケル名望ト信用ノ如何ニ由ルヲ以テ資本少額ナル割合ニ能ク大資本ノ銀行ニ勝ル取引ヲナスモノ尠シトセス

第一款 舊式銀行

當地ニ於ケル舊式銀行ハ從來資本豐富基礎鞏固ナリト稱セラレシカ其ノ實基礎甚タ薄弱ニシテ極端ニ信用ヲ利用シ頗ル危險ナル營業ヲナシ來リタル爲一度革命亂物發スルヤ此等各銀行ノ倒閉相踵キ延イテ各地金融界ニ大恐慌ヲ及ホスニ至レリ而シテ亂後基礎薄弱ナルモノハ自然淘汰セラレテ現今ニ於テハ資本富裕ニシテ營業比較的確實ナルモノ、ミ殘存スルニ至レリ、然レトモ時代ノ要求ニ伴ヒ此等舊式銀行ハ時勢ニ伴ハサルニ至レルヲ以テ今ヤ各地ニ新式銀行勃興シ當地ノ如キハ最近金城、中孚、四明等ノ諸新銀行ヲ見ルニ至レリ、將來此等舊式銀行モ漸次其組織ヲ改メ新式銀行ノ列ニ入ルヘキハ必然ノ事實ナレトモ舊式銀行殊ニ錢莊ノ如キハ支那金融界ニ於テ尙極メテ重要ナル位置ヲ占メ其ノ經濟的機能ハ決シテ侮ルヘカラサルモノアリ

第一項 錢 莊

錢莊ニハ同業組合ニ加入セルモノトセサルモノ即チ第一流ト二流ノ區別アリ前者ハ錢莊ニシテ後者ハ錢舖ニ屬スルモノト稱セリ

錢莊ノ營業課目ハ預金、莊票發行、貸付、爲替、割引及洋銀賣買等ヲ以テ其ノ主要ナルモノトス、多ク二人以上ノ合資組織ニシテ出資者ノ一人其ノ業務ヲ擔當スルカ或ハ他ヨリ支配人ヲ招聘シテ之ニ當ラシム錢莊ノ設立ニハ概ネ官廳

ノ許可ヲ受クルヲ要セス、開業ニ先テ議單(定款ノ如キモノ)ヲ作成シ之ニ業務ノ範圍、資本主、支配人ノ權限、出資額、利益配當及缺損負擔ノ割合其ノ他必要事項ヲ記載シ同業者ノ保證ヲ得テ錢業公所(同業組合)ニ届出テ其ノ認可ヲ受クルヲ要ス、錢業公所ノ董事ハ充分ノ調査ヲナシ之ヲ確實ト認メタル時ハ總會ヲ開キ許否ヲ決ス而シテ許可ヲ得タルトキハ入會金トシテ一定ノ金額ヲ公所ニ納付シ始メテ開業スルコトヲ得ルモノトセリ

而シテ資本主ノ出資ニ二アリ一ハ本銀又ハ成本ト稱シ本來ノ資本ニシテ議單ニ掲クモノ一ハ附本又ハ獲本ト稱シ業務ノ擴張スルニ從ヒ成本ノ不足ヲ補フ爲メ預金ノ形ヲ以テ放シテラル、モノ是ナリ、附本ニ對シテハ官利又ハ老本息ト稱シ出資額ニ應ジ一定ノ純益ヲ配當ス而シテ純益金ヨリ官利ヲ差引タル殘餘ハ之ヲ餘利ト稱シ資本主、支配人其ノ他店員一同ニ分配ス、盡シ支那ニ於テハ合資契約ヲ以テ營業スル場合ニハ支配人ニ營業萬端ヲ一任シ出資者カ之ニ容喙セサル習慣アリ、又支配人以下店員ヲ俸給制ニスルトキハ業務ヲ精勵セサル虞アルヲ以テ多クハ日常生活ニ必要ナル手當ヲ給スルニ止メ年末餘利ノ配當ヲ以テスルノ制ヲ採リ居レリ是亦官利ヲ定メ置ク一理由ナリト

一、預金 預金ハ存款又ハ存銀ト稱シ定期ト當座ノ二種アリ、當座預金ハ現金若クハ一覽拂莊票ヲ以テ預入ル、所謂直接現金預金タルコトアレトモ又貸附ノ手取金振替ヨリ生スルコトアリ或ハ満期日前ノ滙票(爲替手形)ヲ預入レ月末控息ヲ以テ其ノ代金ヲ振替フルコトアリ、之ニ

反シ定期預金ハ殆ト皆直接現金預金ナリトス定期預金ノ期限ハ一定セサレトモ年末引出シ及一ヶ月限リ定期預トスルモノ多シ而シテ前者ニ在リテハ錢莊ヨリ預主ニ通帳(摺子)ヲ交付シ後者ノ場合ハ一々預金證書(存票)ヲ發行ス、預金ニハ定期、當座共ニ最低限度アリテ利息ノ割合ハ之ヲ斟酌シテ協定ス而シテ其ノ最低額以下ノモノハ保護預トシテ利子ヲ付セス、又定期預金ヲ期限前ニ引出ストキハ利息ヲ付セサルヲ通例トシ特別ノモノニ限リ其ノ期間内ニ於ケル最低日歩ヲ付スコトアリ當座勘定ハ之ヲ往來ト稱シ勘定ヲ開始スルトキハ錢莊ヨリ預金者ニ對シ通帳(往來帖)及小切手(支票帖)ヲ交付ス小切手ニハ即チ時拂ト有期ノモノトアリテ何レノ場合ニ於テモ之ヲ振出ス時ハ必ス其ノ旨ヲ錢莊ニ通達スルヲ要ス當座預金ニ對スル利子ノ計算ハ毎月末ニ之ヲ行ヒ翌月初ニ之ヲ往來帖ニ記入ス其ノ利率ハ錢行ノ朝市ノ利率ニ據リ一ヶ月ノ平均ヲ算出シ翌月初メ各錢莊相會合シテ平均日歩ヲ協定シ其ノ九五掛ヲ標準トス當座預金ノ利子ハ小切手ヲ振出シタルトキハ其ノ金額ニ對シテハ振出ノ日ヨリ之ヲ附セサルヲ例トス

當座預金ニ對スル支拂準備金ノ割合ハ各錢莊ノ秘密ニ屬シ之ヲ知ルコトヲ得サレトモ小切手振出ノ際一々之ヲ通告スルカ如キ慣習アルニ鑑レハ支拂準備金ノ寡少ナルハ疑ヲ容レズ支那ニ於ケル金融市場ノ地盤鞏固ナラサル原因亦實ニ此ニアリ

二、貸附 貸付ニハ當座貸越ト普通貸附ノ二アリ當座貸越

ハ當座勘定ヲ有スル得意先ニ對スル貸附ニシテ之ヲ浮款又ハ往來缺款ト云フ、錢莊ト當座勘定ヲ開ク商店ハ大概之カ利便ヲ受ケサルモノナク隨テ當座預金ニ對シ錢莊ヨリ利子ヲ拂フカ如キ場合極メテ尠シ當座貸越ハ主トシテ得意先ノ信用ヲ基礎トシ抵當品ノ如キハ之ヲ徵セサルヲ常トス利子ハ錢行ニ於ケル同業間融通利率(毎日變更ス)ヲ標準トシ加頭ト稱シテ幾分ノ割増ヲナス其ノ計算ハ當座預金ニ對スルモノト同時ニ之ヲ行ヒ彼此相殺シテ翌月ノ初メ之ヲ元金ニ繰入ル、モノトス

當座貸越ノ決算ハ一年ヲ限トシ貸越高ハ舊曆年末(自二十日至二十八日)迄ニ返済スル習慣ニシテ若シ返済ヲ怠ルトキハ次年ノ取引ニ至大ノ影響ヲ及ホスコトハ言フ俟タス

普通貸附ハ缺銀又ハ放款ト稱シ擔保付(抵押放款)又ハ押款ト無擔保トノ二種アリ無擔保貸附期限ハ五、八、十月ノ三季節ヲ以テ限界トシ其ノ範圍内ニ於テ期日ヲ協定シ利子モ其ノ都度協定セラレル擔保ハ庫預證券又ハ貨物ヲ主トシ庫預證券ハ運送會社ニ附屬セル倉庫ノ發行ニ係ルモノ多シ何レモ單行式トス商品ヲ擔保トスル場合ニ於テハ之ヲ錢莊ノ保管ニ歸セシメ市價ノ七、八掛ヲ貸附スルヲ通常トス

三、割引 割引トハ主トシテ満期前ノ莊票又ハ滙票ヲ買入レ其ノ代金ヲ當座勘定ニ繰入レ若ハ之ニ對シ新ニ莊票ヲ振出シ又ハ更票ト稱シ現銀ヲ交付スルヲ云フ而シテ割引ノ目的タル莊票及滙票ハ必スシモ割引ヲナス錢莊ノ發行

ニヨルモノニ限ラサルモノナリ割引料ハ日歩ヲ以テ計算スレトモ市上日歩ニ加頭スルヲ例トシ利率ハ割引ノ當時之ヲ協定スルモノト成行ヲ以テ之ヲ定ムルモノトアリ而シテ割引料ノ支拂ハ當座勘定ノ利子計算期ニ於テスルヲ普通トス

四、莊票發行 莊票ハ錢莊ニ於テ發行スル無記名式ノ約束手形ニシテ即票(一覽拂)期票(期日拂)トノ二種アリ、莊票ハ元ト得意先ノ請求ニヨリ若干ノ手数料ヲ徵シ發行セシモノナリシカ後ニハ貸出又ハ預金拂戻ノ際又ハ他ノ莊票若ハ爲替手形割引ノ際主トシテ之ヲ授受スルニ至リ世人亦其ノ輕便ナルト確實ナルトヲ信シ敢テ急遽引換ヲ請求セサルノミナラス終ニ轉々恰モ紙幣ト同様ニ流通スルニ至レリ期票ハ期日前ニ之ヲ錢莊ニ示シテ支拂ノ引受ヲ請求スルコトヲ得ヘシ之ヲ照票ト云フ照票ノ請求アリタルトキハ錢莊ハ其ノ票面ニ割印ヲナシ以テ引受ノ證トナス莊票ハ元來無記名式證券ニシテ紙幣ト同シク單ニ交付ニヨリ輾轉スルモノナルカ故ニ不渡トナリタル場合ハ其ノ損失ハ當然所持人ノ負擔ニシテ讓渡人ニ溯リ償還ヲ請求スヘキ理ナシト雖當地ノ慣習ハ否ラズ裏書償還請求ヲ認ム故ニ莊票ヲ授受スル各人ハ一々之ヲ帳簿ニ記載シ他日必要ニ應シテ償還請求ヲナスノ便ニ供セリサレハ莊票カ不渡リトナリタル場合ハ結局發行者タル錢莊ト最初之カ振出ヲ依頼セルモノトノ關係トナリ各讓受人ハ之ニヨリ損失ヲ蒙ルコトナキモノトス當地ニ於テハ提示シテ仕拂ヲ受クル場合ニハ錢莊ハ其ノ所持人ヨリ貼票ト稱シ

第二項 錢舖

錢舖ハ一名零兌トモ稱シ各中流商人ノ副業的ニ營タル錢莊ノ小ナルモノナリ其ノ主ナル營業ハ銀兩、銅錢、内外銀貨、紙幣等ノ兩替ヲナス外貸出、預入ヲモ爲ス、即チ小商店ニ對スル銀行ナリ、當地ニ於テハ此業ヲ營ムモノ頗ル多ク雜貨商及煙草商ニ於テモ兼業スルモノアリ、其ノ營業ハ官廳ノ許可ヲ受クルコトナク自由ナルモノ、如シ

第二款 新式銀行

新式銀行ハ清朝末ヨリ漸ク各地ニ勃興シ殊ニ當地ノ如キハ革命亂後其ノ設立ヲ企圖スルモノ益々多キヲ加ヘ目下當地ニ於ケル支那人經營ノモノ亦多數ニ上ル然レトモ中國、交通ノ兩銀行ハ最古且地盤鞏固ニシテ内外人ニ信用アルモ他ハ大半薄弱ニシテ營業方法亦不完全ナル爲名實相副ハサルモノナリ

第三款 外國銀行

外國銀行(本邦銀行ヲ含ム)相互ニ於ケル聯絡ハ支那銀行相互間ニ於ケルカ如ク密接ナラサルカ如キモ一ツノ組合ヲ組織シテ支那銀行ニ對スル關係ニツキテハ常ニ一致ノ行動ヲ取り各行皆其ノ貸出高及現銀有高ヲ明示シテ以テ金融市場ノ趨勢ヲ知ルニ便セリ各歐米銀行ハ其ノ内部組織ヲ見ルニ本邦銀行ト大差ナシト雖只各行トモ貨幣及手形ノ良否鑑別及現金ノ出納、市況及取引先ノ信用調査等ヲ掌ル買辦ナル者ヲ使用セリ當地ニ於ケル内外金融事業者ヲ掲クレハ左ノ如シ

每千兩ニ對シニ乃至五々ヲ徵ス票貼ハ取引大ナルモノハ稍々低廉ナリ此ノ外票力ト稱シ一定ノ金額ヲ徵收ス票力トハ現銀ヲ送付スル費用ナリ莊票ハ無記名約束手形ニシテ其ノ目的ハ原ト帳轉通通ニ非ス全ク債務ノ證明ニ在リ從テ各業其ノ金額及支拂期共ニ一定セス故ニ性質上之ヲ紙幣ト同視スヘカラスト雖通貨ノ缺乏甚シキ支那ニ在リテハ其ノ貨幣代用力尙ルヘカラサルモノアリ當地ニ限ラス各地各錢莊ノ力發行高ハ營業上ノ秘密ニ屬シ且政府ノ干渉ナキ爲一切ノ報告ヲ發表セサルカ故ニ之ヲ知ルニ由ナキモ當地金融市場一般ノ狀況ニ照シテ之ヲ見ルニ流通高ハ非常ナル多額ニ上ルコトハ爭フヘカラサル事實ナリトス而シテ支那ノ如ク確實ナル銀行制度ヲ有セサル國ニアリテ克ク巨額ノ取引ヲ行ヒ得ル所以ハ即チ莊票ノ力ニシテ錢莊ニシテ一朝莊票ノ發行ヲ停止センカ市場ノ取引ハ忽チ滯滯シ諸般ノ商業機關ハ殆ント其ノ運轉ヲ停止スルノ已ムナキニ至ラン

五、爲替 內國爲替ニシテ遠隔ノ地、新式銀行ノ支店及出張所ナキ所ニ限リ爲替ヲ取扱フモ外國爲替ハ專ラ新式銀行ノ取扱ヒニ係リ錢莊ハ一切之ヲ取扱ハス

六、同業間ノ連絡 錢莊ハ他商ト同シク同業組合ヲ設ケ諸般ノ要務ヲ議定シ若シ組合員ト他商人トノ間ニ紛議ノ生スルコトアルトキハ董事ヲシテ之ヲ裁決セシム而シテ董事ノ裁決ニハ當事者能ク服從ス蓋シ法律ノ保護不完全ニシテ政府ノ手ヲ藉ルモ到底公平ナル裁決ヲ得ル能ハサルヲ以テ寧ロ之レヲ便宜公平ナリトスルナリ

大德恒票號	漢潤里
大德通票號	同
滙通錢莊	一碼頭
廣大錢莊	前花樓
謙孚泰錢莊	黃陂街
豐記錢莊	太和里
同德錢莊	壽怡里
德豐錢莊	正一碼頭
紹大錢莊	同
德祥錢莊	同
信大錢莊	同
益豐錢莊	同
協利錢莊	黃陂街
善昌錢莊	同
吉慶裕錢莊	同
致和錢莊	同
義泰錢莊	同
瑞豐錢莊	同
謙益錢莊	同
兆豐錢莊	同
恒和錢莊	同
恒春錢莊	同
永茂錢莊	同
協昌錢莊	正街

怡慶祥錢莊	同
謙昌錢莊	同
恒通錢莊	同
裕和錢莊	同
聯昌錢莊	同
和昌錢莊	同
啓泰錢莊	同
保昌錢莊	同
裕成錢莊	同
同益錢莊	同
恒興錢莊	同
豐盛錢莊	同
聚康錢莊	同
聚康錢莊	同
惇孚錢莊	張美之巷
普興錢莊	金鑑里
祥濟錢莊	黃陂街
守康錢莊	同
慶豐錢莊	同
懋興錢莊	同
萬和錢莊	同
同慎祥錢莊	金鑑里
永大錢莊	前花樓
久和錢莊	黃陂街
致祥錢莊	同
太和錢莊	同

乾泰錢莊	敦義錢莊	萃豐錢莊	鈞泰錢莊	寶大錢莊	義生錢莊	謙豐錢莊	協和錢莊	廣泰錢莊	振豐錢莊	元生錢莊	雲龍錢莊	華昌錢莊	永成錢莊	復仁錢莊	茂昌錢莊	乾升錢莊	厚德錢莊	和源錢莊	和祥錢莊	怡祥錢莊	西昌錢莊	義康錢莊	厚生錢莊	乾巽裕錢莊
黃陂街	楊子街	一碼頭	前花樓正街	泉隆巷正街	前花樓正街	永昇平	張美之巷正街	集稼	三善巷正街	前花樓正街	楊子街巷內	楊家河	剪子街口	永寧巷正街	沈家廟正街	董家巷正街	漢潤里	永昇平	同	五福里	熊谷巷正街	張美之巷正街	永昇平	熊家巷中街

鹽業銀行	金城銀行	中孚銀行	浙江興業銀行	交通銀行	中國銀行	支那銀行	榮大錢莊	安隆錢莊	源隆錢莊	兆元錢莊	泰昌錢莊	廣興錢莊	瑞生錢莊	寶通錢莊	振昌錢莊	太康錢莊	元昌錢莊	同聚錢莊	恒康錢莊	福和錢莊	恒源錢莊	餘昌錢莊	永升錢莊	和豐錢莊
同	同	一	一	一	一	一	萬壽橋	滿家巷正街	三善巷正街	黃陂街	楊子街巷	黃陂街	集稼	四官殿正街	四官殿正街	堤口正街	楊家河	集稼	張美之巷正街	至公巷正街	沈家廟正街	馬王廟正街	龍家巷下街	

一一〇

聚興誠銀行	滬川源銀行	工商銀行	黃陂實業銀行	四明銀行	華豐銀行	四川銀行	蔚豐商業銀行	永孚銀行	直隸銀行	外國銀行	橫濱正金銀行支店	臺灣銀行支店	住友銀行支店	山高洋行(ブローカー業)	滙豐銀行(英)	Hongkong & Shanghai Banking Corporation	麥加利銀行(英)	Chartered Bank of Indo Australia & China.	花旗銀行(米)	International Banking Corporation.	友華銀行(米)	Asia Banking Corporation.	東方滙理銀行(佛)	Banque de l'Indo-chine.
漢潤里	露租界	一碼頭	同	同	同	同	同	同	同	同	英租界	英租界	英租界	同	同	同	同	同	同	同	佛租界	佛租界	佛租界	

道勝銀行(露) 露租界

Bussu-Asiatic Bank.

義品放款銀行(伊) 佛租界

Credit Foncier d'Extreme Orient (mortgage Bank)

一九一八年ニ於ケル内外銀行ノ發表手許有銀高一覽表

月別	外國銀行	支那銀行	合計
一月	四六五,000	一六〇,000	五,一六〇,000
二月	三,一三〇,000	一,一六〇,000	四,二九〇,000
三月	五,一五五,000	一,一六〇,000	六,三一五,000
四月	三,四三〇,000	一,九〇〇,000	五,三三〇,000
五月	三,九二四,000	二,一五〇,000	六,〇七四,000
六月	二,六八〇,000	三,三五〇,000	五,九七〇,000
七月	三,六〇〇,000	三,八〇〇,000	七,四〇〇,000
八月	二,六〇〇,000	三,一〇〇,000	五,八〇〇,000
九月	三,六七〇,〇〇〇	一,六〇〇,〇〇〇	五,二七〇,〇〇〇
十月	二,六九〇,〇〇〇	四,九〇〇,〇〇〇	七,五九〇,〇〇〇
十一月	三,四〇一,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇	五,三三〇,〇〇〇
十二月	二,九一八,〇〇〇	五,八四〇,〇〇〇	八,七五八,〇〇〇
一月	三,七〇〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	五,九〇〇,〇〇〇
二月	三,一〇九,〇〇〇	五,七九〇,〇〇〇	八,八九〇,〇〇〇
三月	三,四四三,〇〇〇	二,〇五〇,〇〇〇	五,四九三,〇〇〇
四月	三,一七〇,〇〇〇	四,三三〇,〇〇〇	七,五〇〇,〇〇〇
五月	二,八二六,〇〇〇	一,九八〇,〇〇〇	四,七六六,〇〇〇
六月	一,六二〇,〇〇〇	四,二二〇,〇〇〇	五,八四〇,〇〇〇

一一一

十月	兩	二,三〇,〇〇〇	一,六五,〇〇〇	三,九〇,〇〇〇
十一月	兩	一,一六,〇〇〇	四,八〇,〇〇〇	六,四八,〇〇〇
十二月	兩	三,二六,〇〇〇	一,六〇,〇〇〇	四,九六,〇〇〇
	兩	二,四八,〇〇〇	四,一五,〇〇〇	六,二九,〇〇〇
	兩	三,五五,〇〇〇	二,一六,〇〇〇	五,七一,〇〇〇
	兩	二,一九,〇〇〇	四,六九,〇〇〇	六,八八,〇〇〇

第四款 通貨鑄造機關

通貨鑄造ハ湖北官錢局ニ於テス官辦ニシテ其ノ鑄造スル種類ハ壹元銀、二角(二十錢)、一角(十錢)、一串文紙幣(銅元百枚ニ相當ス)及銅元(二錢、一錢ノ二種)ナリトス

第一項 通貨

支那ニ於ケル通貨ハ中央政府之カ鑄造ノ獨占權ヲ掌握セスシテ之ヲ各省ニ分與セシ爲今各地ニ於ケル貨幣制度ハ紊亂其ノ極ニ達シ通貨ノ錯雜混亂セル世界ニ其ノ比ヲ見サル所ナリ現時當地ニ流通スル貨幣ハ之ヲ分チテ銅錢、銅元、銀兩、銀元、紙幣ノ五種アリ尙外國銀行發行ノ紙幣錯綜シテ流通シ何レモ相互間ノ比價毫モ一定セス日々其ノ相場ノ變動アリ、加之紙幣ノ如キ發行地以外ニ之カ流通ヲ見サルモノ又流通スルモ額面通り流用セサルモノ等アリ銀貨モ亦甲省鑄造ノモノト乙省鑄造ノモノトハ各其ノ價格相異スル狀態ナリ而シテ通貨ノ相場ハ銅、銀貨ノ變動及需要供給ノ關係ニヨリ高低常ナシ、當地ニテハ洋例紋(銀ノ一定量目ニ對スル名稱)ヲ標準トシテ毎日二回銀行業者間ニテ標準相場ヲ建ツ

一、弗 墨銀、大清銀、湖北銀、人頭銀、江南銀、香港銀

行亦外國銀行ニ倣ヒ五種ノ紙幣ヲ發行セリ

第二節 漢口度量衡

現在漢口地方ニ於テ使用セラル、度量衡ハ一般前清時代ヨリ特定セラレタルモノヲ遵用シ居ルモ其ノ種類極メテ多加之各商品其ノ所ニヨリ其ノ標準度量衡ヲ異ニシテ頗ル複雜ヲ極メタリ民國三年權度條例ヲ發布シ全國劃一ノ制ヲ樹テントシタルモ由來習慣ヲ遵守スルノ風アル支那人間ニハ容易ニ實行シ能ハサルカ如ク今猶各商品各地共從來ノ度量衡ヲ使用ス近時對外貿易ノ發展ニ伴ヒ支那貿易商ハ英國尺度、磅秤ヲ標準トシテ取引スルモノアルニ至レリ

支那尺度ノ單位關係

一丈	(十尺)
一尺	(十寸)
一寸	(十分)
一分	

支那尺種別

尺名	用途	日本曲尺	英尺
廣東尺	各地稅關	一尺七寸七分	一四吋〇九八
廣尺	吳服反物店賣用	一尺一寸一分	一三吋二五〇
度尺	吳服反物店買用	一尺一寸七分	一四吋〇〇〇
綢緞尺	絹物賣用	一尺一寸四分	一三吋六四〇
九八尺	吳服及皮商用	一尺二寸七分	一三吋五二〇
九五尺	小商店用	一尺九分	一三吋一〇〇
欄杆尺	リボン類用	一尺二寸五分五厘	一三吋八〇〇

(一名站人銀)等アリ就中墨銀、大清、湖北、人頭ノ四種最ヨク流通シ江南、香港兩銀ハ百弗ニ對シ一弗内外ノ割引ヲ付セラレ、四川、吉林、其ノ他各省弗銀亦各割引率ヲ有ス二、小銀貨 二角(二十仙)一角(十仙)ノ二種アリ本弗ノ補助貨トシテ鑄造セラレタルモノニシテ十角ヲ一弗ニ相當セシムル規定ナリシモ地金ノ價格ニヨリ流通スルカ故ニ實際ニ於テハ人頭小銀貨(袁世凱像入)ヲ除キテハ打歩ヲ付シテ十一角半乃至十二角ヲ以テ一弗ニ兌換セラル

三、銅元 單銅元、雙銅元ノ二種アリ前者ハ我一錢銅貨後者ハ我二錢銅貨ニ等シ然レトモ兩者其ノ價ヲ異ニシ單銅元ハ一串五百二、三十文ヲ以テ一弗ニ相當ストセラル、モ雙銅元ハ一串五百六十文内外ヲ以テセラレ居リ時々相場ハ變化セラル雙銅元ノ安キ理由ハ即チ濫鑄ニアリ

三、制錢 制錢ニハ乾隆通寶、寬永通寶、康熙通寶、嘉慶通寶、道光通寶等アリ十枚ヲ以テ銅元一仙ニ相當ス地方ニ於ケル小取引ハ多ク之ヲ用キラレ漢口市内ニテハ僅ニ銅元ニ對スル補助貨トシテ用ユルノミ

四、官票、湖北官錢局ノ發行ニ係リ銅元百枚ト引替フ憑票ナリ然レトモ實際ハ百枚ト引替ヘ得サル狀態ニシテ九十八枚時ニハ八十枚代ニ下ルコトアリ濫發ノ爲メ信用ヲ置キ難ク常ニ不安理ニ通用セラル、モノトス

五、外國銀行紙幣 當地滙豐、麥加利、花旗、中法實業、橫濱正金、臺灣ノ諸銀行ニ於テハ一弗、五弗、十弗、五十弗、百弗ノ五種紙幣ヲ發行シ市内信用篤シ

六、支那新銀行紙幣 中國、交通、浙江興業、四明等ノ銀

裁尺 縫 用

木尺	大工材木商用	一尺一寸五分六厘	一三吋八八〇
竹尺	竹屋用	一尺八分	一三吋〇〇〇
算盤尺	算盤製造用	一尺一寸五分	一三吋八〇〇
灘尺	木材商用	一尺一寸四分	一三吋三〇〇

支那里程

十里	(或ハ一鋪トイフ)	我一里二十二町三十間
一里	(廣東尺千八百丈)	我五町五十一間
一步	(廣東尺五尺)	我五尺八寸五分

支那地積ノ單位關係

一步	(廣東尺五尺平方)	我九合五勺一才弱
一方	(廣東尺一丈平方)	我三坪八合二勺五才
一畝	(橫二百四十步)	我七畝十八坪一合五勺
一頃	(百畝)	我七町六反〇十六坪

支那斗量

一勺		我零勺五七三
一合		我五勺七三一
一升		我五合七勺三一
一斗		我五升七合三勺一
一斛	(五斗)	我二斗八升六合五勺
一石	(二斛)	我五斗七升三合一勺
一庚	(十六斛)	
一乘	(十六斛)	

支那秤種類 用途

樊斛 在樊城老河口米麥取引用 我三斗九升四合一勺
衡斛 漢水運來ノ湖南船トノ麥取引用 我四斗〇三合一勺
雜糧斛 雜穀取引用 我三斗〇一合一勺

第十一章 交通及通信

第一節 交通

第一款 鐵道

當館管轄内開通鐵道ニハ京漢鐵道ノ北京ヨリ河南ヲ經由シテ漢口ニ至ル線路ノ外甯海鐵道(江蘇省海州ニ起リ甘肅省蘭州ニ至ル豫定ノモノ)ノ徐州(開封、鄭州、洛陽經由)觀音堂間及粵漢鐵道(廣東省三水ニ起リ武昌ニ達スヘキ豫定線)ノ武昌(岳州經由)長沙、株州間、大冶鐵道及道清鐵道ノ五アリ皆均シク廣軌四呎八吋半トセリ、内京漢、甯海、粵漢ノ三鐵道ハ一般貨物乘客運搬ヲ目的トスルモ大冶道清ノ二線ハ礦物ノ運出ヲ主トシテ敷設セラレタルモノナルヲ以テ普通營業鐵道ト多少其ノ性質ヲ異ニス、京漢ハ北京、漢口兩端ヨリ每週月、木ノ二回ニ特急列車ヲ出シ普通車ハ毎日二回双方ヨリ發車セシメ貨物車ハ一定ノ時刻ニ往復スルコトナク貨物ノ都合ヲ斟酌シ隨時發車セシメ、甯海線ノ鄭州、開封間ハ毎日四回、徐州、觀音堂間ハ毎日一回洛陽、鄭州間ハ毎日二回、鄭州、徐州間毎日一回又近ク觀音堂西陝州迄開通ヲ見ルコト、ナルヘシ粵漢鐵道長沙行ハ毎日二回、武昌徐家棚ヨリ發シ居レリ、尙川漢鐵道(四川、漢口)ハ宜昌附近ニ短距離工事ノ跡アリト雖目下右工事ハ中止セ

海關秤	(海關用)
曹秤	(法定商用)
庫秤	(納稅用)
估秤	(市場一般取引用)
錢秤	(同)
浙寧秤	(紅茶、豆、野菜、苧麻、羊毛其他特殊ナラサル百貨用)
建邦秤	(海產物用)
公議秤	(油類、土貨小賣用)
磅秤	(皮類、油類、其他輸出用)
洋例秤	(對外國商人取引用)
加一秤	(綠茶、果物用)
加二秤	(粉茶用)
蘇秤	(皮油ノ取引用)

其ノ他開行秤、四秤秤アリ

一擔	(百斤)	英國 一三三封度三分ノ一
一斤	(十六兩)	英國 一六六封度三分ノ一
一兩	(十錢)	英國 一六六封度三分ノ一
一錢	(十分)	英國 一六六封度三分ノ一
一分	(十厘)	英國 一六六封度三分ノ一
一厘		英國 一六六封度三分ノ一

支那秤種類

公斛標	準	斛	我二斗八升六合五勺
漢斛	在漢口米穀取引用	斛	我二斗九升八合六勺

ラレ何時間通ヲ見ルニ至ルヘキヤ見當ツキ難シ

第二款 汽船

當地ヲ中心トスル池船航路ニハ上海線、宜昌線、湘潭線、常德線、重慶線(以上ハ大汽船會社ニ於テ乘客、貨物運搬ニ從事セリ)及黃州、仙桃鎮、咸寧、常德、長沙、嘉魚、岳州、各線(以上ハ小汽船會社ノ經營ニシテ小蒸汽船ヲ以テシ乘客本位ナリ)等アリ是等各線ヲ航行スル汽船各航運業者並船出入表ヲ列記セハ左ノ如シ

第一汽船

イ、上海漢口線(黃州、黃石港(大冶上流)武穴、九江、湖口、安慶、大通、蕪湖、南京等經由)

(日) 日清汽船會社(定期一週五回)

鳳陽丸	三、九七七噸
南陽丸	三、五八八噸
岳陽丸	三、五八八噸
襄陽丸	三、五八八噸
瑞陽丸	三、八六五噸
大貞丸	二、七一二噸
大福丸	二、五五五噸
大和丸	二、二四七噸
大吉丸	二、〇七七噸

(英) Butterfield & Swire 太古洋行(定期一週四回)

武昌	三、二〇〇噸
聯益	二、八六七噸
安慶	二、七三二噸
鄱陽	二、五五一噸

大 通 二、五四八噸

(英) Jarline Matheson & Co., Ltd. 怡和洋行

(定期一週四回又ハ三回)

德和	三、七七〇噸
隆和	三、二二三噸
聯和	二、八六七噸
瑞和	二、六七二噸
吉和	二、六六五噸

(英) 鴻安公司(定期十日ニ二回)

德興	一、六四二噸
長安	一、三九三噸

(支那) 招商局(定期一週四回)

江華	四、二〇〇噸
江新	三、三七二噸
江裕	三、〇九八噸
江寬	二、三三〇噸
江孚	二、三三〇噸
江永	二、一一八噸

(支那) 寧紹公司(定期十日ニ二回)

寧紹	一、九二〇噸
----	--------

口、宜昌漢口線(新堤、岳州、沙市、經由)

(日) 日清汽船會社(定期每月六回)

大元丸	一、七三五噸
大亨丸	一、六九五噸

(英) 太古洋行(定期每月三回)

洞庭 二、〇三六噸
 (英) 怡和洋行 (定期每月三回)
 江和 二、一七五噸
 (支那) 招商局 (定期每月六回)
 快利 二、六七九噸
 固陵 四九八噸
 六、湘潭漢口線(岳州、長沙、經由)
 (日) 日清汽船會社(定期一週二回)
 武陵丸 一、四五八噸
 沅江丸 九五五噸
 (英) 怡和洋行(定期一週二回)
 同和 一、三五〇噸
 昌和 一、〇六五噸
 (英) 太古洋行(定期每四日一回)
 吉安 一、二一七噸
 湘潭 一、一九五噸
 二、常德漢口線(寶塔州、新堤、城陵磯、岳州經由)
 (日) 日清汽船會社(定期每週一回)
 湘江丸 九五三噸(增水期)
 小蒸汽船 五隻(減水期)
 (支那) 泰安公司 一隻
 小蒸汽船 一隻
 (支那) 德安公司 一隻
 小蒸汽船 一隻
 黃州漢口線

仁義公司 小蒸汽船 二一六
 道生公司 同 二
 開濟公司 同 三
 森記公司 同 一
 仙桃鎮漢口線
 (支) 利濟公司 小蒸汽船 二
 (同) 森記公司 同 三
 (同) 康濟公司 同 三
 咸寧漢口線
 (支) 利濟公司 小蒸汽船 一
 (同) 三順公司 同 四
 長沙漢口線
 (支) 森記公司 小蒸汽船 三
 (同) 開濟公司 同 二
 (同) 道生公司 同 一
 嘉魚漢口線
 (支) 仁義公司 小蒸汽船 一
 第二航運業者
 一、本邦航運業者
 日清汽船會社支店 英租界
 日本郵船會社出張所 同
 大阪商船會社出張所 同
 三菱公司船舶部 日本租界
 二、歐米航運業者
 太古洋行(英) 英租界
 China navigation Co., agents Butterfield & Swire.

怡和洋行(英) 英租界
 Jardine Matheson & Co., Ltd.
 鴻安公司(英) 同
 三、支那航運業者
 招商局 河街
 寧紹公司 佛租界
 康濟輪船局 萬安巷
 安合公司 王家巷
 濟川公司 英租界
 保安公司 河街

仁義公司 支那街
 道生公司 同
 開濟公司 同
 森記公司 同
 三順公司 同
 利濟公司 同
 全鄂公司 同
 泰安公司 同
 德安公司 同

第三 最近三年間各國別出入船舶表

國籍別	大正七年		大正八年		大正九年	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
英國	三、四四二	二、三四、五九	三、六六九	二、六四二、五九	四、〇四四	二、八六九、一七
日本	二、〇〇六	一、八七、四九〇	二、〇六六	一、九六、三二	二、三〇〇	一、九三、三九二
支那	九、四六二	一、六四、九三	一四、四五五	二、〇四、八四	八、四四一	一、六七、八八四
米國	三三〇	八五、三七	四四五	一、八八、二六	六四	二、〇〇、五九
露國	二〇	一四、四八	三	二	二	三二
諾威	二	二、〇五〇	六	五、一〇六	一四	一四、八七六
丁抹	一	一	四	一七、三九二	二	八、四四四
和蘭	二	二、九〇六	一	一	二	四、五六六

伊 太 利
佛 國

合 計 一五、三三四 五、九五、六九三

第三款 武漢ト管内主要都市トノ交通

湖 北 省

一、老河口(人口五萬) 漢水舟便アリト雖一般交通ニハ湖水ニハ陸路馬、駕子、牛車、小車ニ依ルモノ多ク下水ノミ舟便ニ依ル

一、樊 城(人口四萬) 同 上

一、襄陽府城(人口三萬) 同 上

一、荊門州城(人口二萬) 漢水、小蒸汽船及民船

一、德 安(人口一萬五千) 廣水迄京漢鐵道下車後駕子或ハ馬

一、隨州城(人口一萬五千) 孝感迄京漢鐵道下車後馬駕子

一、孝 感(人口一萬五千) 京漢鐵道

一、仙桃鎮(人口一萬三千) 漢水小蒸汽船

一、安 陸(人口一萬三千) 漢水小蒸汽船及民船

一、應 城(人口一萬) 孝感迄京漢鐵道下車後馬、駕子

一、雲 夢(人口八千) 同 上

一、宜 城(人口七千) 往、陸路馬、駕子ノ類、歸路漢水民船

二二八

八 八〇
七 九、四〇六

二〇、七五 六八四、三三六 一五、〇八三 六、八七、四八〇

一、興國州城(人口七千) 武穴迄長江汽船富水ヲ民船

一、蔡 甸(人口六千) 漢水小蒸汽船

一、應 山(人口五千) 廣水迄京漢鐵道下車後馬、駕子

一、聚 陽(人口三千五百) 樊城ヲ經、陸路馬、駕子

一、新 堤(人口三千) 長江汽船或ハ小蒸汽船

一、黃 陂(人口三千) 長江民船減水民船

河 南 省

一、開封府城(人口二十五萬) 京漢線ニテ鄭州ニ鄭州ヨリ隴海鐵道ニ乗換ヘ

一、信陽州(人口三萬) 京漢鐵道

一、洛 陽(人口二萬五千) 京漢鐵道、隴海鐵道

一、周家口(人口二萬) 鄆城迄京漢鐵道下車後支那馬車

一、歸德府城(人口一萬六千) 京漢鐵道、隴海鐵道

一、衛輝府城(人口一萬六千) 京漢鐵道、道清鐵道

一、南陽府城(人口一萬五千) 西平迄京漢鐵道下車後支那馬車

一、焦 作(人口一萬五千内一萬ハ工夫) 京漢鐵道、道清鐵道

一、睢縣城(人口一萬) 開封又ハ歸德迄汽車下車後ハ

ノ故障多キ爲多クハ馬車、駕子ニ依レリ
甘 肅、新 疆 省
甘肅、新疆兩省主要地ヘノ往來ハ總テ陝西省ヲ通過スルモノニシテ交通機關ハ支那馬車、驛馬ヲ主トス

第四款 武漢ト旅客往來數
大正七年 外國人(日本人ヲ含ム) 五、六二六八
支那人 三二七、一七八八

大正八年 外國人 七、七六七八
支那人 三七九、五一七八

大正九年 外國人 七、八四四八
支那人 四一九、〇八一八

第五款 武漢市街ノ乗物
漢口支那街ノ後城馬路、支那競馬場道路及各國租界ニハ自働車ノ往復自由ニシテ貸自動車アリハ力車ハ租界、支那町ノ二區ニ分チ支那町方面ハ自用車ノ外ハ横町ニ引込ミヲ禁止セル爲横町通ニハ駕子ヲ用ユルカ或ハ自用車ニヨルノ外ナシ其ノ他大街ニハ洋馬車ノ賃乘ニ應スルモノ多ク武昌トノ往復ニハ小蒸汽船アリ武昌市街ニハ官衙用馬車以外ニハ貸馬車無ク人力車、駕子ハ各街道通行自由トセリ武漢兩市共ニ未タ電車敷設セラレス敷設計畫モ未尙無シ

第二節 通信

第一款 管内郵便局

湖北省郵便局

二二九

陝 西 省

陝西省各都市ヘノ交通ハ京漢鐵道鄭州ヨリ隴海鐵道ニ乗換ヘ河南觀音堂驛ニ下車後馬車、駕子ニヨリ陝州ニ至リ黃河民船ニテ潼關ニ或ハ其ノ儘陸路函谷、關山道ヲ越シテ潼關ニ入ル或ハ漢水ヲ溯ルコトモ得ヘシ潼關、西安間ニハ營業自働車アリ然レトモ自働車道路ノ不完全ト機械

- 一、新鄉縣城(人口一萬) 支那馬車
- 一、鄆 城(人口一萬) 京漢鐵道
- 一、鄭 州(人口一萬) 同 上
- 一、杞縣城(人口一萬) 開封迄汽車下車後馬車又ハ駕子
- 一、賒旗鎮(人口一萬) 西平迄京漢鐵道下車後馬車
- 一、光州城(人口一萬) 京漢鐵道信陽下車支那馬車
- 一、固始縣城(人口一萬) 同 上
- 一、和尚橋(人口八千) 京漢鐵道
- 一、永城縣城(人口八千) 歸德迄汽車下車後支那馬車
- 一、懷慶府城(人口六千) 京漢鐵道及道清鐵道、支那馬車
- 一、羅山縣城(人口六千) 京漢鐵道信陽下車支那馬車
- 一、道口鎮(人口五千) 京漢鐵道及道清鐵道
- 一、清化鎮(人口五千) 同 上
- 一、泌 陽(人口五千) 京漢鐵道駐馬店下車支那馬車
- 一、陝 州(人口四千) 京漢鐵道、隴海鐵道下車後馬車、駕子

龍龍龍龍龍龍路陸六洛劉羅螺羅羅里柳劉劉劉厲淋李兩老
灣泉泉溪指陽田漢鎮云家家家仁山家路新
司坪口港舖鎮口口店店嘴縣山寺甸口集隔寨八山河集口口

保潘潘板潘蚌入白白白白白磨彌園河蕨馬卯茅馬馬呂鹿蘆
家家家湖里楊沙螺盤陀家陽洋坪洞廟鞍堰頭陂
安集塘橋場口灣坪洋南舖磯洲寺集州潭港司集橋山驛鎮堰

街易廻花換滾黃黃黃黃華虎胡胡后郝賀河郝賀鶴熊興興橫
河家龍縑潭龍陵金金家勝家峯家隆隆
市墩山園橋鎮鎮磯口安容渡店集港穴橋口店坪廳巖集集店

蘭榔觀官光官孔孔古瓊穀隔舊岐機金金金鷄邨建高乾乾高
音渡化埠家老家城蒲心台鳴家陽店鎮城
溪坪寺口縣橋墟埠背灣縣潭口亭廠崗牛口河灣驛子驛壩總

宣西新新新新新新新新新繫洗西浙咸歇西下蕭小響向香峽巴
思 灘 溝 江 馬 馬 流 河 豐 馬 家 河 家
縣 壩 店 口 灘 嘴 溝 口 洲 廠 口 販 河 鎮 縣 河 齋 店 港 溪 灘 村 溪 口 東

多堤汀天田天調大大塔大大道唐太大大大大塔孫孫松宋隨
寶 泗 門 家 河 新 峽 市 板 邦 人 縣 子 平 羊 河 耳 家 家 滋 陽
灣 頭 橋 縣 鎮 口 弦 店 口 驛 港 店 橋 鎮 廟 店 溪 舖 販 崗 嘴 橋 縣 河 店

派沙山山上上上沙沙三三三三三拍璞平平平彭彭寶鮑保保
羊 巴 龍 河 斗 里 里 又 河 靖 善 林 市 家 塔 家 康
口 坪 坡 隘 津 河 坪 湖 鎮 坪 店 壩 城 埠 墩 瑤 關 壩 市 場 場 洲 店 縣 豐

利老來歸廣均荆荆建監霸江江宜黃黃雙双雙石柿石石拾沈
河 州 始 石 蓮 橋 花 子 牌 橋 廻 家
川 口 鳳 州 水 州 門 府 縣 利 州 口 岸 都 港 陂 寺 溝 鎮 街 店 鎮 驛 橋 集

迎白藤巴藕歐轟南楠南南南木木脈麥研洩野姚姚楊洋楊洋
河皋 池家家 木化河漳 橋旺 子 山家家鷹梓
集鎮州河口廟河坪園鎮渡縣貢溪嘴市崗灘關嘴集嶺鎮店坪

確荆雞汝輝懷許河駐周鄭彰 開 漁漁邯雲永永滔遠
山紫公寧 慶 南馬家 德 封 洋薪西夢灑佳溪安
縣關山府縣府州府店口州府 第二項 河南省
二等局 管理局 郵便局 河南省

團團殷土東東董通通都崇崔青青七濶峇澤草漕倉蔡陝阡多
寶林家地津新 山海鎮陽家山 里江河林 家子家 山湖祥
寺舖店塘灣店市縣口灣縣瓠港山坪縣口嘴市河埠河埠堤河

楊楊楊楊洋了鴉伍五五吳武漳灣萬萬萬江王王王王毛資慈
林家家家 角雀洛里里家安源 家戶和家家家家家廟 化
集降河寨溪廟水寺舖坪店堰口潭店泡店營集集店河集邱寺

耿高高考亢康榮榮汝任驥襄伊義宜儀和和暖惠會回廻會黃
家村平城村家陽澤南 河陽井溝封 嘉濟亭隆廓興啟
集鎮集縣驛店縣縣埠村東鎮縣舖驛鎮村店縣橋集鎮鎮鎮鎮

光狂官楊谷鞏曲鉅曲口科九舊舊金京荆澗界繼賈橋江賈鄭
山 河熱 興子泉里考縣鄉 隆嶺 城宋頭家
縣口莊鎮集縣溝橋集鎮鎮關城鎮埠水宮店中鎮鎮鎮集樓縣

傳扶豐對范方繁二莊朱朱殊塚中中中中朱竹朱竹泉券權周
溝樂邱蓋家城廊晏陽仙砂 山牟和召典 筭 黨
集縣鎮縣鎮集鎮廟村關鎮崗頭舖縣鎮集鎮溝口舖店橋槩販

黃黃黃黃槐淮滑胡胡紅洪胡河侯厚和河合鶴合黑黑翰韓韓
德河河 鳳 陽襄廟河 陰 尙口水壁澗石龍 城
集南口埠店集縣城城寨屯橋鄉集坡橋寨鎮鎮鎮關潭棟崗鎮

太 大 汜 須 徐 孫 孫 濬 濬 宋 徐 許 水 宣 修 西 西 西 新 新 辛 辛 新 新 耶
康 何 水 水 堡 鐵 方 縣 隆 良 治 化 武 向 峽 坪 店 店 店 興
縣 屯 縣 鎮 鎮 舖 口 站 縣 店 店 鎮 鎮 店 縣 集 口 鎮 集 舖 集 鎮 店 集 店

陡 定 丁 邱 添 田 鐵 鐵 登 鄧 大 大 大 大 大 湯 譚 大 大 大 大 大 塔 戴
遠 家 獎 謝 封 菅 字 司 新 陰 劉 林 隗 孔 口 余
溝 店 埠 閣 鎮 瑚 鎮 門 縣 城 鎮 營 營 馬 店 縣 莊 店 店 鎮 集 鎮 店 橋 集

水 淑 石 石 十 石 石 石 石 寺 石 神 涉 山 商 上 沙 澁 三 三 三 三 桑 桑 博
寺 八 嶺 滾 固 橋 埠 佛 后 彭 水 官 河 港 鄉 十 教 義 村 望
里
粟 村 鎮 象 里 鎮 河 鎮 鎮 口 寺 鎮 縣 鎮 縣 村 店 店 鎮 屯 堂 寨 集 坡 驛

新 新 新 新 西 滄 西 薛 射 薛 謝 浙 西 夏 下 硤 道 小 小 祥 家 双 双 順 水
站 安 安 華 家 川 承 邑 石 遙 冀 符 柳 橋
鎮 集 集 店 縣 灘 渡 店 橋 湖 莊 廳 留 縣 湯 驛 鎮 店 鎮 菅 莊 樹 埠 店 屯

余王虞原源宛岳宜穎英邑延偃鄆晏延冶姚陽陽陽楊楊楊洋
 家山城武潭寨陽豪城津師陵家秋陶驛邑武家河
 店鎮縣縣鎮集城縣橋鎮鎮縣縣縣河鎮鎮村舖鎮縣樓店橋鎮

榆延渭潼同綏三邠龍涇興漢鳳安西 漁邗禹榆尉永
 林安南關州德原駒陽安中翔邊安 邵寺廂氏寧
 縣府縣廳府州縣州縣縣府縣府堡 府 陝西省郵政局
 二等局 第三項 陝西省

東通東桐東桐東銅東東桐土楚崇濟齊清于蔣曹蒼榮蔡蔡寶
 許雙柏洪河周乘橋旺義源益化秋家溝公
 姚縣河縣橋乘莊鐘莊漳舖乘鎮鎮縣集南鎮集店苔園鎮莊集

揚吳五鳥五五五午吳吳文閣文文溫浦瓦往王瓦紫磁磁獨屯
 台女龍星陵溝汲家底鄉殊渠川流陵澗樹子
 埠廟店集鎮鎮營鎮店城鎮縣寺集縣縣店集鎮崗鎮鎮鐘鎮集

醴兩老藍號關官關口岐涇景汧監交羗葭高甘甘義宜宜華華
泉縣田山駱頭山陽村陽軍白陵谷泉合君川陰陽
縣女鎮縣鎮鎮鎮口鎮縣塔鎮縣鎮口鎮州縣驛縣鎮縣縣縣鎮

寧南沔朱美鄆馬毛漫馬露魯雜洛櫟流留留流略麟臨容蘭臨
陝坊脂鬼壩川鹿井橋南川陽水壩陽遼潼家
鎮鎮縣縣源縣鎮關關鎮鎮鎮縣縣鎮店廳古曲縣縣縣口店鎮

周整赤芝鎮城鎮鎮朝趙長長安安安西咸南寧隴故乾韓
家屋水川固川安邑家武凝定塞鄉陽羗市城
嶮縣鎮鎮坪縣堡縣縣灣縣縣縣縣仁代辨縣縣州州州鎮州縣三等局

黃黃懷羣鄂郃興興恒黑漢敷富府扶廊佛鳳鳳坊磚莊淳中終
沙官惠陽市平陽水平谷風坪凰化部南
鎮嶺縣州縣縣鎮縣口地廳鎮縣縣縣州廳嘴縣鎮坪裏縣縣鎮

魯靈靈禮兩拉郭貴官空古金金金涇洮洮岩昀打太西西新西
沙臺 當 卜家德 心浪 家 州昌曠拉子大
爾縣州縣縣寺鎮廳堡墩縣塔崖縣州廳城堡爾池寺通鄉城固

環敦通東董士崇靖清靜泰定磴大寧寧寧寧碾內馬毛毛隆樂
煌渭 信遠水寧安遠 遠靈 安 官跑伯 德善
縣縣縣樂志門縣縣縣州縣營口靖縣廳州堡伯營泉勝目縣鎮

黃花紅紅合哈海撫伏莊卓鎮正稱成鎮張漳 固岷階 秦狄
渠馬 城水噠城彝羌 原寧鈞 香家 原 道
橋池水子縣舖縣廳縣浪尼縣縣驛縣縣川縣 代州州州 三等州州
處 局

西西硝享循石山沙三平平碧北巴寶白嘉高高甘會徽惠華化
和峯河 化嘴丹 羅 大戎 馬峪臺廟草寧 安亭平
縣鎮城堂廳山縣泥谷遠縣口通廳豐關關縣子縣縣縣堡縣廳

鄭荆鷄開汝懷許河豐駐周彰	邯羊武武資潯德大太新仙
紫公封慶南樂馬家德	陽樓昌江安冶平桃
州關山府州府州府鎮店口府	府洞穴府邱縣府縣溪堤鎮
Chang te fu	Sien tao chen
Chow kia kow	Sin ti
Chu na tien	Tai ping ki
Feng lo chen	Ta yeh Hsien
Ho nan fu	Te an fu
Hsi chow	Tsien kiang Hsien
Hwai king fu	Tzu chiu
Ju chow	Wu chang fu
Kai feng fu	Wu lsieh
Ki kung shan	Yang low tung
King tzu kwan	Yin yang fu
Cheng chow	

第二項 河南省電報局

鳳凰	禹鄆葉武武衛清焦道信正新新孝陝南羅羅歸光確
翔	城陟安輝化陽陽鄉陽潯山德山
府縣	州縣縣縣府府鎮作口縣縣縣店義州府河縣府州縣
Feng hsien	Kio shan Hsien
Feng hsien	Kwang chow
Feng hsien	Kwei te fu
Feng hsien	Lo shan hsien
Feng hsien	Lo wan ho
Feng hsien	Nan yang fu
Feng hsien	Shan chow
Feng hsien	Siao yi
Feng hsien	Sin tien
Feng hsien	Sin hsiang hsien
Feng hsien	cheng yang hsian
Feng hsien	Sin yang hsien
Feng hsien	Tao kow
Feng hsien	Tsiaø tso
Feng hsien	Tsing hwa chen
Feng hsien	Wei hwei fu
Feng hsien	Wu an fu
Feng hsien	Wu chih hsien
Feng hsien	Yeh hsien
Feng hsien	Yen cheng hsien
Feng hsien	Yü chow

第三項 陝西省電報局

秦秋磴肅西平平寧寧涼蘭固鞏涇甘安安	塞西三蒲寧龍
道寧涼番夏安州州原昌州定西	關安原城羌駒
州州口州府府縣府堡府府州府州府縣州	廳府縣縣州塞
An-si chow	Lung chih chai
An-ting hsien	Ning kiang chow
Kan chow fu	Pu cheng hsien
King chow	San yuan hsien
Kung chang fu	Si an fu
Ku yan chow	Tung kwan ting
Lan chow fu	
Liang chow fu	
Ning an pao	
Ning sia fu	
Ping fan hsien	
Ping Liang fu	
Si ning fu	
Su chow	
Teng kow	
Tiao chow	
Tsin chow	

第四項 甘肅省電報局

馬鳥溫庫吐精迪塔綏疏寧巴庫奇恰喀喀伊惠和哈承	新疆省電報局
者蘇宿魯河化城來附遠楚車臺克什葛喇沙犁(綏定)	寺(阿爾泰)
府廳府倫廳廳府廳縣縣縣州州州縣圖爾爾	Cheng hwa Sze (Altai)
(哈拉沙爾)	Ha ni ting
Yen ki fu (Kara shar)	Ho shih to lo kai
	Hwei yuan hsien
	I li
	Kalashar
	Kashigar
	Kia ku to
	Ki tai hsien (Ku cheng tze)
	Ku che chow
	Maralhashi
	Ning yuan hsien
	Sihu fu hsien
	Sui lai hsien
	Tah cheng ting
	Ti hwa fu
	Tsing Ho ting
	Turfan
	Vrga
	Wen su fu (Aksu)
	Wu su ting

第五項 新疆省電報局

第三款通 信 料 金

一、普通 郵便

(イ)書 狀(支 那)	重量	二十瓦又ハ端數毎ニ	區間	一仙	各區間	三仙
同 (萬國聯合)	同	二十瓦	迄	十仙		
同 (同)	同	二十五瓦ヲ増ス毎ニ		六仙		
同 (日本及關東州)	同	十五瓦又ハ其端數毎ニ		三仙		
同 (香港、澳門)	同	同	上	四仙		
同 (青 島)	同	二十瓦又ハ其端數毎ニ		四仙		
凡ソ書狀ノ重量ハ二基瓦(四封度)ヲ限リトシ其容積ハ長サ六十幅、三十厚、三十種(二呎、一呎、一呎)ヲ限度トス						
(ロ)葉 書(支 那)	往普通復通	一區間	二仙	各區間	一仙	
同 (萬國聯合)	往普通復通	八四仙				
同 (日本及關東州)	往普通復通	一仙半				
同 (香港、澳門、青島)	往普通復通	二一仙				
(ハ)新開紙(支 那)	重量	百瓦毎ニ	一區間	半仙		
同 (同)	同	五十瓦毎ニ	各區間	半仙		
同 (萬國聯合)	同	同	上	二仙		
同 (日本及關東州)	同	七十五瓦毎ニ		半仙		
同 (香港、澳門、青島)	同	五十瓦毎ニ		二仙		
日本及關東州トノ間ノ新聞ハ二枚以上ヲ一包トスル時ハ七十五瓦毎ニ一仙トス、數枚ヲ一包トスル時ハ重量二基瓦ヲ						

限トシ體積ハ四十五種(十八吋)ヲ限ル但シ卷ク時ハ長サ七十五種(三十吋)圓徑十種(四吋)トス、印刷物商業用書類亦之ニ從フ

(三)書籍印刷物及商業書類

支 那	重量	百 瓦	迄	一區間	半仙	各區間	一仙
同	同	百瓦—二百五十瓦		同	一仙	同	二仙半
同	同	二百五十瓦—五百瓦		同	二仙	同	五仙半
同	同	五百瓦—一千瓦		同	四仙	同	七仙半
同	同	一千瓦—二十瓦		同	七仙半	同	十五仙
萬國聯合	同	五十瓦毎ニ			二仙		
日本及關東州	同	百十二瓦毎ニ			二仙		
香港、澳門	同	五十瓦毎ニ			二仙		
(ホ)商 品 見 本							
支 那	重量	百 瓦	迄	一區間	一仙	各區間	二仙
同	同	百瓦—二百五十瓦		同	二仙	同	五仙
同	同	二百五十瓦—三百五十瓦		同	四仙	同	十仙
萬國聯合	同	五十瓦 毎ニ		同	二仙		
日本及關東州	同	百十二瓦 毎ニ		同	二仙		
(香港、澳門、青島)	同	五十瓦 毎ニ		同	二仙		

二、書留郵便(單掛號)

書留料	(支那)	一區間	五仙	各區間	五仙
同	(萬國聯合)		十仙		
同	(日本及關東州)		七仙		
同	(香港、澳門、青島)		十仙		
三、配達證明(双掛號)					
支那			十仙		
萬國聯合			二十仙		
日本及關東州			十仙		
香港、澳門、青島			二十仙		
四、至急配達便(快信)					
書狀	(支那)	重量	三十瓦迄	十仙	
同	(同)		三十瓦ヲ増ス毎ニ	五仙	
五、價格表記					
金額一千弗ヲ限度トス					
料金表價ノ百分ノ一					
外ニ配達證明料五仙					
但シ紙幣ニ限ル					
六、郵便爲替					
證書一枚百弗ヲ限リ					

甲局

同日同人三百弗ヲ限ル

乙局

證書一枚五十弗ヲ限リ

同日同人百弗ヲ限ル

七、電報

省内漢字	一字	料金	六仙
各省間漢字	一字		十二仙
漢字暗號電	一字		九仙
ローマ字十五字一語	一語		國內二十仙 國外五十仙
新聞電報漢字	一字		三仙
同外國字	一語		六仙

第十二章 居留地

一、英國租界

一千八百五十八年即咸豐八年ノ天津條約ニヨリ長髮賊亂
 平定ヲ俟チ漢口ヲ直チニ開放スヘキコトヲ英、清間ニ約定
 シ次テ一千八百六十一年ニ至リ開放ノ實ヲ見ルニ至レリ同
 年英國ハ漢口鎮城內ニ於テ支那人家稠密セル地方ニ隣接シ
 其ノ專管居留地ヲ設定シ之ヨリ約三十餘年後恰モ日、清戰
 争終局ニ當リ三國調停ノ報酬の意味ヲ以テ露、佛、獨ハ各

々漢口ニ專管居留地ヲ設定スルヤ英モ亦光緒二十四年即チ
 一千八百九十八年ニ於テ原定居留地西方ニ其ノ地域ヲ擴張
 スルニ至レリ今取極書ヲ掲クレハ左ノ如シ
 大清欽命湖北武昌等處承宣布政使
 司齊業勒特依巴圖魯唐ト大英欽差
 大臣參贊兼管領事官事務巴トノ間ニ締結セラレタル專管
 居留地設定取極書譯文
 現在英國ハ和約ニ遵照シ來漢通商スルニ因リ地段ヲ定メ以
 テ英國商民ノ房棧(家屋倉庫)ヲ建造シ居住ニ便ナラシムヘ

キナリ今大學士湖廣總督ハ本司ヲ派委シ本參贊ト會同シテ漢口鎮市下方街尾地方ニ於テ楊子江邊花樓巷東八丈ノ地點ヨリ甘露寺附近、楊子江邊上下東角ニ至ル間長二百五十丈幅一帯ニ一百十丈參差ナキ地域ヲ查勘劃定セシメタリ本月初十日日本參贊ハ委員蕭知府及漢陽知縣黎等ト會同シ四境ヲ明カニシ且大英國地界ナル文字ヲ彫刻セル界石ヲ樹立セリ地域面積四百五十八畝零八十弓、每畝地丁銀一錢一分七厘此ノ計銀五十三兩六錢二分五厘、漕米每畝二升八合四勺、此ノ計米十三石零一升五合七勺、每石換算銀三兩即チ銀三十九兩零四分七厘一毫總計銀九十二兩六錢七分二厘一毫ナリ此ノ地ヲ以テ英國官憲ニ永貸シ英國商民ニ分與シテ房機ヲ建設スル所トナスニ付其ノ分筆並ニ公路建造ノ如何等此地ヲ管理スルニ必要ナル一切ノ事宜ハ全ク湖北駐紮英國領事ノ專管ニ歸シ隨時定章辦理スヘキモノトス每年四月内ニ英國領事官ハ以上ノ地丁漕米等計銀九十二兩六錢七分二厘一毫ヲ漢陽備ニ數ノ如ク交付シ查收セシムヘク而シテ初メテ永租規約ニ違反ナキモノナリ查スルニ此ノ地民房舖戶ノ地基ハ一括計算セシモノニシテ目下逐一計畝シ難ク其ノ中ニ所在スル瓦房、草房、棚寮等ハ速カニ其ノ數ヲ計算列記スヘシ此ノ約ヲ定メタル後ハ民人ノ租界内ニ於テ再ヒ房屋棚寮等ヲ建造スルヲ許サス領事官來漢ノ上土地收容ノ日ヲ待チ漢陽府縣ト合同シ隨時本房屋ノ地主ヲ傳集シ地契ヲ呈驗セシメ當面計算スヘシ其ノ中ニ存在スル官房、廟宇及民間ノ瓦屋草房、棚寮、菜園、麥地等ハ悉ク其ノ等級ヲ分別シ官憲ハ地勢ヲ按シ價值ヲ定ムヘシ百姓ノ價值ヲ高抬スル

ヲ許サス又英商カ任意ニ値ヲ定メ強制スルヲ許サス以テ兩者ノ損失ヲ防キ公平ヲ期シ家屋ヲ取毀チ土地ヲ引渡シ英國ノ管理トナス主約ノ日本司參贊ハ此ノ地ノ境界ハ花樓西一帯ヲ越エ再租シ鎮市舖屋ノ妨ヲ爲ス可ラサルコトヲ當面言明セリ嗣後各國民來漢シテ租地スル場合ニハコレト一律辦理スヘシ此ヲ議定シ雙方異議ナシ現ニ租約兩紙ヲ作リ各壹紙ヲ所持シテ證トナス

光緒二十四年即チ一千八百九十八年大清頭品頂戴新授湖北按察使漢黃德道江漢關監督ト大英國欽命駐紮漢口管理通商事務領事官霍トノ間ニ締結セラレタル擴張居留地取極書譯文

現ニ漢口英租界ノ後方ノ新增地基ヲ英國租界ニ歸入スルニ付湖廣總督部堂張ノ派委ヲ奉シタル監督ハ本領事ト會同シ查勘定界ス議スル所ノ條款ハ左ノ如シ

一、英租界ノ後方ハ官地五丈ヲ除キ城垣迄擴張シ南ハ一馬路ヨリ城垣ニ向フ一直線ヲ引キ北ハ露租界迄夫々擴張ス其四方ノ範圍内ヲ全ク英國政府ニ貸與シ租界ニ歸入セシム

二、英租界後方ノ四方境界以内ニ於ケル各國商人ノ既ニ租借セル土地ニシテ英租界ニ歸入スヘキモノハ英領事ト各國領事ト商議シタル上監督ニ照會シ登錄スヘシ英租界ニ歸入スヘキコトニ就テハ英租界ノ舊章程ニ準據辦理スヘシ華民ハ租界内ニ同住スヘカラス

三、英租界後方ノ四方境界以内ノ地積合計三百二十七畝ニシテ每年納付スヘキ租借料即チ地丁漕米銀兩ハ每畝ニ付

之ヲ規定ス每畝ノ地丁銀一錢一分七厘計銀三十九兩四錢三分每畝ノ漕米二升八合四勺計米九石五斗七升二合二勺一石ニ付三兩替此銀二十八兩一分七厘總計六十七兩四錢五分二厘トス每年四月英領事官ヨリ漢陽縣ニ交付シ查收彙解セシムヘシ

四、永租シタル土地ノ地價及土地上ノ家屋、會館、庵廟、墳墓等ニ就テハ若シ現在支那人ノ所有ニ屬スルモノハ地方官之ヲ查明シ監督ニ稟請シテ領事官ト會同シ公平ニ價ヲ議スヘシ且ツ搬家遷葬ノ費ヲ酌給シ期ヲ定メテ還讓セシムヘシ價格ヲ高擡スルヲ許サス英領事モ亦洋商ヲシテ強制セシムヘカラス以テ公平ヲ期ス若シ其ノ土地已ニ洋商ニ於テ買收シタルモノニシテ其ノ上ノ家屋、寺院、墳墓ニ就テハ該洋商及各地ノ所有主ニ從前買收セシ時其ノ家屋ノ價格遷葬轉宅ノ費用等ヲ價格内ニ含有セシメタルヤ否ヲ訊問シテ定ムヘシ若シ價格ヲ議定シ支拂ヒタルモノハ地方官ハ之ヲ論シテ還讓セシムヘシ又洋商既ニ土地ヲ買收シタルモノハ建物ノ價格及轉宅遷葬等費ヲ未タ其内ニ議定セス且ツ之ヲ支拂ハサルモノニ對シテハ領事官ヨリ辦理スヘシ

五、英租界後方ノ四方境界以内ニ於ケル在來ノ官衙公路等ニハ税金ヲ免除ス將來洋房ヲ建造スル時若シ之ヲ侵越シタル場合ニハ別ニ街路ノ土地ヲ留出シ法ノ如ク修建シ華洋商民ノ區別ナク均シク一律ニ通行セシムヘシ又若シ中國力鐵道ヲ開辦スル場合ニ土地ヲ必要トスルトキハ之ヲ返還スヘシ其ノ價格ハ借主ト隨時商議スヘク若シ相談難

ラサル場合ハ監督ハ領事官ト會同シ公平ニ議定スヘシ如何ナル場合ニ於テモ言ヲ構ヘテ返還ヲ肯セサルカ如キコトアルヘカラス

六、在來ノ公路ハ華洋商人均シク通行スルコトヲ得、若シ支那人ニシテ之ヲ估價シ種菜又ハ房屋ヲ建テ居ルモノアルトキハ地方官ヨリ之ヲ查明シ讓出セシメ以テ租界工程局ノ修造ニ備フヘシ洋商ニシテ已ニ購買シ公路ヲ侵佔シ房屋ヲ建テ居ルモノアラハ領事官ヨリ處分スヘシ若シ更改抵換セントスル場所ニ至リテハ相談ノ上雙方異議ナキ様公平ニ處置スヘシ

七、大智門内ノ官衙及城垣一帯ニ留出セシ官地ハ即チ在來ノ公路ニシテ華洋商民及公文翰輜ヲ驛遞スル人夫馬等ノ區別ナク均シク通行スルヲ得路燈巡捕等ハ租界工程局ヨリ設備スヘシ此ノ項ノ大路ハ工程局修造スヘシ然レトモ官路ニ屬シ現在老租界ニ於ケル三道ノ洋街ト相同シモノトス

八、現在城垣ノ上ニアル大小ノ房棚屋等ハ甚タ多ク惡臭已ニ極マレリ理應サニ驅逐スヘキナリ租界事務開辦後ハ再ヒ家屋ヲ建テ居住スルコトヲ許サス

九、擴張租界ニ於ケル華洋交涉事務ハ老租界章程ニ準據ス

二、露國租界

日清戰後遼東半島還付ニ關スル三國干涉ニ對スル報酬トシテ露國ハ光緒二十二年即チ我明治二十九年佛國ト同日ニ於テ漢口ニ於ケル英國租界ノ下流ニ當リ專管居留地ヲ設定シ翌年更ニ之ヲ擴張セリ其ノ取極書ヲ見ルニ左ノ如シ

光緒二十二年四月二十一日即大露一千八百九十六年五月二十一日大俄欽命駐劄天津領事官、辦理通商事宜德大俄欽命署理漢口領事官、辦理通商事宜羅大清欽命二品頂戴湖北漢黃德道監督江漢關稅務兼辦通商事宜擢トノ間ニ締結セラレタル條約譯文

露國ノ商務日ニ盛ナルニ因リ漢口ニ於テ居留地ヲ設定セン爲駐京欽差大臣喀ノ訓令ヲ奉セル本領事館領事ハ湖廣總督部堂張ノ委任ヲ受ケタル本監督ト會同シ地界ヲ查勘ス其ノ議スル所ヲ左ニ開列ス

一、露、佛二國ノ租界ハ長江西岸漢口鎮英租界下流江ニ沿フテ通濟門ニ至ル間長サ二百八十八丈ノ間ヲ以テ限ル其ノ三分ノ一即チ露租界下方ヨリ通濟門、城内官地ニ至ル間ヲ以テ佛租界トナシ其ノ三分ノ二即チ英租界下方ヨリ佛租界ニ至ル間ヲ以テ露國租界トナス而シテ此レ大路ノ外ヨリ沿岸ニ至ル間ヲ指示スルモノナリ即チ前面長百九十二丈大路ヨリ江岸迄ノ南邊ノ與行一百〇六丈北邊與行三十七丈大路ノ南ヨリ北佛租界ニ至ル間前方長九十四丈後方長一百六十六丈大路ヨリ城壁官地迄南ハ與行八十三丈北ハ與行一百〇六丈五尺ナリ何レモ勘定シ界石ヲ堅立セリ

二、露國租界面積四百十四畝六分五厘每年納付スヘキ借租料即チ地丁漕米銀兩ハ每畝ニ就テ之ヲ計算ス每畝地丁銀一錢一分七厘計銀四十八兩五錢一分四厘每畝漕米二升八合四勺共米十一石七斗七升六合六勺每一石ニ付銀三兩ノ割ニテ此銀三十五兩三錢二分八厘總計銀八十三兩八錢四

ヲ承諾スルニ付議ニ照ラシ價ヲ定メ別ニ改築スルノ用ニ供シ以テ睦誼ヲ敦クスヘキナリ露國租界ノ城壁官地ニ連接セル所ハ寬五丈ヲ取リ除ケ租界外ニ置クヘク此ノ地ニ一大路ヲ修築シ之ヲ潔淨ナラシメ房屋ノ建造並支那人ノ居住ヲ禁止ス

六、露國租界在來ノ官衙公路ニシテ將來若シ洋館ヲ建築スル際ニ當リ之ヲ使用スル場合ニハ別ニ道路ノ土地ヲ留出シ法ノ如ク修建シ華洋商民又ハ公文ヲ驛遞スル餉夫馬人等ノ區別ナク一律ニ通行ヲ許スヘシ又租界内ニ支那カ鐵道ヲ開辦シ土地ヲ必要トスル場合ニハ之ヲ讓還スヘシ其ノ價ハ永借人ト隨時協定ス若シ此協定纏ラサルトキハ監督ハ領事ト協議シ公平ニ議定ス何レノ場合ニ於テモ口實ヲ設ケテ讓還ヲ肯セサルカ如キコトアルヘカラス

七、露國租界ニ埠頭ヲ建設セントスルトキハ先ツ監督ト協議シ地勢ヲ按シ華洋商船ノ往來ニ妨ケナキ時ハ之ヲ修建スルコトヲ得

以上ノ條款ハ取極書二通ニ作成シ署名調印ス

大清光緒二十三年一月十六日即大露一千八百九十七年十一月二十七日大清欽命二品頂戴湖北漢黃德道江漢關監督擢ト大露國欽命駐劄漢口正領事辦理通商事宜王ト會同シ中國カ漢口露國租界江岸ノ土地四筆ヲ露國ニ永貸スルコトニ關スル條約三ヶ條ヲ訂立辦理スルコト左ノ如シ

大清欽命二品頂戴湖北漢黃德道江漢關監督擢ト大露國欽命駐劄漢口正領事辦理通商事宜王ト會同シ中國カ漢口露國租界江岸ノ土地四筆ヲ露國ニ永貸スルコトニ關スル條約三ヶ條ヲ訂立辦理スルコト左ノ如シ

分二厘ナリ每年露國領事官ヨリ漢陽縣ニ送付查收セシムヘシ此ノ地露國ニ永貸シタルニ因リ租界一切ノ事宜ハ露國領事ノ管轄ニ歸ス此ノ取極及後日所訂ノ章程ニヨリ辦理スヘキナリ唯租界内ノ華洋商民ノ爲ス訴訟欺凌事故ニ就テハ租界委員ハ領事官及領事官ノ派遣セル者ト會同シ審訊辦理スヘシ兩國交涉ノ重大事件ニシテ委員ノ決定シ難キモノハ領事ヨリ監督ニ照會シ條約ニ照ラシ地方官ヨリ辦理スルモノトス

三、露國永借地内ニ於ケル總テノ支那人所有ノ土地ハ調印後出賣又ハ轉借スルヲ許サス專ラ露國政府ニ永貸セシム此ノ地ノ地價ハ中國地方官ト露國領事官ト相談ノ上公平ニ定メ一年以内ニ全部露國政府ニ永貸スヘキモノトス此ノ期間内商民ハ露國租界内ニ房屋ヲ建造スルコトヲ得ス租界内ノ房屋會館廟廡及墳墓等ニ就テハ等級ヲ分チ時價ニ照ラシ價ヲ見積リ且ツ移轉遷葬ノ費ヲ酌給スヘキナリ露國租界設定以前已ニ各國人カ支那人ヨリ永借セル土地ハ此ノ限リニアラス其ノ土地ハ露國ノ帳簿ニ編入シ露國領事ヨリ辦理スヘキナリ

四、露國租界設定ニ就テハ外國租界設定章程ニ照ラシ地券内ニ均シク永租ナル文字ヲ書シ漢陽縣ヨリ地券ヲ取調ノ上之ニ捺印シ以テ信憑トナス並他國章程ニ照ラシ支那人カ租界内ニ房屋ヲ建設シ居住スルコトヲ許サス

五、露國租界内ニ武昌ノ船關アルモ是レ中國ノ公務ヲ所辦スル緊要ナル所ニシテ本ト移轉シ難キモノナリト雖現ニ露國租界創設ノ際ニ屬スルヲ以テ租界外ニ移轉スルコト

第一條 中國ハ江邊ノ土地ヲ露國政府ニ永貸ス

第一段ノ地ハ厚生祥ノ所有地ニシテ東ハ江邊ニ至リ南ハ順豐洋行ノ土地ニ至リ西ハ新泰洋行磚茶棧北ハ公巷ニ至ル三萬一千六百四十英方尺計二百二十九方零一分七厘一毫六糸每方價十兩共計銀二千二百九十一兩七錢二分トス加之土地ノ總テノ房屋ノ價銀九千兩總計銀一萬一千二百九十一兩七錢二分ハ二十四年二月末支拂ヒ家屋ヲ引渡スコトヲ議定ス

第二段ノ地ハ先キニ武昌船關ノ土地ニシテ東ハ江邊南ハ公巷西及北ハ新泰洋行土地ニ至ル六千五百三十一英方尺計四十七方零三分ナリ查スルニ船關ノ家屋ハ公産ナルモ現ニ露國カ租界ヲ創設セントスルニ當リ總督ハ中國カ邦交ヲ輯睦ナラシメントスル意思ヲ體念シ格別融通スヘキコトヲ命セラレタルヲ以テ價值ヲ計算スルニ及ハス然シ露國政府ハ銀一千兩ヲ獻納シ慈善事業又ハ船關移轉ノ費ニ資セントスルコトヲ願フ其ノ地上ノ房屋ハ中國ヨリ自ラ遷移セシム

第三段ノ地ハ先キニ唐瑞芝ノ土地ニシテ東ハ江邊南ハ寶順洋行土地西ハ大路北ハ無主之地ニ至ル三十九萬七千一百二十二英方尺計二千八百七十六方零四分六厘五毫三糸每方價銀十兩總計銀二萬八千七百六十四兩六錢五分ニテ地上未成ノ棧房ハ立約後一ヶ月内ニ他處ニ移轉スヘシ其ノ建設費トシテ銀三千一百四十兩零五錢ヲ返還スヘク總計銀三萬一千九百零五兩一錢五分トス

大路北ハ公巷ニ至ル七萬六千四百四十五英方尺計五百五十三方零六分九厘八毫五絲每方價銀十兩計銀五千五百三十六兩九錢八分ト目下調査スルモ地主ノ出頭承認スルモノ無キニ付キ地價ハ中國政府之ヲ受領シ銀行ニ預金シ置キ將來真正ノ地主地券ヲ提出シ來ルモノアラハ之ヲ引出シ發給ス

第二條 中國ハ以上四段ノ土地及房屋ヲ現ニ露國政府ニ永貸ス總テノ地價及房屋ノ價值等總計銀四萬九千七百三十三兩八錢五分ハ當時中國政府之ヲ受領シ中國政府ヨリ各所有主ニ支給シ自ラ辦理セシム

第三條 現在ノ露界界内ノ公巷二條ハ從前ノ通り保留シ置クヘク華洋商民ノ區別ナク一律ニ通行ヲ許ス若シ房屋ヲ添造スル爲公巷ヲ使用シタル時ハ露國政府ハ章ニ照ラシ每方ニ付銀十兩ノ地價ヲ中國政府ニ補還スヘシ本契約ニ規定ナキコトハ均シク二十二年四月所定ノ條約ニ照ラシ辦理スヘキモノナルコトヲ茲ニ併記ス

三、佛國租界

佛租界ハ日、清戰役後露國ト同一事情ノ下ニ我明治二十九年六月二日取極ニ依リ原定租界設定セラレテ明治三十五年十月擴張租界設定セラル其ノ取極書左ノ如シ
光緒二十二年四月二十一日即西曆一千八百九十六年六月二日大清欽命二品頂戴湖北漢黃德兵備道監督江漢關稅務兼辦通商事宜摺ト大法欽命補授駐紮漢口九江管理本國通商事務領事德トノ間ニ締結シタル取極書譯文左ノ如シ現ニ佛國ハ漢口ニ於テ租界ヲ設立セムコトヲ求ムルニ因リ

駐京欽差大臣ノ命ヲ奉セル本總領事並本領事ハ湖廣總督部堂張ノ派委タル本監督ト會同シ查勘ノ上定界ス議スル所ノ條款左ノ如シ

一、佛、露二國ノ租界ハ長江西岸漢口鎮英國租界下流ニ沿ウテ通濟門ニ至ル間長サ二百八十八丈ノ間ヲ以テ限ル其ノ三分ノ二ヲ以テ英租界ヨリ下ニ露國租界ヲ設ケ露租界ヨリ下其ノ三分ノ一ヲ以テ佛國租界トス露國租界ハ此ニ大路外ヨリ江岸ニ至ル間ヲ示ス其ノ前面九十六丈大路ヨリ江岸ノ南端ニ至ル與行三十七丈北端ニ至ル與行十七丈ニシテ其ノ大路ノ西南露國租界ヨリ東北城壁ノ官地ニ至ル間斜長一百七十七丈大路ヨリ城壁官地南端迄ノ與行百〇六丈五尺同北端迄四十三丈五尺ナリ均シク已ニ勘定シ界石ヲ樹立セリ唯競馬場ト連接セル地方ニハ中國民地及各國人所有地多キニ付支那人所有地ハ領事ト地方官洋務委員等ト會同シ商議ノ上價ヲ定メ其ノ外國人所有地ハ自然ニ租界ニ歸スヘキモノトス各外國人所有ニ係ル佛租界内ノ土地ハ地券ヲ書換ヘ佛國領事館ニ赴キ捺印ヲ受ケ納稅スヘシ將來各國人ニシテ佛租界内ニ租地或ハ家屋ヲ借ラントスルトキハ佛國官衙ニ赴キ納稅登錄スヘク佛國領事之ヲ辦理スヘキナリ

一、佛國租界面積一百八十七畝每年納付スヘキ永借料即チ地丁漕米ノ銀兩ハ每畝之ヲ算出シ每畝ノ地丁銀一錢一分七厘計銀二十一兩八錢七分九厘每畝ノ漕米二升八合四勺計米五石三斗一升八勺米一石換算高銀三兩計銀十五兩九錢三分二厘總計銀三十七兩八錢一分一厘トス每年四月佛

一千九百二十二年十二月十二日即光緒二十八年十月十三日

大法欽命補授駐紮漢口管理本國通商事務領事官馮ト大清欽命二品頂戴湖北漢黃德兵備道監督江漢關稅務兼辦通商事宜岑トノ間ニ取極タル條文譯

六佛國欽命補授駐漢口管理本國通商事務領事馮ト大清欽命二品頂戴湖北漢黃德兵備道監督江漢關稅務兼辦通商事宜岑トハ擴張租界ノ取極ヲ爲ス此ヨリ前ニ佛國商人ニシテ漢口ニ居住スル商賈幾何モ無ク佛人ノ商賈ハ悉ク船使ニヨリテ行ハレタリ是ヲ以テ當時只沿江一面ノ土地ニ租界ヲ設定セシモ近來佛國商人ノ數日ニ増加セリ又一方内地ニハ既ニ鐵道アリ佛租界内ニハ鐵道車棧ノ設アリ又英租界後方ニハ新道ヲ築キ車棧ニ通ス此等ノ數點ヨリシテ佛租界ヲ擴張シ鐵道ニ接近セシメ車棧ヨリ路ヲ築キテ江濱ニ通セシメサル能ハサルナリ現ニ本任湖廣總督部堂張兼署湖廣總督部堂端ノ委任ヲ受ケタル本監督ハ在清佛國公使ノ命ヲ奉セル本領事ト會同シ查勘ノ上定界ス議スル所ノ條款左ノ如シ
一、佛國租界ハ前ニ露國租界下方ヨリ通濟門、城内官地ニ至ル間ニ止マリシモ茲ニ新租界ヲ擴張シ官地ノ西ヨリ鐵道ヲ距ル六十丈ヲ境トシ計一百八十五邁ノ面積ヲ加フ當北ノ一面ハ獨逸租界ニ接續セル線ヲ直引シテ鐵道ヲ距ル六十丈ノ官地ニ於テ限リトナス南ハ露、佛ノ界線ヲ直引シタル一線ヲ城壁外鐵道ヲ距ル六十丈迄延ハシ此ノ官地ト境ス此ノ間ヲ以テ佛國新租界トナス
一、現ニ議定セル佛國擴張租界ノ永借章程ハ均シク舊租界

國領事ハ漢陽縣ニ送付シ查收セシヘシ

一、永代地價及地上ノ家屋會館廟庵墳墓等ハ等級ヲ分チ時價ヲ定メ並移轉遷葬料ヲ酌給シ期ヲ限リ遷讓セシムヘシ本監督ハ地方官ニ飭シ民間ニ諭令シテ公平ニ價ヲ議定シ高擡スルヲ禁スヘキニ付佛國領事官モ亦外商ニ強制的ニ買收スヘカラサルコトヲ命シ以テ公平ヲ期ス

一、佛國租界ヲ設定スルニハ他國ノ租界設定ニ照ラシ地券内ニ永租ナル文字ヲ書キ漢陽縣ヨリ地券ヲ調査シ之ニ捺印シ以テ信憑トナス又他國租界章程ニ照ラシ支那人ノ租界内ニ居住スルヲ許サス

一、租界外通濟門、內城壁ヨリ東江岸ニ至ル間ニ官地十一丈ヲ留出シ置クヘシ其ノ城壁以西一帶ニ官地五丈ヲ留出シテ大路ヲ作り公所ヲ修築スル用ニ供スル外人ノ柵屋等ヲ建ツルコトヲ許サス其ノ大路モ亦時々修繕スルモノトス以上留出セシ官地ハ租界内ニ編入セス

一、佛國租界内來ノ官衙大路ニ就テハ地價地租等ヲ要セテ將來洋館建築ノ爲之ヲ使用スル時ハ即チ別ニ街路ノ土地ヲ留出シ法ノ如ク修築シ華洋商民及公文ヲ驛遞スル人夫等ノ區別無ク均シク通行スルコトヲ許ス又租界内ニ中國鐵道ヲ開辦シ土地ヲ必要トスル場合ニハ原價ニテ讓還スヘク口實ヲ藉リテ拒ムコトアルヘカラス

一、佛國租界ニ若シ埠頭ヲ建設スル場合ハ先ツ監督ト協議シ地勢ヲ察看シ華洋商船ノ往來ニ碍ケ無キ時ハ修築スルヲ得
以上條款ハ之ヲ取極書二通ニ作成シ双方保管スルモノトス

ノ章程ニ照ラシ辨理ス若シ其ノ内ニ各國商人ノ所有地アルトキハ佛國領事ハ各國領事ト協議ノ上監督ニ照會シ登錄スヘシ若シ各國人ノ所有地ニシテ紛議アルモノニシテ或ハ其ノ地ノ全部新租界内ニ在ルモノ又ハ一部分新租界ニ在リ一部分新租界外ニ在ルモノニ就テハ新租界ノ範圍外ニ在ルモノニ就テモ佛領事之ヲ章程ニ照ラシ辨理スヘク中國官憲ハ之ニ關與セス

一、城角ノ土地三丈城壁ノ官地五丈壁外ノ官地五丈城濠ノ地六丈ハ均シク佛國新租界ニ編入ス湖廣總督部堂ハ兩國ノ睦誼ヲ顧ミ其地ノ價ヲ免除ス

一、城壁ハ新界ニ編入スルモ總テノ磚石材料等ハ中國地方官ニ歸還スヘシ但シ其ノ取除キ費ハ佛國租界ヨリ支出スヘシ

一、佛國新租界ノ每年納付スヘキ地租即チ地丁漕米ノ銀兩ハ每畝計算シ每畝ノ地丁銀一錢一分七厘每畝ノ漕米二升四合四勺トス新界ノ畝數幾何ナルヤハ中國地方官ハ熟達セル人ヲ派シ佛領事ト會同シ地畝ヲ計定ス其納付スヘキ地租ハ舊租界ノ地租ト同時ニ中國地方官ニ送付シ舊案ニ照シ受理セシム

一、中國地方官ハ鐵道車棧ト佛國租界ノ中央トノ間ニ馬路一條ヲ建築スヘシ佛人亦其ノ租界内ニ街衢ヲ築キ車棧ヨリ通道ヲ開キ江濱ニ直達セシムヘシ兩國ノ築クヘキ道路ハ常ニ相當ノ修繕ヲ加フヘシ其ノ權限ハ界内ノ部分ニ限ル其ノ權力ヲ界外ノ部分ニ侵越スヘカラス以テ界限ヲ嚴ニス華洋商民及公文ヲ驛遞スル人夫等均シク通行ヲ許ス

一、本取極ハ佛支兩文各二通ヲ作成シ各一通ヲ所持シ據トナス公法ノ例ニ照ラシ倘シ文字不明ノ所アレハ法文ヲ以テ據トナス

四、獨逸租界

千八百九十五年租借權ヲ得テ經營セラレ他國租界ノ例ヲ破リテ支那人ノ雜居ヲ許シタル等獨逸獨得ノ繁榮策ヲ講セラレ其ノ地位日本租界ト佛國租界ノ中間ニ在リテ市街ノ整理亦頗ル行届キタルモノナリシモ支、獨開戰ト同時ニ支那ノ收回スル處トナリ目今ハ之ヲ特別區ト稱シテ江漢關監督ニ依リ特別區市政局ヨリ支配セラル

五、帝國租界

一、日本居留地ハ漢口鎮獨逸國居留地ノ北隣ヨリ起ル其ノ東界ハ楊子江ニ沿フコト百丈南界ハ東ノ方楊子江沿岸ヨリ起リ獨逸國居留地境界ニ沿ヒ西ノ方鐵道境界迄西界ハ鐵道境界ヲ以テ境トナシ北界ハ東界ノ北端ナル楊子江沿岸ヨリ起リ西界ノ北端ナル鐵道境界迄直線（此直線ハ南界線ト平行スヘシ傾斜スルヲ得サルモノトス）ヲ畫キシ界内ヲ日本專管居留地トナシ此ノ取極書ヲ定メタル後員ヲ派シテ立會ヒ界標ヲ設クヘシ

一、右界内ノ道路、隄塘、溝渠、波止場及警察ノ權ハ日本帝國領事ニ屬シ又其ノ道路、隄塘、溝渠、波止場ハ日本帝國領事ニ於テ法ヲ設ケ修築スルモノトス道路、隄塘、溝渠、公共用ノ地内ニ若シ官衙官地アレハ借地料、租稅ヲ免除シ又民地ナレハ借地料ノミヲ交付シ租稅ヲ納ムルニ及ハス

一、右界内ノ地所借用者ヨリ納付スル租稅ハ一畝毎ニ地丁銀一錢一分七厘及漕米二升八合四勺ニシテ米一石ニ付銀三兩ノ割合ヲ以テ換算取立テ毎年四月日本帝國領事ヨリ漢陽縣ニ送付スルモノトス日本人民ノ未タ借用セサル地區ハ清國地主自ラ租稅ヲ納付スヘシ

一、右界内ニ於テ日本ノ商工業者ハ此ノ取極書ニ依リ地所ヲ借入レ家屋店舖ヲ建造スルヲ得ヘシ日本人民カ清國ノ地主ヨリ地所借用ノ際支拂フヘキ借地料ハ過去三年間ノ平均地價ヲ標準トシテ公平ニ取極ムヘシ江漢關監督ハ清國地主ノ其ノ時ノ相場ヲ騰クルヲ許サス日本人民モ亦無理ニ値切ルヲ得サルモノトス日本人民ノ借用セントスル地所内ニ官地アル時ハ別ニ商議ノ上其ノ借地料ヲ格別低廉ナラシムヘシ

地所借用ノ時ハ日本帝國領事ニ願出テ地方官ニ照會シテ實地檢査ノ上地券三枚ヲ造リ日本帝國領事ハ之ニ加印シ一枚ハ地所借用者ニ與ヘ一枚ハ日本帝國領事館ニ又一枚ハ清國地方官衙門ニ取置クモノトス一タヒ借用セシ地所ハ此取極書ニ依リ借用者ニ於テ永遠借用スルモノニシテ何國何人ト雖強テ立退キ讓渡シテ行ハシムルヲ得ス地券ノ式ハ既ニ成例アルヲ以テ別ニ之ヲ議セス

一、清國人民ノ身元ナキ者ハ私ニ居留地内ニ於テ居住シ若ハ店舖、倉庫ヲ開設スルヲ得ス違反スル者ハ夫々處分セラルヘシ若シ身元確實、品行方正ノ者ナレハ此ノ界内ニ於テ居住營業スルヲ許ス、サレトモ右清國人民ハ單ニ居住スルニ止リ地所ヲ借用スルヲ得ス若シ行跡疑フヘク本

分ニ安ンセス規則ヲ遵奉セサル者アル時ハ清國地方官ヨリ日本帝國領事ニ照會シ又ハ日本帝國領事ヨリ清國地方官ニ照會シ立會取調ノ上清國地方官ヨリ處罰スヘシ之ヲ見通シ又ハ庇護スルヲ得ス

一、借用ノ地所ハ其ノ借用者ニ限リ居住スルヲ許ス若シ借用者事故アリテ自身ニ居住スル能ハサル時ハ親戚、友人、店員、同業者等身元アル者ニ托シテ代テ管理セシムヘシ若シ已ムヲ得サルノ事故アリテ借地權ノ移轉ヲ要スル場合ニハ其ノ移轉前ニ於テ日本帝國領事ヨリ清國地方官ニ照會シテ地券ヲ書替フヘシ

一、居留地内ニ現存スル人民ノ家廟祠堂及組合、會館、公衆、寺廟ノ敷地借料ハ特別ニ相談取極ムヘシ永代借用地區内ニ家屋墳墓アルトキハ瓦屋、草葺ヲ區別シテ價格ヲ估計シ且ツ轉宅移葬ノ費用ヲ夫々支給スヘシ其ノ價格ヲ交付セシ後ハ直ニ地所ヲ引渡スヘシ又地内ニ在ル家屋ニ關シテハ更ニ移轉ノ期限ヲ定ムヘシ其ノ移轉前ニ清國地主ニ於テ土地ヲ使用スル場合ニハ本人並其家族ニ限リ居住耕作スルヲ得ト雖他ノ用途ニ供シ又ハ家屋ヲ再造スルヲ得ス又清國地方官ハ告示ヲ出シテ界内ニ新ニ墳墓ヲ造リ棺柩ヲ置クコトヲ禁止スヘシ將來別ニ地區ヲ擇ヒ日本人民ノ墓地ヲ設ケント欲セハ日本帝國領事ヨリ清國地方官ニ照會シテ相談ノ上取計フヘシ

一、日本居留地ノ設立以前ニ外國人ノ清國地主ヨリ借用セシ地所ハ別ニ差支ナシ他國居留地ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ尤モ界内ノ地域窄狹ニ過クルヲ以テ此取極書ヲ定メ

タル後ハ日本人民ニ限り地所ヲ永借スルコト、ナシ清國地主ノ外國人ニ對シテ地所ヲ抵當ニ充テ又ハ讓與スルヲ許サ、ルモノトス違反スル者ハ清國地方官ヨリ嚴重ニ處罰スヘシ若シ身元確實ナル外國人ニシテ界内ニ居住ヲ望ム者ハ居住ニ差支ナキモ地所ノ借用ヲ爲スヲ得ス

一、日本開設ノ居留地ハ漢口港ノ通商地域ノ内ニ在ルモノトス若シ波止場ヲ建設セントスルトキハ先ツ江漢監督ト相談シテ地勢ヲ検査シ清國及外國船舶ノ往來ニ差障リナキトキハ之ヲ建造スルヲ得ヘシ

所ヲ購入シテ後日製造場設立ノ便ヲ圖ルヘシ若シ丹水池以下ノ地方ニシテ既ニ外國人ノ借用セシ場所アルトキハ丹水池ヨリ沙口等各處ニ至ル地方ニ於テ江岸水深ク船舶ノ停繫ニ適當ナル地ヲ擇ヒ之ニ代フヘシ總テ鐵道ニ近キ地方ヲ以テ主トナスヘシ其借地ニ關スル手續ハ成ル丈此取極書ニ依リ取扱フヘシ

第一節 日本租界

日本租界ハ漢口各國租界ノ北端ニ位シ面積十二萬五千四百七十二坪(内七萬五千四百七十二坪ハ擴張租界ナリ)楊子江岸面二百五十丈アリ南ハ特別區(舊獨逸租界)ニ接シ西ハ京漢鐵道所有地三元里等ニ界シ北ハ畑地タリ粵漢鐵道武昌徐家棚驛ハ我租界ノ對面ニ設ケラレ總局ヲ此ノ地ニ置ケリ將來粵漢全線ノ開通ノ際ハ武漢ノ繁榮ト共ニ益々有望ナリ然レ共現今商業中心地ハ依然トシテ英租界ニシテ我租界ハ邦人ノ住宅地タルノ姿ヲ改メヌ租界内ニ在ル主ナル建物次ノ如シ

- 帝國總領事館 本館
同 事務所
同 警察署
漢口居留民團役所
漢口明治尋常高等小學校
大正會館
日本人俱樂部
同 仁會醫院

西本願寺出張院

日本青年會
此ノ他在留本邦人ヲ顧客トスル本邦雜貨商店、日本菓子商、料理店亦散在シ支那人ノ居住者多カラス

第二節 佛租界

佛租界ハ面積十萬九千二百八十六坪ニシテ各租界ト同シク楊子江ニ面シ後面ニハ京漢鐵道乘場タル大智門停車場ヲ控ヘ商業稍活氣アリ支那人ノ居住者頗ル多シ租界内ニ佛國總領事館、葡國領事館、白耳義領事館、和蘭領事館、諾威領事館、租界工部局等アリ其ノ他莊麗ナル建物少ナカラス本邦人ノ本租界ニ居住スルモノ亦二十餘戸ニ及ヘリ

第三節 露西亞租界

露租界ハ一八九六年ノ建設ニ係リ英租界ニ連ル、コト三十五年佛、獨ト同時ニ獲得セルモノナリ面積十八萬四千五百三十七坪アリテ英、佛ニ狹マレ江岸ニハ我日、清汽船會社倉庫並同會社汽船乘場アリ租界工部局、米國總領事館ノ外大雜貨商ノ軒ヲ並フルモノ多ク我商店十餘戸アリ

第四節 英吉利租界

漢口各國租界中最古キハ英租界ニシテ一八六一年ノ建設ニ係ル面積十八萬八千九百五十九坪延長四百六十二間ニ及ヒ設計經營各租界ノ範タリ各種ノ大建物相並ヒ大商店亦集リ我商業會議所、正金支店、三井洋行、三菱公司、臺灣銀行

支店、住友銀行支店等此處ニ在リ其ノ他本邦商日本棉花支店ノ外六十ノ事務所ハ此處ニ設ケラレ一碼頭通即太平街ハ漢口第一ノ繁華ヲ極メタリ英國總領事館、租界工部局、英國人小學校亦此内ニ在リ各國租界ハ等シク英租界ニ倣ヒ江岸通りニハ芝地ヲ設ケ樹木ヲ配植シ散步道ヲ區劃シ以テ各國租界ノ江岸ハ一條ノ散步道トナリ在留各國人ハ唯一ノ運動場所トシテ此處ニ散策スルナリ英國ノ漢口ニ致セル勢力タルヤ偉大ナリト云フヘシ

第十三章 公私ノ施設

第一節 官 衙 (武 漢)

- 一、領事館
帝國總領事館 日本租界
英國總領事館 英租界
佛國總領事館 佛租界
米國總領事館 露租界
獨逸總領事館 特別區
伊太利領事館 同
葡國領事館 佛租界
白耳義領事館 同
和蘭領事館 (名譽領事) 同
諾威領事館 (同) 同
瑞典領事館 (同) 同

二、民團役所

日本民團役所
佛國工部局
英國工部局
露租界工部局
特別區市政局

三、支那諸官署 (武漢)

湖北督軍公署
湖北省長公署
湖北財政廳
湖北實業廳
湖北教育廳
湖北省議會
湖北官錢局
官礦公署
官紙印刷局
官磚廠
測量局
營產局
水利局
造幣局
漢口馬路工程局
漢口礦務專局

湖北石青局
武昌商埠局
夏口縣知事公署
武昌縣知事公署
漢陽縣知事公署
漢口警察廳
漢陽警察廳
全省警察處
水上警察總廳
租界洋務會審公所
漢黃鎮守使署
江漢道尹公署
江漢海關公署
江漢關監督公署
武昌關公署
鹽務稽核處
漢口徵收總局
武昌徵收局
全省屠宰稅局
淮鹽局
烟酒公賣局
屠宰稅局
屠宰稅局
糖捐總局
武昌禁烟局

竹木局
兵工廠
火藥庫
湖北郵務管理局
武昌郵政局
漢口電報局
武昌電報局
武漢電報局
武昌電話局
漢陽電話局
無線電信局
湖北高等審判廳
武昌地方審判廳
夏口地方審判廳
陸軍審判廳
湖北高等檢察廳
武昌地方檢察廳
夏口地方檢察廳
軍法處
第一監獄
第二監獄
外交部特派湖北交涉員公署
施宜鎮守使辦公處
湘區電政監督辦公處
粵漢鐵路總局

漢陽鸚鵡洲
漢陽黑山
武昌南湖
英租界
武昌芝蔴嶺
英租界
武昌三佛閣
英租界
武昌大觀山
漢陽
武昌大東門內
同廣仁堂
同同
漢口四官殿
武昌花堤中街
同文昌門內
同九圖山
特別區
武昌王臣街
英租界
武昌徐家棚

第二節 學校 (武漢)

京漢鐵路南局
四川鐵路辦公處
京畿憲兵營本部
兩湖巡閱使傳達處
武漢總稽查處
直魯豫巡閱使署偵探處
陸軍第二十四師駐漢辦公處
陸軍第二十五師辦公處
陸軍第二十師辦公處
陸軍第一師辦公處
陸軍第二師辦公處
陸軍第八師辦公處
陸軍第二師團本部
陸軍第十八師團本部
陸軍第二十五師司令部
湖北憲兵營本部

輔德中學校
漢口中學校
晴川中學校
共進中學校
日新中學校
勺庭中學校
第一中學校
第二中學校
啓黃中學校
財政講習所
省立甲種農業學校
官立法政學校
私立法政學校
甲種商業學校
工業學校
中華大學校
外國語言學校
女子師範學校
三一學校
文華書院
第一師範學校
國立高等師範學校
國立商業學校
協和師範學校
聖希理達學校

(Trinity middle school)
(Boon University)

倫敦中學校
中華婦女學校

漢口神道學校 (Central China Union Lutheran Theological Seminary)

第三節 圖書館 (武漢)

省立圖書館 武昌

第四節 測量所 (武漢)

測量局 武昌
測候所 (日本) 日本租界

第五節 公會堂 (武漢)

大正會館 (日本) 日本租界
ゾイクトツヤ公會堂 英租界

第六節 俱樂部 (武漢)

漢口日本人俱樂部 日本租界
日商江漢俱樂部 英租界
佛國人俱樂部 (Cercle Zaulois) 佛租界
露西亞人俱樂部 (Russian Club) 露租界
漢口外人俱樂部 (Hankow Club) 英租界
漢口西商跑馬廠 (Hankow Race Club) 租界
ゴルフ俱樂部 租界
海關俱樂部 特別區
買辦俱樂部 漢口四成里

楚善俱樂部
太平會館
中州會館
安徽會館
咸寧會館
長沙會館
寧波會館
香山會館
辰州會館
潮嘉會館
旌德會館
江蘇會館
西會館
湖南會館
大布會館
徽州會館
上元會館
福建會館
元寧會館
嶺南會館
紹興會館

第七節 青年會 (武漢)

日本人青年會

日本租界

武昌閘馬廠
花布街口
郭家巷
漢防營上
堤董家巷
大董家巷
沈家廟後
郭家巷
沈家廟後
四官殿上
永寧巷後
戲子街
藥王廟
至公巷口
大夾街後
新街後
仁義同
得勝街
陸基巷上
大火路下
石碼頭

基督教青年會

(Y. M. C. A. of Hankow)

露租界

武昌青年會

武昌撫院街

第八節 商業會議所 (武漢)

日本人商業會議所 英租界
British Chamber of Commerce 同
American Chamber of Commerce 露租界
漢口商務總會 後城馬路
武昌商務總會 芝蔴嶺
漢陽商務會 東門外
華商總會 四成里

第九節 團體及組合 (武漢)

棉花同業組合 (日) 漢口
穀肥同業組合 (同) 同
商團保安會 同礪口
普濟保安會 同土瑞街
寧平保安會 同剪子街口
漢口商團清和保安會 同張美之巷
漢口商團萬全保安會 同半邊街
商餘評議所 同興業里
商團同益自治會 同大火路
(以下支那商同業組合)
山貨公所 熊家巷

銅貨公所 茶業公所 金箔公所 米市公所 珠玉公所 錢業公所 汾業公所 廣貨公所 肉業公所 糧食公所 灰幫公所 淮鹽公所 船幫公所 金幣公所 應元公所 油業公所 長春公所 紙業公所 麵粉公所 牛皮公所 鹹業公所 四明公所 紗業公所 河南公所 魯班公所

堤街 河街 仁里街 河街 玉皇閣街 鳳麟街 利濟巷 多寶林巷 體仁巷 仁義司巷 中關口 石碼頭 花園碼頭 萬安巷 存仁巷 中家碼頭 苗家碼頭 寶慶碼頭 萬壽宮 後城馬路 後城馬路 花園巷 昇平街 多寶林 老官廟

蘇湖公所 新安公所 湘潭公所 領江公所 齊魯公所 文昌公所 萍鄉公所 興通公所 孝邑公所 玉楮公所 書業公所 布行公所 崇商公所 棉業公所 綢業公所 磁業公所 西皮貨公所 表新公所 五金業公所 疋頭公所 鐵業公所 機業公所 商輪公所 蛋業公所 當業公所

永安橋 三皇殿 西會館上 百子巷 五桂巷 牛路口 新碼頭 泉隆巷 花園巷 利濟巷 昇平街 董家巷 興隆街 五桂巷 三元殿 永壽巷 紫竹巷 董家巷 後正街 花布街 萬壽宮 郭家巷 五常里 同里 露租界

全省典業公會
保險經理公會
業主會
買辦公會

武昌斗級營
張美之巷
雷祖殿
四成里

第十節 義勇隊 (武漢)

日本義勇隊
英國義勇隊
佛國義勇隊
米國義勇隊
露西亞人義勇隊

第十一節 消防隊 (武漢)

日本義勇消防隊
英國義勇消防隊
佛國人消防隊
露西亞人消防隊
特別區消防隊
漢口商團永濟消防隊
武昌消防隊

第十二節 公園及運動場 (武漢)

各租界バンド
四季花園
共樂花園

何園

外國競馬場境內

支那競馬場境內

老圃花園

新市場

武昌黃鶴樓

武昌抱水堂

右ノ内租界「バンド」ヲ除キテハ一トシテ公園運動場トシテ設計セラレタルモノト認メ得ルモノナシ

第十三節 教會及寺院 (武漢)

望德堂

路德會

天主堂

豫鄂信義會

聖公會

公共禮拜堂

英國禮拜堂

西本願寺出張院

甘露寺

廻龍寺

圓照寺

棲隱寺

曇雲寺

古海蓮寺

(Catholic Augustinian mission)

(Norwegian Lutheran mission)

(Roman Catholic mission)

(Lutheran United mission)

(American Church mission)

(Union Church)

(Church of St John the Evangelist)

白雲寺
漢口佛教會

第十四節 病院 (武漢)

萬國醫院 (International Hospital)
仁濟醫院 (London Mission Hospital)
普愛醫院 (Wesleyan Mission Hodge Memorial Hospital)

天主堂醫院 (Catholic mission Hospital)

同仁會醫院

漢口同仁醫院

伊達醫院

東森醫院

中村醫院

求是醫院

廣東醫院

武昌同仁醫院

陸軍病院

海軍養病所

勉公醫院

漢口慈善會中西醫院

紅十字會

第十五節 墓地及火葬場 (武漢)

萬國墓地 (International Cemetery)

日本人墓地及火葬場

第十六節 新聞社 (武漢)

國民新報社 (支那人經營) 日刊 漢字

漢口中西報社 (同) 同 同

漢口新聞報社 (同) 同 同

武漢商報社 (同) 同 同

大漢報社 (同) 同 同

公論日報社 (同) 同 同

漢江日報社 (同) 同 同

漢口大陸報社 (同) 同 同

正義報社 (同) 同 同

湖廣新報社 (日本人經營) 同 同

漢口日報社 (同) 同 同

漢口日日新聞社 (同) 同 同

漢口公論社 (同) 同 同

實業週報 (日本人商業會議所經營) 同 同

英文楚報 (英人經營) 日刊 英文

Hankow Statistics (英國人商業會議所經營)

Hankow Customs Daily Return (海關發行)

第十七節 戲場及活動寫真 (漢口)

大舞臺 (支那芝居) 同

怡園 (同) 同

滿春 (同)

新民園 (同)

燕喜 (同)

エムバイヤ (活動寫真)

グイクトリヤ (同)

漢口大戲院 (同)

第十八節 旅館 (武漢)

松廼家旅館

原旅館

竹廼家旅館

富貴館

Terminus-Hotel.

Wagons Lits-Hotel.

Hankow-Hotel.

Metropole-Hotel.

Boerner's-Hotel.

漢口大旅館

福昌旅館

交通旅館

新旅館

武漢大旅館

迎賓大旅館

隆華旅館

中西旅館

後花樓口

一碼頭

生成里

同

後城馬路

大知門

後花樓

篤安里

漢上旅館 店初里

漢聯旅館 後城馬路

蜀安旅館 甯清里

新昌旅館 通業里

蓬萊旅館 三分里

耀華旅館 後花樓

振華旅館 後城馬路

晴川旅館 篤安里

漢華旅館 興隆街口

太平旅館 後城馬路

興漢旅館 張美之巷

中華旅館 篤安里

三益旅館 三分里

長陽旅館 小董家巷

鳳台旅館 甯清里

榮華大旅館 寶順里

普安旅館 老君殿

羣賢旅館 戲子街

漢江旅館 火車站

第一賓館 後城馬路

民立賓館 火車站

第二賓館 小蔡家巷

迎賓館 法租界

金台賓館 法租界

迎賓江館	松商碼頭
老天保棧	法租界
長發棧	太古碼頭
老名利棧	松商碼頭
吉祥棧	河街
老高陞棧	松商碼頭
漢中興棧	大智門

第十九節 水道並電燈 (武漢)

既濟水電公司
大正電氣會社
漢口電燈公司
武昌電燈公司

第十四章 土地家屋ノ賣買並

貸貸借

第一節 漢口

現下漢口ノ地價ナルモノヲ見ルニ其ノ高價ナル事ハ恐ラク支那第一ナラン殊ニ家賃ノ高キニ至リテハ世界多ク其ノ比ヲ見サルヘシ英租界ニ於テハ一室ノ借賃二十五兩乃至四十五兩ヲ要シ支那街ヨリ遠ク離レ殆ント貿易業ニ無關係ナル僻陬ノ日本租界ニ於テモ地價一方(一方トハ三坪八合トス)百五、六十兩ヲ唱ヘ擴張租界ニ於テモ尙ホ百兩餘ヲ云爲シ

第一款 英租界

現下日本商人ノ重ナルモノハ商業中心點タル英租界ニ其ノ事務所ヲ有シツ、アルカ第一革命戰迄ハ二、三ノ銀行商社ヲ除キテ悉ク支那街ニ在リシ營業シツ、アリキ然ルニ支那街兵燹ノ厄ニ遭ヒ生命財產ノ安全ヲ得ラレサルト不潔汚穢不衛生ニ堪ヘ兼テ遂ニ市街續ナル英租界ニ侵入シ借家シテ今日ニ到レリ目下邦人貿易商漢口ニ約六十アレ共其ノ七、八割ハ皆英租界ニ事務所ヲ有シ營業ナシツ、アリ當初日本居留地設定ノ目的ハ商工業經營ト生命財產ノ安全ヲ計ル爲メ住宅地トシテ選定セラレシモノナレ共經濟地トシテ何等發展ノ素質ヲ有セス尙露佛租界ハ現今ニ至ルモ外國人ノ土地家屋所有權ヲ認メ居レ共英國ハ歐洲大戰勃發後日本人ノ勢力發展ニ伴ヒ租界内ニ侵入スルモノ著シキヲ睹テ驚駭ハ變シテ恐怖心ヲ誘發シ遂ニ外國人特ニ日本人ニ對シテ其ノ所有權移轉ヲ嚴禁シ現ニ新來日本人ニハ其ノ借家スル事スラ英國工部局ハ頗多ナル難題ヲ附シテ家主ヲ壓迫シ容易ニ許可ヲ與ヘサル傾向ヲ馴致シツ、アリ茲ニ於テ英租界ニ介在スル日本人ハ大ニ不安ヲ感シ借家期限ノ到來ト共ニ立退キヲ命セラル、事アラシカ折角多年ノ經營ト多大ノ犧牲ヲ拂ヒテ得タル地盤モ峻令一下其ノ根柢ヨリ轉覆セラル、ノ悲運ニ際會スルノ機アルヘキヲ以テ他ニ之ニ代ルヘキ安全ノ場所ヲ求ムルニ至レリ然ルニ此商業ノ中心ヲ離レテ而モ生命財產ノ安全ヲ托スルニ足リ而カモ衛生ノ設備ノ完備シタルモノハ一碼頭通リヲ除キテハ他ニ之ヲ求ムル事能ハス

遂ニ日本商人ノ大ナルモノハ本社ニ前述事情ヲ開陳シテ其ノ左側支那街ノ地ヲ得ント頻リニ暗中飛躍ヲ試ミタリ其ノ結果地價ハ不自然ノ暴騰ヲ惹起スルニ至レリ幸カ不幸カ三菱ヲ初トシテ片側ニ日本人街ヲ現出スルノ盛況ヲ呈セリ今參考ニ左ニ邦商ノ該地面各買入價格ヲ示サンニ

商店名	一方買價格	買入年月
三 菱	一、〇〇〇兩	大正四年
臺灣銀行	一、〇〇〇兩	同
橫濱生糸	二、二〇〇兩	同八年
伊藤忠	二、三〇〇兩	同七年九月
住友	二、〇〇〇兩	同九年
江商株式	二、一〇〇兩	同八年八月

右表ニヨリテ見ルニ三ヶ年ニシテ約倍額ノ騰貴ヲ示セリ利ニ敏ナル支那人ハ日本人ノ此弱點ヲ利用シ不法ノ掛値ヲ吹キカケ日本人ハ例ノ調子ニ依リ地價ヲ競上ケ遂ニ左ノ如キ不自然ノ相場ヲ惹起スルニ至レリ英租界内ニ於ケル賣買值段ヲ聞クニ河岸通リノ一等地ニシテ尙前記ノ地價ヨリ三、四割安トノ事ナリ一碼頭ノ左側ハ支那街ニシテ道路及其ノ右側ハ英租界ナリ支那ノ行政權ニ服從シ家屋ノ入口ハ英租界ニ面スルノ故ヲ以テ出入稅ヲ英國工部局ヘ仕拂ヒ地租其ノ他ハ支那政府ニ支拂フ斯クノ如ク支那ノ不完全、不安全ノ行政權ノ支配ヲ受クルノミナラス地勢ニ於テモ數等ノ劣位ニアル支那街ノ地價ハ論理ヨリ推究スレハ當然英租界ノ地價ヨリ遙カニ低率ナルヘキニ却ツテ反對ノ現象ヲ呈スルハ叙上ノ事情纏綿スルカ故ナリ

試ニ參考ニ昨年(一九一八年)獨逸租界ニ於ケル公有及私有財產ヲ競賣ニ附セント企テ支那政府カ見積評價シタル價格左ノ如シ

獨逸租界ニ於ケル土地建物見積評價價格 (單位方、兩)				
所有主	所在地	建物	土地面積	評價價格
獨逸領事館	舊獨租界	二階建	五〇〇	一八、四〇〇
德華學堂	西洋競馬場裏	同	五〇〇	一五、〇〇〇
獨逸工部局	舊獨租界	二階建一其他	三五六	一三七、八〇二
德華銀行	同	同	二八〇	三〇、八三三
威廉學校	同	二階建一	五	二五、〇四四
斗百再洋行	同	倉庫及事務所	四六〇	一七七、五〇〇
機昌洋行	同	同	三〇〇	一六二、五〇〇
福來德洋行	同	同	四三〇	一六二、四〇〇
北獨逸ロイド	倉庫二其他	同	三三五	一五四、〇六六
會社	發電所一製油工場事務所二	同	四〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
美最晴洋行	同	倉庫及事務所	一	七九四、二〇〇
捷成洋行	同	倉庫及事務所	三五〇	六六、一八〇
瑞記洋行	同	家屋三	九六〇	四七、〇〇〇
味地洋行	同	倉庫及事務所	七〇〇	三六、六五六
亨寶洋行	同	同	七〇〇	三六、六五六
寶利鋸廠	同	二階建一	一三〇	一〇八、二八一

右ノ價格ヲ見ルニ土地建物ニ付キテ一方二百兩乃至七、八百兩以上ニ及ハス今之ヲ二倍三倍ニ見積ルモ前記一碼頭通ノ相場ニ及ハス而カモ巍峨タル大厦堅牢快速ナル建築物ヲ加算シ一碼頭通リニ於ケル如ク改築スルニアラサレハ用ヲ便シ能ハサル支那式家屋ノ附屬スルニ比較想到セハ四、五

倍ノ價格ヲ以テスルモ尙且格安ノ感アリ殊ニ其ノ多クハ河
岸ニ接シ京漢鐵道引込線租界ノ中央ヲ橫貫スルアリ水陸並
運輸上ノ至便ヲ以テスルニ於テ前者ト比較スヘクモナシ獨
逸租界ニ就テハ各國トモ垂涎盛ニ暗中飛路ヲ試ミタルモ利
權回收熱ニ犯カサレツ、アル支那政府ハ容易ニ之ヲ手離サ
ス公有物ニ對シテハ競賣ハ表面上之ヲ行ヒタルモ多クハ支
那人ニ落札セシメ外國人ノ手中ニ入リタルモノハ殆ントナ
ク其ノ價格ノ如キモ市價ヨリ幾分低下ノ事情アリタランモ
右評價ハ亦以テ幾分ノ自然的價格ヲ表現スル標準ヲ窺知ス
ルヲ得

第二款 各國租界隣接地

租界外ノ地價ハ租界内ニ比スレハ一般ニ非常ニ低率ナリ茂
木洋行ノ湖北路中國銀行隣接地入手價格ハ一方三百三十兩
ナリキ而シテ鐵道線路外ハ一層低率ニテ三井洋行ノ皮革精
練所トシテ買入タル價格ハ一方百兩ナリキ線路内ハ約五
割高率ニテ百五十兩相場ヲ唱ヘツ、アリ右ハ居留地若シク
ハ市街ニ隣接シタル地所ノ地價ナルカ之ト離レタルモノハ
更ニ低率ナリ擴張日本租界ニ隣接シタル所ノ古河公司ト製
氷會社トノ地面アリ一方四十兩ニテ賣買セラレタリ此等ハ
比較的安價ノ様ナレ共古來絶エテ何等人工ヲ加ヘタル事ナ
キ荒蕪地ニテ沼アリ溝アリテ建築スルニハ高サ五、六尺ノ
埋立ヲ要シ埋立ノミニテ二千兩以上ヲ要スルヲ以テ六十兩
以上ノ相場トナレリ中支派遣隊ト鐵道線トノ中間ニ大倉洋
行ノ地所アレト五、六年前一方五兩乃至十五兩ニテ買收セ
シモノ、一部ヲ一方三十六兩ニテ賣却セリ又兵營右側ノ畑

第四款 賣買習慣

土地家屋ヲ購入スルニ當リ買主カ賣主ニ對シ直接交渉スル
コト稀ニシテ周旋業者即チ產業行ニ依頼スルノ習慣アリ交
涉成立スルヤ買主ハ周旋人ニ向ヒ賣主所持ノ地券並納稅證
或ハ家屋主ナルコトヲ證明スル書類ノ提示ヲ請求シ確實ナ
ルコトヲ認メタル上賣買契約書ヲ作成シ賣主ハ一切ノ關係
證書ヲ買主ニ交付スル爲周旋人ニ渡シ周旋人ハ買主ノ保證
人トナリ後日紛争ノ起ラサル場合殘半額ヲ交付スルノ約束
ノ下ニ買主ヲシテ先ツ代價半額ヲ支拂ハシメ買主ハ直チニ
「此建物或ハ此土地ハ某ヨリ某ニ賣渡ス若シ後日紛争生シ
タル場合ハ買主ニ於テハ其責ニ當ラス」云々ノ意味合ヲ明
記シタル標札ノ揭示方ヲ賣主ニ請求シ揭示一ヶ月ヲ經テ何
等ノ問題發生セサレハ買主ハ殘半額ヲ支拂フモノトセリ從
來此ノ期間ヲ百日トシタルモ近來一ヶ月制ニ改メラレタル
模様ナリ周旋人ニ對シテハ普通百兩ニ對シ五兩ヲ買主ヨ
リ三兩賣主ヨリ二兩ノ割ニテ與ヘ居レリ

第五款 賃借習慣

家屋ヲ賃借セントスル家主ハ其ノ家屋門前ヘ「招租」ナル
文字ヲ書シタル赤紙ヲ貼り出シ且ツ附記シテ希望者ノ申込
所ヲ示シ借主ヲ待ツ借主ハ申込處ニ赴キ商議ノ上契約書ヲ
作ル契約ニハ土地ノ確實ナル保證人ヲ要ス借用期間ハ何ケ
月トセルアリ何ケ節句迄トセルアリ何ケ年トセルアリテ一
定セス家賃ハ概シテ先渡シニシテ其ノ外ニ敷金トシテ一期
間分ヲ家主ニ預ケ右ハ他日滿期他ニ移轉ノ際家主ヨリ借主
ニ返却スルコト、セリ借家後ニ於ケル諸費用ハ移轉披露ト

地昨年來英商怡和洋行カ一方二十五兩ニテ買收シ「レース」
俱樂部ノ左側ニ住宅地ヲ設ケタリ
右ハ何レモ住宅及商業地ニ就テ述ヘタルモノナルカ工場地
トシテ何レモ工場ト膠漆ナル水ト貨物運輸ニ至便ナル地ニ
非ラサレハ不可ナリ然ルニ漢口ニ於テハ斯ノ如ク條件ニ叶
フ地ハ漢口一帶漢水岸ニ之ヲ求ムル外ナク然ルニ漢水沿岸
ハ上流ハ水電公司ヲ以テ限ラレ其ノ下流漢口ニ至ル僅カニ
三十町ニシテ其レ以外ハ開港地ト看做ス能ハス依テ工場ヲ
建設スル事不可能ナリ斯クノ如ク限ラレタル小地域ナルカ
故ニ地價ノ高率ナルハ自然ノ勢ニテ下流漢口ニ接近スルニ
比例シテ高率ナリ一方七、八十兩ヨリ二十五兩ノ間ニアリ
武林洋行カ上流水電公司ノ隣接地ヲ一方二十五兩ニテ買入
タルハ勿論此等ノ地ハ荒蕪ナル地ニテ沼アリ池アリテ是ヲ
地馴スルニハ多大ナル費用ヲ要スルナリ専門家ノ言ニ依レ
ハ漢口ノ地價ハ一般ニ青島ヨリ二、三十割、天津ヨリ十割、
上海ヨリ五割乃至十割高率ナル由ナリ

第三款 支那市街

一碼頭、河街、生成北里、一帶ハ七百兩以上、八百兩トス
此地ハ最便利ニシテ般販ヲ極ム第二流街トシテ猪巷、四官
殿碼頭、張美之巷口一帶ヲ見ルニ三百兩以上、六百五十兩
ニシテ第三流街、鮑家巷、沈家廟、碼頭福福門附近ハ四百
十兩以上、三百兩ヲ云爲シ場末ト雖一方ノ價格六十兩以上
ナリトス家屋賣買價格ハ一方四百兩ヨリ七、八百兩ノ割合
ニシテ小家屋ハ二百兩内外トス家賃ノ標準ハ家屋價格ノ一
割内外トセラレ居レリ

第十五章 普通勞働者並婢僕ノ賃金

第一節 普通勞働者

第一節 普通勞働者	賃金
機械職工	月給 十六元以上六十元 (食費自辨)
大工職工	日給 四十錢以上六十錢 (同)
左官職工	日當 五十錢以上六十錢 (同)
石細工職工	日當 三十錢以上五十錢 (同)
銅、錫細工職工	月給 五元以上十一元 (食事店持)
金、銀細工職工	月給 六元以上二十四元 (同)
裁縫職工	日給 三十錢 (同)
工場職工	常雇月給 七元以上十五元 (食事自辨)
耕作勞金	臨時雇日當 三十錢以上五十錢 (同)
常雇年	三十元以上六十元 (食事主人持)
臨時雇日當	十五錢以上三十錢 (同)
車夫	日實收 五十錢以上一元
碼頭苦力	日實收 三十錢以上一元五十錢

第二節 婢僕

第一款 漢口

小使	支那人用	月六元以上二十四元	食事主人持
雜夫	外國人用	月七元以上十五元	食事不給
子守	支那人用	月三元以上五元	食事主人持
	外國人用	月六元以上十二元	食事不給
料理人	支那人用	月六元以上十二元	食事主人持
	外國人用	月十五元以上三十元	食事不給
乳母	支那人用	月五元以上八元	食事主人持

武漢三鎮ニ於ケル勞働者

當地ニ於ケル勞働者ノ大部分ハ碼頭鐵道、人力車ノ苦力ニシテ其ノ數三萬ニ達シ又工場ニ使役セラル、職工ハ武昌側ヲ加ヘテ一萬内外ナリ

近來一般物價ノ三割方殊ニ米價ノ如キ四、五割ノ昂騰ヲ見ルニ至リタル爲勞銀ノ割増ヲ要求スルトコロアリ從前日給二十仙ノ苦力ハ三十仙ニ一哩十仙ノ車賃ハ十四、五仙ニ改メラル、ニ至リタルモ尙機ニ乘シ生活ノ安定ヲ計ラントスルノ態度アリ取締當局ハ之ニ對シ注目怠ルコトナキハ勿論社會主義的ノ宣傳出版、或ハ其ノ出版物ノ輸入ニ關シ嚴重ニ取締方ヲ講シ各租界ニ對シテモ協同援助方ヲ依頼スルトコロアリタリ

武漢ノ苦力社會ハ由來一種ノ繩張リヲ有シ外省苦力ノ加入ヲ許サス過般武昌第一紡績廠ニ於テ上海ヨリ女工ヲ連レ來リタルモ當地在來ノ勞働者ノ排斥ヲ受ケ一ヶ月餘ニシテ引上ケタルカ如ク今後武漢ノ工業界發展シテ職工數增加スレ

第十六章 物價

ハ今日ノ如キ狀態ニ在ルヲ得サルヘキモ現今機械工場トシテ數ヘ得ヘキモノ十數ヶ所ニ過キス職工數ノ如キモ最多キ楊子機器廠ニ於テサヘ千五百人ヲ超ヘサルナリ斯カル幼稚ナル狀態ニアルヲ以テ勞働問題ノ如キ比較的大ナラス然レトモ曩ニ漢陽鐵廠ノ罷工運動起リ鐵廠側ハ遂ニ二割ノ増給ヲ以テ終結スルヤ各工場職工亦相連絡シテ運動シタル如キ時勢ノ趨向武漢ニ入ルノ傾向ハ十分ニ認メラル

漢口ニ於ケル一般物價ノ騰貴ハ過去六ヶ年ニ渉ル歐洲大戰輸出入品價格ノ平調ヲ亂セル等諸種ノ事情ニ基クモノナル處他ニ又種々ノ影響アルモノトス

由來漢口ハ物資ノ集散地ニシテ其ノ生産地ニ非サルカ故ニ作物ノ豐凶及生産ノ過多又ハ過少ニ起因スル價格ノ變動以外ニ河南、陝西方面トノ陸路並四川、雲南、貴州、湖南方面トノ水路輸送上微細ノ故障ハ直チニ當地ニ於ケル市價高低ノ原因トナルハ湖北ノ地勢上蓋シ已ムヲ得サルナリ殊ニ歐戰ノ結果トシテ物資ノ一大缺乏ヲ告ケ當方面ヨリハ著シク其ノ補給ヲ爲シタルコト及近來ノ如ク支那内地不斷ノ騷亂殊ニ長江ノ水路ヲ要扼シ匪賊ノ荒掠ヲ逞スル結果運輸中ノ物資ヲ破壊或ハ掠奪サレタルコト其ノ數ヲ知ラス加フルニ近年銀價暴騰ノ爲爲替相場ヲ狂奔セシメ延イテ輸出入品價格ノ平調ヲ亂セル等諸種ノ事情輻輳シテ一般物價漸騰ノ勢ヲ更ニ地方的ニ煽リ上ケタルカ如キハ一層其ノ騰貴率ヲ高メタルモノナルヘシ

今當地方ニ於ケル日用品ノ主ナルモノニ就テ戰前、戰後ノ最高價格ヲ比較スレハ左ノ如シ

種別	戰前	戰後
鹽 一斤	九六文	一二〇文
醬油 同	六四文—一六〇文	九六文—二四〇文
石油 同	九六文	一二〇文
砂糖 同	二四〇文	三〇〇文
麵粉 一袋	一四一〇—一四七〇	一四三三—一四九八

雞肉 一斤	一八〇文
牛肉 同	一六〇文
豚肉 同	二四〇文
雞卵 一個	一二文
麻油 一斤	二六〇文
菜油 同	二四〇文
豆油 同	二五〇文
此ノ外一般物價ハ三割乃至五割ノ騰貴率ヲ示セリ	

價 格

記事

品名	單位	九年十二月	十年十二月	卸相場
白米	一貫目	大洋 四十四仙	大洋 五十五仙	
(砂糖)				
三本行	同	同	同	同
天光糖	同	同	同	同
骨付生牛肉	同	同	同	同
骨付生魚肉	同	同	同	同
(骨付生魚肉)				
鮭	同	同	同	同
鯉	同	同	同	同
ケツ魚	同	同	同	同
生麵	同	同	同	同

(豆)類

大豆	一貫目	四十五仙	大洋	五十仙	同	卸相場
小豆	同	一元七十仙 七十五仙	同	一元七十仙 七十五仙	同	卸相場
(生野菜)						
インゲン豆	同	二十三仙	同	二十五仙	卸相場	生産期八月中旬
バレイショ	同	十二仙	同	十五仙	卸相場	生産期中旬
ニンジン	同	三十仙	同	三十仙	卸相場	生産期上旬
ホウレンソウ	同	二十三仙	同	十四仙	卸相場	生産期上旬
トウガン	同	十四仙	同	十五仙	卸相場	生産期上旬
カボチャ	同	十八仙	同	二十二仙	同	同
ダイコン	同	十八仙	同	二十仙	同	同
タマネギ	同	五十五仙	同	三十仙	同	同
レンコン	同	二十一仙	同	三十仙	同	同
ナス	同	十九仙	同	十五仙	同	同
フダンソウ	同	十二仙	同	十二仙	同	同
エンドウ豆	同	一元五十仙	同	一元五十仙	同	同
青菜	同	九仙	同	十三仙	同	同
アヲネギ	同	二十四仙	同	二十四仙	同	同
サツマイモ	同	十二仙	同	十八仙	同	生産期十一月下旬

ササゲマメ	同	五十仙	同	六十仙	卸相場
サトイモ	同	二十二仙	同	二十仙	同
キユトリ	同	十二仙	同	十仙	同
シロナ	同	十五仙	同	二十仙	同
シンギク	同	十七仙	同	十仙	卸相場
モヤシ	同	二十仙	同	二十仙	同
豆腐	同	二十一仙	同	二十五仙	同
蕎麦	同	四十仙	同	六十五仙	同
油揚	同	七十五仙	同	七十五仙	同
茶	同	四元五十仙	同	六元〇仙	同
焙麦	同	四十五仙	同	一元五十仙	同
醬油	一升	五十八仙	同	一元二十仙	同
酢麻油	同	三十五仙	同	七十五仙	同
胡麻油	同	六十五仙	同	五十仙	同
凝脂	一貫目	一元八十仙	同	一元八十仙	同
麥粉	同	二十七仙	同	五十五仙	同
(味噌)					
白味噌	同	七十五仙	同	一元六十仙	同
赤味噌	同	七十五仙	同	一元四十仙	同

漬物(第一種)

新澤庵	同	一元二十仙
白菜漬	同	三十五仙
淺漬	同	七十仙
古菜漬	同	二十五仙
大根味噌漬(第二種)	同	二元六十仙
蘭京漬	同	二元四十仙
奈良漬	同	三元六十仙
茄子味噌漬	同	三元六十仙
茄子辛子漬	同	四元〇仙
福神漬	同	二元七十仙
金山味噌漬	同	三元〇仙
梅干漬	同	二元二十仙
古澤庵	同	一元五十仙
鶏卵	同	一元三十仙

第十七章 管内歐米人ノ事業

第一節 銀行

第一款 英國

資本金	銀千五百萬弗
積立金	金百五十萬磅
支店	香港
支店	英租界四碼頭

A、滙豐銀行 (Hongkong Shanghai Banking Corporation)

資本金	同	一元五十仙
積立金	同	三十五仙
支店	同	八十仙
支店	同	二十八仙
支店	同	三元〇仙
支店	同	二元五十仙
支店	同	三元八十仙
支店	同	三元二十仙
支店	同	三元五十仙
支店	同	四元〇仙
支店	同	三元〇仙
支店	同	二元五十仙
支店	同	一元八十仙
支店	同	一元二十仙

經營者 H. F. Macintosh
 東洋ニ於ケル英國貿易ノ金融機關トシテ最良ク活動スルモノニシテ支那ニ於テハ英國ノ代表銀行トシテ多年借款事務ヲ掌握シ殊ニ各銀行ガ銀資缺乏ヲ嘆スルノ際獨リ同行カ巨額ノ銀資金ヲ有スルハ同行ノ強ミニシテ常ニ外國銀行間ノ主腦者トシテ實力アリ對英貿易約六割ハ同行ノ扱フ所ナラシテ認メラル茲兩三年間英國貿易ノ減退ト共ニ同行ノ活躍振リモ幾分鈍リシカノ觀アレ共應テ回復シ來ルヲ疑ハス

B、麥加利銀行

資本金	金貳百萬磅
積立金	金貳百九拾萬磅
支店	倫敦
支店	英租界四碼頭

經營者 A. Gray

六十八年前英國勢力ノ東漸ト共ニ設立サレタル最モ古キ特許銀行ニシテ主トシテ印度南洋方面ニ活動シ支那ニ於テハ前記ノ滙豐銀行ノ活躍ニ委セテ之ト競争セサルカ如ク當地同行支店モ餘リ活潑ナラサレ共古參銀行トシテ重キヲナセ

第二款 米國

A、花旗銀行

資本金及積立金	金八百五十萬弗(米金)
支店	紐約
支店	英租界三碼頭

經營者 A. H. Bremer
 同行ハ National City Bank of New York ノ別働隊トモ稱ス(キモノニシテ十數年前東洋ニ於ケル米國貿易ノ機關トシテ設立セラレタルモノナリ當地ニ於テハ米國貿易額ノ未タ多額ニ上ラサルト新來ノ爲ニ未タ地盤ノ十分ナラス爲ニ常ニ英國銀行ニ威壓セラレルモノ、如ク營業餘リ振ハス最近弗紙幣發行セルモ金額僅少ナラン然レトモ今後揚子江ニ於ケル米國ノ活躍ト共ニ同行亦有力ナル機關トナルヘシ

B、友華銀行

資本金	米金四百萬弗
積立金	同 百拾萬弗
支店	紐約
支店	英租界郵陽街

經營者 Verne Clair

同行ハ一昨年二月中紐育ニ於テ Guarantee Trust Co. ヲ中心トシ有力ナル四銀行ガ極東ニ於ケル米國通商ノ發達ヲ圖リテ設置セルモノニシテ當地ニ於テハ一昨年四月中ニ開店セリ設立日淺ク何等ノ地盤ヲ有セサルモ上海、天津ノ支店ト聯絡シテ投機的ニ爲替ヲ賣買シ外國銀行ヲ注目セシメ居レリ近頃長沙ニモ支店ヲ設ケ政治的借款ニモ應セントシテ頻リニ支那側ニ接近シ居ルカ如ク今後米國勢力増加ト共ニ同行ノ將來ハ大ニ刮目ニ値ス

第三款 佛國

東方滙理銀行	金四千五百六拾萬法
支店	倫敦

積立金 金千八百萬法

支本店 佛租界河街

經營者 D. Raganan

支那ニ於ケル佛蘭西ノ代表銀行トシテ多額ノ借款ヲ有シ貿易上ニモ相當活動セシモ戰後外國貿易衰頽ト共ニ同行モ餘リ振ハス

第四款 露國

道勝銀行 (Russo-Asiatic Bank)

資本金 露貨五千五百萬留

外ニ支那政府ノ持株參百五拾萬兩

積立金 露貨貳千六百九拾六萬留

同銀 百七拾五萬兩

支本店 露都ベトログラード

支店 露租界河街

經營者 C. Chemositoff

戰前迄ハ露西亞勢力ノ優勢ナリシト共ニ相當活動ヲ見當地ニ於テモ茶商人ノ機關トシテ有力ナリシカ戰後露本國ノ瓦解ニ伴ヒ同行モ殆ト手ノ出シ様ナク僅カニ支那借款ノ返却金ヲ以テ唯一ノ財源トシ營業シ居ルニ過キス

第五款 白耳義國

義品放款銀行 壹千萬法

支本店 ブラッセル

支店 佛租界河內街

經營者 W. Acta

本銀行ハ外國銀行中特殊ノモノニシテ土地建物ヲ主トスル不動産擔保ノ金融及財產管理並保險等ヲ營ム

第六款 外支合辦

當地ニ於ケル外支合辦銀行トシテハ中法實業銀行及中華實業銀行ノ二ツナリ

A、中法實業銀行

(Banque Industrielle de Chine)

資本金 七千五百萬法

內三分ノ一ハ支那政府ノ出資

支本店 巴里

支店 佛租界河街

經營者 Comu

佛蘭西ノ對支投資ノ政策上佛支合辦ニテ設立セラレタルモノナレ共實權ハ佛人之ヲ握リ爲替投機者トシテ大ニ活動シ居レリ當地ニ支店ヲ開設セルハ大正九年ノ事ナルカ間モナク一時惡評ヲ流布セラレタル事アリ其後モ同行ノ經營振リニ對シ種々好マシカラサル風評アリ

B、中華實業銀行 (China American Bank of Commerce)

資本金 壹千萬法

拂込資本金 五百萬元

支本店 北京

支店 英租界一碼頭

經營者 丁志蘭

支那ニ國籍ヲ有スレトモ親米政治家ト米國資本家ノ合辦銀行ナリ當地ニ支店ヲ開設セルハ大正九年ナルカ未タ大ニ見

ルヘキモノナシ

第二節 商社

第一款 英國

商名	經營者	所在地	營業ノ範圍	使用外國人數
福利公司 Hole & Holy, Ltd.	I. S. Noakes	佛租界河內街	各種西洋雜貨	二
惠羅公司 Whiteaway Laidlaw & Co., Ltd.	W. I. Ward	露租界鐵路街	各種西洋雜貨	二
卜內門公司 Brunner Mond & Co.	Edward Solfer	英租界洞庭街	石鹼 曹達	一
祥泰木公司 China Import & Export Lumber Co., Ltd.	Da. Wilson	特別區中街	木材及運搬業	一
英國通用電燈公司 General Electric Company of China Ltd.	F. H. Shaw	英租界洞庭街	電氣材料	二
英國煙公司 British Cigarettes Co., Ltd.	R. W. Johnson	特別區六碼頭	英國製紙卷煙草	五
漢口電燈公司 Hankow Light and Power Co., Ltd.	R. P. H. Davis	露租界吉祥街	英佛露租界電燈供給	五
和記洋行 International Export Co., Ltd.	W. W. Y. Ross	特別區六碼頭	蛋粉製造、豚肉、鷄鴨ノ輸出	一六
怡和洋行 Jardine Matheson & Co., Ltd.	P. W. O. Liddell	英租界二碼頭	航運業、保險業、棉花、桐油、茶、麻、茶、五倍子、輸出砂糖、金屬類、織物、機械ノ輸入	二〇
平和洋行 Liddell Brothers & Co., Ltd.	H. O. Mackenzie	英租界華昌街	棉花 壓榨	四
隆茂洋行 Mackenzie & Company Ltd.	Edward White	英租界湖南街	棉花 壓榨	五
協和洋行 Anderson & Co., Ltd. Robt		英租界洞庭街	紅茶 輸出	四

亞細亞洋行	Asiatic Petroleum Co.,	G. E. Jones	佛租界河街	石油、西洋蠟燭、機械油輸入	一二
老沙遜洋行	Rossmore & Co., Ltd.	F. C. R. Keed	英租界四碼頭	雜穀輸出	七
榮司洋行	Weekes & Co., Ltd.	P. Jenkins	佛租界鄂哈街	各種洋雜貨販賣	五
通和洋行	Atkinson & Dallas Ltd.	R. M. Saker F. W. L. Atkinson	英租界五碼頭	工事請負設計	六
太古洋行	Bulterfield & Swire Co.	C. C. Knight	支那街河街	航運業及火災海上保險	一一
天祥洋行	Bartwell & Co., Ltd.	I. W. Bartwell	英租界洞庭街	紅茶、豚毛、輸出及保險業	六
連利洋行	Platley Richardson & Co., Ltd.	C. A. Fraser	英租界四碼頭	一般輸出入業、仲買業及保險業	三
太平洋行	Harrisons King Co., Ltd.	W. S. King	英租界二碼頭	一般輸出入業、保險業及汽船會社代理店	四
漢口贊育大藥房	Hankow Dispensary Co., Ltd.	H. I. Lieg	佛租界河內街	藥劑販賣及飲料水製造	四
安利英行	Arnhold Brothers & Co	A. E. Marker	特別區河街	牛皮及桐油五倍子、木油、寧羅雜穀輸出、金物機械其他輸入	一七
順發洋行	Gordon & Company Ltd.	D. W. Oatford	英租界洞庭街	金物、陶磁器、家具類販賣	三
別發洋行	Kelly and Walsh Ltd.	F. S. Rampin	露租界鐵路街	書籍文具タイプライター	四
天裕洋行	Campbell & Co.	Alexander Campbell	英租界洞庭街	紅茶輸出	四
保安洋行	Union Assurance Society of Canton	S. Mason	英租界四碼頭	保險業	三
老晉隆洋行	Maunard & Co.	H. G. Boyling	英租界太平街	一般輸入業	一四

聚源洋行	Representation for British	A. C. Barn.	英租界都陽街	金物類輸入	五
榮福洋行	William Hay & Company	A. Burgoyne	特別區一碼頭	羊牛皮輸出業	六
景明洋行	Hemming & Berkeley	R. E. Henning	英租界洞庭街	工事設計請負	六
泰和洋行	Reiss & Co.,	A. M. Cannon	同	一般輸出	九
梅嘉洋行	Melchior & Co.,	I. E. Melchior	同	雜貨輸出入	九
斯文洋行	Shannon Brothers Co.,	E. Schohli	特別區河街	一般輸出	二
新大信洋行	Sanderson & Co.	I. L. P. Sanderson	英租界二道街	雜貨輸入	一
信孚洋行	Ramsay & Co.	H. E. Ramsay	英租界洞庭街	同	二
新公興洋行	Vicange & Co.,	B. R. Melita	同	雜貨輸出入	一
利木洋行	J. Woods	I. Wood	露租界中街	洋服店	三
杜德洋行	Rawlins Co.	A. E. Ollin	英租界華昌街	紅茶輸出	四
金通洋行	Pierce & Garrick	H. C. Pierce	英租界洞庭街	競賣	四
和利水廠	Hankank Works.	W. V. Andersen	佛租界工部局向	製水	一
履泰洋行	Keld Evans & Co.	T. Ewan	英租界湖南路	茶及仲介業	二
利華公司	Leatherhairs Ltd. Co.,	M. G. Brisher	英租界湖南路	石鹼販賣	一

柯化威洋行	A. H. Health	英租界河街	茶輪出業 <small>茶買不現ノ爲メ經營人目下不在ニテ休業シ居レリ</small>	四
英孚洋行	H. W. Kuhn & Co.	同	保險代理店	
寶順洋行	Evans, Fugh & Co.	英租界洞庭街	一般輸出入保險	六
第二款 米國				
大來洋行	Robert Dohler Company	C. B. Hoves	華景街德華里	航運業及木材輸入
協懋洋行	H. F. Smith	英租界洞庭街	雜貨輸出入	一
科發洋行	American Dug Co.	I. H. Buenther	露租界寶善里向	藥劑販賣
勝家公司	Singer Sewing Machine Co.	F. C. R. Keed	英租界太平街	ミシン機輸入
慎昌洋行	Anderson Urger & Co.	W. Wright	佛租界河內街	金物、電燈氣器 輸入雜穀 輸出
利達洋行	B. A. Robert	露租界二碼頭	文房具顏料販賣	二
美孚洋行	Standard Oil Company	P. S. Hopkins	露租界河街	石油及各種洋油
光裕機器油行	Vacuum Oil Co.	S. B. V. Millor	佛租界德領事街	機械油輸入
德泰洋行	China & Java Export Co.	G. R. Heukel	佛租界滑石里	牛羊皮輸出
協隆洋行	Fearon Daniel & Co.	W. A. B. Nichols	英租界洞庭街	電氣材料電氣器輸入
其來洋行	Gallespie & Son & Co.	Huntmann	佛租界德領事街	桐油輸出

第三款 佛國

茂生洋行	American Grinding Co.	L. E. Gale	露租界二碼頭	建築材料輸入保險業	一
美星洋行	Devin & Co.	N. Devin	英租界鄱陽街	一般輸出入及仲買業	六
第三款 佛國					
沙發洋行	Softer & Co.	T. M. Softer	英租界四碼頭	雜穀桐油輸出	五
公興洋行	Grasjan & Co.	C. Grasjan	佛租界河內街	雜貨輸出入蛋粉製造	
福泰洋行	L. Pettit	佛租界中街	皮類輸出	二	
良濟洋行	C. C. Monbran	佛租界河內街	豚毛輸出保險業		
永興洋行	P. Meynard	大智門	牛、羊皮、豚毛、桐油、木油、麻五倍子、雜穀ノ輸出	四	
梁記大藥房	Racine	佛租界河內街	藥材及飲料水製造	一	
立興洋行	I. Dubois	佛租界河街	雜貨輸出入	七	
烏利文洋行	Ullmann & Co.	英租界太平街	時計及各種銀製品	一	
柯山洋行	佛租界湖南路	護謨輸入		三	
飛星公司	佛租界達納街	護謨輸入人力車貸出		三	
利通洋行	Ranallo & Co.	同	人力車貸	一	

第四款 露 國

順豐洋行 Livinoff & Co.,	S. W. Livinoff	露租界七碼頭	紅綠磚茶製造及紅茶輸出	九
阜昌洋行 Molchanou Peckhnoff & Co.,	N. M. Wolchanoff	英租界阜昌街	紅綠磚茶製造及紅茶輸出	一五
源泰洋行 Nakvasin & Co.,	D. I. Nakvasin	英租界	紅茶輸出	二
新泰洋行 Nakvasin & Co.,	G. J. Yooritzin	露租界河街	磚茶製造及紅茶輸出	七
百昌洋行 Popoff Bros Co.,	N. G. Shwoloushoff	英租界洞庭街	紅茶輸出	一
亞通洋行 Russo-Chinese Steadung Co.,	S. Y. Chiag	佛租界偉英里	競賣及紅茶輸出	四
華通洋行 Russo-Asiatic Trading Co.,	K. W. Kolin	特別區一碼頭	葉煙草輸出	一
惠昌洋行 Wisotzky & Co.,	L. Parbury	露租界興隆街	紅茶輸出	一

第五款 伊太利國

義華洋行 Italian Chinese Import & Export, co.	Carla Carugo	佛租界河內街	牛羊皮油脂雜穀ノ輸出	六
麥宜義洋行	Mannine	同	伊國產酒、輸入菓子販賣	一
郭只洋行	Coztl. E.	露租界中街	菓子類	一

第六款 丁抹國

文德機器公司 Nielsen & Winther China Engine Ring Co.,	A. C. Thorman	英租界洞庭街	機械類輸入	三
--	---------------	--------	-------	---

第七款 白耳義國

實隆洋行 East Asiatic Company	S. Bogger	特別區河街	一般輸出船舶代辦	六
喬享洋行 Richard Johnson & Co.,	Ridard Johnson	佛租界二道街	金物輸入	一
瑞興蛋廠 T. G. Moran		日本租界	蛋粉製造	二
萬興洋行 Vanderstegen & Co.,	I. Vanderstegen	佛租界滑石里	牛羊皮輸出	二

第八款 和 蘭 國

好時洋行 Holland China Trading Company	G. H. Vaudoujl	佛租界中街	保險及一般輸出入	二
---------------------------------------	----------------	-------	----------	---

第九款 外 商 合 辦

英美烟洋公司 British American Tobacco Co., Ltd	H. E. Parkinso	特別區六碼頭	卷煙草製造	七
協成洋行 China Hide Produce Company of New York	米爾	露租界河街	牛皮及豚腸輸出	四
康成酒廠華法公司 Societe Franco-Chinese ale	G. Care	漢口、郊外礮口	中外各種製造	三
英瑞牛奶公司 Dislillerie de Honkew, Nestle & Angle Swiss Condensed Milk Co.,	瑞英 Y. Y. Maek	英租界都陽街	牛乳	一
裕和洋行 West, Int & Co.,	Ostphol	特別區四碼頭	雜貨輸出入	一
那嘉利汽水廠 Nicarago Mineral Water Co.	Bawmuis Nicoles	佛租界三德里	飲料水製造	一

右ニ示スカ如ク之ヲ國別ニ商社數ヲ見レハ

英國	四二
米國	一三
佛國	一一
露國	八
伊太利	三
和蘭	一
白耳義	二
丁抹	三
外商合辨	六

ニシテ日本ノ七一ヲ除キテハ英國第一位ニアリ次イテ米國佛國第三、ニシテ露國第四、他ハ皆微々タルモノニシテ丁抹、伊太利、白耳義、和蘭ノ順位タリ今當港ニ密接ノ關係ヲ有スル各國ノ最近五ヶ年間直接貿易額ヨリ見ルモ當地ハ由來上海港ノ商勢圏内ニ在リテ全然獨立の地歩ヲ占得セサレハ其ノ對外貿易總額ヲ各國別ニ考查スル事殆ト困難ニシテ當港貿易上ニ於ル各國ノ實勢ヲ確知スルノ統計材料ナシ盡シ地理的關係ニヨリ對外輸出入品共上海港ヲ經由スルモノ多額ニ上リ而モ之カ最後ノ仕向地或ハ原產地ヲ明ニス可キ統計材料ヲ缺クヲ以テナリ即チ當港貿易表中ニアル支那諸港向輸出品ニシテ仕向(港上海港向ノモノ大部分ヲ占ム)アリ更ニ外國向輸出セラル、モノアリ及支那諸港(主トシテ上海港)ヨリ輸入セラル、外國品ニ付キテモ各國別ニ内容ヲ知ルノ術無シ斯ノ如クナルヲ以テ少クトモ當港ニアリテハ對列國接直貿易額ハ當港貿易上ニ於ケル各國商勢力推

斷ノ主要材料タル可シ

英國	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	二、七六、〇三三	一、五七、九三三	四、三三、九六六
同五年	二、四〇八、一九七	一、八二、四三三	四、二三〇、六三〇
同六年	一、二五七、八六九	九三、八三四	二、〇八一、六一二
同七年	九六、一四六	一、一〇七	九六、二五三
同八年	一、八六〇、〇一五	四、五〇、七七七	六、四四〇、七九二
香港	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	二、九〇六、三三六	九、七七六	二、九一六、一一二
同五年	四、〇三三、六七〇	八、七七九	四、〇四二、四五〇
同六年	五、八四四、三三三	一五、三九九	五、八五九、三三二
同七年	七、七六六、四三三	八、〇三九	七、七七四、四七二
同八年	四、六六六、四七三	一四、六六九	四、六八一、一四二
英領印度	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	三、三三三、七四四	三、三三三、七四四	六、六六七、四八八
同五年	四、六七七、九七四	四、六七七、九七四	九、三五五、九五八
同六年	二、三三三、六九四	二、三三三、六九四	四、六六七、三八八
同七年	一、五二、八〇七	一、五二、八〇七	三、〇五五、六一四
同八年	三、八九、二二六	三、八九、二二六	七、七三、四五二
米國	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	四、三〇九、二五三	八四、二七九	五、一五三、五三二

同五年	五、七七、四〇一	九、七九、四八五	六、七六、八八七
同六年	五、九〇、一四六	一、二六五、三五五	七、二四五、五〇一
同七年	四、〇九、六四七	五、一三三	四、〇九〇、七八〇
同八年	九、三六、九七七	九、一〇、二〇八	一八、四七、一八五
露國	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	一、八、五〇三	九、六四、九六八	九、七五、四七一
同五年	三、三、七五五	五、五、五七〇	五、七九、三二五
同六年	二、八、四一一	七、一、四九六	七、一、九三九
同七年	二、五、一一一	—	二、五、一一一
同八年	三、三、九七四	五、四、四〇六	八、三、三八〇

佛國	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	三、三、二四三	三、五〇、二六五	五、一、四九八
同五年	二、四、四八二	一、八、九、〇五五	四、四、五三七
同六年	六、一、一九九	二、八、四	六、四、〇〇三
同七年	三、三、三四三	—	三、三、三四三
同八年	五、〇、〇一一	一、八、七、一五五	一、八、六、一六六

伊太利	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	二、七、三〇	一、〇、九、一七五	一、〇、四、一五五
同五年	八、五、六三六	—	八、五、六三六
同六年	六、三、三六	—	六、三、三六
同七年	三、三	—	三、三
同八年	二、七、三	—	二、七、三

和蘭

大正四年	輸入總額	輸出總額	合計
同五年	四、三、三九	一、七、七五七	三、二、一三二
同六年	—	—	—
同七年	—	—	—
同八年	—	—	—
蘭領印度	輸入總額	輸出總額	合計
大正四年	二、七、五、〇一〇	—	二、七、五、〇一〇
同五年	一、五、五、四八七	—	一、五、五、四八七
同六年	一、二、八、一、三〇	—	一、二、八、一、三〇
同七年	一、九、二、三、三四	—	一、九、二、三、三四
同八年	二、九、〇、九〇	—	二、九、〇、九〇

白耳義

大正四年	輸入總額	輸出總額	合計
同五年	—	—	—
同六年	—	—	—
同七年	—	—	—
同八年	—	—	—

右表ニヨリ其ノ消長ヲ見ルニ米國ノ進展最目醒マシク英國佛國ハ戰時中一時停頓ノ已ムナキニ至リシモ八年度ニ及ヒ一陽來復ト共ニ戰前ノ實勢ニ立返ラントセリ香港ハ(日本モ)戰時中所謂戰事恩澤ニ浴シ其ノ進展著シキモノアリシ

カ大戰終局歐米勢ノ殺到ト共ニ幾分其ノ伸力ヲ阻止セラレタルノ觀アリ而シテ其ノ他ノ列國ニ至リテハ何レモ國內秩序未々復舊セス依然頽勢ヲ挽回スルニ至ラス殊ニ露國國情ハ紛擾ヲ極メ爲ニ當地製茶業ハ中止ノ姿ナリ
 更ニ戰前戰後ニ付キ諸外國消長ノ大勢ヲ見ルニ戰後増進ノ著シキモノハ米國ノ十五割ヲ第一トシ香港(五割)之ニツキ英國、佛國亦多少ノ増進ヲ見タリ而シテ爾餘ノ各國ハ何レモ減退ヲ示ササルナク就中獨逸、和蘭ノ全然影ヲ沒シタルヲ初トシ英領印度、露國、蘭領印度、白耳義等何レモ多大ノ減退ヲ來セリ蓋シ中歐各國ノ減退ハ時局影響トシテ已ムヲ得サルノ現象タル可ク米國、香港ハ所謂戰爭餘澤ニ浴シタルモノト云フ可シ
 今大正二年度(歐戰開始前年)及大正八年度各國直接貿易額ヲ對比スレハ左ノ如シ

國名	大正二年度	大正八年度	増減率
英 本 國	五、九五、八九六	六、四〇、七九二	増 八 分
露 國	五、二五、〇一七	八、三三、〇	減 八 割 五 分
米 國	四、六四、三三九	一〇、一〇、八九五	増 十 五 割
香 港	三、二八、八七〇	四、六四、一四二	増 五 割
獨 逸	三、九〇、七九七	—	減
白 耳 義	二、〇一、二六四	四、九五、四〇六	減 七 割 五 分
英領印度	三、九五、〇八八	三、八九、三三六	減 九 割
蘭領印度	一、八六、〇七三	二、九〇、九〇〇	減 八 割 五 分
佛 國	一、七六、一六七	一、八六、一六六	増 五 分
和 蘭	一、九〇、七七	—	減

第十款 外支合辦
 康成造酒公司 (佛支)
 Societe Franco chinoise de Distillerie de Hanhow.
 開利公司 (獨支)
 Kai Li Kungssu
 裕和洋行 (獨支)
 Waghel & Co.
 鼎新公司 (米支)
 雲記麵粉公司 (英支)
 立興蛋廠 (佛支)
 和豐麵粉公司 (英支)
 裕豐麵粉公司 (英支)
 福中公司 (英支)
 以上各店ニツキ略述スレハ
 一、康成造酒公司
 所在地 漢口礪口上
 設立年月日 宣統三年四月
 組織及資本
 支那人劉啟生、蔡甫等發起トナリ佛蘭西人Gautierトノ合資組織ニシテ資本額不明ナルモ工場設備ヨリ推シ十五萬元内外ナルヘシト稱セラル
 成立沿革
 支那ニ於テ最賣行多キ汾酒(燒酒)老酒等ノ機械製造ヲ目論ミ前記發起人ハ佛蘭西商立興洋行 (Racine Ackermann & Co.)ノGautierト合同シ佛人技師ヲ聘用製造開始セ

リ其ノ後右Gautierトノ關係ヲ絶チ東方滙理銀行(Banque de Indo-chine)ノ某店員ノカ理事トナリ業務擔當人ハ出資者協議ノ上一任シ未タ一回モ選舉改選等爲シタル事ナシ現在ノ代表經營者ハ支那人方少岩ナリ

商條約ハ尙未タ正式ニ調印セラレサルヲ以テ元享洋行ノ高號ハ稱ヘラレス該行ノ大斑Klein氏ハ支那商人孫克鑑蔡玉卿ヲ招聘シ湖南長沙地方ニ一ノ開利公司ヲ設立シ專ラ鑛砂ノ買出シヲ爲シ居リ招聘セラレタル支那人ハ資本ヲ投シタルニ非ス只買介ノ業務ヲ充當スルニ過キス報酬トシテ一年一萬兩ヲ給セラレルノミニテ其ノ他別ニ合資契約等ノアルナシ元享洋行カ中外合辦開利公司ナル名義ヲ用フルモノハ外人ノ干涉ヲ恐レ之ヲ防ク爲ナリ本月下旬中獨通商條約正式ニ調印ヲ了スルヤ現在ハ元享ノ商號ヲ懸ケ中外合辦ノ文字ナシ目下會社ノ代表者ハ從前福來德ノ支配人(O'Kee)ナリ

業務狀況
 本公司ハ汾酒(高粱酒)ニシテ山西省ニ多ク造リタルヲ以テ此名アリ)老酒(紹興酒)ト稱スル普通ノ支那酒ノ製造ヲ主トシ火酒、薄荷酒、「ブランドー」等ヲモ造ルモ極メテ少ナシ
 製品ハ當初其ノ品質土法製ニ劣リ賣行思シカラス已ムナク長江一帶各地並湖南方面各地賣捌店ヲ設ケ安値拾賣ヲ爲シ來リタリシカ經驗ヲ經ルニ從ヒ製法ニ漸次改良ヲ施シ近年漸ク良品ヲ出シ得ルニ至レリ
 使用人員職工五十八名、事務員五名、佛蘭西人二名、外國技師一名アリ湖北襄河一帶並河南產ノ高粱ヲ原料トナシ百八十擔内外ノ製造能力アリ製品ハ武昌、漢陽、漢口並長江一帶各港ニ賣捌ス
 開工以來成績餘リ良好ナラス年々多少ノ缺損續キ居リシカ最近兩年漸ク純益ヲ擧ケ得ルニ至リタリト稱セララル

二、開利公司
 設立年月 民國九年五月
 成立沿革
 本公司ハ原獨商嘉利洋行ト福來德洋行(Filimci Stei & Co.)トカ合併シ元享洋行(Schmabel Ganner & Co.)ヲ組織セントセシ時戰爭既ニ了リ中獨邦交ヲ恢復シタリト雖通

業務ノ狀況
 本公司ノ營業ハ一般雜貨輸出入等ト稱スルモ開店以來輸入セシコト無ク輸出モ一兩年ハ「アンチモニー」鑛砂ノ輸出最多ク蘇之ニ次ク其ノ他保險代理等爲ス營業頗ル佳ナリ

三、裕和洋行
 設立年月日 民國九年三月
 成立沿革
 本公司ハ原瑞記洋行(英獨合辦)ノ變化シタルモノニシテ獨支國交ヲ絶ツヤ瑞記洋行中ノ英商ハ瑞記ノ關係ヲ離脱シ安利英ト改メ獨商ハ存在スル能ハサルヲ以テ瑞記大株主Soble氏ハ裕和洋行ナルモノ組織シ買辦朱貞三(寧波人)ヲ招聘シ互ニ密約シテ外面ニ對シテハ中外合辦ト稱スルモ實ハ獨人ノ獨資ニ依リ支那商ノ名義ヲ借リタル

ニ過キス目下中獨通商條約既ニ調印ナリタレハ本公司ハ完全ニ獨商ナル商號ヲ揭ケ中獨合辦ノ必要無キニ至リタリ聞ク處ニ依レハ本行ハ上海ノ裕平公司トナルトノ説アリ現在ノ會社代表者 (H. Soble) ナリ

營業狀況

開行以來賣買多カラス金屬機器、顔料等ノ輸入及桐油、豚毛、鷄、鴨毛等ノ輸出ヲナセトモ多カラス

四、鼎新公司

設立年月日 民國二年

成立ノ沿革

本行ハ初支那商李鼎君ナルモノ漢口永昇平ニ自ラ鼎新公司ヲ開キ外國火災保險代理業ヲ營ミ居リシ處内外其ノ信用厚ク營業ノ範圍ヲ擴充スルニ及ヒ生成里ニ移リ其ノ後又一碼頭ニ至リ初メテ中美合辦ヲ稱フルニ至レリ蓋シ前年米國上海在住ノ二十社ヨリ成ル米國保險業者團ハ鼎新公司ノ支那商ニ對スル信用最モ良好ナルヲ以テ人ヲ派シ本公司ニ漢口ニ於ケル代理業ヲ任コトヲ要請セラレタルヲ以テ李氏モ益々事業ノ發展ヲ計ラントシ直ニ承諾シタルヲ以テ在上海米國保險業團モ人ヲ派シ漢口ニ駐在セシメテ共ニ事ニ當ラシメ茲ニ中美合辦鼎新公司ナル商號ヲ揭ケタルナリ現在ノ會社代表者ハ (D. N. Parker) 及支那人代表者李氏ナリ

五、雲記麵粉公司

所在地 漢口露西亞租界
設立年 光緒三十一年

業務狀況

使用人員、機械工及監督職工八名、常雇三十名臨時雇不定、事務員八名有シ原料ヲ河南省南陽、陳州、開封、汝南、歸德等ノ各地產並京漢線沿線、漯河、駐馬店及遠ク周家口地方ニモ原料買入所ヲ設ケ又湖北省漢陽、黃陂、孝感、德安、襄陽、安陸、沔陽、荊州、麻城等ノ地方ニ仰キ一晝夜九百餘俵(一俵五十封度入)ヲ製ス製品ハ其ノ品質ニ依リ綠印、藍印、紅印、黑印ノ四種ニ分ツ販路ハ數年前迄ハ主トシテ下流ナル長江各港及上海ニ移出セラレシモ近年販路擴大シ漢口上流各港及内地方面ヘモ販出セラルルニ至レリ

業務ノ成績 敝ハ大部分上海經由本邦ヘ輸出セラル

開工以來兩三年前マテハ良好ナラサリシカ近年來頗ル良好ナリ

六、立興蛋廠

(本廠ハ支那人ノミノ出資ニ係リ單ニ佛蘭西商立興洋行 (Racine Ackermann & Co.) ノ名義ヲ借稱スルニ過キスト稱セラル、モ其ノ間尙密接ノ關係ヲ有スルカ如キヲ以テ參考ノ爲メ之ヲ加フ)

所在地 漢口大智門

組織及資本

支那人陳瑞文及謝玉成ノ合資組織ニ成リ佛蘭西立興洋行ノ名義即チ立興蛋廠ト稱ス資本金拾萬兩

組織及資本

當初江蘇省人景維行ナルモノ丁抹商金龍洋行 (A. Benda & Co.) ト十二萬兩ヲ出資シ即チ二十四萬兩ヲ以テ開辦セシモノナルカ經營其ノ宜シキヲ得ス利益ヲ舉タル能ハサルタメ双方協議ノ上金龍洋行ハ手ヲ引キ景維行ノ獨立經營ニ移シ表面尙金龍洋行トノ合辦ヲ表明セリ然モ引續キ成績不良ニシテ遂ニ十餘萬兩ノ損失ヲ招クニ至レリ民國元年ニ及ヒ景維行ハ之ヲ四川商人高伯蒸等ニ讓渡スルノ議纏リ高伯蒸外十名ト共同シ資本十三萬兩ヲ集メ工場建築物機械器具一切ヲ十二萬兩ニテ買收シ名義借料年一千兩ヲ支拂ヒ依然金龍洋行合辦ノ名ノ下ニ經營シ來レルカ大正七年金龍洋行主人死亡セルタメ別ニ英商安利英行 (Arnhold Brothers & Co.) (該行主ハ獨逸商瑞記洋行 (Arnhold & Kirnberg) ノ組合員ナリシモ英商カ對敵通商ヲ禁止スルニ及ヒ瑞記洋行ト別レ安利英行ヲ設立シ今日ニ及ヘルモノナリ) ニ前記ノ名義借料ヲ支拂ヒ合辦ノ名ニ於テ經營シ居レリ

主ナル投資者

前記ノ如ク今ヤ全ク支那人ノミノ經營ニ移リタルカ主ナル投資者ハ高伯蒸徐榮庭 (武昌四局即チ官有紡績工場) 麻布、織布、製麻、製糸ノ四工場ヲ租借經營シ居ル楚共公司ノ總理ニシテ現ニ武昌商會々頭タリ) 蔣師霖並德厚榮號、新泰祥號等ニシテ其ノ他五名ノ投資者アル現在ノ會社代表者 (總理) ハ高伯蒸ニシテ工場支配人杜桂山ナリ

成立ノ沿革

該工場ハ元立泰ト稱スル舊式設備ヲ有スル蛋廠ナリシカ本年ニ入り工場設備ヲ改變シ新式(蛋黃ヲ凝結セシメ得ルモノ)トナシタリ然ルニ他ニ支那人經營ノ元豐蛋廠ト稱スル工場アリテ先ニ新式設備ヲ施シ農商部ニ登録シ五ヶ年間漢口在住支那人ノ模倣ヲ禁スルノ特權ヲ獲得シ居ル爲之カ抗議ヲ恐レ立興洋行ト密約ヲ結ビ立興蛋廠ト稱シ佛商ノ庇護ヲ受タルニ及ヒ外間合辦ト傳ヘラルルニ到レリ

業務ノ狀況

本廠原料タル鶏卵ハ多ク河南省京漢線沿線一帶地方及湖北省襄陽府河長筋地方ニ需メ製造ニ當リテハ鶏卵ヲ蛋白蛋黃ニ分チ蛋白ハ乾燥シテ凝片トナシ蛋黃亦新式設備ニ依リ粉末ト爲シ或ハ液體ノ儘防腐劑ヲ加ヘテ樽詰トシテ之ヲ歐米ニ輸出ス

使用人員、女工六十名、男工十八名、技師三名、事務員五名アリテ原料ハ一日二百擔(一擔ハ河南物ハ八百個、湖南物ハ八百五十個)ヲ要スト、製品販賣ニ當リテハ蛋黃末ハ漢口英商安利英行並佛蘭西商立興洋行ニ賣リ蛋白及蛋黃液ハ上海ニ移銷スルモ總テ歐洲各國ニ向ケ輸出セラルルモノナリ

七、河南福中公司

福中公司トハ英商福公司 (北京シンヂゲート) ト支那商河南中原公司トノ合同組織ニ係ル英支合辦ノ會社ナリ元ト英商福公司ハ一千八百九十八年山西ニ於ケル鑛山採掘

權ヲ獲得シ更ニ河南ニ於テモ亦探鑛權ヲ獲得セリ之レ一
千八百九十八年六月ノコトニ屬ス即チ河南省ニ於ケル探
鑛權ハ河南巡撫ヨリ同省支那商豫豐公司ニ付與シ居タリ
ト雖其ノ後豫豐公司ハ探鑛ノ便宜上其ノ探鑛及監督ノ權
ヲ河南巡撫ノ許可ヲ經テ北京「シンヂゲート」ニ一任セ
シモノニシテ之ヲ表面ヨリ觀察スルトキハ探鑛ノ權ハ依
然豫豐公司ノ手ニ存在スルノ觀アリト雖其ノ實福公司ノ
手ニ歸シ裕豐公司ハ單ニ契約ノ當事者トシテ其ノ虛器ヲ
擁スルニ過キス今該契約ヲ見ルニ條項二十個條ニシテ大
要次ノ如シ

- 一、探鑛區域 河南省内黄河以上凡テノ丘岡地方
- 一、探鑛監督期限 六十年ノ期限ヲ過クル時ハ福公司ハ鑛
山探掘附屬財產ヲ一切無報酬ニテ支那政府ニ引渡スヘキ
モノトス
- 但シ支那人所有ノ株數ニシテ全株數ノ四分ノ三ニ達スル
時ハ右期限内ト雖其ノ株主ニ於テ之ヲ買收スルコトヲ得
一、資本 裕豐公司ハ福公司ヨリ一千萬兩ノ債務ヲ起シテ
之ニ充ツ若シ不足ヲ生セル場合ハ福公司ヨリ借補スルモ
ノトス
- 一、收益金ノ配當 「五分」ヲ税金トシテ支拂ヒ「二割」ヲ負
債償却ニ備ヘ「二割五分」ヲ支那政府ニ收メ他ノ殘額五割四
分ヲ福公司ニ收ム
- 一、探鑛種類 主トシテ鑛石炭、石油トス
- 一、鐵道敷設權 鑛物運搬ノ爲福公司ノ資力ニテ幹線ト連
絡スル支線ヲ敷設スルコトヲ得

斯クノ如クシテ福公司ハ探鑛權ヲ獲得シ次テ千九百〇二
年道口清化鐵道ヲ敷設シタリ之ト同時ニ河南省清化鎮ノ
東凡ソ十二、三哩ノ地點ニ於ケル白作ニ鑛山探掘工場ヲ
又白作ノ南二清里ノ地點ニ於ケル白作ニ鐵道總局ヲ設立
セリ

爾來白作焦作一帶ニ於テ福公司ハ數條ノ坑道ヲ開鑿シ石
炭ノ探掘ヲ行ヒシモ噴水量常ニ多ク排水ノ極メテ困難ニ
シテ漸ク一日二千噸内外ノ出炭ヲ見ルニ至リシモ民國元
年九月末非常ナル水災ヲ蒙リ其ノ損失極メテ大ナルモノ
アリ一年間ノ出炭額五十四萬九千噸ナリト傳ヘラル然ル
ニ附近支那側商民ノ開採セル石炭各鑛ハ何レモ事業着々
進展シ居ル狀態ニシテ福公司ハ常ニ支那側鑛區ヲ侵害セ
ントスルカ如キ振舞ハ前清時代ヨリ絶エス行ハレ居リシ
カ水災後ハ銳意探炭增加方法ヲ講スルニ伴ヒ所々ニ試掘
ヲ行ヒ且ツ地方商民ヲ壓迫スル爲道清鐵道ニ於テ二十年十
二月ニ至リ地方商民炭ノ輸送ヲ拒絕セリ茲ニ於テ河南省
民ノ發憤一方ナラス加之先ニ山西商民ノ福公司ニ對スル
利權回收ニ成功セルヲ耳ニシ居ル彼等ハ省民大會ヲ公開
シ河南ニ於ケル福公司ノ事業妨害ノ旗幟ヲ翻シ鑛權保護
會ナル名目ノ下ニ利權回收運動ニ努メ大ニ反對氣聲ヲ舉
タリ然レトモ結局開鑿炭坑ノ例ニ倣ヒ支那人側炭坑ト福
公司トハ兩者合シテ分採合賣ノ方法ヲ執ル英支合辦ノ會
社ヲ組織スルコトナリタリ即チ支那側ノ豫泰公司、中
原公司、明德密等ノ炭坑ト福公司炭坑ト合同成リ福中公
司ナル名稱ニテ新會社創立セラル因テ福公司創立以來民

國二年六月迄焦作地方炭坑ニ投シタル資本ハ炭價ヲ差引
キ約六百萬兩ナリト云フ

福中公司ノ創立ニ就テハ民國三年十月十日假契約成立シ
翌年五月七日於北京本契約訂結調印セラレタリ假契約ハ
第二章四十三條ヨリ成リ第一章ニ於テ福公司ノ利權ヲ明確
ナラシメタルモノナレトモ大體ニ於テハ曩ニ締結セル河
南探鑛契約ト殆ト同シク第二章ニ於テハ福公司ノ組織目
的及福公司ト福中公司トノ利權トヲ規定セリ本契約ハ七
個條及福中公司章程ノ二部ニ分タル大體ハ假契約ヲ骨子
トスル事項ヲ確定セルニ止マルヲ以テ假契約ハ即本契約
ト同一ナルモノト見ルヲ得ヘク今其ノ要旨ヲ抄記スレハ
左ノ如シ

- 甲、福公司ニ關スルモノ
- 一、鑛區 黃界、紅界（紅界内既ニ中原公司ノ許可セラレ
タル三十方支里ヲ除ク）及紅界ニ接シ更ニ増加スヘキ五
方哩
- 但シ鑛区内土民ノ現ニ開工セルモノハ繼續シ停工セルモ
ノハ坑主ニ於テ再開又ハ福公司ニ賣却スルコトヲ得
- 一、年限 六十ケ年トシ福公司ハ期限到着ノ時或ハ期限内
ト雖動産機器ヲ賣却スルヲ得但シ土地建物ハ無償ニテ支
那政府ニ讓與スヘシ
- 尙期限内ニ於テモ支那紳商所有株四分ノ三以上ニ至リ回
收セントスル時ハ之ヲナスコトヲ得
- 一、收益處分
- (イ) 一噸ニ付キ銀五分ヲ出產捐トシテ支那政府ニ納付

ス

- (ロ) 探鑛餘利ノ六分ヲ株式配當利子トス
- (ハ) 探鑛餘利ノ一割ヲ利子配當準備積立金トス
- (ニ) 右(ロ)(ハ)二項ヲ除キタルモノ二割五分ヲ支那政府
ニ納メ殘部ヲ福公司收入トス
- (ホ) 他人ノ所有地ノ地下ヨリ探炭スル場合ハ地主ニ一
噸當リ銀四分ヲ給ス
- 一、監督及制限
- 河南交涉使ヨリ委員二人ヲ廠内ニ派シ交渉及査帳ヲナス
但シ委員ノ俸給ハ福公司支辨トス
- 支那ニ戰爭アル時ハ支那政府ノ命ニ從フ
- 乙、福中公司ニ關スルモノ
- 一、組織及權限
- 甲ニ於テ表示セル願望及目的ヲ達スル爲福公司及中原公
司ハ只營業一部（賣炭及炭坑辦理）ニ關スル總公司即福
中公司ヲ組織ス故ニ兩公司ハ各分立シテ從來ノ目的ヲ進
行スルモノトス支那側ヨリ督辦及副督辦ヲ派ス公司ニハ
總理二人ヲ置キ中原公司及福公司ヨリ各一名ヲ推ス外國
總理ハ賣炭（但シ多額ノ時ハ支那總理ノ同意ヲ要ス）支
那總理ハ運炭（但シ金錢關係ハ外國總理ノ同意ヲ要ス）
ヲ掌ル
- 一、資本 一百萬元トシ中原公司及福公司等ニ出資ス
- 一、鑛區 懷慶府下ノ各地即チ福公司及中原公司ノ鑛界及
豫泰公司鑛區十九方支里明德公司鑛區十方支里憑公司鑛
區二方支里ニ於テ炭鑛勸族權ヲ有ス

一、採炭期限 正式調印ヨリ六十年（一九一四年十一月九日正式調印）

一、出炭處分 兩公司ノ採炭ハ正式契約ノ日ヨリ起リ一切販賣ヲ停止シ盡ク總公司ニ儲藏シ總公司之ヲ販賣ス
一、利益處分 一切費用及純利ノ百分ノ五（純利十萬兩以上ナレハ百分ノ十）ノ報酬銀ヲ除キ福公司及中原公司均分ス兩公司合同シテ新事業ヲ營ミタル時モ報酬銀以外ハ兩公司均分ス

八、雲記麵粉公司ト同様ニ内亂其ノ他ノ爲外國商トナスノ便宜上ヨリ其ノ名義ヲ外商トナスモノニ

和豐麵粉公司
裕隆麵粉公司

共ニ英商ナル商號ヲ掲ケ居レトモ其ノ實全ク支那人ノミイ手ニ據レルナリ

第三節 航運

當地ハ恰モ支那中原ノ要地ニ位シ漢口、上海間、漢口、宜昌間、漢口、湘潭間、漢口、常德間等水運ノ便四通八達シ六十年前沼澤ニ埋レシ地カ現在ノ盛ヲ致シタルハ一ニ此水運ノ便ナルニ依ルモノニシテ支那内地ヨリ物資搬出或ハ外貨輸入ニ當リテハ凡テ水運ニ依ラサルヲ得ヌ以テ早ク各國ハ之ニ傾注シ各其ノ勢力集中ニ努メ從來激烈ナル競争ヲ見タリ競争ノ結果ハ荷客運搬貨ノ低下トナリ乘客待遇費用ノ增加トナリタルノミナラス更ニ夏季ニ於ケル海洋汽船ノ直航線ヲ開始スルニ至ツテハ如何ニ國家ヨリ後援ヲ有スル諸

會社ト雖久シク其ノ弊ニ堪フル能ハス途ニ日清、太古、怡和、招商、鴻安、寧紹ノ六大汽船會社ノ協定運賃ヲ見ルニ至リタリ
尙大來祥泰ハ不定期ニ積荷ノ加減ニ依リ航行ヲ自由ナラシムルヲ以テ上航ニハ自己ノ商品ヲ積ミ下航ニハ低廉ノ運賃ヲ以テ他ノ運搬ニ應スル等ノ便アリ協定者ニテハ種々ノ方法ヲ以テ大聯合ノ地步ヲ固メ割引ノ率ヲ定メテ之レニ對抗シ居レリ
各汽船會社ノ情形ヲ見ルニ
一、太古洋行（英）
漢口上海間航行汽船

- 洞庭 (一、〇三六噸)
 - 武昌 (三、二〇〇噸)
 - 聯益 (二、八六七噸)
 - 安慶 (二、七三二噸)
 - 鄱陽 (二、五五一噸)
 - 大通 (二、五四八噸)
 - 重慶 (二、七三二噸)
 - 吳淞 (二、一一九噸)
 - 黃浦 (二、九七五噸)
- 以上ノ九隻ヲ以テ每週四回
漢口湘潭間
沙市號 (一、〇九〇噸)
吉安號 (一、二一七噸)
ヲ以テ每週二回

漢口、宜昌間ハ

湘潭號

(一、一九五噸)

ヲ以テ每月三回

ノ定期航行ヲナシ其ノ積載運搬量モ年々我日清汽船ニ次イテ第二位ニアリシカ一九二〇年ノ如キ日清汽船ハ邦商ノ不景氣ニテ商賣手控ト日貨排斥ノ影響トニヨリ日清汽船ヲ優ニ凌駕シテ第一位ニ在リ
本行附設躉船左ノ如シ

亞明 (支那街)

長サ二十七呎

巾 四十呎

貨物收容量七百噸

ボンツーン二個ヲ有シ河船繋留用ニ使用ス

Lastryvors

(英租界四碼頭)

長サ三百四十八呎

巾 四十六呎

本躉船ハ海洋船ノ爲メ作リシモノニシテ中甲板ニ貨物收容設備アリ貨物收容量ハ四百噸ニ過キス

漢口號

(英租界五碼頭)

長サ三百三十三呎

巾 四十二呎

貨物收容量一千噸ナリ

二、怡和洋行 (英)

漢口、上海間ハ

- 隆和號 (三、二二三噸)
 - 聯和號 (二、八六七噸)
 - 瑞和號 (二、六七二噸)
 - 德和號 (三、七七〇噸)
 - 吉和號 (二、六六五噸)
 - 和生號 (二、一二七噸)
 - 威陞號 (二、四〇〇噸)
- ヲ以テ每週三回或ハ四回
漢口、湘潭間ハ
昌和號 (一、〇六五噸)
ヲ以テ每四日ニ一回
漢口、宜昌間ハ

- 江和號 (二、一七五噸)
 - 同和號 (一、三五〇噸)
- ヲ以テ每月六回
ノ定期航行ヲ爲シ其ノ運搬積載量太古洋行ニ次イテ第三位ニ在リ

本行附設ノ躉船ハ
漢陽號 (英租界一碼頭)
長サ二百四十五呎
巾 四十呎

漢口號 (英租界三碼頭)
貨物收容量八百五十噸
長サ二百九十呎
巾 四十呎

第四節 倉庫

倉庫業ナルモノハ元來航運業ト相伴テ發達スヘキモノナレトモ漢口ニ於テハ十個以上ノ汽船會社ノ勃興セルニモ拘ラス未タ專業的ニ倉庫業ヲ營ムモノ無ク各汽船會社ハ倉庫業ヲ兼ネ營ム有様ナリ而モ這般ノ倉庫業ハ全然之ヲ營業ト目シ難キモノアリ、詳言スレハ會社ハ荷主ニ對シテ義務的否寧ロ好意的ニ其ノ倉庫ヲ貸與スル者ニテ荷主ハ預荷ニ對シテ倉敷料ヲ拂フコト無キ代リニ會社モ亦其ノ所托貨物ニ對シテ充分ナル保管ノ責ニ任セサルカ如シ(實際ハコノ好意ノ保管ニ關シテ盜難等ノ危險負擔問題生スル時ハ其ノ損失ノ幾分又ハ全部ヲ汽船會社ニテ負擔スルコトアリ是レ他社トノ競争上特ニ荷主ノ意ヲ迎フル爲ニシテ敢テ義務アルニ非ス)然レトモ荷主ノ意ヲ迎ヘテ多量ノ貨物ニ取リ入レントスルニハ勢完全ノ倉庫ヲ設ケテ遺漏無ク之カ收容ニ應スルノ設備無カル可カラス故ニ太古怡和ノ如キ又他ノ汽船會社モ現ニ二、三ノ倉庫ヲ有シテ無倉敷料ニテ貨物ヲ收容シツ、アリ思フニ斯クノ如キハ會社カ荷主ニ對シニ過分ノ好意ナルニ會社ハ更ニ其ノ倉庫ヘノ積込及積出シ費用ノ全部ヲ負擔シ多數ノ苦力ヲ使役シテ荷主ノ貨物ヲ取扱ハシムルヲ以テ輸出ノ際ノ如キハ荷主ハ僅カニ自己ノ貨物ヲ會社ノ碼頭ニ運搬スレハ足リ其ノ餘ノ手續ハ凡テ會社ノ費用ヲ以テ取扱フコトトナル是畢竟汽船會社ト獨立シテ倉庫業ヲ營ム者ナキト各汽船會社ノ競争トニ基ク餘弊タラスンハアラス

貨物收容量九百噸

三、祥泰公司 (英)
祥泰號 (四五〇噸)
祥泰第二號 (五七〇噸)
ノ二隻ヲ以テ上海、漢口間ヲ不定期ニ航行シ木材、金屬類、雜貨等ノ輸入品ヲ積來リ下航ニハ輸出雜貨ヲ積載スルモノ多シ運賃等ハ六社協定率ニ依ラス自ラ定ムル處ニ依ル
附設躉船ハ
立泰 (佛蘭西租界)
長サ百八十呎
巾四十二呎
貨物收容量五百噸

四、鴻安公司 (英)

德興 (一、六四二噸)
長安 (一、三九三噸)
華利 (一、六八二噸)
ノ三隻ヲ以テ漢口、上海間ヲ十日ニ一回ノ定期ニ航行ス
五、大來洋行 (米)
大來號 (一、二五六噸)

ヲ以テ漢口、上海間ヲ航行シ上航ニハ木材、雜貨最多ク下航ニハ雜穀、雜貨ヲ積載シ協定六社以外ノモノニシテ自己ノ定ムル處ノ運賃ニ依ル
開ク、本洋行ハ近々汽船二隻ヲ加ヘ宜昌ヘモ航路ヲ開カントノ計畫アリ既ニ躉船ハ到着シテ佛租界江面ニ在リ又倉庫敷地モ設定シアリ

斯ルカ故ニ輸出商ハ地方ヨリ回送シ來リタル積出シ荷物ヲ直ニ會社ノ倉庫ニ積込ミ輸入商ノ輸送シ來リタル貨物ヲ其ノ運送會社ノ庫中ニ積込ミ何レモ自己ニ差支無キ限り成ルヘク長ク會社ノ保管ニ委ネントスル横着手段ヲ採ルカ故ニ汽船會社ノ倉庫ハ恰モ共同陸揚場ノ如キ觀アリテ之カ保管ト整理モ亦一個ノ繁忙ナル業務タリ即各記帳方ヲ設ケ出入帳ニ記入シ又倉庫番ヲ附シテ常ニ火災、盜難等ノ非常ニ備フルカ故ニ其ノ經費モ亦決シテ僅少ニアラス依ツテ各汽船會社ノ協定スル處ヲ見ルニ一般輸入貨物ニ對シテハ到着後二週間ヲ砂糖、昆布ニ付テハ一ヶ月間ハ倉敷料ヲ免除セラル、又漢口向船荷證券ノ輸入貨物ニシテ未タ汽船會社ノ倉庫ニアル内更ニ漢口ヲ通過シテ奧地或ハ下流ニ向ケ積換ヘラル、際同一會社ノ汽船ニシテ繼續運搬セラルルニ於テハ到着ノ日ヨリ二個月間ハ倉敷料ヲ免除セラル
輸出貨物ニ對シテハ、國內輸出ニ於テハ一ヶ月間ハ倉敷料ヲ免除セラル
各汽船會社所有倉庫ノ收容量ヲ比較セハ
一、太古洋行 (英) 十棟 二八、一九二 (容積噸)
一、怡和洋行 (同) 五棟 一三、六〇四 (同)
一、祥泰洋行 (同) 不明 不明
一、鴻安洋行 (同) 不明 不明
日清汽船ハ八棟二八、三三二容積噸ヲ收容シ得テ第一位ニアリ以上ハ即前述ノ倉庫ニ關スル業務ヲ取扱フモノナルカ當地ニ於ケル外國商ノ各々自家用倉庫ノ收容積量ヲ見ルニ(二千噸以上收容出來ルモノ)

一、英商

平和洋行	八棟	三七、三八八容積噸
隆茂洋行	三棟	一九、八六四
漢口打包公司	二棟	一七、五六〇
泰和洋行	四棟	一五、八〇八
沙遜洋行	四棟	五、六三六
太平洋行	四棟	四、二二二
新太新洋行	二棟	二、七二〇
斯文洋行	二棟	六、八二七
安利英行	七棟	一二、六四四
和記洋行	二棟	八、〇〇四
二、露商		
阜昌洋行	二棟	一二、二六四
新泰洋行	二棟	三四、九〇八
順豐洋行	六棟	一四、一七二
三、米商		
其來洋行	二棟	五、六六四
英美煙公司	一棟	四、〇八〇
慎昌洋行	三棟	七、六二四
美孚洋行	三棟	六、五四四

第五節 工場

當地ノ工業地トシテノ特長ヲ見ルニ
一、工業原料ニ豐富ニシテ價格廉ナルコト
二、勞力比較的豐富ニシテ勞銀ノ廉ナルコト

二三、交通ノ便備ハルコト
 等ノ有利ナル諸點ヲ有スルカ故ニ適當ナル企業ヲ案シ周到ナル注意ノ下ニ經營セハ大ニ有望ナラン而シテ漢口ハ未ダ工業的分業ノ發達充分ナラサルヲ以テ精巧品ノ工業ニ不適當ニシテ又大規模ノ精製工業生産品タル綿糸、綿布等ノ其ノ有利ナルヘキ市場ニ制限アルヲ考慮セサルヘカラス即其ノ原料ト販賣トヲ漢口商業圈内ニ得ヘキ程度ニ規模ヲ置ケル精々品工業或ハ精製工業ニ非スシテ粗原料ノ加工工業例ハ價廉ニシテ容積大ナル農産品ノ輸送費ヲ節約スルカ爲ニナス加工工業ノ如キハ共ニ將來有利ナル事業ナラン
 外國人經營ノ各工場ヲ舉クレハ左ノ如シ

(英)
和記洋行

業 務 鶏卵、豚肉、鶏鴨肉等ノ凍製及蛋黃、蛋白ノ製造
 製造額 凍製鶏卵 年額十二萬擔
 凍製豚肉 同 四萬擔
 凍製鶏鴨肉 同 二萬擔
 職工及工錢 目下職工數二千八人程ナレトモ全部ノ機械ヲ運轉スルニハ三千人ヲ要スト
 養育汽水公司 各種飲料水
 業 務 一日一千打ノ製造能力ヲ有スルモ製造高ヲ見ルニ四月ヨリ九月ニ至ルノ候最多ク製スル時ニ於テ六百打ヲ出テス年製造額

和利水廠

職工及工錢 十萬打内外ナリ
 製品ハ漢口、武昌、漢陽ノ外沙市、宜昌、長沙、九江、新堤、蔡田、京漢、沿線地ニ販賣ス
 四月ヨリ九月ニ至ルノ期間ハ常雇二十八名アレトモ、其ノ他ハ僅カニ六名ヲ以テ充シ居レリ工賃機械工ハ月給三十二元常雇ハ八元ヨリ十元迄ナリ
 麥、生姜、バナナ等支那ニ在ルモノノ外ハ外國ヨリ仕入ルルモノナリ
 製氷 一日二萬磅ノ製造能力ヲ有ス作業期間ハ一年内八ヶ月間ナリ
 職 工 機械工一名、常雇八名アリ機械工毎月三十元、常雇八元ナリ
 平和洋行壓榨工場 棉花及牛皮ノ壓榨、荷造
 業 務 晝夜兼行ニテ一千二百捆ノ壓榨能力アレ共普通棉 三百捆、牛皮四十捆ニ過キス全部開工スルニハ六百六十名ヲ要スレトモ仕事ノ多寡ニヨリ職工數一定セス
 職 工 給料ハ日給五百文ヨリ一串文女工ハ日給三百文ヨリ六百文迄ナリ
 隆茂洋行壓榨工場

業 務 棉花牛皮ノ壓榨荷造
 壓 榨 高 毎日九百捆ノ壓榨能力アレトモ平時ハ棉花二百捆、牛皮四十捆ヲ壓榨スルニ過キス
 職 工 全部開工セハ百三十名ヲ要ス普通四十名内外ヲ使用シ居レトモ時々仕事ノ多寡ニヨリ増減アリ

業 務 葉煙草製造
 製造額 毎日八萬封度ノ製造能力アリト雖作業期間ハ新葉ノ出廻期ノ四ヶ月間ニ過キスシテ又全部開工シタルコトナシ
 職 工 全部開工スルニ於テハ職工數一千一百名ヲ要スレトモ實際ハ普通六、七百人ノ多クテ一千名位ナリ
 賃銀ハ毎月男工ハ八元ヨリ十二元、女工ハ日給二百七十文ヨリ五百四十文迄ナリ
 材料ハ河南ノ鄂州湖北ノ均州産最多シ

英國打包公司
 業 務 棉花壓榨
 壓 榨 高 毎日晝夜ニテ七百捆ノ能力アルモ普通一百餘捆ヲ壓榨スルニ過キス
 職 工 全部開工シテ男工百名ヲ要ス工賃ハ一日五百文ヨリ一串文迄ナリ

漢口電燈公司
 業 務 英、佛、露ノ三租界ニ於ケル電燈供給業ヲ營ミ直流一千キロノ發電器六個ヲ据付ケ供給電燈數ハ目下約二萬アリ
 職 工 外人技師二名アリテ支那職工發電氣室内三十名、火夫二十四名ヲ監督使用シ居リ賃銀ハ機械工二十四元乃至六十元、火夫二十元乃至二十四元ヲ給シツツアリ

英美烟公司(漢口特別區)
 業 務 葉煙草及紙卷煙草
 製造高 毎日紙卷煙草六百四十萬本、卷煙草六萬磅ノ製造能力アレ共コノ最大能力ヲ以テ作業スルハ極メテ少ク毎年製造額ノ實數ハ能力ノ半數位ナルヘシト
 職 工 職工數ハ製造品銷路ノ多寡ニ依リ時々相異ナレ共目下女工約二千名、男工二百餘名アリ賃銀男工ハ毎月七元ヨリ十八元迄アリ女工ハ毎日二百七十文ヨリ五百四十文迄
 材 料 材料ハ河南ノ鄂州、湖北ノ均州産最多シ

(佛)
 公 興 蛋 廠
 業 務 蛋黃白製造工場ニシテ一日ノ製産額蛋白二箱、蛋黃六樽ノ能力ヲ有スルモ目下停業中ナリ
 探記汽水廠 各種飲料水

製造額 毎日八百打ノ製造能力アレトモ作業期間年ニ四ヶ月間ニシテ普通二、三百打ヨリ多クテ四百打ナリ

職工 常雇二十名、機械工一名アリ賃銀機械工ハ毎月三十元、常雇ハ八元乃至十元ナリ

那嘉利汽水廠 各種飲料水

製造高 毎日四百打ノ製造能力アレトモ普通百打ヨリ三百打位製造ス作業期間四ヶ月ナリ

職工 十二名ヲ使用シ、職工監督ハ賃銀毎月二十四元、常雇ハ七元乃至十元ナリ

(露)

順豐茶磚廠 紅綠磚茶ヲ製造シ一千二百名ノ職工ヲ使用シ毎日九百擔(晝夜)ノ製造能力ヲ有スレトモ輸出地タル露本國ノ動亂以來日ニ日ニ不況ヲ呈シ目下休業中ナリ

阜昌茶磚廠 磚茶製造ノ盛時ハ六百餘名ノ職工ヲ使用シ毎日四百五十擔ノ製造能力ヲ有セシモ目下休業ノ止ムナキニ至レリ

新泰磚茶廠 職工一千名ヲ使用シ能力毎日七百五十擔(晝夜)ノ紅綠茶ヲ製造シ得レトモ目下休業中ナリ

(米)

慎昌蛋廠 目下業務停止中ナリ

(白)

瑞興蛋廠 一日鶏卵三百三十隻(二隻ハ八百個入或ハ八百五十個入)ヲ以テ濕蛋黃約五十擔(荷造ハ三十斤ヲ一罐ニ入レ二罐ヲ一ツノ木箱ニ包裝ス)乾蛋白九擔餘ノ製造能力ヲ有ス而シテ鶏卵及製品ノ相場或ハ需要等ニヨリ製産額殆ト一定セス

職工ハ目下卵毀シ女工百十名、汽炕室ニアリテ乾蛋男工約二十名、雜役人男工六十名アリ

工賃ハ男工ハ月七元乃至十二元女工ハ日給二百文ナリ

製品ハ英國最多ク米國之ニ次キ上海外國商ヘモ亦販賣スルモノアリ

第六節 教會

當館管轄區域タル湖北、河南、陝西、甘肅、新疆ハ廣汎ナル中部支那地方ヲ含ミ就中湖北、河南、陝西三省ハ其ノ地理上外人カ逸早く着シテ教會ニ病院ニ學校等ニ施設經營ニ努メタルモ偶然ナラス然レトモ實際管内ニ於テ漢口等ノ開港地ヲ除キテハ各省、各地其ノ外人ノ殆ト全部ハ宣教師ニ屬スルト稱スルモ不可ナカルヘシ支那内地ヨリ宣教師ヲ除キテハ外國人ノ勢力皆無タルノ觀アリ換言スレハ宣教師等ハ各外國勢力ノ代表者ト云フヘシ而シテ耶蘇舊教ノ支那ニ入リシハ實ニ西曆六百五十四年西班牙「ネスリン」派ノ陝西省安西ニ入リシヲ以テ嚆矢ト爲スコト該地ニ在ル景數碑文ニ據テ推知シ得ヘク一八六〇年頃ヨリ管内各地ニ宣教

師ノ入り込ムモノ踵ヲ接シ教會、病院、學校等相次イテ興リ今ヤ甘肅、新疆ノ邊境尙十字架掛ケ聖書ヲ誦讀スル聲ヲ聞クニ至レリ「外人ノ支那ニ來ル商界ト政界ニ居ルモノ多ク彼等ハ日々自己乃至其ノ國家ノ爲ニ働クモノナルモ宣教師ニ至リテハ他人ノ爲ニ働クモノナリ」トハ支那識者間ニ往々聞ク所ノ言辭ナリ各國布教ノ目的ハ事實文明國ノ宗教ヲ未開ノ境ニ移シ改過遷善ノ美德ヲ養成シ人智ノ進歩發展ヲ圖リ漸次文化ヲ普及シ支那ヲ啓發シテ長夜ノ惛眠ヨリ覺醒シ世界ノ蒼生ヲ一律救済スルニアレハ人道上ヨリ誠ニ美舉ト稱スヘキモノナリ唯列國人カ其ノ布教ニ從フヤ自然自國ノ勢力ヲ扶植シ隨ツテ支那ニ於ケル利權獲得ノ基礎ヲ築成スルニ至ルモノ間々アルモ之止ムヲ得サル所ナリ事實上各教會ハ今日敷地其ノ他ノ土地ヲ所有スル外其ノ宣教師中ニハ不動産、貸貸、印刷、製本業、書籍販賣業、新聞雜誌記者其ノ他ノ世俗の事業ニ關係スルモノアリ、建築家具製造等ノ技術アル者サヘアリト云フ而シテ之等事業ノ收益ハ凡テ宣教團體ノ基本財産中ニ積立テラレ傳道事業ニ資スル爲ニ用ヒラルルモノナリ彼等カ支那官民ノ迫害ヲ忍ヒツツ依然内地ニ止マリ傳道ニ努力スル強固ナル意志ト犧牲的精神トハ吾人ノ記憶スヘキコトニシテ管内各省ニ於ケル福音事業ノ基礎ヲ確立シタルハ十九世紀ノ初期即チ所謂基督教迫害時代ニ在リト想像セサルヲ得ス

今管内ニ於ケル列國布教上ノ施設振リヲ左ニ記述セン

第一款 教會ノ種類及分布

管内ニ於ケル各教會ノ宗派關係及其ノ分布地ヲ示セハ

- 一、聖公會派 (Anglican) ニ屬スルモノ
 - イ、中華聖公會 (Canadian Church Mission)
 - 河南——開封、歸德
 - ロ、中華聖公會 (American Church Mission)
 - 湖北——漢口、武昌
- 二、浸禮派 (Baptist) ニ屬スルモノ
 - イ、大英浸禮會 (Baptist Missionary Society)
 - 陝西——三原縣、西安縣、延安府
 - ロ、福音會 (China Methodist Missionary Society)
 - 河南——蘭封、柳河、寧陵、虞城
 - ハ、—— (Swedish Independent Baptist Mission) (甘肅榆林府)
 - ニ、美國南浸信傳道部 (Southern Baptist Convention)
 - 河南——鄭州、開封、歸德
- 三、組合派 (Congregation) ニ屬スルモノ
 - 倫敦教 (London Missionary Society)
 - 湖北——漢口、皂市、武昌、黃陂、孝感
- 四、路得派 (Lutheran) ニ屬スルモノ
 - イ、信義會

(Augustana Synod Mission)

河南——河南府、許州、汝州、邙縣、雞公山、阜州

ロ、信義會

(Evangelical Lutheran Synod of Mission, China & other States)

湖北——漢口

ハ、信義會

(Independent Lutheran Missian)

河南——淮源縣

ニ、信義會

(Norwegian Missionary Society)

湖北——滬口

ホ、湖西北信義會

(Finland Missionary Society)

湖北——蘆花

ク、遊道會

(American Lutheran Brethren Mission)

湖北——棗陽縣

河南——平氏鎮、桐柏縣

ト、信義公理會

(Lutheran Board of Mission)

河南——柘城、歸寧、鹿邑、睢州

チ、豫鄂信義會

(Lutheran United Mission)

河南——汝寧、雞公山、確縣、光川、光山、羅山、息縣

湖北——信陽縣、新野、遂平、鄧州、滬口

リ、信義長老會

(Mission of the Evangelical Lutheran For Church of Norway)

陝西——興安

ス、中華基督教路得會

(Norwegian Lutheran Mission)

河南——鎮平、魯山、南陽、湘州、鄧州

湖北——滬口

ル、行道會

(Church of Swedish Mission)

湖北——漢口

オ、行道會

(Swedish Missionary Society)

湖北——雞公山、黃州、勒水、麻城、武昌、喀什、四城

新疆——疏勒、英吉少、麥車

五、義以義派 (Methodist) ニ屬スルモノ

イ、循理會

(American Free Methodist Mission)

河南——榮澤、開封、杞縣

ロ、循道會

(Wesleyan Methodist Missionary Society)

湖北——安陸、漢口、漢陽、隨州、大治、德安、武昌、武穴

六、長老派 (Presbyterian) ニ屬スルモノ

イ、加奈院長老會

(Canadian Presbyterian Mission)

河南——懷慶、彰德、開封、雞公山、修武、道口、焦作、衛輝、武安

七、內地會ニ屬スルモノ

イ、內地會

(China Inland Mission)

湖北——漢口、陝西——城固、整屋、鳳翔、漢中、興安、鄜縣、沔縣、西鄉、洋縣、新豐——迪化府、河南——

陳州、周家口、扶溝、襄城、開封、荆紫關、光州、上蔡、臨旗鎮、西華、大康、鄆城、甘肅——伏羌、蘭州、

涼州、寧夏、西寧、秦州

ロ、內地會

(Scandinavian China Alliance Mission)

甘肅——鎮原、涇州、平涼、崇信、陝西——長武、興平、鄂縣、乾州、涇陽縣、藍田、醴泉、隴州、北屯鎮、

邠州、桑家莊、西安、武功、引家衛

ハ、內地會

(Swedish Mission for China)

河南——河南府、雞公山、潁地、新安縣、陝西——韓

城縣、邵陽、蒲城、同州、潼關廳

ニ、內地會

(Aweilish Alliance Mission)

陝西——興平

七、其ノ他ノ宗

イ、宣道會

(Christian and Missionary Alliance)

湖北——漢口、武昌、甘肅——卓尼、隴西、岷縣、洮

州、廳舊城、導河縣、狄道縣

ロ、神召會

The Assemblies of God in the United State of America and Foreign land)

甘肅——岷縣、洮州、廳舊城

ハ、投思會

(Evangel Mission)

河南——泌陽縣

ニ、恩典會

(Grace Evangelical Mission)

河南——雞公山

ホ、自養教士ノ孟那浸信會

(Missioute Baptist of Independent Missionary)

甘肅——巴燕戒格廳

ク、基督復臨安息日會

(Seventh day Adventist Mission Board)

湖北——漢口、河南——鄆城

ト、中華基督教青年會

(Young men s christian Associatin of China)

湖北——漢口、武昌、陝西——西安

チ、大美國聖教會

(American Bible Society)

湖北——漢口

リ、大英聖書公會
 (British And Foreign Bible Society)
 湖北—漢口
 ス、萬國郵電基督會
 (International Postal Telegraph Christian Association)
 湖北—漢口
 ル、蘇格蘭聖經會
 (National Bible Society of Scotland)
 湖北—漢口

第二款 教會所在地

布教事業タル教會或ハ布教所、病院、學校、感化救濟機關等ノ中病院及感化救濟機關ハ歐州大戰ノ爲交戦國ノ醫師多ク歸國シ敵前ニ赴キタルト外國ヨリノ送金減少シ支那人ヨリ得ル收入ヲ以テシテハ維持シ兼ネタルニ依リ閉鎖ノ止ム無キニ至リタルモノアレ共教會或ハ布教所ノ本來ノ目的タル布教即チ救靈事業ハ年ト共ニ熾ニシテ支那在來ノ宗教ト異リ基督教ガ幾多艱難ヲ忍ヒ銳意天堂地獄ヲ説キテ惡行ヲ悔改セシメ野蠻ナル習俗ヨリ文明ナル作法ニ遷移セシ

湖北省 (沙市宜昌帝國領事館管轄ヲ除ク)

第一項 湖北省

教會所在地 支那名及英名	教會名 支那名及英名	宣教師數		首席宣教師	設立年
		男	女		
安陸府 循道會 Anlu Wesleyan Methodist Missionary Society	循道會	三	四	W. Rowley	一八九一

漢口 大美國聖經會 American Bible Society	大美國聖經會	一	一	Godfrey Hirst	一九〇八
同 大英聖書公會 British and Foreign Bible Society	大英聖書公會	一	一	R. G. Goueu	一九〇八
同 宣道會 Christian and Missionary Alliance	宣道會	一	一	E. R. Haracy	一九〇八
同 內地會 China Inland Mission	內地會	三	三	A. Bland	一八八九
同 信義會 Evangelical Lutheran Synod of Mission, China and other States	信義會	四	三	E. Z. Arndt	一九二三
同 萬國郵電基督會 International Postal Telegraph Christian Association	萬國郵電基督會	一	一	A. shorsmith	一九一四
同 倫敦會 London Missionary Society	倫敦會	六	八	I. Wallace Willson	一八六一
同 蘇格蘭聖教會 National Bible Society of Scotland	蘇格蘭聖教會	一	二		
同 倫教聖書會 Religions Tract	倫教聖書會	一	一	George Clayton	
同 基督復臨安息日會 Religions Tract Society	基督復臨安息日會	五	五	F. A. Allum	一九二一
同 循道會 Wesleyan Methodist Missionary Society	循道會	六	九	George Clayton	一八六一
同 瑞典典教會 Sarecka Kirkaus Mission	瑞典典教會	二	二	F. Holmgren Gustaf Usterlin	一九二〇
同 中華基督教青年會 Y. M. C. A.	中華基督教青年會	四	四	Arthur M. Gutery	一九〇九
漢陽府 循道會 Hanyang Wesleyan Methodist Missionary Society	循道會	一	四	W. A. Cornaby	一八六三
黃州府 行道會 Huangchow Swedish Missionary Society	行道會	四	七	A. L. Fagerholm	一九〇一

メントスル努力カ道徳力ノ低級ナル支那ヲ感化セシムルモノ少カラサルハ偶然ニアラス而シテ常ニ教會ニ接近スルモノカ不知不識基督教信者ト爲ルモノ少カラサルハ自然ノ勢ニシテ彼等中ニハ進ンテ衷心ヨリ基督教ニ歸依シ教士トナリ歐米宣教師ト共ニ布教傳道ニ一身ヲ捧ケント欲スルモノ亦稀ナラス信者數ノ最多キハ最多クノ宣教師ヲ有スル湖北ヲ第一トシ河南之ニ次ク布教事業ノ現狀即各教會ノ勢力ハ新教會ニアリテハ略其ノ宣教師ノ多少ニ依ツテ之ヲト知シ得ヘシ但シ舊教ハ其ノ施設ノ年古ク新教ニ比較シテ多大ノ信者ヲ有スルモ新教各派ノ努力ニモ亦近來目醒シキモノアリ

而シテ管内五省ニ於ケル宣教師數ハ新教湖北(沙市宜昌管内ヲ除ク)二百六十四人、河南四百二十二、陝西八十二人、甘肅七十六人、新疆二十五人、舊教湖北三十人、河南四十人、甘肅三十四人、陝西三十人ニシテ總數二千十一人ノ外國宣教師アリ

今管内各外人經營ノ教會所在地宗派別宣教師數、首席宣教師設立年等ヲ示セハ左ノ如シ

黃陂	Hwangpei	縣	倫敦	London Missionary Society	會	一	一	二	J. S. Wasson	一八九八
蕪水	Chushui	縣	行道	Swedish Missionary Society	會	一	一	二	E. Gillstran	一九一六
麻城	Maicheng	縣	行道	Swedish Missionary Society	會	二	四	六	D. R. Walquist	一九〇五
漢口	Hankow	口	湘西此信義	Finland Missionary Society	會	一	一	二	Erlantsihooen	一九一三
同		上	豫鄂信義	Southern Uruia Mission	會	二	二	四	O. R. Wold	一九一三
同		上	信義	Norwegian Missionary Society	會	二	二	四	Karl I. Reichelt	一九一三
孝感	Siaokan	縣	倫敦	London Missionary	會	三	五	八	Wilson H. Geller	一八八〇
隨州	Sueichow	州	循道	Wesleyan Methodist Missionary Society	會	二	二	四	G. M. F. Homes	一八九七
大冶	Fayeh	縣	循道	Wesleyan Methodist Missionary Society	會	一	一	二	B. S. Bonsal	一八八九
德安	Tehan	府	循道	Wesleyan Methodist Missionary Society	會	二	二	四	C. S. Minty	一八八〇
皂陽	Kaoshih	市	倫敦	London Missionary Society	會	二	二	四	Fredrick G. Wiley	一八九九
聚陽	Saoyan	縣	遵道	American Lutheran Brethren Mission	會	三	四	七	H. S. Fouske	一九〇二
武昌	Wuchang	府	宣道	Christian and Missionary Alliance	會	三	六	九	M. B. Birrel	一八九三
同		上	倫敦	London Missionary Society	會	一	六	七	E. Rowland	一八六七
同		上	中華聖公會	American Church Mission	會	一七	三二	四八		一八六八

第二項 河南省

同		上	行道	Swedish Missionary Society	會	二	四	六	John Skold	一八九〇
同		上	循道	Wesleyan Methodist Missionary Society	會	九	九	一八	J. K. Hill	一八六五
同		上	中華基督教青年會	Y. M. C. A.	會	二	三	五	Wagnel Jordan	一九〇五
武穴		穴	循道	Wesleyan Methodist Missionary Society	會	一	二	三	J. Sidney Helps	一八七一
彰德	Changdeho	府	坎那大長老會	Canadian Presbyterian Mission	會	六	一	一七	Murdoch	一八九四
柘城	Checheng	府	信義公理會	Lutheran Board of Mission	會	一	一	二	P. T. Kouslorie	一九一八
陳州	Chengchowin	府	內地	China Inland Mission	會	一	一	二	E. G. Bevis	一八九五
鄭州	Chongchow	州	米國南浸信傳道部	Central China Mission	部	四	四	八	D. W. Herring	一九〇四
正陽	Cheriyangshien	縣	豫鄂信義	Lutheran United Mission	會	二	四	六	George. O. Holm	一九一一
鎮平	Chengpingho	府	中華基督教路德會	Norwegian Lutheran Mission	會	一	二	三	E. W. Trickey	一九〇四
周家	Chowkiakow	口	內地	China Inland Mission	會	四	三	七	C. Howard, Bird	一八八四
扶溝	Fukow	縣	內地	China Inland Mission	會	一	一	二	J. Goyel	一九〇三
襄城	Hsiangcheng	縣	內地	China Inland Mission	會	三	五	八		一八九二
河南	Hovanfu	府	信義	Augustana Synod Mission	會	四	五	九		一九〇九

虞城	Yucheng	縣	福	China Memorial Missionary Society	會	二	一	三	P. P. Kiuhn	一九一四
禹州	Yuchow	州	信義	Augustana Synod Mission	會	三	二	五		一九一一
第三項 陝西省										
長武	Changwushen	縣	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	一	一	二	N. C. Jacobsen	一九一四
城固	Chengtu	縣	內	China Inland Mission	會	一	一	二	C. Lawdine	一八八七
整屋	Chowushien	縣	內	China Inland Mission	會				(不在)	一八九三
鳳翔	Hengsingtu	府	內	China Inland Mission	會	一	一	二	C. H. Stevens	一八八八
韓城	Hanhengshien	縣	內	Swedish Missionary China	會				Miss A. Fjellman	一八九七
漢中	Hanchengfu	府	內	China Inland Mission	會	二	三	五	D. F. Waston	一八七九
興安	Hsinganfu	府	內	China Inland Mission	會		三	三	Miss M. E. Hoslan	一八九八
同平	Hsingping	縣	內	信義長老會 Mission of the Evangelical Lutheran Free Church of Norway Swedish Alliance Mission	會	一	三	四	Ole A. Sommevig S. Bergstrom	一九一八 一八九三
同陽	Hoyang	縣	內	China Inland Mission	會	一	一	二	O. E. Obeeg	一九〇四
郵	Halsien	縣	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	一	一	二	V. Reutius	一九一三

乾州	Kienchow	州	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	一	一	二	Ul. Ahlstrand	一八九四
濟陽	Kienyang	縣	內	Scandinavian China Alliance Mission	會		三	三	Miss L. Norden	一八九七
藍田	Lantien	縣	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	一	一	二	W. Englund	一八九五
醴泉	Lichuanhsien	縣	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	一	一	二	I. G. Nelson	一九〇三
隴州	Lungchow	州	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	二	二	四		一八九三
龍駒	Lungchuehai	寨	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	六	一	七		一九〇三
郿	Mehsien	縣	內	China Inland Mission	會	一	一	二	R. W. Middleton	一八九二
沔	Mienhsien	縣	內	China Inland Mission	會	一			A. Ooold	
北屯	Pitunghen	鎮	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	一	一	二	E. Pohnbery	
邠州	Pinchow	州	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	二	一	三	Ph. Nelson	
蒲城	Pucheng	城	內	Swedish Mission in China	會	一	三	四	L. H. E. Linder	一九一三
桑家	Sangkichwang	莊	內	Scandinavian China Alliance Mission	會		一	一	Miss A. Olson	一八九四
三原	Santanhsien	縣	內	大英浸禮會 Baptist Missionary Society	會	三	四	七	I. Watson	一八九一
西安	Siantsu	府	內	大英浸禮會 Baptist Missionary Society	會	八	二	二〇	I. Shields.	一八九二
同安		上	內	Scandinavian China Alliance Mission	會	八	九	一七	C. I. Anderson	一八九三

同	上	中華基督教青年會	一	一	一	E. F. B. Smith.	一九二三
西鄉	縣	內地	會	三	三	Miss A. Harison	一八九五
同州	府	內地	會	一	一	W. Swenson	一八九一
潼關	廳	內地	會	一	一	I. E. Olsson	
武功	縣	內地	會	一	一	Miss A. Swason	一九〇三
洋安	縣	內地	會	一	一	Miss I. M. Coleman	一八九六
延安	府	大英浸禮	會	一	一	D. Smith	一九〇〇
引家	衛	內地	會	一	一	Miss M. Anderson	一八九五
榆林	府	神召	會	三	四	Alfred Nelson	一九二三
第四項 甘肅省							
鎮原	縣	內地	會	三	三	Miss E. Peterson	一八九七
卓	尼	宣道	會	一	一	John Mac Gilluray	一九〇二
涇	州	內地	會	二	三	A. B. Gjeldseth	一八九五
伏	縣	內地	會	一	一	Harold A. Welter	一八九九
蘭州	府	內地	會	六	七	G. Andrew	一八八五

涼州	府	內地	會	二	一	三	W. M. Belcher	一八八八
隴西	縣	宣道	會	一	一	一	Ms. Willia G. Colby	一九一八
岷	州	神召	會	二	一	三		一九一九
同	上	宣道	會	一	三	四	James A. Diehe	一八九六
寧夏	府	內地	會	一	一	三	J. S. Fiddor	一八五五
巴燕戎格	廳	自養教	士	一	一	二		
平涼	府	內地	會	二	四	六	D. Torvall	一八九五
西寧	府	內地	會	三	二	五	H. F. Ridley	一八八五
洮州	城	神召	會	二	一	三	J. R. Jameson	一九一八
同	上	宣道	會	四	二	六	Williampuhl	一八九五
導河	縣	宣道	會	一	一	二	C. F. Snyder	一九一八
荻道	州	宣道	會	二	四	六	William Fuste	一九〇二
秦	州	內地	會	二	五	七	Miss A. Galand	一八七八
崇信	縣	內地	會	一	一	二	F. A. Gustafsson	一九一五

- 行道會 (Church of Sweden Mission)
- 循理會 (American Free Methodist Mission)
- 內地會 (Scandinavian China Alliance Mission)
- 宣道會 (Christian and Missionary Alliance)
- 神召會 (Assemblies of God in the United States of America and Foreign Land)
- 救恩會 (Evangel Mission)
- 基督復臨安息日會 (Seventhday Adventes Mission Board)
- 大美國聖經會 (Aneuan Beble Society)
- 恩典會 (Grace Evangelical Mission)
- 二、英國
- 中華聖公會 (Canadian Church Mission)
- 倫敦會 (London Missionary Society)
- 大英浸禮會 (Baptist Missionary Society)
- 循道會 (Wesleyan Methodist Mission Society)
- 坎那大長老會 (Canadian Presbyterian Mission)
- 大英聖書公會 (British and Foreign Bible Society)
- 萬國郵電基督會 (International Postal Telegraph Christian Association)
- 蘇格蘭聖經會 (National Bible Society of Scotland)
- 三、瑞典
- 行道會 (Swedish Independent Baptist Mission)
- 內地會 (Swedish Missionary Society)
- 內地會 (Swedish Mission in China)

- 瑞典教會 (Swedish Alliance Mission)
- 四、諾威
- 信義長老會 (Norwegian Missionary Society)
- 信義長老會 (Mission of Evangelical Lutheran Free church of Norway)
- 中華基督教路得會 (Norwegian Lutheran Mission)
- 五、フィンランド
- 湘西北信義會 (Finland Missionary)
- 六、其他
- 內地會 (China Inland Mission)
- ハ各國聯合
- 福音會 (不明英國?)
- 信義會 (Independent Lutheran Mission) (米國?)
- 自養教士 (米國?)
- 右ニ掲タル如ク
- 一、米國ハ英國ト共ニ最多數ノ新教々會並宣教師ヲ有シ布教事業ニアリテハ湖北並河南ニ力ヲ注キ教育事業ニ至リテハ最モ努力スル所ニシテ湖北ヲ主トシ初等教育ヨリ寧ロ中等以上ノ教育ニ重ヲ置カカ如シ
- 但シ醫事或ハ救濟方面ノ事業ニ於テハ英國ニ及ハス佛、伊兩國ニ比シ尙一等ヲ輸スルノ觀アルモ概シテ管内各施設上ノ勢力ハ英國ト共ニ遙ニ他諸國ノ上ニ出ツ而シテ聖公會外十數個ノ各派各會ヲ有シ就中聖公會信義會ノ如キ

ハ各最優勢ナル地位ヲ占ム由來支那ニ於テハ舊教徒カ十九世紀以來一定ノ條件ニ備フル場合ニハ常ニ土地所有權ヲ得タルニ不拘新教徒ニハ何等特權ノ認メラル、モノ無カリシニ際シ自由平等ヲ名トシ其ノ特權ヲ最初ニ要求シタルハ米政府並同國宣教師ナリ而シテ米政府ハ英政府ニ比シ其ノ自國宣教師ノ支那内地永久居住及財産所有ニ關シ遙ニ熱心ナル援助ヲ與フルカ如キモ實際ニ於テ布教其ノ者ハ米政府ノ事業ニ非サル事明ニシテ布教經費ノ如キ全然本國政府ト關係無キ本國慈善者ノ出資ニ係ルモノノ如シ其ノ教會等ノ施設振リ鷹揚ニシテ資錢ノ豊富教理ノ單純ニシテ煩雜ナル形式ニ拘ハラヌ武裝的臭氣ナキ布教振リ等ハ今日米人カ當地方ニ於テ其ノ大ヲ致シタル所以ナリ有益ナル著述或ハ通信等ヲ公ニスルモノ亦米人ヲ以テ最多シトス

二、英國モ亦多數ノ新教布教所並宣教師ヲ有シ湖北、河南兩省ヲ主ナル活動區域トス學事方面ニ於テハ米國ニ遜色アレ共湖北ニ於テハ博文書院、博學書院ヲ初メ中等以上ノ各種學校ヲ有シ其ノ勢力米國ヲ除ケル他國ノ遠ク及ハサル所ニシテ醫事々業ハ救濟事業ト共ニ英國ノ最力ヲ注ク所ニシテ病醫院、孤兒院等ノ有力ナルモノハ多クハ英人ノ經營スル所ニ係ル加奈院長老會、倫敦會、循道會ハ各管内ニ於テ最有力ナルモノノ一ニシテ又支那各省ニ互リテ一大勢力アル内地會ノ如キハ英、獨、英領加奈院、米等ノ連合ニ成ル一主義ノ下ニ宣傳ス英國カ當初宣教師派遣ノ目的ハ自國人ノ爲ナリシモ廣ク人心ヲ收攬センカ

爲ニハ恩惠ヲ施ササル可ラス依テ鯨寡孤獨ヲ憐ミ貧困者ニ對シテハ醫治投藥ヲ施ス等ノ事ヲ爲シテ以テ肉體的救助ヲ與ヘ次ニ精神的救靈ノ方法ヲ執レルノ懷柔策ヲ得策ナリトシ早クモ廣ク慈善ヲ行ヒ宗教宣傳ニ資スノ計ヲ案シタリ斯ノ如ク各國ニ先鞭ヲ着ケ其ノ所要經費ノ如キ在本國慈善家ノ醸出ニ係リ益々擴張ヲ企圖シテ倦マサルモノアリ

而モ其ノ行動ハ寧ロ地味ニシテ宣教師ノ人物ノ如キ其人數多キニ拘ラス選擇宜シキヲ得人格劣等アルモノ比較的少ナク英國政府自身モ宣教師カ支那ニ於テ放逸ナル行動ニ出テ累ヲ及ホス可キヲ慮リ或ハ英國人宣教師ノ評判ヲ最善ノモノトナサント欲シ不斷英宣教師カ永住居住權ヲ得ントスルニ際シテモ深キ注意ヲ拂フモノアルカ如シ一八七〇年英國政府ハ「佛國政府カ其ノ自國宣教師ノ爲ニ如何ナル要求ヲ爲ス事アルモノハ我政府ノ關係スル所ニアラス英國政府ハ英國々民ノ享有シ得ル以上ノ特權ヲ宣教師ニ附與スルコトヲ欲セス」ト宣言シタルカ如キ例アリ如斯政府ノ布教事業ニ對スル方針ノ地味ナルハ今日英國宣教師ノ地味ナル布教振リヲ馴致シタルモノナラン

三、佛國ハ概ネ舊教即チ天主教ニ屬シ布教事業ニ於テハ英米ニ次テ多數ノ宣教師ヲ有シ湖北省ニ最力ヲ注キ河南並甘肅之ニ次キ英、米ト競争スルニ足ルノ勢力ヲ有ス教育方面ニアリテハ地方小學教育ヲ主トシテ醫事救濟方面ハ英國ト共ニ最努力スル所ニシテ漢口一個所ニ於テモ二個ノ大醫院ヲ經營ス舊教派ハ主ニ佛國並伊國ニシテ何レモ

其ノ活動區域ヲ定メ湖北全省並甘肅北部及中部ハ專ラ佛國天主會(天主堂)ノ範圍トシ別ニ伊國ト提携シテ河南ニ活動ス(舊教派ハ一ニ天主堂ト總稱シ積善堂、首善堂、傳善堂及天主堂等ニ區分セルハ内部財産等ノ關係ヨリ來レル區分ニシテ布教區域或ハ國別ニ關係セス)而シテ舊教ニ於テハ其ノ經費ハ寄附ニ依ルモノ少カラスト雖由來舊教ノ支那ニ傳道セル年古クシテ今日迄ニ土地建物等多額ノ財産ヲ有シ之ヨリ生スル利得ヲ以テ維持費ニ充ツルモノ多ク經濟上ノ基礎概シテ新教ニ比シ確實ナルカ如シ而モ佛人ノ努力ハ各方面ニ及ヒ陝西省佛國天主堂ノ「モウリス」牧師ノ如キ該省ニ居ル二十餘年支那語及支那事情ニ精通シ現ニ高陵ニ駐在シ多數信徒渴仰ノ中心トナリ其ノ邸宅並會堂ノ如キハ宛然タル一大城廓ニシテ地方ノ擾亂ニ方リテハ以テ人民ノ生命ヲ保護スルニ足リ彼ノ勢力ハ其ノ資力ト共ニ其タ優勢ナリ由來佛國宣教師ニハ平素傳道聖書ヲ講スルノ傍ラ熱心ニ地理、人情、風俗、物産等ノ調査研究ニ從スルモノ多ク殊ニ前述ノ如ク世俗事業ヲ兼營スルモノ佛國宣教師ニ多ク見受クル所ニシテ就中河南省方面ニ於ケル定住宣教師ハ土地家屋ヲ抵當トシ未償還者ニ對シテハ其ノ土地ヲ信徒ノ名前ニ書替ヘ漸次不動産ヲ領有シ隱然タル大地主トナレルモノ少カラス漢口租界内ニ於テモ尤大ナル土地ヲ有シ大家主トテ知ルルモノアリ其ノ家賃ハ傳道費ニ支出セララルモノナルヘシト雖一般ニ營業者ト同視セラル尙佛國教會ハ普通教育ニ重キヲ置キ管内四省內到處少女各學校等アルモ其ノ成績

ハ新教派ニ一籌ヲ輸スルモノアリ是等學校ノ卒業者ハ會社、商店ノ手代以上ニ進ミ得サルカ如ク學校ハ殊更ニ英語ヲ主トセス授業料ヲ徵收セサルモノ多シ布教ニ伴フ權利ノ伸張ニ對スル佛政府ノ努力ハ非常ナルモノニシテ宣教師保護權ハ久シキ間佛國ノ極東政策ノ基礎タリシ觀アリ各宣教師ニ在リテモ一體ノ布教振リ急進的ニシテ新教トハ大ニ其ノ趣キヲ異ニスル所アルカ如シ

四、伊國ハ概ネ舊教ニ屬シ布教事業ニ於テハ河南ヲ主トシ同省ニ於テハ英、米兩國ニ次キ陝西ニ於テハ瑞典ニ次テ活動スルモ他省內ニハ殆ト其ノ勢力ヲ見ス學事々業ニ於テハ河南省ニ於テ米國ニ次キ醫業ニ於テハ同省ニ於テ英佛ニ次キ米國ヲ凌駕スルノ勢ナリ

五、瑞典及諾威

瑞典ハ新教ヲ多シトシ布教方面トシテハ湖北省內ニ在リテハ英、米、佛ニ次キ河南省ニ在リテハ米、英、伊ニツキ陝西省ニ在リテハ他諸國ノ上ニ一大勢力ヲ有スルカ如シ但シ學事等ノ方面ニアリテハ各省ヲ通シテ更ニ活動スルアルヲ見ス其ノ所屬會中最有力ナルハ行道會ニシテ湖北省ニ於テ二十五人ヲ有ス而シテ內地會ト連絡ヲ有シ一勢力ヲ保持スル瑞典內地會ノ如キ亦瑞典及諾威人ヲ中堅トスルモノニシテ其ノ布教上ノ勢力ハ之ヲ閉却スル能ハサルナリ

諾威ハ布教上湖北及河南ニ重キヲ置キ稍勢力ヲ維持ス學事ニアリテハ瑞典ト共ニ陝西、甘肅方面ニ小學教育ヲ施設スルモ醫事ノ方面ニアリテハ多ク言フニ足ラス

第七節 學校

教會ノ附帶事業タル教育事業ハ一般支那人ニ具體的刺戟ヲ與フルコト布教救靈ノ事業ニ比シ優ルモノアリテ亦逐年盛大ニ赴ク觀アリ蓋シ多ク無教育ニシテ文明的智識ヲ缺キ殊ニ今日ノ如キ過渡時代ニ在ル支那人カ文明人ノ經營スル學校ニ入リテ外國語ヲ學ヒ新知識ヲ求メントスルハ自然ノ趨勢ニシテ以テ一般支那人ノ腦裡ニ教育ノ必要缺クヘカラサルコトヲ臆ケナカラモ感得自覺セシメタルモノ少カラス

近來義務教育論喧傳セラレ女子ノ如キ亦古來女子ノ字ヲ識ル學福ニ非ストシタル長眠ヨリ醒メ一般ニ女子教育モ亦忽ニ付ス可カラサルモノト爲シ各種學堂勃興シ文明彬彬々タル外觀ヲ呈スルニ至リシハ教會ノ教育事業ニヨリ刺戟セラレタルニ依ルモノ實ニ大ナリト云ヘシ外人ノ教員カ與フル科學的新知識ハ珍奇ヲ喜フ過渡時代ノ支那人ヲシテ驚異感嘆ヲ禁スル能ハサラシムル結果近年名望家、富豪等カ其ノ子弟ヲ此ノ種學校ニ入學セシムルヲ喜フノ傾向ヲ致シタルハ特筆スヘキ現象ニ屬ス尙此ノ種學校ニ薰陶サレタル學生カ進ンデ其ノ本國ヲ慕テ海外留學ヲ志スモノ少カラス亦學校ノ出資者カ夫々各方面ニ就職シテ相當ノ活動ヲナシ又神學校以外ノ卒業者カ傳道師トナルモノ少カラサルハ皆注意スヘキ現象ナリトス

管内ニ在リテ外國人ノ經營スル教育事業ノ最盛ナル地方ハ概シテ湖北ヲ第一トシ河南之ニツキ陝西ハ第三ニ屬シ甘肅之ニ次ク湖北殊ニ武漢ノ地ニ於テハ大學程度ノ學校、高等、專門學校ノ學校ヲ有シ其ノ他大小各樣ノ教育事業月ニ歲ニ隆盛ニ赴キ其ノ規模ノ點ニ於テ其ノ成績ノ點ニ於テ遙ニ支那官憲或ハ支那人經營ノ教育事業ヲ凌駕スルカ如シ而シテ教育方面ノ事業ニ最努力スルハ湖北ニ於テハ米國及英國ニシテ上述ニ學校ノ如キハ米人或ハ英人ノ經營スル所ナリ河南ニ在リテハ米國ヲ第一トシ伊太利ヲ第二トシ陝西、甘肅ニアリテハ英、瑞、佛、伊等ノ活動スルヲ見ルモ河南以下各省ニ於テハ中學程度以下ノ初等教育ノ流行ヲ見ル

管内神道以外ノ各學校ニ於テモ多クハ德育ノ名ノ下ニ課外ニ聖道聖典ヲ講シ學生々徒ヲシテ不知不識ノ裡ニ基督ニ歸依セシメントスルハ各學校共通ノ目的ト稱シ得ヘク一方高等ノ學校ニ入ル學生中ニハ唯學位(稱號)ヲ得シコトヲ渴望シテ入學ヲ志スモノ少カラス而シテ各學校ノ經費ハ多クハ其ノ教會ノ支出ニ係ルモノ一般支那人ノ寄附スルモノ亦少カラス尙管内所在師範學校ハ小學校ノ教員養成ヲ目的トスルモノニシテ其ノ程度高等小學位ノモノ多シトス

第一款 湖北省

管内各地ニ於ケル主ナルモノ(小學校ヲ除ク)左ノ如シ

所在地	名稱(支那名及外國名)	主管者校長	國籍	種類程度	教師數	學生數	設立年
漢口	博學書院 Griffith John College	Bonsey	英	專門學校	支外九四	一三二	一八八九
同上	中華聖公會婦女學校 Training School for Bible Woman	Hart	米	高等女學校	支外一六五	一九〇	一九二三
同上	聖斐比女學校 St. Phoebe School for Deaconesses			神學部			
同上	法文高等學校 Vulcanic School	Jules Alfred	佛	中學校	支外二八	二二八	一九〇五
同上	漢口青年會中學校 Y. M. C. A. Middle School	Y. M. C. A.	米	中學校	支外二二三	二七〇	一九一〇
同上	漢口倫敦會中學校 London Mission Middle School	Macjulane	英	同	傳學安純 學安純校	二二〇	一八八九
同上	慈善堂(慈應女學校) Hankow woman Catholic orphanage	Pada Yanoti	伊	同	外八		一九〇六 一九一二
同上	聖保羅中學校 St. Paul School	S. Hv Lidi	米	中學校	支外七一	一三〇	
同上	聖公會聖道書院 Catechetical School	Hu L. T.	米	神學校	支外三一	五〇	一九〇八
武昌	文華大學 Booe University	J. Gwtkon A. Aglmon	米	大學校	支外一〇五	二一〇	一九〇九
同上	文華中學校 Bonie Middle School	I. C. Leo	同	中學校	支外二一六	三〇〇	
同上	博文書院 Wesley College	A. Goudonsimon	英	專門學校	支外九二	一五八	一八八七

第二款 河南省

同上	三一 中學校 Trinity Middle School	聖公會	米	中學校	支外一六一	二六〇	
同上	聖希利達女學校 St. Hilas School for girls	K.E.Scott Deaconess	米	女子師範 高等女學校 女子高等小學	支外一六六	二八〇	
漢陽	漢陽訓女書院 David Hill Memorial Girls Boarding School	循道會	英	高等女學校	支三	六〇	
開封	福音濟學校	大英侵禮會	英	神學校			一九〇三
同上	浸禮會中學校	大英浸禮會	英	中學校			一九〇三
信陽	信義中學校	信義會	米	同			一九〇三
衛輝	基督教中學校	阿大長老會	英	同			一九〇三
周家口	周家口中學校	內地會	同	同			一九〇三
桐柏	女學堂	福音會	英	高等女學校			一九一
洛陽	法文學堂	天主堂	伊	附小學校			一九一四
中牟	聖教會女學堂	同	同	女學堂			
扶溝	福音學堂	內地會	同	神學校			一九〇三
漢川	聖教學堂	天主堂	同	同			一九二三
同上	基督學堂	福音堂	英	同			一九一四

文華大學校(武昌)

一、沿革

大美聖公會(アメリカンチャーチ、ミツシヨン)ノ監督牧師「ダブルユーシエー、ブリン」カ千八百四十五年上海ニ來リテ支那人兒童ノ爲ニ一學校ヲ興シ今日擴張セラレテ「セントジョン」大學ト稱スルニ至リタルカ一八六六年同教會ハ尙中支那地方ニ教育事業ヲ起サントシ武昌ノ地ヲトシテ支那人教育ノ一學校設立ヲ企テ同會宣教師等ノ努力ニ依リテ一八七一年開設ノ運ニ至リタルカ一八六四年逝去シタル監督牧師「ブリン」ノ紀念ノ爲メニ同校ハ、Boone Collegeト稱シ五名ノ學生ヲ得テ開校セリ今日 Boone Universityト稱スルニ至ルヤ逐漸堅實ニ發達シ革命事變前ハ學生數約四百ヲ數フルニ至レリ

ノ後支那政府カ民國教育ノ基礎ヲ歐風教育ニ置クコトニ決シタル頃ヨリ學生頓々増加シ「デヤクソン」校長トナリ夫ヨリ各建物ヲ増築シ衛生、運動、娛樂、兵式訓練等ノ諸設備ヲ加ヘ一九〇三年同卒業生ニ對シテ專門學制ヲ開始シ其ノ後神學校醫科ヲ設ケ一九〇九年更ニ大學組織トシ一九一一年「バチエラー、オブ、アーツ」ノ稱號ヲ有スル第一回ノ卒業生ヲ出セリ

二、本校ノ分科

本校ハ中學部ト正科トニ分ツ兩科共ニ學生ノ學フヘキ科目ヲ西學科、國文科トニ大別ス蓋シ國文ハ支那青年ヲシテ支那古代ノ學問ノ知識ヲ充分ナラシムル爲メ泰西ノ學問ニ對抗シテ特別ニ重視セルナリ而シテ中學部ハ西學科目ハ六ヶ年國文ハ四ヶ年ヲ以テ卒業ス要スルニ六年ヲ以テ西學科ヲ終ハル間ニ國文四年ノ課程ヲ卒フレハ可ナリ正科ハ西學科國文トモ四年ヲ以テ卒業ス而シテ文學、理科、商業、圖書ノ四科ニ分タレ(國文ハ各科トモ同様ナリ) 畢業者ニハ圖書ヲ除クノ外學士號ヲ授與セラレ

此ノ外正科卒業生(西學國文トモ)ニシテ監督牧師又ハ大學總長ヨリ推薦セラレタルモノニ神學教育ヲ施スヘキ神學科アリ三箇年ヲ以テ教程ヲ終ル

イ、西學部

西學部中、中學部ハ同校前身ノ文華中學校及文華大學豫備校ヲ合併シタルモノニシテ高等普通教育ヲ授クルヲ目的トシ又正科ニ入ルノ豫備校ニシテ年齡ハ十二歳ヨリ十八歳マテノ者ニ入學ヲ許可ス而シテ既婚者ハ入學ヲ許サス

中學部課程左ノ如シ

Table with 2 columns: Course (課程) and Credits/Hours (學分/時數). Rows include English (英語), Mathematics (數學), Geography (地理及理科).

圖畫 宗教學 歷史 音樂

Table showing credit hours for various subjects: 圖畫 (1), 宗教學 (1), 歷史 (3), 音樂 (1).

正科ハ西學部中學卒業者或ハ之ト同等ト認メラルル試驗ニ及第シタルモノニ文學、理科學、圖書、商業等ニ分チ專門教育ヲ施シ四年ヲ以テ卒業スソノ成績優良ナルモノニ對シテハ教授會ノ許可ヲ經テ文學秀士、理學秀士、商業秀士等各秀士ノ稱號ヲ與ヘラルコノ秀士ノ稱號(Bachelor)中ニモソノ成績ニヨリ優獎、上等優獎、最上等優獎ノ三等ニ分タル

專科各科ノ課程左ノ如シ

Table listing specialized courses and their durations: 文學 (3時間), 作文 (1時間), 歷史 (3時間), 數學 (2時間), 理科 (3時間), 宗教學 (1時間), 國文 (11時間).

(選擇科) 希臘語、拉丁語、
獨語、佛語、數學 四時間
每週二十八時間

二年級

(文學) 柏氏優待僑民構和議、米國名人演說 三時間

(作文) 莎氏黎楷德第三本末記 三時間

(歷史) 英作文 一時間

(經濟) 英國史(何滿著) 三時間

(理) 理財學(博納克著) 三時間

(宗教學) 物理學續(未尼甘合著) 三時間

(國文) 聖保羅之神學研究卷一(抱德生著) 一時間

選擇科、希臘語、獨語、佛語、數學 十一時間

三年級

(文學) 田氏互德王遺事 三時間

莎氏麥克白傳 三時間

馬氏梅原教偏 三時間

梅氏逐出樂土記 三時間

倫理學(耶佛施著) 三時間

心理學(同著) 三時間

(哲學) 數學、生物學、經濟 六時間

選擇科 以下十科中ヨリ二科ヲ選擇 一時間

(宗教學) 史記、社會學、政治學 以以色列人之領袖(鏡冰生著) 一時間

(國文) 上古先知言行錄(甘德著) 十一時間
每週二十七時間

四年級

(文學) 英國文學史(龍氏本或ハ哈氏本) 三時間

狄坤希文選 三時間

費註梅氏獵夫錄參傳 三時間

梅氏出版自由論 三時間

莎氏亨利第五本末記 三時間

莎氏颶風記 三時間

倫理學(麥甘西著) 三時間

倫理學(希即威著) 三時間

(哲學) 哲學史(瓦詰斯著) 三時間

選擇科 以下九科目中二科選擇 六時間

(國文) 生物學、經濟、バイブル、教會史 六時間

教育、方言、史記、社會學、政治學 十一時間

圖書科 每週二十七時間

本科ハ専ラ學校圖書館及普通圖書館等ニ關スル人才ヲ造ラ

ンカ爲ニ設ケラレタルモノニシテ卒業生ハ圖書館員及學校

教員ノ資格ヲ附與セラル又他科學生ニシテ本科ノ特別ナル

科目ヲ修業スル時ニハ該學秀士ノ外ニ圖書科畢業ノ免狀ヲ

給セラル 課程左ノ如シ 第一學年

漢文 十一時間
米國史 三時間
英國文學 三時間
經濟學 三時間
英作文 一時間
物理學 三時間
宗教學 一時間
外國語 三時間
每週二十八時間

第二學年

漢文 十一時間
英或ハ米國文學 三時間
佛語或ハ獨語 三時間
物理學 三時間
タイブライター法 二時間
宗教學 一時間
目錄編輯及標題法 二時間
目錄分類法 一時間
圖書選擇及評論法 二時間
參考圖書法 一時間
圖書經營法 一時間
每週三十時間

第三學年

漢文 十一時間
文學史 三時間
每週三十時間

獨語或ハ佛語 三時間
心理學 三時間
商業修札 二時間
宗教學 一時間
目錄編輯及標題法 一時間
目錄分類法 一時間
圖書選擇及評論法 二時間
圖書經營法 一時間
圖書中文訓練法 一時間
每週二十九時間

第四學年

漢文 十一時間
歐洲文學 三時間
教育 三時間
哲學史 三時間
宗教學 一時間
目錄編輯及標題法 一時間
圖書選擇及評論法 一時間
參考圖書法 一時間
圖書經營法 一時間
圖時中文訓練法 一時間
時事評議 一時間
社會業務 一時間
實地練習 六時間

每週三十四時間

圖書簡易科
本科ニ圖書簡易科ノ附設アリ圖書正科ニ入ル能ハサルモノニ對シ速成ニ普通圖書ニ關スル學識ヲ修メシムルヲ以テ主旨ト爲シ中學卒業或ハ之レト同等程度ヲ以テ入學資格ト成シ一年ニテ修業試験ヲ經テ卒業證書ヲ給ス

圖書簡易科課程表

英文書目錄編輯及標題法	二時間
中文書編輯目錄法	二時間
英文書分類法	一時間
中文書分類法	一時間
英文書選擇法	二時間
中文書選擇法	一時間
中文參考書法	一時間
英文圖書經營法	一時間
中文圖書經營法	一時間
タイプライター法	二時間
宗教學	一時間
實地練習	十二時間

商業科課程表

簿記學	六	六	六	六
數學	三	三	三	三
コレスポネンス	三	三	三	三
簿記學	六	六	六	六

每週二十八時間

三三三三

タイプライター	二	二	二	二
外國語(英佛獨ノ中)	三	三	三	三
自然地理、商業地理	二	二	二	二
宗敎	一	一	一	一
國文	一	一	一	一
經濟學	一	一	一	一
速記	一	一	一	一
化學	一	一	一	一
商業(商業組織)	一	一	一	一
統計	一	一	一	一
銀行	一	一	一	一
選擇	一	一	一	一
理科課程表	一	一	一	一

測經國宗圖歷數物化	一	一	一	一
理學	一	一	一	一
國文	一	一	一	一
宗敎	一	一	一	一
圖書	一	一	一	一
歷史	一	一	一	一
數學	一	一	一	一
物理學	一	一	一	一
化學	一	一	一	一
經濟學	一	一	一	一

生物學	四	四	四	四
機械學	三	三	三	三
政治學或ハ文學	三	三	三	三
哲學	三	三	三	三
地質學	三	三	三	三
汽機及電機	三	三	三	三

神學科

本科ハ西學部正科卒業生ニシテ監督牧師又ハ大學總長ヨリ推舉セラレタル者ヲ入學セシム其ノ他ノ學生ニシテ神學科ニ入學セントスルモノハ大學總長並監督牧師ノ推薦ニヨリ正科以上ノ資格アリト認メラレタル者ニ入學ヲ許可ス
神學科三箇年ノ教程ヲ終リタル者ニシテ成績優良者ニハ敎授會議ノ許可ヲ經テ神學秀士ノ稱號ヲ授與セララル
入學ヲ許可セラレタル學生ハ校内ニ居住シ且首席敎授ノ命ニヨリ各種ノ傳道事業ヲ輔佐スヘシ結婚者ハ監督牧師ノ許可ヲ得ルニアラサレハ入校スルコトヲ許サス學生ニシテ科程ヲ終了セサル者ハ結婚スルヲ許サス

舊約入門	二時間
新約	三時間
聖敎史	三時間
希臘文新約	三時間
漢文	五時間

論理學	三時間
心理學	二時間
英文學	三時間
舊約歷史	三時間
新約入門	三時間
希臘文	三時間
聖敎史	三時間
牧養神學	二時間
聖道歷史	二時間
宗敎歷史	二時間
漢文	五時間
舊約	三時間
希臘文	三時間
聖敎史	二時間
神學	三時間
基督敎誌	二時間
敎律學	二時間
講道法	二時間
漢文	三時間

三三三三

口、國文學
本科設立ノ目的トシテ同大學ノ宣言スル所左ノ如シ
今日ノ如ク各種ノ狀態カ變化シ且進歩スルニ當リ支那青年間ニ於テ其ノ國語並文學ノ研究ヲ疎スルノ傾向アルヲ免レ

ス此ノ傾向ハ打破スルノ必要アリ支那青年ノ教育ニシテ世界ニ名高キ支那古代ノ哲學者並道德學者其ノ他聖賢ニ關スル古代學問ノ知識充分ナラサレハ支那青年ノ教育全カヲス而シテ是等ニ對スル主要ノ缺陷アリトセハ社會ニ出タル後各國ノ社會的並職業的進歩ニ妨害アルヘキヲ以テ支那學生ヲシテ他ノ泰西ノ新科學ノ教育ヲ受ケシムルト同時ニ支那研究ニ對シテモ充分ノ時日ヲ與ヘテ修養セシメサル可カラズ之レ本科ヲ設置シタル所以ナリ

關スル近古ノ名著ヲ研究セシムルモノナリ

本科課程左ノ如シ

中學部			
第一年級	第二年級	第三年級	第四年級
(史)新體歷史	新體歷史	新體歷史	新體歷史
(文)作文示範	作文入門	續古文辭類纂	續古文辭類纂
(經)孟子	孟子	太傳句解	太傳句解
正科			
第一年級	第二年級	第三年級	第四年級
(經)學庸	尙書	禮記	禮記
(史)歷史全書	歷史全書	歷史全書	歷史全書
(子)哲學史	哲學士	陽明學派	陽明學派
(文)中學國文	中學國文	中學國文	中學國文
大學部			
一年級			
(史)三通考輯要			

(文) 文學史

本校ノ諸規則左ノ如シ
一、日課一覽表左ノ如シ
日曜日課表

六時半	起	床
七時	聖餐	禮拜
八時十五分	朝	禮拜
九時	朝	禮拜
十時	朝	禮拜
十時半	朝	禮拜
十一時	朝	禮拜
十二時	朝	禮拜
二時	日曜說教	禮拜
三時十五分	午後ノ禮拜	禮拜
六時	夕	禮拜
六時半	夕	禮拜
七時	自習	禮拜
七時半	中學初級生就寢	禮拜
八時	中學上級生就寢	禮拜
九時	正科生就寢	禮拜
十日課表(土曜日午後ヲ除ク)		
六時半	起	床
七時	柔軟體操	禮拜
七時半	朝	禮拜
八時	朝	禮拜
九時	朝	禮拜
九時半	朝	禮拜
十日	朝	禮拜
十一時	朝	禮拜
十二時	朝	禮拜
二時	日曜說教	禮拜
三時十五分	午後ノ禮拜	禮拜
六時	夕	禮拜
六時半	夕	禮拜
七時	自習	禮拜
七時半	中學初級生就寢	禮拜
八時	中學上級生就寢	禮拜
九時	正科生就寢	禮拜
十日	正科生就寢	禮拜

十時	第二時間
十一時	第三時間
十二時	食
一時	第四時間ノ授業
二時	第五時間ノ授業
三時	第六時間ノ授業
三時	夏季月、水、金 四時十五分ヨリ五時十五分兵式體操
三時	夏季四時十分晚ノ祈禱
三時	(夏季月、水、金)五時ヨリ六時兵式體操
六時	夕ノ祈禱
六時半	晚ノ祈禱
七時	自習
七時半	中學初級生就寢
八時	中學上級生就寢
九時	正科生就寢
十時	正科生就寢

以上ノ日課表ハ校長ハ管理部トシテ隨時修正スルコトアルヘシ又演說會等アリテ時間ノ延長ヲ要シ以上ノ就寢時間ヲ守ル能ハサル時ハ須ラケ校長ニ陳請シテ許可ヲ受クヘシ

一、教室ニ於ケル規則

授業時間ニ至レハ學生ハ必ス一定ノ場所ニツキ自ラ壇ニ場所ヲ變更シ或ハ爭擾スヘカラス又宜シク公共保存ニ留意スヘシ

教師ノ教壇ニ上リタル時ハ學生ハ皆起立シテ敬禮スヘシ退場ノ時モ同シ

若シ學生ニシテ教室ニ於ケル規則ヲ守ラサレハ室外ニ放出

或ハ犯規ノ事情ヲ科長ニ詳報シ且職員會議ニ提出シ其ノ輕重ヲ詮議シテ懲罰ヲ與フヘシ

授業時間中及自習時間中ハ雜誌或ハ課目以外ノ書物ヲ披見スルヲ得ス

學生病氣或其ノ他ノ事情ニヨリ缺席セントスル時ハ教師ノ教壇ニ上リタル時該級ノ級長ヨリ代テ申出スヘシ

教室内ヲ清潔ニシ一切ノ物品ハ丁重ニ取扱フヘシ以上ノ規則ヲ犯シタル者アル時ハ級長ハ隨時校長ニ報告スヘシ若シ公共物ヲ損壞シタル時ハ其ノ價格ヲ辨償セシムヘシ

一、寢室ニ於ケル規則

學生ハ學期初ニ當リ收支所ヨリ寄宿證明書ヲ受取ルヘシ舍則左ノ如シ

正科學生ハ寢室一間ニ一人或ハ二人ト定メ寢臺及電燈ヲ備付タル外ノ物品ハ凡テ各人自ラ準備スヘシ室内ハ須ク整頓シ清潔タルヘシ正科學生ハ密ニ中學生寢室ニ入ルヲ得ス中學生又密ニ正科學生寢室ニ入ルヲ得ス若シ來賓或ハ參觀者アリ校長、舍監、教員帶同シ行タル際ニハ學生ハ寢室ニ在リ或ハ朋友ヲ招キ雜談シ居ルコトヲ得ス

學生ハ喫煙飲酒及一切ノ惡習ヲ爲スヲ得ス中學寢室ハ每朝八時半閉鎖シ每晚八時半開ク兵式體操ノ際ハ其ノ時間ニ依リ着換ノ爲開閉スヘシ

凡テ學生ノ蒲團、蚊帳、衣服箱、洗面器等ハ不用ノ際モ寢室ニ放棄スルヲ得ス品物預リ所ニ渡スヘシ

一、食堂規則

本校ハ毎日三食ニシテ午前八時朝食、正午晝食、午後六時

夕食

凡テ學生ハ學期ノ初ニ於テ收支所ヨリ食堂券ヲ受領シ經理ヨリ位置ヲ決定セラレタル時ハ自ら任意ニ變換スル事ヲ得

食時ニハ打鈴ヲ待ツテ食堂ニ入り自己ノ席ニツキ直立シテ經理ノ食事ニ對スル感謝ノ祈リ終リタル後腰掛ケ食事ヲ初ムヘシ食事中ハ學生ハ勝手ニ庖厨ニ入り或ハ騷擾スヘカラス

學生病氣ニシテ病室ニ在ル者ニ對シテハ食物ハ病室ニ持テ運フコトヲ得ルモ寢室ニ在ルモノニ對シテハ持テ運フヲ得

若シ學生用事アリテ食時時刻ニ列スル能ハサル時ハ經理ノ許可ヲ得テ特ニ留置スヘシ學生食堂ニ在リテ規則ヲ犯シタル時ハ級長ハ之ヲ詳報シ懲罰ニ付スヘシ

洗濯

本校ニハ洗濯人ヲ雇ヒ置ク學生ハ須ラク毎月曜日ニハ將ニ下衣ハ着換ヘ姓名數等ヲ標明シ洗濯人ニ渡シ洗濯人ハ毎土曜日ニハ必ス數ノ如ク返還スヘシ但シ一人毎週衣服六枚ヲ過クルヲ得ス

醫局

本校ハ特ニ醫局及藥局ヲ設ケ米國醫學博士及看護人一人ヲ招聘シ校內ニ常住セシメ學生若シ病氣ニ罹リタル時ハ午前八時半合監ヨリ證明書ヲ貰ヒ醫局ニ行キテ診察ヲ請フヘシ診察ノ結果體操スル能ハサル者ニハ停操或ハ免操ノ證書ヲ與ヘラレ、課業ヲ受クル能ハサル者ハ醫師ヨリ病室ニ止メ

前二ヶ條ヲ犯シタル者アル時ハ以後自由外出ノ特典ヲ享受スルヲ得ス

中學學生ハ自ら休業ヲ請フヲ得ス家中ニ緊急ノ事情アル時ハ其ノ父兄自ら來校スルカ或ハ書面ヲ以テ事情ヲ具陳セハ校長ハ斟酌シテ休業證明書ヲ與フ該證明書ハ出門ニ當リ門番ニ渡シ歸校ノ際受取り校長室ニ至リ休業ヲ取消スヘシ若シ期限内ニ歸校セサル時ハ犯規者トシテ相當ノ罰ヲ課ス但シ休業中發病或ハ不得已ノ事故ニ遭遇シ延長スル時ハ其ノ父兄ハ須ラク書面ヲ以テ休業延期ヲ願出スヘシ

博學書院(漢口韓家墩)

一、沿革及規模

西曆一八九九年四月英國循道會カ支那青年學生ニ高等泰西教育ヲ授クル目的ヲ以テ、ロンドンミツシヨシカレッジナル名稱ノ下ニ本校ヲ漢口花樓ニ設ケ約八年間繼續經營シ多ク支那學生ヲ教育シタルカ是レ現校ノ前身ニシテ一九〇七年ニ至リ適々同校主幹英人「グリフィスジョン」牧師ノ在支那滿五十年期ニ際シ其ノ本國ヨリ巨額ノ贈與ヲ承ケ且ツ内外各地ヨリ相當ノ義捐金アリタルヲ以テ更ニ新校舍ヲ漢口市外韓家墩ニ建設スルコトヲ企畫シ一九〇八年二月竣工シタルヲ以テ前校舍ヲ閉鎖シ學生ヲ新校ニ遷移セシメタリ新校舍ノ位置ハ漢口市街ヲ距ル支那里七里漢水ヲ距ル一里餘校內廣サ約二百餘畝トス校舍ノ内容ハ則チ講堂、食堂、衛生室、藏書室並聚會堂アリ此ノ堂計長八十八英尺寬サ三十六英尺其ノ建設規則ハ英國文部省所定ニ據リタリ且ツ全堂悉ク電燈ヲ點シ目下百五十名ノ定員ヲ容ルルニ足り現ニ

療養セシム若シ重病ナレハ其ノ父兄ニ通知シテ來校相談休業歸郷スルカ或ハ留校診治スヘキカヲ聽取シ何レニテモ便宜ニ任ス

來客

毎土曜午後學生ノ家族等來訪シタルモノアル時ハ學生ニ通知ス、通知ヲ受ケタルモノハ客室ニ至リテ面晤シ若シ本校諸規則等ニツキ詢ネ度キ希望アル時ハ須ラク校長ニ傳達報告シテ接見ニ便セシムヘシ來訪者ハ土曜日午後以外ハ面接ヲ許可セサルコトアルヘシ

書籍販賣所

本校內ニ書籍販賣所ヲ設ケ専ラ本校日用中西、書籍、筆、墨、紙及學生日用品等ヲ隨時販賣シ學生ハ現金ヲ以テ購買スヘシ

若シ學期ノ初ニ金ヲ納メ居ルモノハ經理人ヨリ受領證書ヲ交付シ學期ノ終リニ清算スヘシ

級長

正科、中學共各級ニ級長ヲ定メ隨時隨地引導シテ教師ノ管理ノ及ハサル所ニ備フ若シ級長ノ品行ニシテ人ノ模範者トナルニ堪ヘサル者ハ隨時變換スル事アルヘシ

休暇

正科三、四年級學生ニシテ若シ閑暇アラハ毎日午後四時ヨリ七時迄外出スルヲ得ヘシ該時以外ニ於テハ須ラク校長ノ許可ヲ得テ外出スルヲ得ヘシ

正科學生及中學級長ニシテ閑暇アラハ毎土曜日午後ハ外出スルヲ得ヘシ但シ晚ノ祈禱迄ニハ必ス歸校スヘシ

擴張中ニテ其ノ經營完成スルニ及ンテハ三百五十名ニ増員スルヲ得本校內禮拜堂一ヶ所アリ本堂ハ昔年同會「ロバートウイソソン」牧師ノ記念トシテ建テシモノナリ又別ニ大運動場ヲ設備シ場內ニ「フットボール」場二個所「テニスコート」四個所アリ亦周圍五百碼ノ競走場アリ

一九八一年武漢官憲ノ幫助ヲ受ケ武漢堂ヲ増築シテ階下ヲ食堂、圖書室、新聞閱覽室トナシ二階ハ學生ノ寢室トナシ寢臺八十餘ヲ具フ

本校ハ村落ノ間ニ在リ地曠ク空氣清潔ニシテ患病者少ナク遇々輕微ノ病症ニ罹ルモノアルモ院內ニ藥房ノ設ケアリ診察施藥ス而シテ重病者アレハ漢口仁濟病院ニ送り治療セシム尙漢口水電公司ノ水道ヲ購運シ學生ノ飲料トス

九一〇年本校內ニ別ニ身心修練ノ爲童子警探隊(Boy Scout)ヲ設ケ其ノ目的ハ勇壯活潑身心剛健ニシテ有用ナル國民ヲ作ルニ在リ

本校ハ智學館、文學部、高等師範部、經學館ノ四部ニ分ツ一、智學館(The Middle School Department)一學年ヨリ四學年迄ハ文學部ト同様ノ教授ヲ受ケ只四學年ニ於テハ教育學ヲ加ヘ四ヶ年ヲ以テ修業シ小學校教師タルノ資格ヲ附與セラル

智學館ノ學資ハ他部ヨリ低廉ナルヲ旨トシ每學期

- 學費 四十弗
 - 衛生費 一弗
 - 書籍費 二弗
- 學期ノ初ニ納付スルヲ要ス

二、文學部

支那青年ニ高等、普通學殊ニ英語ニ重キヲ置キテ教育スルヲ目的トシ又本校内ノ高等師範部或ハ香港大學ニ入ルノ豫備學校ニシテ六年ヲ以テ修業ス

學費左ノ如シ

學年	每年學費	每期學費	書籍代	衛生費	每期合計
第一學年	百六十元	八十元	三元	二元	八十五元
第二學年	百五十元	七十五元	三元	二元	八十元
第三學年	百四十元	七十元	三元	二元	七十五元
第四學年	百三十元	六十五元	三元	二元	七十元
第五學年	百二十元	六十元	三元	二元	六十五元
第六學年	百十元	五十五元	三元	二元	六十元

尙衛生會費トシテ毎季一元ヲ納付ス書籍代ハ退校ノ際過不足ヲ精算ス洗濯、理髮等ノ費用ハ學校ヨリ給ス尙學生ハ必ス行季ヲ携帶スハシ但シ寢臺寢具ハ備付アリテ學生ノ用ニ供ス

教員ハ毎年各班學生ヲ試驗シ成績五十點以上ノモノヲ進級セシム

學生ニシテ第六學年ヲ終ハル時特別試驗ヲ經テ品行方正學術優等ナルモノニハ修業證書ヲ與テ該證書所有者ハ英國大學或ハ香港大學ニ入學ヲ許可セラル(毎年十二月本校内ニテ香港大學入學試驗ヲ施行ス)一九一五年及一九一七年ニ名宛支那政府ヨリ官費ヲ以テ香港大學ニ就學セシメタリ尙倫敦會小學堂卒業生或ハ連絡他學校ノ試驗合格者ニシテ本校ニ入ラントスルモ無資力ナル者ハ相當額ノ學費ヲ減ス

本部ノ教科目左ノ如シ

三三八

- 一、修身 新舊約聖書
- 一、英文 會話、文法、翻譯、作文
- 一、漢文 古文、歷史、論文
- 一、歷史 支那及外國
- 一、地理 支那及外國
- 一、理科 博物、物理、化學
- 一、機械學 算術、代數、幾何、三角
- 一、數學
- 一、音樂

高等師範部

文學部修業或ハ其ノ程度ノ學生ニ對シ中等教員養生ヲ目的トス修業年限二ケ年ニシテ學費ハ本校文學部ノ卒業生ハ年額百弗其ノ他ノ者ハ年額百二十弗トス

教科要目左ノ如シ

- 一、教育 心理學、教育學
- 二、實地教育 實地教授法
- 三、學校衛生
- 四、體操
- 五、植物及動物ノ實習

六、物理
七、音樂(聲樂、器樂)
八、宗教學

各種章程

同校定ムル所ノ章程左ノ如シ

- 保證人 入學セントスル學生ハ武昌、漢口居住者ニシテ相當ナル保證人ヲ要ス
- 年齡 新入學生徒ハ十二歳ヨリ十九歳マテノ者トス 毎季新生徒ノ入學ハ必ス入學試驗ヲ行フ
- 學費 前記ノ通り必ス半期分ノ學費ヲ前納スルヲ要ス
- 書籍 學生用書籍ハ本校ヨリ交付スルモ其ノ代價ハ學生之ヲ負擔スヘシ毎季銀四元ヲ納附シ書籍購入ノ費ト爲スモ此ノ費用ハ後ニ精算スヘシ
- 衣類 學生ノ行季衣服ハ均シク自辨トシ而シテ必ス清潔ヲ要ス毎朝自ラ一律整頓スヘシ
- 課程 學生ハ分テ六班ト爲シ每班一定ノ課程一定ノ時間ヲ定ム學生ハ必ス所定ノ時間ニ所定ノ日課ニ就キ學習シ些モ規則ヲ犯スヘカラス
- 年限 學期六年每班一年順次進級シ卒業ノ時大試驗ノ順席ニ依リ卒業證書ヲ給ス
- 禮拜 全堂ノ學生毎日曜日及水曜日ニハ規定ニ依リ禮拜スヘシ
- 報告 毎季試驗後休暇ニハ必ス學生ノ品行學術ノ優劣ヲ一表ニ作り學生ノ父兄或ハ保證人ニ寄送ス

外出

シ以テ參考ニ供ス寄送ヲ受ケサルモノハ院主ニ通知シ寄送ヲ受クヘシ

請暇

學生ヨリ請暇スルヲ准サス若シ大ナル事故アル時ハ必ス其ノ父兄或ハ保證人ヨリ請暇ノ事由ヲ院主ニ申出テ院主ノ許可ヲ得ヘシ

患病

學生ハ病氣ニ罹リタル時ハ速ニ受持教員ニ告示シ校長ニ轉達シテ醫師ノ診療ヲ請フヘシ重病ナルトキハ歸宅治療スルモ隨意トス

退學

性質懈怠ニシテ品行修マラス規則ヲ犯シ勸誡ヲ聽カサル學生ニ對シテハ即時退學ヲ命ジ學費ハ返付セス

面會

學生ノ面會人ハ應接室ニ在テ課業ノ終ルヲ俟ツテ面會スヘシ庭内或ハ寢室ヲ參觀セント欲スルモノハ必ス教員ノ許可ヲ受クヘシ

禁止

如何ナル場合タリトモ私カニ賭博用具、「ウイスキー」煙草等ヲ携帶スルヲ准サス若シ取調ヘ發見シタルトキハ重ク罰スヘシ且寢室内亦

運動

自ラ食物ヲ所持スルヲ禁ス

會期

體操室「フットボール」場ハ學生ノ遊戲所ト爲ス時々内ニ入り遊戯練習シテ體育ヲ重スヘシ

學堂及寢室内ニ於テ喊叫跑跳スルヲ得ス 春、秋二季武術試驗ニ首席ヲ占メタル學生ハ

即チ其ノ姓名ヲ紀念碑中ニ列入ス陽曆四月九日ハ本校ノ落成紀念日ニシテ來賓及卒業生ヲ招待歡迎ス

賞品

年末大試験毎班ノ試験合格者ニ賞ヲ與フ

經學館 (Dwight School)

經學館ハ基督教ヲ慕テ聖道ノ研究ニ志スモノニシテ地方ノ教會會議或ハ教會ノ地方委員等ヨリ推薦セラレタル者ニ組々神學教師、神學教會歴史、舊約全書等ノ課程ヲ教授シ三年間ヲ以テ修業ス

倫敦中學校

本校ハ博學書院ト連絡ヲ有シ均シク倫敦會ノ設立ニ係リ經營擔當者ハ同會「マックフアーラン」牧師ナリ教員ハ校長「マックフアーラン」ノ外博學書院ノ教員兼職ニテ生徒數目下一二〇名アリ本校ハ別ニ附屬小學校ヲ有ス同中學校ノ規則其ノ他左ノ如シ

- 一、目的 本堂ハ人材ノ養成教育ノ普及ヲ必要トシ生徒ヲシテ普通學業ヲ修得セシメ常識ヲ養成セシムルヲ以テ目的トス
- 一、年齢 十二歳ヨリ十六歳迄ヲ合格トス
- 一、學級 本堂ノ學生ヲ普通三班ニ分チ每學必ス試験ヲ行ヒ以テ學生ノ程度班級ノ高下ヲ定ム
- 一、課目 國文、英語、算術、地理、手工、歴史、音樂、體操、聖經等トス
- 一、時刻 生徒ハ毎日六時半起床洗面ヲ畢リ七時ヨリ八時マテ學堂ニ於テ自習ス八時ヨリ九時迄ヲ朝食時間トシ九

時半學校ニ參集シ九時半ヨリ十二時マテ國文、英語、手工、地理、聖經等ノ課目一時ヨリ四時迄國文、英語、算術、體操、音樂、歴史等ノ課目ヲ修メシメ夜ハ七時ヨリ九時迄自習セシム

- 一、寢室 學生ハ毎日寢時間規則ヲ嚴守シ喧嘩ヲ禁ス
- 一、製服 學生ノ每學期ノ始メ製服費三元ヲ納ム而シテ計算後餘リアレハ返付ス不足アレハ補徴ス
- 一、體操 學生ハ體操又ハ遊戯時間ヲ論セス先ニ豫備整理ヲ行フ
- 一、面會 本堂ニ客室ヲ備フ學生來賓アレハ課業畢ルヲ俟テ客室ニ於テ面接シ參觀ヲ欲スル者ニ對シテハ教員案内スヘシ
- 一、班規 學生授業時間ニ出入ヲ禁ス若シ一時間ヲ終ラサルニ隨意出入スル者ハ定則ニ依リ處罰ス
- 一、修業 本堂修業年限三年トス年限滿チテ正式ニ修業證ヲ給ス
- 一、請暇 學生事故アルトキハ父兄又ハ保證人ヨリ報告スルカ又ハ書面ヲ監學ニ提出スレハ休暇許可書ヲ給スヘシ該書ナキ者ハ第二ノ外門ニ出スルヲ禁ス
- 一、休暇 博學書院ト相同シ
- 一、入浴 本堂浴室ヲ備ヘ夏季ハ一日一浴冬季ハ土曜日入浴札ニ因リ順次ニ入浴スヘシ
- 一、整頓 學生ハ毎日早ク起床シテ寢衣ヲ疊ミ上衣、下衣均シク整頓スヘシ夏季ハ一日一回着替冬季ハ七日一回着換ヲ行フ小便ニ洗濯セシムルトキハ學生ハ洗賃ヲ支拂フ

ヘシ或ハ學生自ラ洗フモ可ナリ

- 一、試験 本堂ハ毎年試験ヲ月試験季試験、大試験ニ分チテ行フ月試験ハ毎月ニ行ヒ季試験ハ學期ノ終ニ至リ同年習フ所ノ課業ニ對シ合セ行フ
- 一、獎賞 年終試験後學生ノ父兄ニ來堂參觀ヲ請ヒ各班ノ別ナク一、二、三名(主席、次席、三席)ノ優才者ニ各特別獎賞ス
- 一、薦舉 毎年試験規則ニ因リ主席ノ者ハ博學院ニ入學セシメ學費六十元ヲ減ス次席及三席ノ者ニテ博學書院ニ入ラント欲スル者ハ本校試験點數ニ因リ賞試學費ノ多寡ヲ定ム
- 一、規則 以上ノ規則ヲ犯シ或ハ不正、不品行ノ行為アル者ハ教員ノ調査ヲ經テ輕キハ答責シ重キハ除名ス除名後ハ學費ヲ返還セス
- 一、記名 入學費、凡本堂ニ來リテ記名入學セントスル者ハ先ニ記名費一元ヲ收ム若シ記名シテ來ラサル者ハ右一元ヲ返還セス

附、初等小學規則

- 一、目的 本堂ハ兒童ノ天性純ナルニ依リ一切ノ泰西學術ニ接近セシメ彼等ヲシテ將來國器ノ基礎ヲ養成スルヲ以テ目的トス
- 一、學課 中外經史、四書、五經、議論、算術、手工、歴史、地理、體操等トス
- 一、年齢 七歳ヨリ十四歳マテトス
- 一、時刻 毎日七時ニ起床シ四時迄授業ス土曜日ハ半日

日曜日ハ課業ナシ

- 一、學級 各生ノ中文(支那文)ノ程度ニ依リテ班級ノ高下ヲ定ム
- 一、學費 毎年學費五元二季ニ分チ上季三元下季二元トス若シ事故アリテ除名スルモ學費ハ之レヲ返還セシメ全年ノ學費ヲ納メシム
- 一、請暇 學生若シ緊要ノ事故アリテ休暇ヲ得ントスルモノハ必ス先教員ニ願出テ暇ヲ請フヘシ
- 一、獎賞 卒業試験ニ於ケル首席者ニ賞品ヲ給シ本堂英文班ニ陸入シテ學費ヲ免ス

博文書院(武昌)

沿革

本校ハ一八一七年循道會、宣教師「ダブリユー、テイー、ユー、ハーバー」カ同教會庇護ノ下ニ武昌城内ニ於テ小規模ノ學校ヲ創立シタルニ起源シ此ノ學校ハ多年支那語ノ博文書院ナル名稱ニ依リ一般ニ知ラレタルカ漸次武昌高等學校 (Woochang High School) ナル名稱ヲ用フルニ至リ其ノ後現時ノ「ウエスリー、カレッジ」ナル名稱ヲ冠スルニ至リタリ

同校創立ニ際シテハ土地ヲ買收スルコト能ハス偶々或地區ヲ獲得スルヤ賣主ハ投獄ノ難ニ遭ヒ地券ハ多年間證印ヲ得ル能ハサリキ而シテ學生ハ僅少ニシテ支那官吏及學者等ハ同校ノ設立ニ對シ決シテ好意ヲ表セサリキ

千九百七年同校ハ武昌城内ヨリ東門外現在ノ位置ニ移轉シ教授ヲ増加シ課程ヲ中等ト高等トノ兩科ニ分チ外觀内容ト

モ一新スル處アリ學生モ漸次増加シ大ニ校規ヲ振肅シタリ
本院ハ中等、高等ノ兩科ニ分テ修業年限中等科ハ六年高等
科ハ三年ナリ
中等及高等科ヲ通シ教科目左ノ如シ

- 一、修身 新舊約聖書
- 一、英語 文法、作文、文學、譯讀、會話、發音、習字等
- 一、數學 算術、代數、幾何、三角、微分、積分
- 一、理科 動、植物生理、物理化學
- 一、哲學 心理學、理財學、教授法
- 一、漢文 經、史、文
- 一、地理 政治、商業、地文
- 一、圖書
- 一、音樂
- 一、體操

學費
一年ノ學費(食費共)中等、高等兩科トモ百二十元運動費
二元、書籍購入費二元ヲ上、下二期授業開始ニ當リ全納ス
ヘシ授業開始ニ當リ來院セサルモノニハ十元ヲ増徴スヘシ
少年義勇隊希望者ハ初年ニ於テ操衣費十元ヲ爾後ハ雜費ト
シテ毎季一元ヲ納ムヘシ其ノ外制服、制帽費トシテ四元ヲ
要スヘシ

本院諸規則

一、本院教室ハ各年級トモ指定シアレハ猥リニ變更スルコ
トヲ得ヌ又教室内ニハ必要書籍、筆、墨等ヲ除クノ外殘

八人學生二百十八名アリ本校ハ修業年限四年ニシテ大試驗
ニ合格セシ者ニ修業證ヲ給シ若シ學生カ修業後洋行ヲ願フ
者ハ本校ヨリ證明書ヲ交付ス本校ヲ出テ佛國、白耳義ニ留
學シ業成リテ歸國セシ者少カラス

本校規則左ノ如シ
凡テ清廉潔白、身體強健、品行方正、年齡ハ十四歲ヨリ十
九歲マテ漢文ニ明通スル者ニシテ本學堂ニ入學ヲ願フ者ハ
其ノ父兄親族ヲ同伴シ又寄留者ニ在リテハ保證人ノ姓名原
籍住所ヲ名簿ニ登記入學ノ手續ヲ爲スヘシ學費毎年三十六
元半毎年徴收ス既ニ徴收シタル學費ハ返還セス
課業ハ午前八時半ヨリ十一時半ニ至リ十一時半ヨリ四時十
五分迄トス又自習時刻ハ午前ハ七時ヨリ課業時間迄午後ハ
放課後ヨリ五時半迄迄トモ七時迄トス
本學堂ハ賄方ヲ雇ヒ專ラ本堂諸生ノ飲食ヲ供ス食費ハ毎月
五元宛ヲ自ラ支拂フヘシ若シ飲食物衛生上害アルモノアル
トキハ宜シク三人ヲ選舉シテ管理教員ニ申出テ賄方ノ處分
方ヲ議スヘシ
平日學生ノ歸宅スルヲ許サヌ又他所ニ宿泊ヲ禁ス本學堂ノ
備品及電燈、茶、水等ノ費用毎年十六元ヲ收ム別ニ寢臺料
トシテ毎年四圓ヲ加フ計貳拾圓ヲ春秋ノ兩季ニ分テ學費ト
共ニ徴收ス本堂ノ休暇期限ハ暑中二個月、正月一個月、日
曜日、木曜日ノ午後中外ノ國慶日及聖日トス
在校學生ニシテ其ノ父兄ノ願出ニ依リ土曜日ニ歸宅ヲ許サ
レシモノハ日曜日必ス歸校スヘシ又土曜日ニ歸宅ヲ願ハサ
ル者ハ日曜日ハ任意外出散步差支ナシ特別ノ休日亦願ニヨ

留スヘカラス
一、學生ハ如何ナル場所ニ於テモ吐痰飲酒ヲ禁ス
一、本院内ニ病室ヲ設ケ學生病氣ニ罹リタル時療養ニ使用
ス重病ニ際シテハ歸郷或ハ醫院ニ入院セシムヘシ入院費
ハ學生ノ自辨タルヘシ
一、本院定例ノ休業日ハ冬季休業、夏季休業、教會々節、
國慶記念日トシ其ノ他特別事故アル時ハ臨時ニ參酌休業
ス
一、學生ノ街ニ買物ニ出ヅル爲毎水曜ノ放課後外出ヲ許可
ス但シ必ス規定時間迄ニハ歸校スヘシ
一、學生ハ自ラ休暇ヲ請フヲ許サヌ若シ必要アラハ父兄來
院面談シ然ラサレハ父兄ヨリ書面ヲ以テ事由ヲ叙明シテ
許可ヲ受クヘシ
一、本院ハ每學期學年試驗ノ外ニ毎月試驗ヲ課シテ學生課
業ノ勤惰ヲ檢シ年末及落決定ノ資ト爲ス合格者ニハ翌年
進級セシメ不合格者ハ原級ニ留メテ補習セシム
一、學生ノ品行特ニ方正ニシテ天資聰明一年間毎回ノ試驗
最優等者ニハ年末大試驗後相當ノ賞品ヲ給與シ或ハ公費
學生トナス
一、本院ハ香港大學ノ特別ノ准許ヲ經テ同大學公費學生ト
ナルノ特典アリ
漢口法文學堂
本堂ハ一九〇五年佛國領事及佛國官憲等ノ手ニテ設立セラ
レ其ノ目的ハ支那青年子弟ニ佛文及西洋ノ普通科學並國文
及圖畫理財等ヲ教授スルニ在リ教師ハ外人(多ク宣教師)

リ外出ヲ許ス
通學生若シ休暇ヲ請フトキハ父兄ノ證明書ニ因テ許可ス寄
宿生ノ休暇ヲ請フ時亦其ノ家ノ證明等ニヨリ許可ス
學生急迫ノ事故アル場合ハ休暇ヲ請フニ及ハス但シ後日書
面ニテ陳說スルカ保證人ノ名刺ヲ差出ストヲ要ス若シ休
暇少キ時ハ保證人ノ名刺ヲ以テ足ル
此ノ規則ヲ守ラサル者ハ監督之ヲ罰ス休暇ヲ請フ事多ク而
シテ理由書ヲ提出セス亦監督ノ命ヲ聽カサル者ハ排斥ス
在學ノ學生若シ入用ノ物件ヲ買フトキハ小使ニ命スヘシ若
シ自ラ赴ク必要アルトキハ監督者ニ暇ヲ請フテ赴クコトヲ
得門鑑札ヲ管理教師ニ呈シタル後外出ヲ許ス
學生ハ教員ニ對シ恭敬同窓ニ對シテ和睦ナルヘク校則ヲ恪
守シテ動作ヲ慎ムヘシ
各班學生講讀ノ書物及筆、墨、紙等皆學生ノ自辨トス(本
校内ニ書物、物品販賣所アリ)定價以下ニテ買取ルコト及
一冊ノ書物ヲ二人供用スルコトヲ得ス凡テ教課外ノ書物ハ
監督ノ印ナキモノハ携帶ヲ禁ス
平原草地(園内)ニ在リテ休憩ノ時物件ヲ破壊シタルモノ
ハ賠償ノ責アリ
起居動作ハ最正シクスヘシ朝六時半打鈴ニヨリ起床寢衣ヲ
整頓夜九時半消燈寢ニ就キ遲延又ハ喧擾スルコトヲ得ス
學生ノ家族ニシテ校堂ヲ參觀セントスルモノハ授業畢リタ
ル後ニナスヘシ友人ノ來訪ハ一切謝絶ス尙本學堂ハ毎夕七
時半閉門シ家族ノ參觀者モ此ノ時刻出入スルヲ得ス
中華聖公會婦女學校

本校ハ千九百十三年聖公會ノ設立スル所ニシテ支那婦女ニ文明的普通家庭教育ヲ施シ傍ラ神學聖書ヲ講シ以テ良妻賢母ヲ養成セントスルモノニシテ年齡十八歳以上三十歳以下ノモノヲ學生トス目下教員米人五名、支那人十六名、學生百九十名アリ學級ハ高等、初等ノ二班ニ分チ修業年限各四個年トス學課ハ正課トシテ國文、聖經、地理、體操、算術、衛生、歴史、手工アリ特課トシテ英文及音樂アリ
本校ハ一般通學ヲ許シ別ニ寄宿舎ノ設備アリ學費其ノ他本校規程左ノ如シ

スコトヲ禁シ以テ失患ヲ防ク戸窓ハ開閉セスシテ空氣ヲ流通セシム若シ姉妹等ノ來訪者宿泊ヲ欲スル時ハ監院ニ申請シテ許可ヲ得ルニアラサレハ任意ニ宿留セシムルコトヲ得ス

一、學費及寄宿費
本校ハ學費及寄宿費ヲ兩季ニ分チテ徵收ス通學者ハ每季學費三元ヲ收ム但シ英文又ハ音樂ヲ學フ者ハ外ニ十元ヲ加フ寄宿生ハ每期二十三元音樂ヲ學フ者ハ外ニ五元ヲ加フ凡テ學期始メニ之ヲ徵收ス

五、起居
每日午前六時半起床午後十時半消燈談話ヲ禁ス

二、學校用品
通學者寄宿生ノ別ナク凡テ需用書籍、紙、筆等ハ之ヲ自辨トス

六、接見
凡學生ノ父兄或ハ參觀者或ハ用事アル者トノ接見ノ時間ハ土曜日午後二時ヨリ五時迄トシ接見ノ時刻及場所ハ之ヲ監院或ハ監學ニ説明スヘシ

三、試驗
試驗ハ每年大試驗二回各季ニ小試驗一回アリ大試驗ハ暑中休暇前及冬期休暇前ニ行フ每期ノ小試驗ヲ學期休暇前ニ於テ行フ年末ニ兩期ノ成績點數ヲ計算シテ監院ヨリ明細ニ表ヲ作り一々生徒父兄ニ報告シ修業ノ勤惰ヲ知ラシム

七、禮拜
學生ハ毎日曜日ハ一律ニ聖保羅坐堂ニ詣テ毎日午後本校ノ規定ニ依リ祈禱ス

四、寢室
寢室ハ寢衣、寢具、衣服等齊シク整理シ私カニ燈燭ヲ燃

八、書籍
本校ハ特ニ各種書籍、新聞紙等ヲ備ヘ借用ヲ欲スル者ハ監院或ハ監學ニ願出スヘシ

ヲ損スヘカラス

十二、洗濯

衣

洗濯ハ各人定メタル時間ニ行フヘシ

各地小學校

凡ソ教會ノ在所教會經營ノ小學校存セサル地ハ少ク是等各地方ニ設置セル小學校ハ尋常、高等兩科ノモノアリ或ハ一方ノモノモアリ唯男女七歳而不同席ノ孔訓ヲ貴シトスル支那ニ在リテハ小學校ト雖男子部、女子部ニ區別教授スルモノ多シ各小學校トモ其ノ内容規定等ニ至リテハ大同小異ナレハ一例トシテ武昌ニ於ケル行道會經營ノ小學校ノ規則等ヲ舉ケ他ヲ省略スヘシ

一、本校ハ人才養成及中學豫備ノ教育ヲ普及スルヲ以テ目的トス

一、生徒數ハ四十名ヲ定數トス

一、程度ハ高等科及尋常科ノ二科ニ分チ尋常科ヲ更ニ一、二班トナス

一、科目ハ高等科ニアリテハ修身、國語、聖書、歴史、文學、英語、算術、地理、物理、圖畫、體操、音樂等尋常科ニアリテハ修身、國語、歴史、地理、算術、聖書、圖畫、體操、音樂等トス

一、年齡ハ八歳以上十五歳迄トス

一、授業料一個年ヲ二期ニ分チ每學期尋常科ハ一串文(銅貨一圓)高等科ハ二串文ヲ分納シ尋常科ヨリノ入學者ニ對シテハ授業料ハ增收セス

一、學年 尋常ハ四個年八學期ヲ以テ卒業トシ高等科ハ三

學年六學期ヲ以テ卒業トス

校則ヲ犯シタル者ハ退校ヲ命シ納入シタル授業料ハ返還スルコトナシ

本校所定課目ノ試驗ニ及第シタル者ニハ卒業證書ヲ授與シ本會大學ニ入學シ得ヘク又諸官立學校ヘ入學志望者ニ對シテハ特ニ便宜ヲ與フ

右ノ如キ校則ニシテ管内各教會、布教所ヲ有スル地方ニハ少クモ一、二ノ小學校アリ但シ生徒數百以上ナルモノハ稀ナリ

第八節 病院

管内ニ於ケル外國人カ經營スル病院ハ個人カ純然タル營利事業トシテ開業スルモノヲ除キテハ殆ト全部教會ノ事業ニ屬ス大體ニ於テ米國カ教育事業ニ重キヲ置クニ反シ英國ハ衛生事業即チ病院ノ經營ヲ主トスルノ傾向アリ而シテ英國ト共ニ熱心ニ衛生事業ニ努力スルハ天主教派即チ佛國(湖北ヲ主トス)伊國、河南ヲ主トス)トシ次ニ米國トス而シテ病院ノ組織的ニシテ規模ノ見ルニ足ルヘキモノハ多ク大都會ニ所在ス即チ管内ニアリテハ武漢ノ地ヲ除ク外ハ見ルヘキノ病院尠ナク其ノ多クハ各地方教會所在ノ宣教師ノ醫師ナルモノカ傳道ノ傍ラ施藥診療ノ事ニ從ヒ或ハ小規模ノ病舎藥局ヲ所有スルモノトス
管内各省中新教ニアリテハ宣教師ノ醫師ノ最多キハ湖北ニシテ河南、陝西之ニツキ甘肅、新疆ハ殆ント見ス
教會別ニ之ヲ論スレハ循道會(湖北ヲ主トス)倫敦會(湖

北ヲ主トス) 加奈院長老會(河南ヲ主トス) 聖公會(湖北ヲ主トス)ノ四教會最病醫院ノ經營ニ努メ他ニ鄂豫信義會(河南ヲ主トス)米國傳道部(河南ヲ主トス)大美國浸禮會(湖北ヲ主トス)腦國路得會等ハ各病院ヲ有シ其ノ他信義會行道會、鴻恩會等ハ各宜教師、醫師ヲ有シ舊教ニアリテハ佛國天主堂、主トシテ湖北ヲ伊國ハ河南省内四個所アリ事ニ盡力ス伊國天主堂ニ屬スル病院ハ河南省内四個所アリ佛國天主堂ハ漢口ニ於テノミ二大病院ヲ有ス而シテ各會各病醫院ニ於テハ從來其ノ大部分ハ施藥施療等ヲ以テシタルモノハ經濟上ノ關係ヨリ診料乃至藥價(比較的低廉ナルモノ)ヲ徵收スルモノ多キモ病醫院ノ建設ナキ地方ノ「宣教師ノ醫師」ニ在リテハ現時ニ於テモ原則トシテ慈善の無料診療ヲ施シツ、アリ尙都會經營ノ病醫院乃至醫師ハ基督教徒カ禁煙スルノ例規上自然阿片中毒患者ニ對スル治療ニ力ヲ入レ武漢仁濟醫院ノ如キハ特ニ戒烟治療ノコトヲ規定公啓シツツアリ而シテ病醫院乃至宣教師ノ醫師ニ對スル經費ハ多ク其ノ所屬教會ノ支出ニ係ルモ地方支那人ノ寄附ヲ受ケツツアルモノ亦多シ而シテ外人カ病醫院等ヲ開設シ一般支那人患者ニ對シ草根木皮以外ノ新式醫藥或ハ療法ヲ附與スルハ彼等患者カ痛切ニ感謝スル所ニシテ一度外人ノ優秀(支那醫師ニ比シ)ナル治療ノ有難サヲ感受セシ支那人等ハ郷党ニ吹聴シ友人ニ勸進シテ多少ノ寄附金ヲ集メテ之ヲ該醫師等ニ送ルノ舉ハ不斷各地方ニ行ハルル所ニシテ有力ナル官商カ數千元ヲ喜捨シ補助シテ厭ハサルカ如キ醫事救濟的方面ノ事業ハ支那一般人心ニ好感情ヲ與ヘツツアリ一九

一〇年河南省一大鎮、周家口ニ於テハ紳董等連署シテ在該地内地會ノ「プロック」(博)「シエーラー」(宋)兩牧師ニ對シ左ノ如キ醫院開設ノ請願ヲ爲シタルコトアリ
博、宋二位牧師大人閣下久仰
南行無不欽佩惟地方風氣不開致少親愛雖喜無近水之緣而奈霍亂向日之甚常聞貴國在我國各府鎮均設醫院濟世活人究竟未得其詳茲聞勸學員鄒世仁勸導各學堂改良數十處講究衛生爲第一關口每見奇陰惡病貴國醫士着手成春因此各學教習商同學黨等周家口 屬中州名鎮邀求 請位牧司在此添設醫院一所不獨周濟窮人即官學紳商各界無不感激借此
道可遠揚豈不答哉此請
道安 百益
杜龍彬 馬王琳 李備麟
王鳳來 程四箴 王天中
學界紳董
周雲從 許世榮 李延英
丁殿部 馮英 謝希曾
丁殿邦 郭文炳 關雲凌
聶子祥 周慶社 李沒丹
馬廷慶 李應瑞 李介祐
胡裕芳 周鳳翼 蕭龍章
等 全頓首
管内ニ於ケル病醫院
管内各地ニ於ケル病醫院ノ主ナルモノ左ノ如シ

(湖北省)

所在地	名稱	外國	語	國籍	教會別	設立年月日
漢口	仁濟醫院	London Mission Hospital for Man	英	英	福音堂	一八七八
同上	仁濟婦嬰醫院	London Mission Hospital for Woman	英	英	同上	一九一一
同上	天主堂醫院	Catholic Hospital	佛	佛	天主堂	一八五八
同上	仁慈醫院	Roman Catholic Mission Hospital	同上	同上	同上	同上
同上	普愛醫院	Wesleyan Mission Hodge Memorial Hospital	英	英	循道會	一八七一
同上	萬國醫院	International Hospital	同上	同上	各國共同	一九一一
同上	普愛婦嬰醫院	Wesleyan Mission Hospital for Woman	英	英	循道會	同上
武昌	同仁醫院	Church General Hospital	同上	同上	聖公會	同上
同上	仁濟醫院	London Mission Hospital for Man	同上	同上	福音堂	同上
同上	仁濟婦嬰醫院	London Mission Hospital for Woman	同上	同上	同上	同上
同上	普愛婦嬰醫院	Wesleyan Mission Hospital for Women	同上	同上	循道會	同上

トシ毎月不定ナレトモ一ヶ月平均概算五十名内外ノ入院患者及外來患者毎月平均約百名内外アリ從前多クハ無料診察或ハ施藥等ヲ以テシタルモ近年一ハ患者數多數ニ上リ一ハ經費ノ關係上ヨリ診察料乃至藥價等ヲ徵收スルコトト爲シタルモ患者數格外減少スルノ模様ナシ倫敦會ハ別ニ當地英租界三碼頭ニ本姉妹病院タル仁濟婦女醫院ヲ設ケ尙仁濟醫院ノ醫師ハ男女兩醫院並武昌仁濟男女兩院ニ兼勤スルモノナルヲ以テ診察日ハ每年診察期日表(期系)ヲ公告シ此期

仁濟醫院ハ千八百七十八年漢口後花樓街ニ地ヲトシ倫敦會教師ノ盡力ニ依リ設立セラレ現主管者ハ「ギリソン」牧師ニシテ醫師英國人二名、支那人二名アリ患者ハ支那人ヲ主

仁濟醫院(漢口)
外ニ河南省桐柏ニ西醫局(一九一五年設立)洛陽ニ福音醫院(一九〇八年設立)杞縣ニ基督教附設醫院(一九一四年設立)虞城ニ附設醫院(一九〇九年設立)鄭縣ニ附設醫院(不明)等アリ各相當著名ナルモノトス